

令和元年度
草津市男女共同参画についてのアンケート
調査報告書

令和2年3月

草 津 市

目 次

I 調査の概要	1
1. 目的	1
2. 対象と方法	1
3. 回収結果	1
4. 調査結果の精度	1
5. その他留意点	2
II 調査結果	3
1. 回答者属性	3
2. 男女共同参画について	9
2－（1）各分野での男女平等	9
2－（2）性別役割分担意識	16
2－（3）性別役割分担に賛成する理由	19
2－（4）性別役割分担に反対する理由	21
2－（5）子どもの育て方についての考え方	23
2－（6）地域での男女間格差の有無	25
2－（7）地域での男女間格差の内容	27
2－（8）男女共同参画に関する用語の認知	30
3. ワーク・ライフ・バランスについて	38
3－（1）生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人生活」の優先度 ..	38
3－（2）生活時間	41
3－（3）男性の積極的家庭生活参加のために必要なこと	59
3－（4）職場でのワーク・ライフ・バランス実現への取り組み	62
4. 労働について.....	65
4－（1）現在の職業	65
4－（2）今後の就労意向	69
4－（3）現在働くことができない理由	70
4－（4）女性が出産・子育てなどを理由に 仕事を辞めることなく働けるために必要なこと	72
4－（5）介護を理由に 仕事を辞めることなく働けるために必要なこと	74
4－（6）女性管理職が少ない理由	76
5. セクシュアル・ハラスメント（セクハラ）・DV について	79
5－（1）セクシュアル・ハラスメントを受けた経験	79
5－（2）ドメスティック・バイオレンスを受けた経験	84
5－（3）ドメスティック・バイオレンスへの対処方法	86
5－（4）相談窓口の認知	89
6. 市の施策・（仮称）男女共同参画センターについて	95
6－（1）（仮称）男女共同参画センターにあればよいと思う機能・事業	95
6－（2）（仮称）男女共同参画センター移行後の 女性の総合相談窓口があればよいと思う相談・相談体制	97
6－（3）草津市が男女共同参画社会の実現に向けて力を入れるべき取り組み ..	99
7. 自由記述	102
III 調査結果の概要	103
IV 調査票	111

I 調査の概要

1. 目的

草津市では、男女共同参画社会の実現を市政の重要な柱としており、その実現をめざして「草津市男女共同参画推進条例」（平成 21 年 4 月 1 日施行）を制定し、また平成 22 年には、男女が真に対等な市民として、性別にかかわらず持てる力を発揮し、人権が尊重され、平和で豊かな地域づくりをめざして、「第 3 次草津市男女共同参画推進計画」を策定し、取り組んでいます。

このたび、施策の現状を調査するとともに、今後の施策・方針の参考とさせていただくため、「草津市男女共同参画についてのアンケート」を実施しました。

2. 対象と方法

対象者	令和元年 7 月 31 日現在における本市在住の満 20 歳以上の 3,000 人 各小学校区の満 20 歳以上の男女別・年齢別の構成比に基づき抽出数を設定
標本抽出方法	住民基本台帳より上記条件で無作為抽出
方 法	郵送による配付・回収
期 間	令和元年 9 月 10 日～9 月 30 日

3. 回収結果

配布数	回収数	有効回答数	有効回答率
3,000 件	889 件	888 件	29.6%

4. 調査結果の精度

今回の調査は標本調査のため、本結果が草津市民意識や課題としてどの程度の精度があるものなのかを以下の数式で求めました。

国等が実施する調査では、信頼度 95% の水準（同じ調査で対象を変えて行った場合に、100 回中 95 回は同様の結果が得られる。5 回程度は異なる結果となることが許容される。）を求めることが一般的とされており、これに基づき今回の調査における標本測定値の標本誤差を算出しました。

計算の結果 ε （標本誤差）= 3.28（小数第 3 位四捨五入）となります。これは、草津市民の回答は今回のアンケート調査結果の $\pm 3.28\%$ の区間に 95% の確率で存在することを意味します。

$$\varepsilon = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

ε ：標本誤差

± 1.96 ：信頼度 95% の時の係数

N：母集団数（調査時点の 20 歳以上の草津市人口：107,540 人）

n：標本数（有効回答数：888）

P：標本測定値 0.5（50%（0.5）のときに最大となるため 0.5 で計算）

5. その他留意点

- ・図表中の「n (number of case)」は、回答者総数または分類別の回答者数を示します。
- ・回答結果の割合「%」は、回答対象者数（n）に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示し、そのため、合計が100.0%にならない場合があります。
- ・図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。
- ・「前回調査」とあるのは、平成26年度に実施した「草津市男女共同参画についてのアンケート調査」を指す。

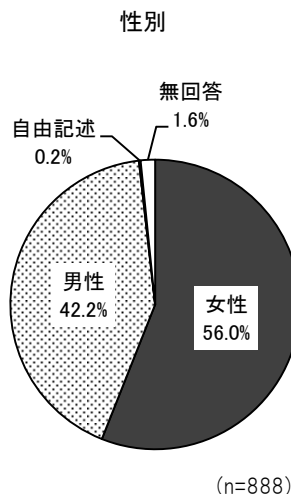
Ⅱ 調査結果

1. 回答者属性

(1) 性別

問 21 あなたの性別は。(1つに○) ※あなたが認識されている性別でお答えください。

「女性」が 56.0%、「男性」が 42.2%、「自由記述」が 0.2%となっています。



(2) 年齢

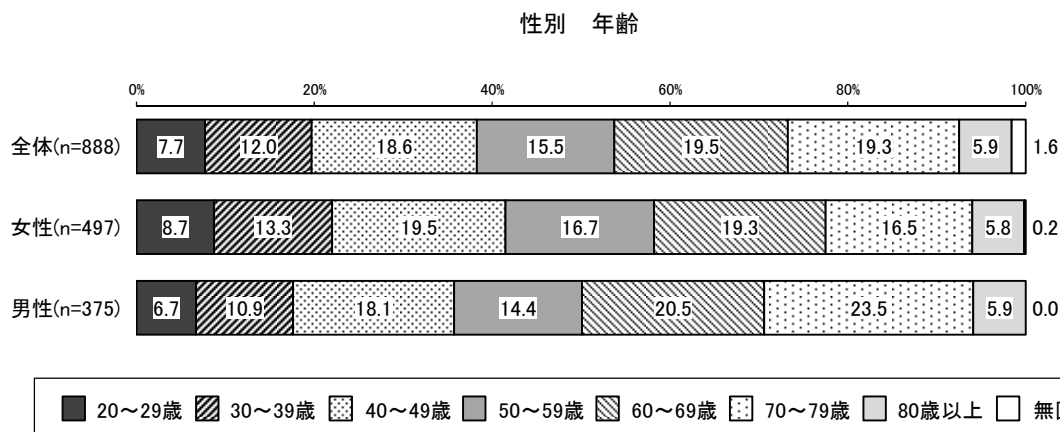
問 22 あなたの年齢は。(1つに○)

「60～69 歳」が 19.5%で最も高く、次いで「70～79 歳」が 19.3%、「40～49 歳」が 18.6%、「50～59 歳」が 15.5%、「30～39 歳」が 12.0%となっています。

【性別】

女性では、「40～49 歳」が 19.5%で最も高く、僅差で「60～69 歳」が 19.3%、「50～59 歳」が 16.7%、「70～79 歳」が 16.5%となっています。

男性では、「70～79 歳」が 23.5%で最も高く、次いで「60～69 歳」が 20.5%、「40～49 歳」が 18.1%となっています。



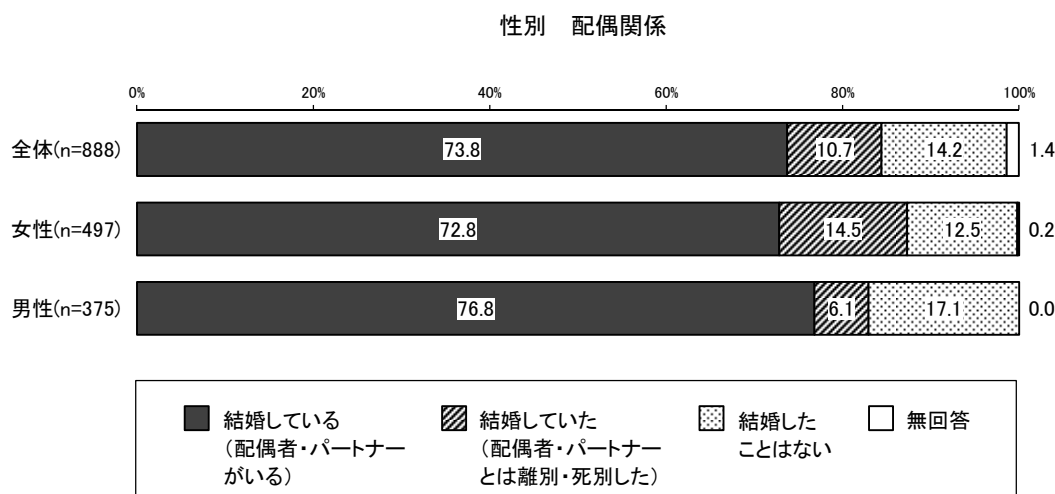
(3) 配偶関係

問 23 あなたは結婚（事実婚を含む）していますか。（1つに○）

「結婚している（配偶者・パートナーがいる）」が 73.8%となっており、「結婚したことはない」が 14.2%、「結婚していた（配偶者・パートナーとは離別・死別した）」が 10.7%となっています。

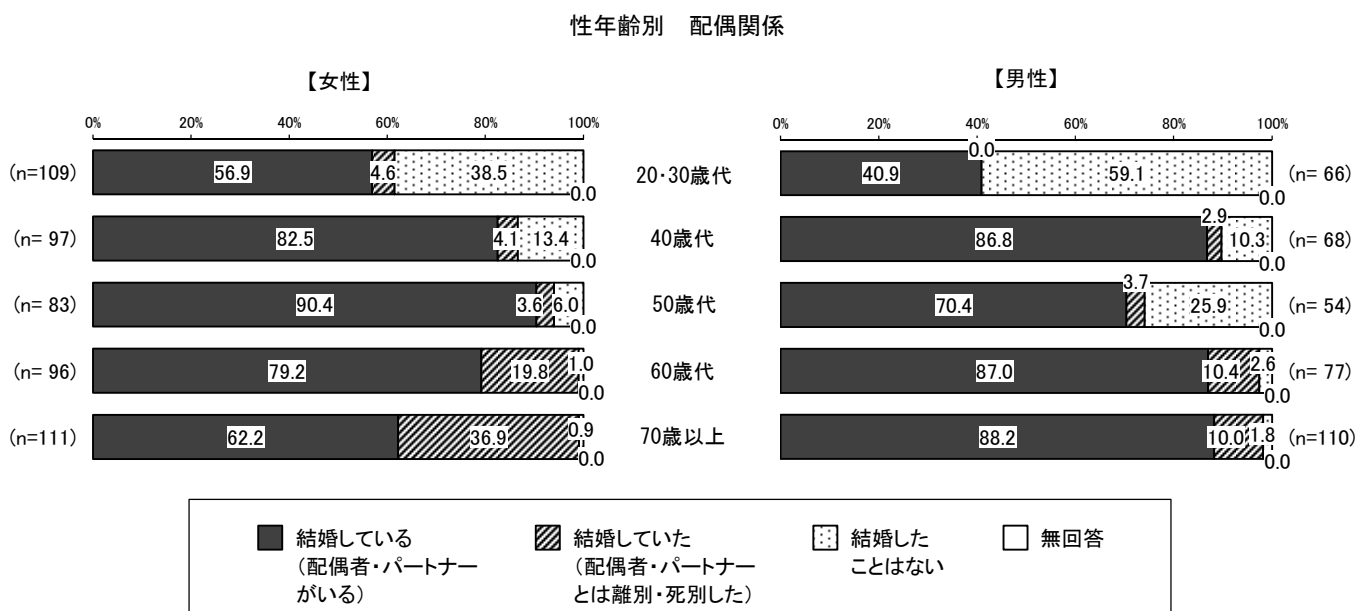
【性別】

男女とも「結婚している（配偶者・パートナーがいる）」が7割を超えています。女性では、「結婚していた（配偶者・パートナーとは離別・死別した）」が 14.5%、「結婚したことはない」が 12.5%、男性では、「結婚したことはない」が 17.1%、「結婚していた（配偶者・パートナーとは離別・死別した）」が 6.1%となっています。



【性年齢別】

男女とも、年齢が高くなるにつれて「結婚していた（配偶者・パートナーとは離別・死別した）」の割合が高くなる傾向で、女性の 70 歳以上で 36.9%となっています。男性の 20・30 歳代では、「結婚したことはない」が約 6 割を占めています。



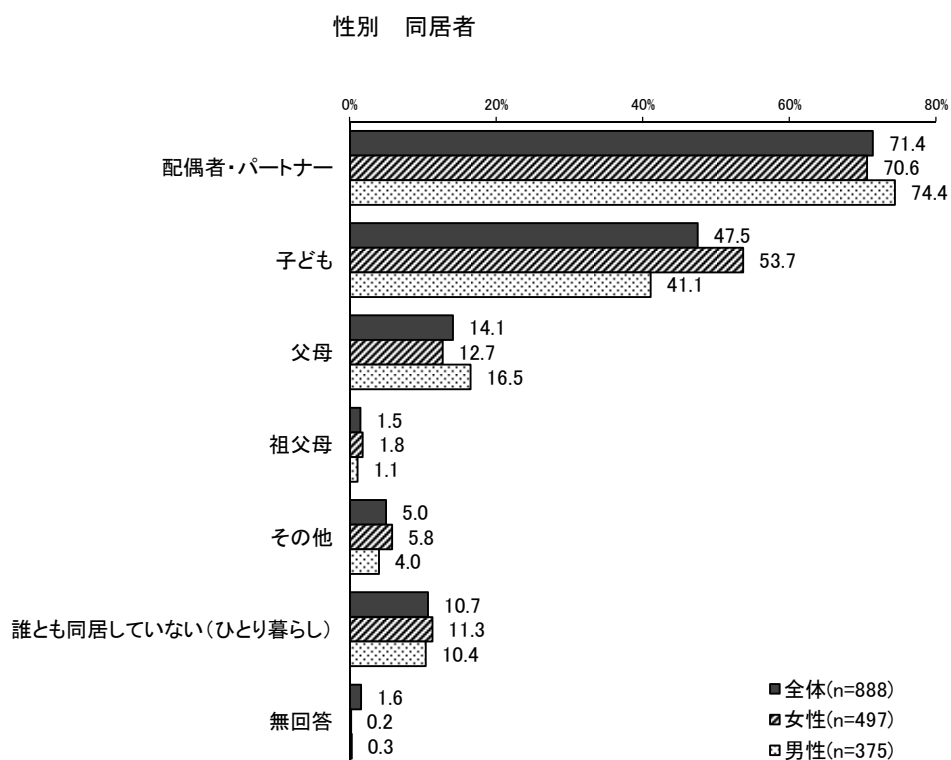
(4) 同居者

問 24 あなたは現在、どなたと同居されていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(ひとり暮らしの方は6に○をつけてください)

「配偶者・パートナー」が71.4%、「子ども」が47.5%、「父母」が14.1%、「誰とも同居していない（ひとり暮らし）」が10.7%となっています。

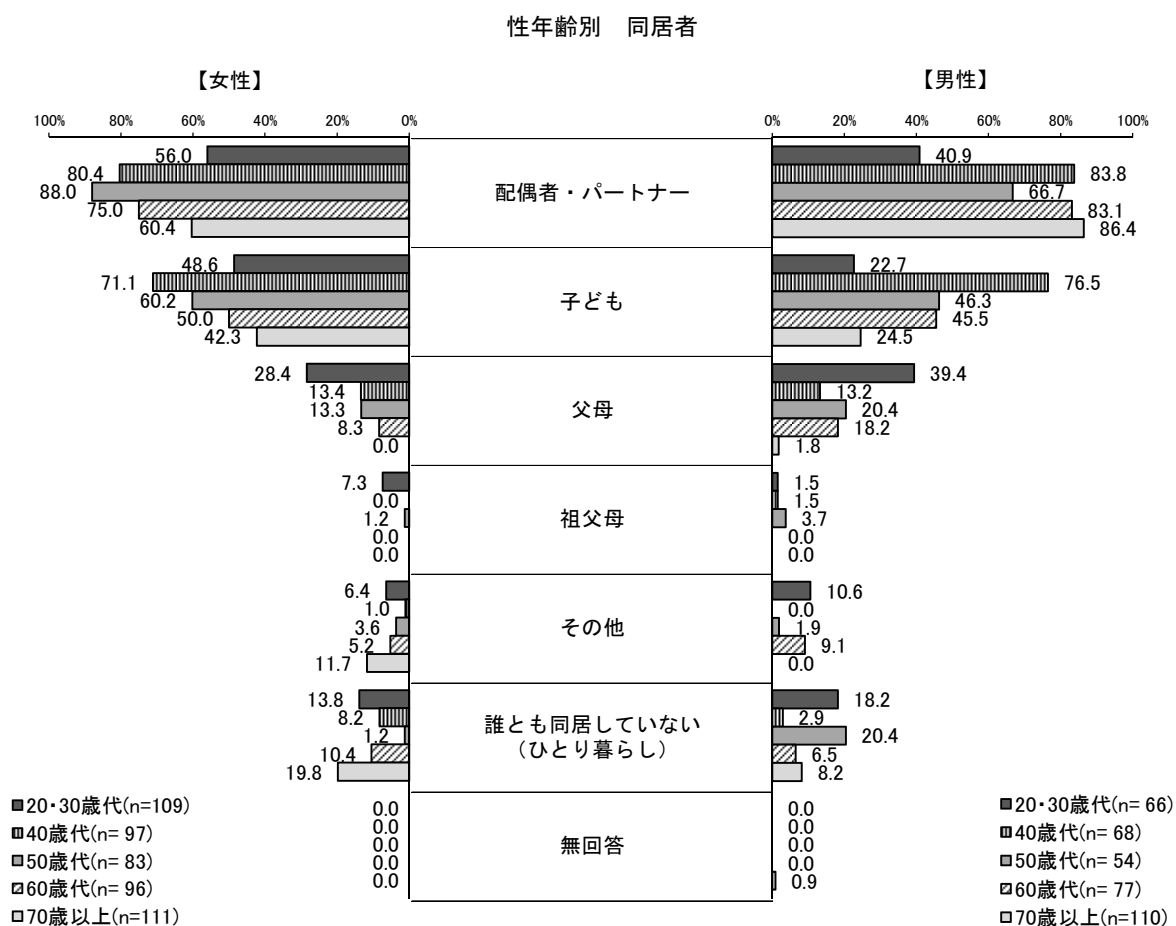
【性別】

男女とも「配偶者・パートナー」が7割を超えています。次いで、「子ども」が女性53.7%、男性41.1%、「父母」が女性12.7%、男性16.5%、「誰とも同居していない（ひとり暮らし）」が女性11.3%、男性10.4%となっています。



【性年齢別】

「配偶者・パートナー」は、女性では50歳代が88.0%、男性では70歳以上が86.4%と高くなっています。「子ども」は、男女とも40歳代で最も高く、女性71.1%、男性76.5%となっています。「誰とも同居していない（ひとり暮らし）」は、女性では70歳以上が19.8%、男性では50歳代が20.4%と高くなっています。



（５）同居している子どもの年齢

問 25 問 24 で同居している子どもがいると回答された人におたずねします。

あてはまる年齢・学齢をすべて選択してください。

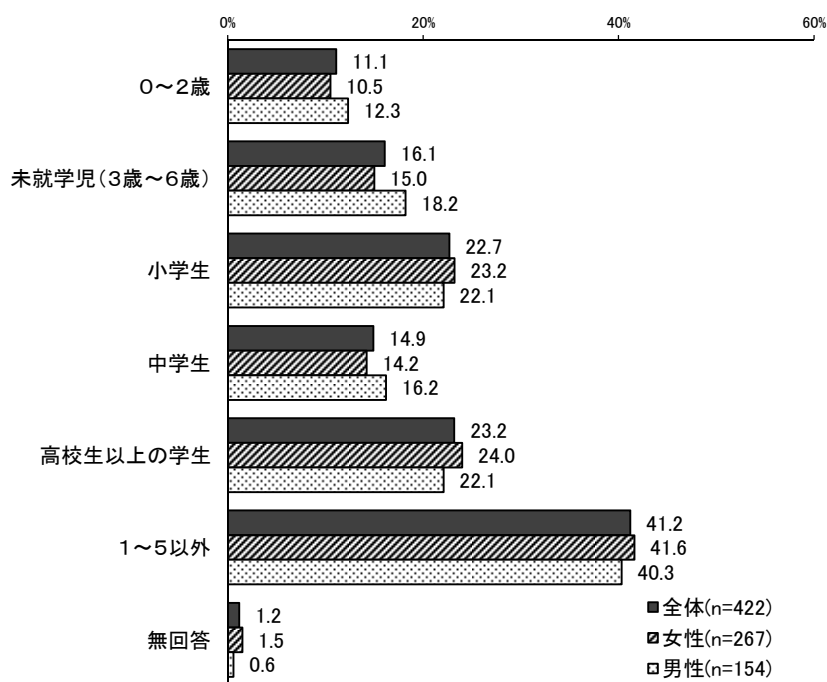
「1～5 以外※」が 41.2%で最も高く、次いで「高校生以上の学生」が 23.2%、「小学生」が 22.7%となっています。

※1～5 以外：「1. 0～2 歳、2. 未就学児（3 歳～6 歳）、3. 小学生、4. 中学生、5. 高校生以上の学生」以外を指す。

【性別】

男女とも、「1～5 以外」が最も高く約 4 割を占めています。「小学生」「高校生以上の学生」は女性のほうが男性よりやや高く、「0～2 歳」「未就学児（3 歳～6 歳）」「中学生」は男性のほうが女性よりやや高くなっています。

性別 同居している子どもの年齢



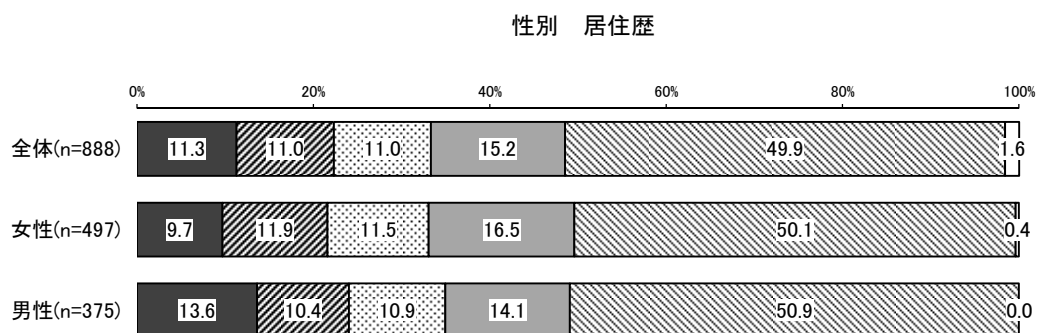
(6) 居住歴

問 26 あなたは草津市に住んで何年になりますか。(1つに○)

「20 年以上」が 49.9%で最も高く、次いで「10 年～20 年未満」が 15.2%、「生まれてからずっと」が 11.3%、「5 年未満」と「5 年～10 年未満」がともに 11.0%となっています。

【性別】

男女とも「20 年以上」が約 5 割となっています。次いで、女性では、「10 年～20 年未満」16.5%、「5 年未満」11.9%となっており、男性では、「10 年～20 年未満」が 14.1%、「生まれてからずっと」が 13.6%となっています。



生まれてからずっと
 5年未満
 5年～10年未満
 10年～20年未満
 20年以上
 無回答

2. 男女共同参画について

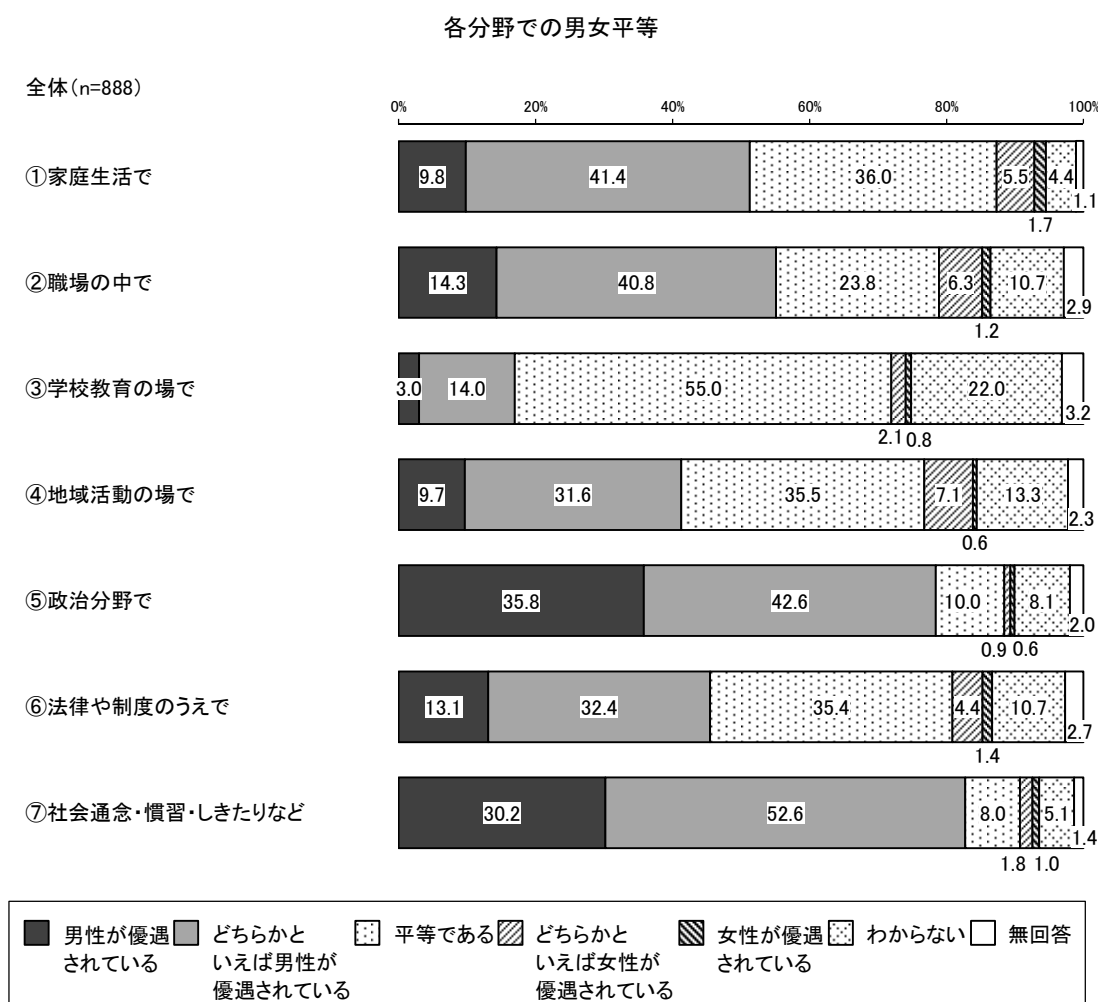
(1) 各分野での男女平等

問1 あなたは、次にあげるそれぞれの分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。(①～⑦のそれぞれ1つに○)

「③学校教育の場で」では、「平等である」が高く5割を超えています、「わからない」の回答割合が22.0%を占めています。

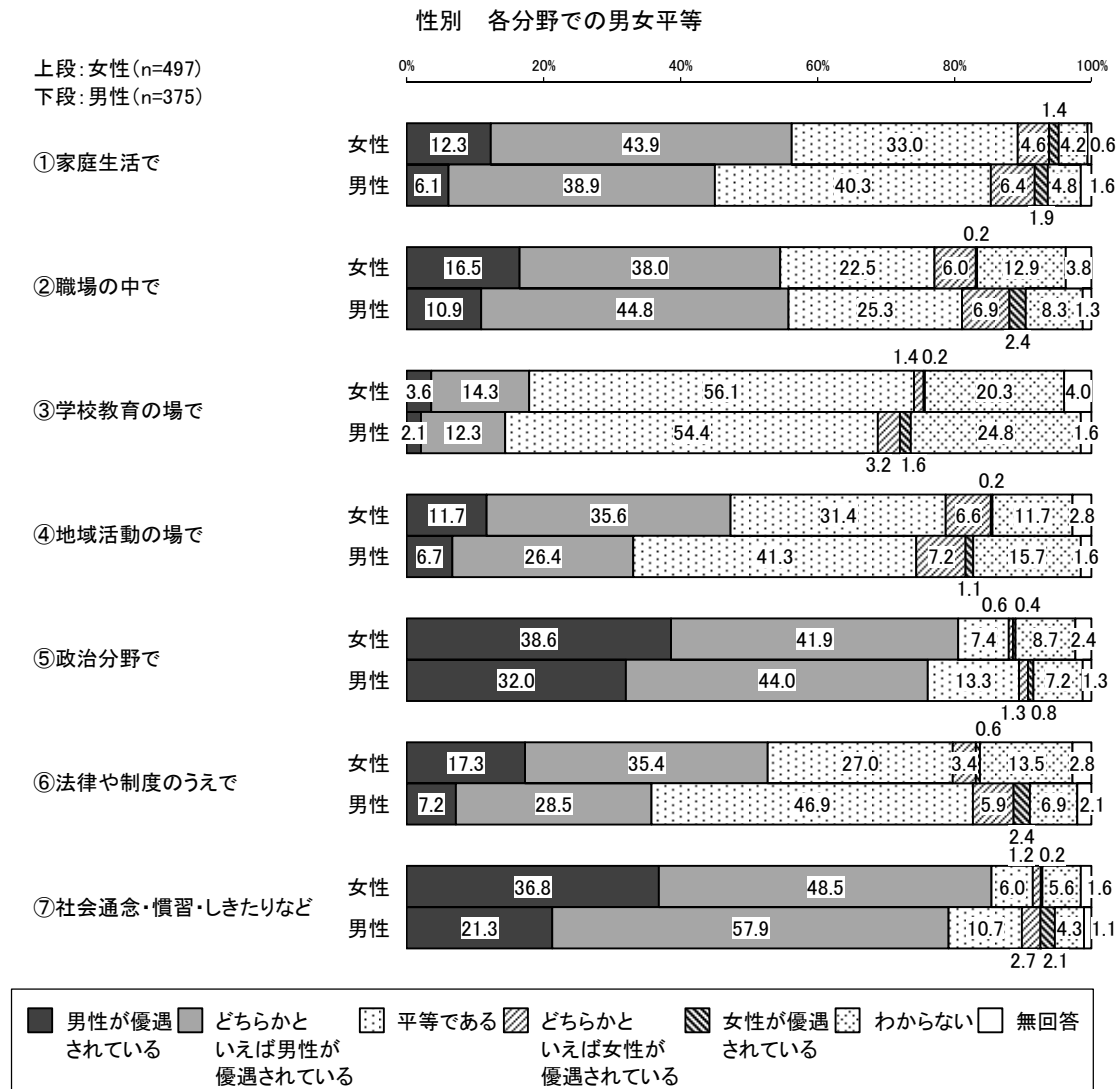
「⑥政治分野で」「⑦社会通念・慣習・しきたりなど」では、『男性優遇』（「男性が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」の合計）がそれぞれ78.4%、82.8%と他の分野と比べてかなり高くなっています。

『女性優遇』（「女性が優遇されている」と「どちらかといえば女性が優遇されている」の合計）はすべての分野で1割以下となっています。



【性別】

「③学校教育の場」を除くすべての分野で「平等である」は女性のほうが低くなっており、特に「⑥法律や制度のうえで」は男性より約 20 ポイント低くなっています。また、「②職場の中で」以外の分野では女性のほうが『男性優遇』が高くなっています。



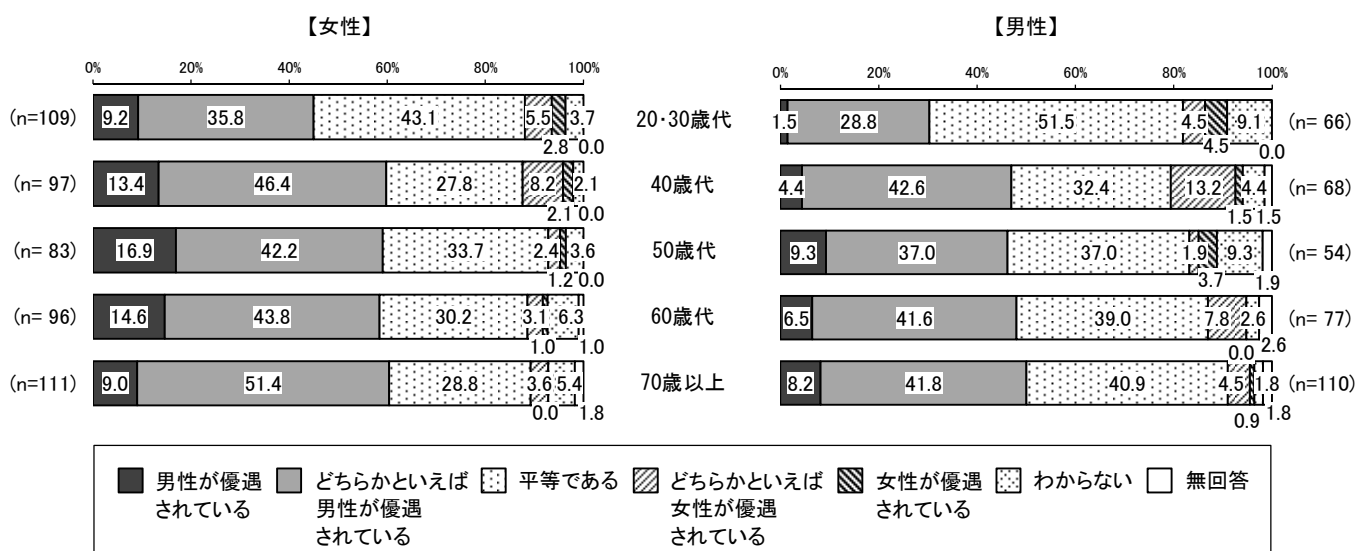
【性年齢別】

①家庭生活で

女性の40歳代以上では『男性優遇』が約6割を占めていますが、20・30歳代では『男性優遇』が45.0%、「平等である」が43.1%となっています。

男性の20・30歳代では「平等である」が51.5%と高く、男女すべての年齢の中で最も高くなっています。

性年齢別 各分野での男女平等 ー ①家庭生活で

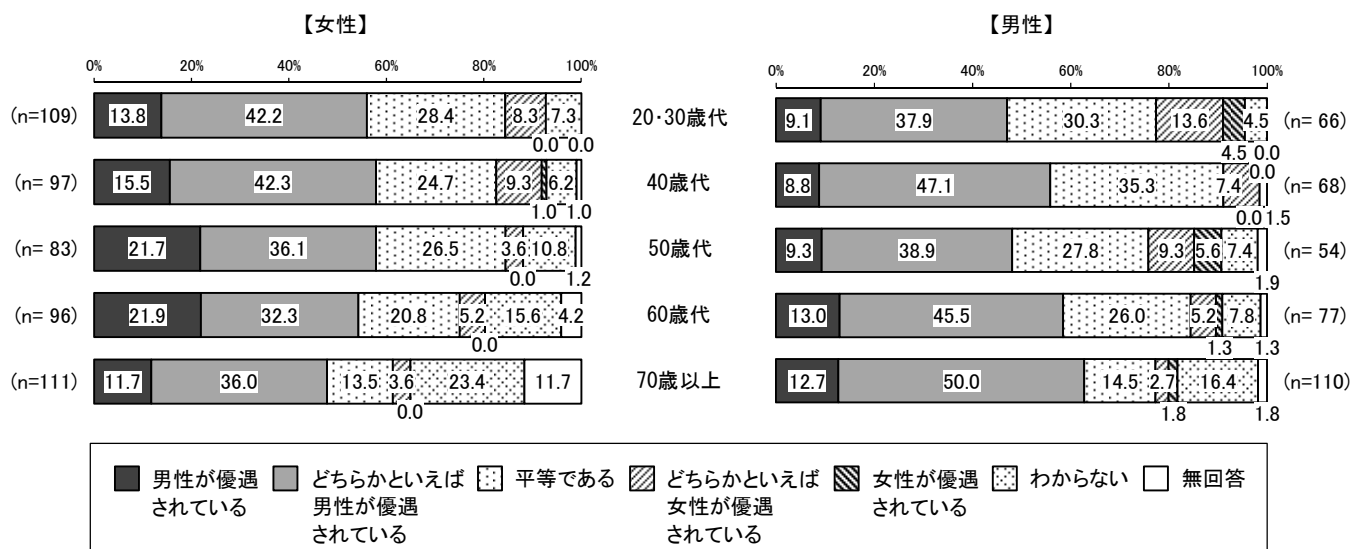


②職場の中で

男性では、70歳以上で『男性優遇』が62.7%と最も高く、次いで60歳代が58.5%となっています。20・30歳代では『女性優遇』が18.1%で、男女すべての年齢の中で最も高くなっています。

女性では、40歳代と50歳代で『男性優遇』が他の年齢と比べてやや高くなっており、70歳以上が最も低くなっています。

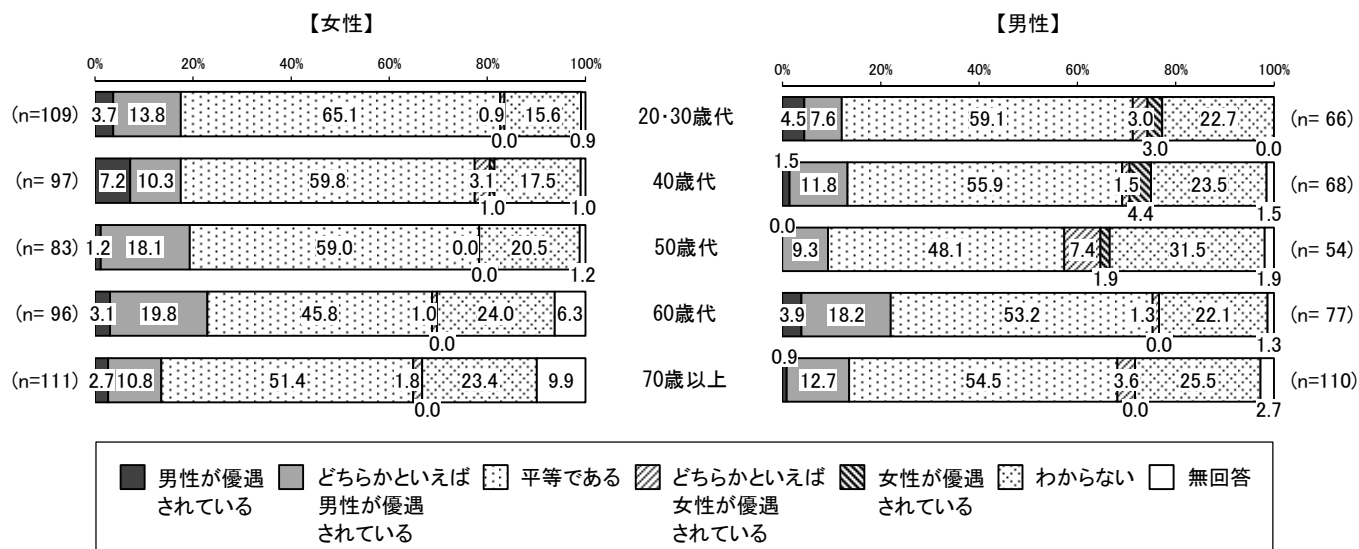
性年齢別 各分野での男女平等 ー ②職場の中で



③学校教育の場で

女性の 20・30 歳代では「平等になっている」が 65.1%と男女すべての年齢の中で最も高くなっています。男女とも 60 歳代では『男性優遇』が 2 割強で他の年齢より高くなっています。

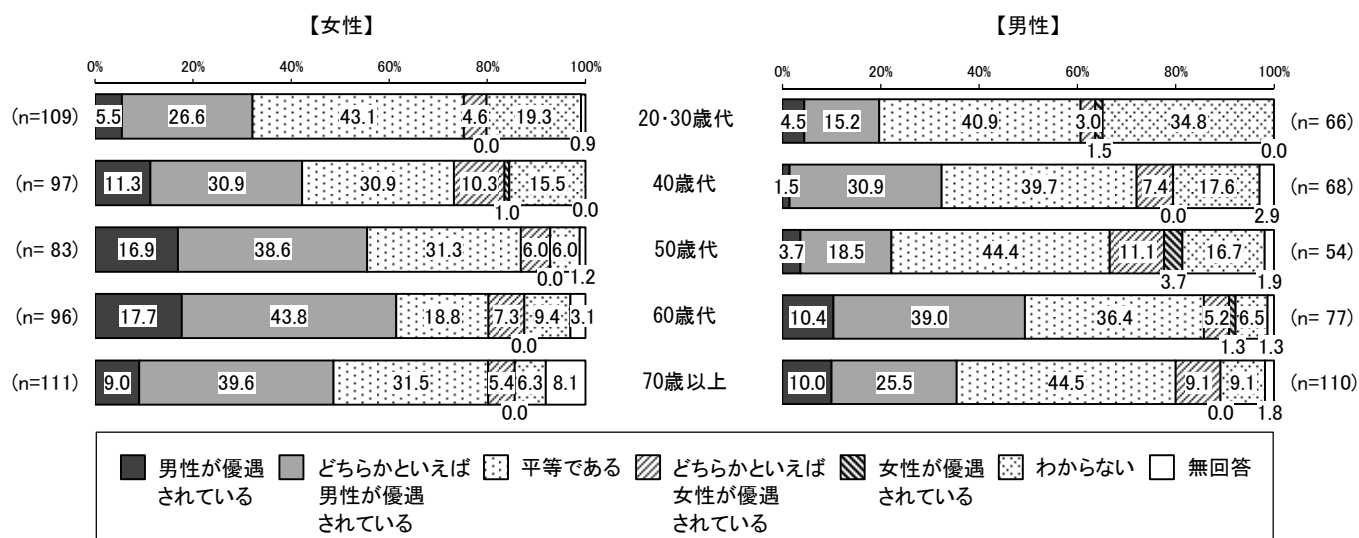
性年齢別 各分野での男女平等 — ③学校教育の場で



④地域活動の場で

男女とも 60 歳代では『男性優遇』が高く、女性 61.5%、男性 49.4%と高くなっています。女性の 20・30 歳代、男性の 50 歳代以下と 70 歳以上では「平等になっている」が最も高くなっています。

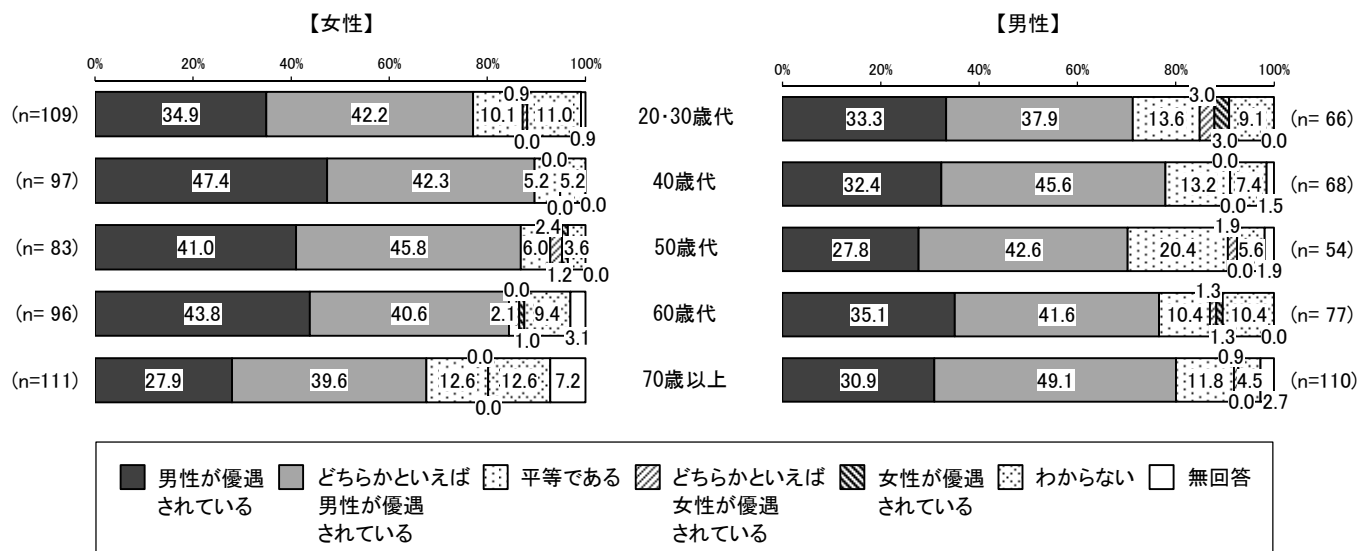
性年齢別 各分野での男女平等 — ④地域活動の場で



⑤政治分野で

男女ともすべての年齢で『男性優遇』が高くなっており、女性の40歳代では89.7%と最も高くなっています。

性年齢別 各分野での男女平等 — ⑤政治分野で

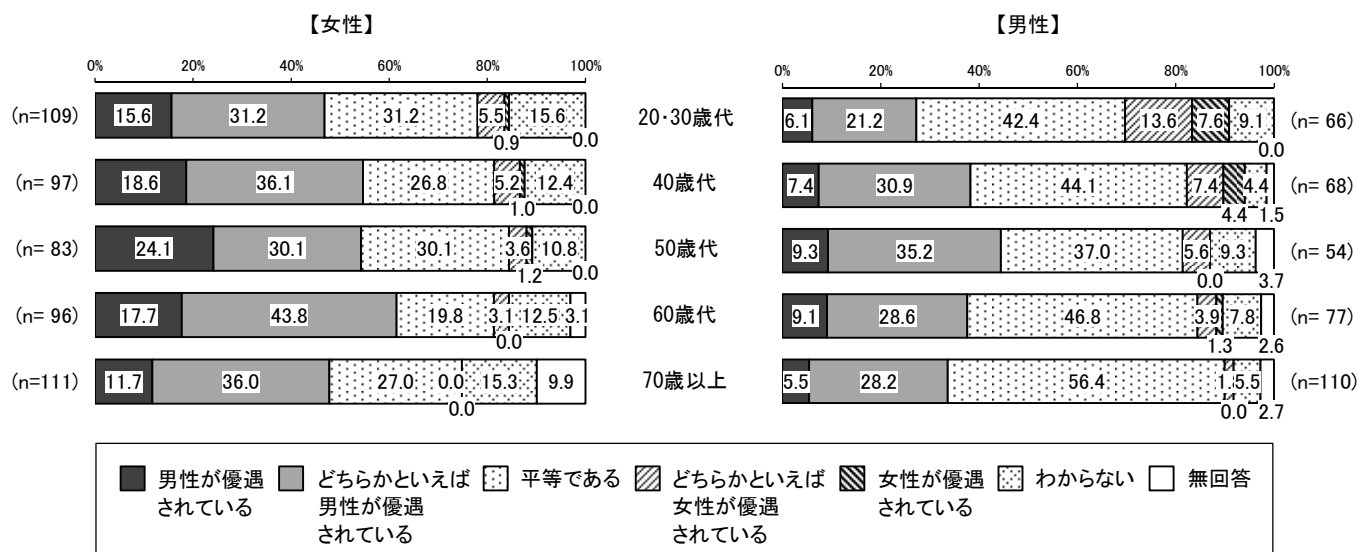


⑥法律や制度のうえで

女性では、60歳代で『男性優遇』が61.5%で他の年齢に比べて高くなっており、すべての年齢で「どちらかといえば男性が優遇されている」が最も高くなっています。

男性では、すべての年齢で「平等になっている」が最も高くなっており、70歳以上は56.4%で特に高くなっています。

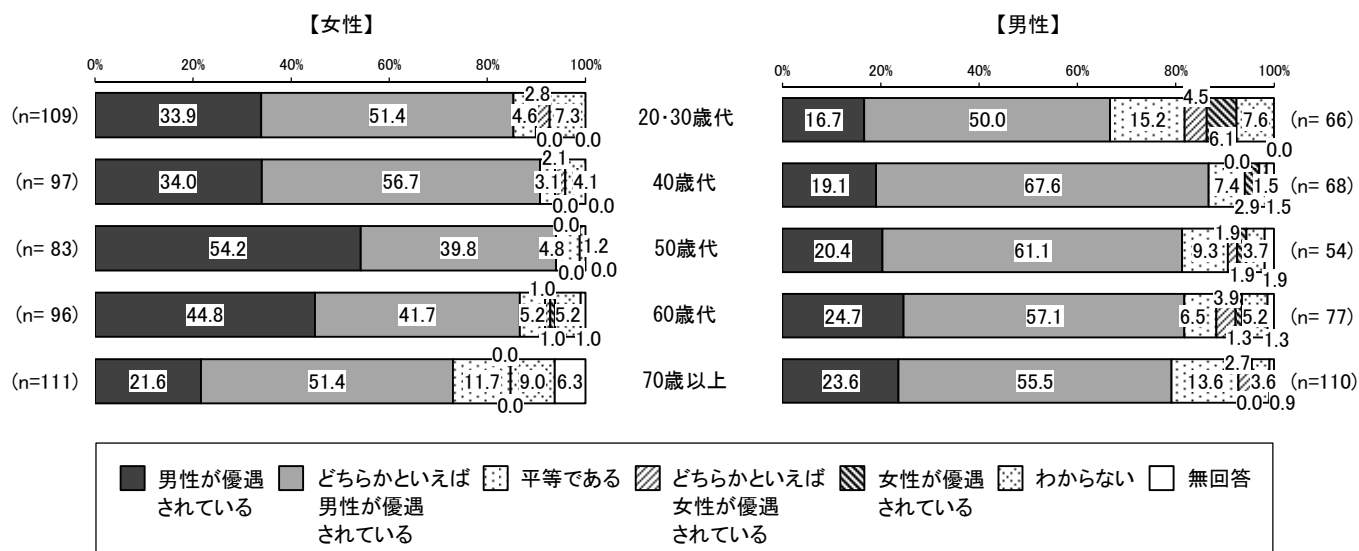
性年齢別 各分野での男女平等 — ⑥法律や制度のうえで



⑦社会通念・慣習・しきたりなど

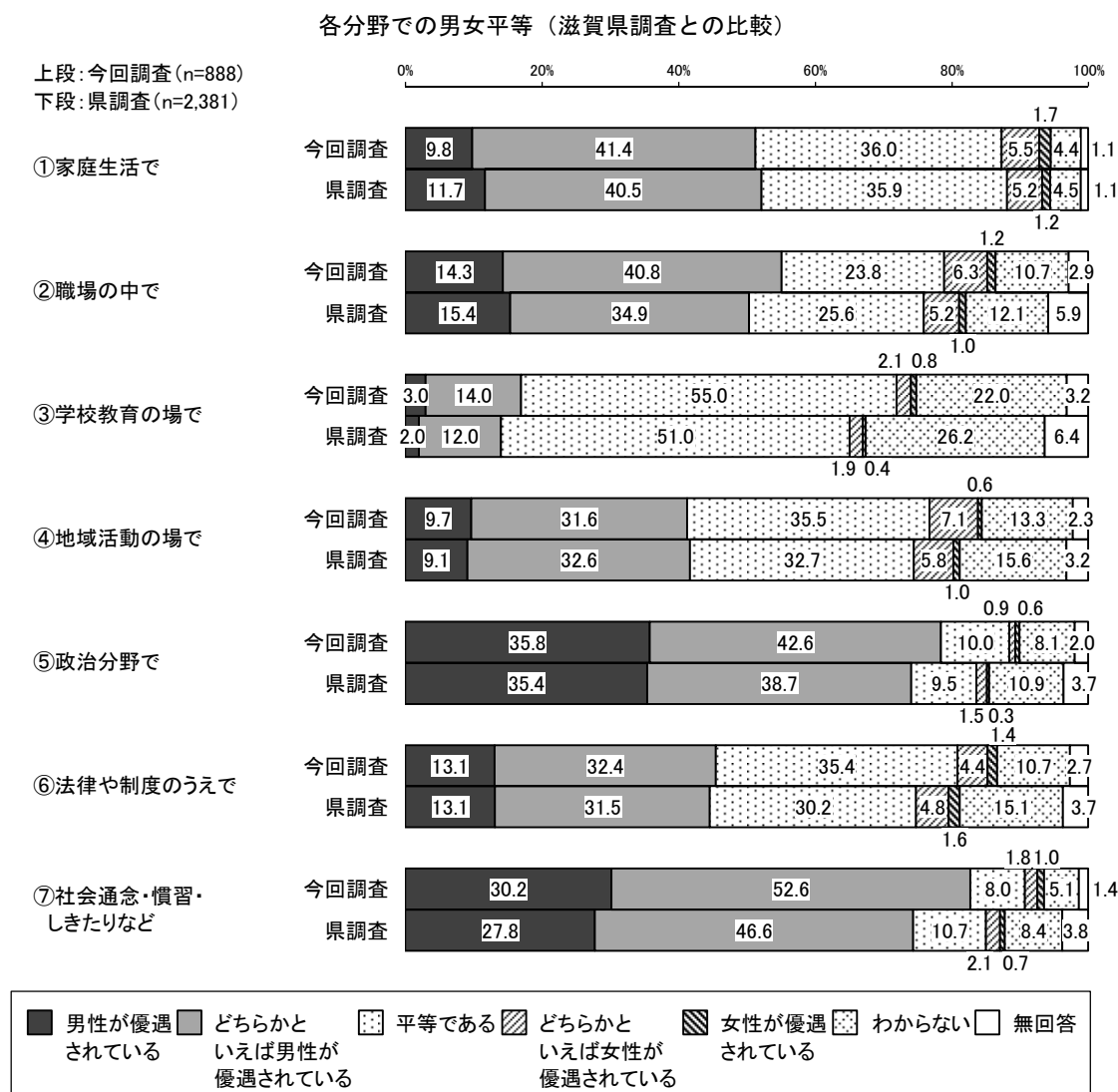
女性の50歳代では「男性が優遇されている」が54.2%と高くなっており、『男性優遇』が94.0%となっています。男性の20・30歳代では『男性優遇』は66.7%と男女すべての年齢の中で最も低くなっており、『女性優遇』が10.6%とやや高くなっていきます。

性年齢別 各分野での男女平等 ― ⑦社会通念・慣習・しきたりなど



<滋賀県調査との比較>

滋賀県調査の結果と比較すると、「⑦社会通念・慣習・しきたりなど」で、本市の今回調査のほうが『男性優遇』が8.4ポイント高くなっているほかは、ほとんど違いはみられません。



※ 県調査の数字は、今回調査との比較のため無回答を含む構成比で再算出しています。

※ 滋賀県調査：「男女共同参画社会づくりに向けた県民意識調査」（令和元年12月）

(2) 性別役割分担意識

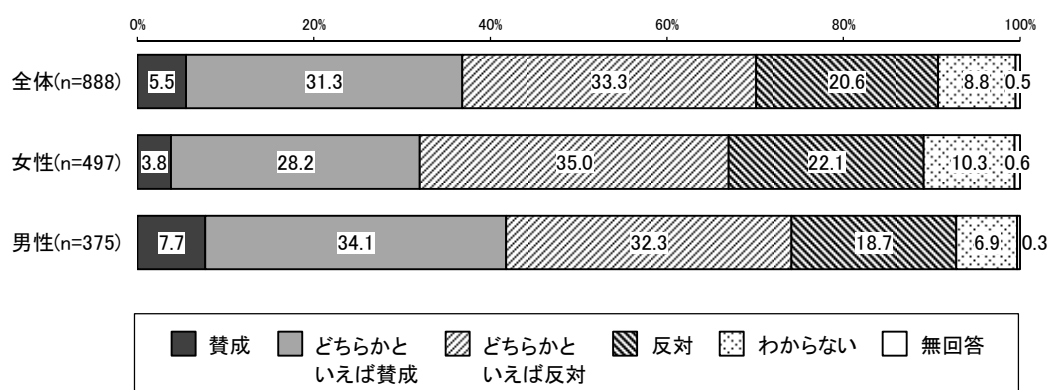
問2-1 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方がありますが、あなたはごどう思いますか。(1つに○)

「どちらかといえば反対」が33.3%で最も高く、僅差で「どちらかといえば賛成」が31.3%、「反対」が20.6%となっています。『肯定的』(「賛成」と「どちらかといえば賛成」の合計)が36.8%、『否定的』(「反対」と「どちらかといえば反対」の合計)が53.9%となっています。

【性別】

女性では『否定的』が57.1%、『肯定的』が32.0%、男性では『否定的』が51.0%、『肯定的』が41.8%となっています。男女とも『否定的』が5割を超えていますが、『肯定的』は男性のほうが女性より約10ポイント高くなっています。

性別 性別役割分担意識

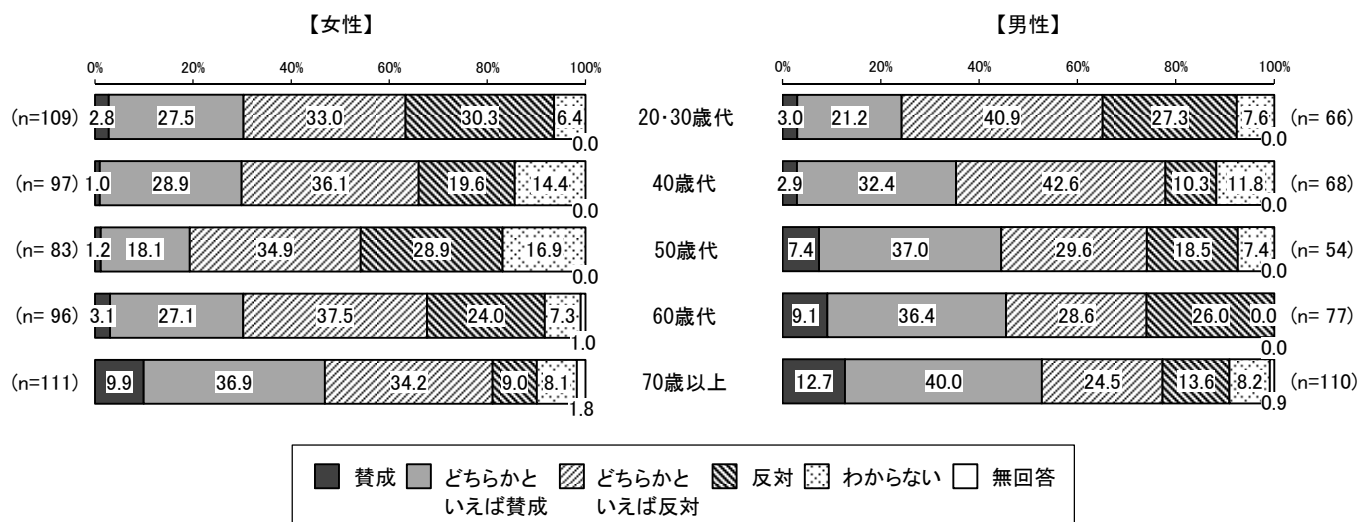


【性年齢別】

女性では、『肯定的』が50歳代で19.3%と低く、70歳以上が46.8%と高くなっています。

男性では、20・30歳代で『否定的』が68.2%と高くなっており、男女すべての年齢の中で最も高くなっています。男性は年齢が高くなるにつれて『肯定的』が高くなる傾向となっており、70歳以上では52.7%と男女すべての年齢の中で最も高くなっています。

性年齢別 性別役割分担意識

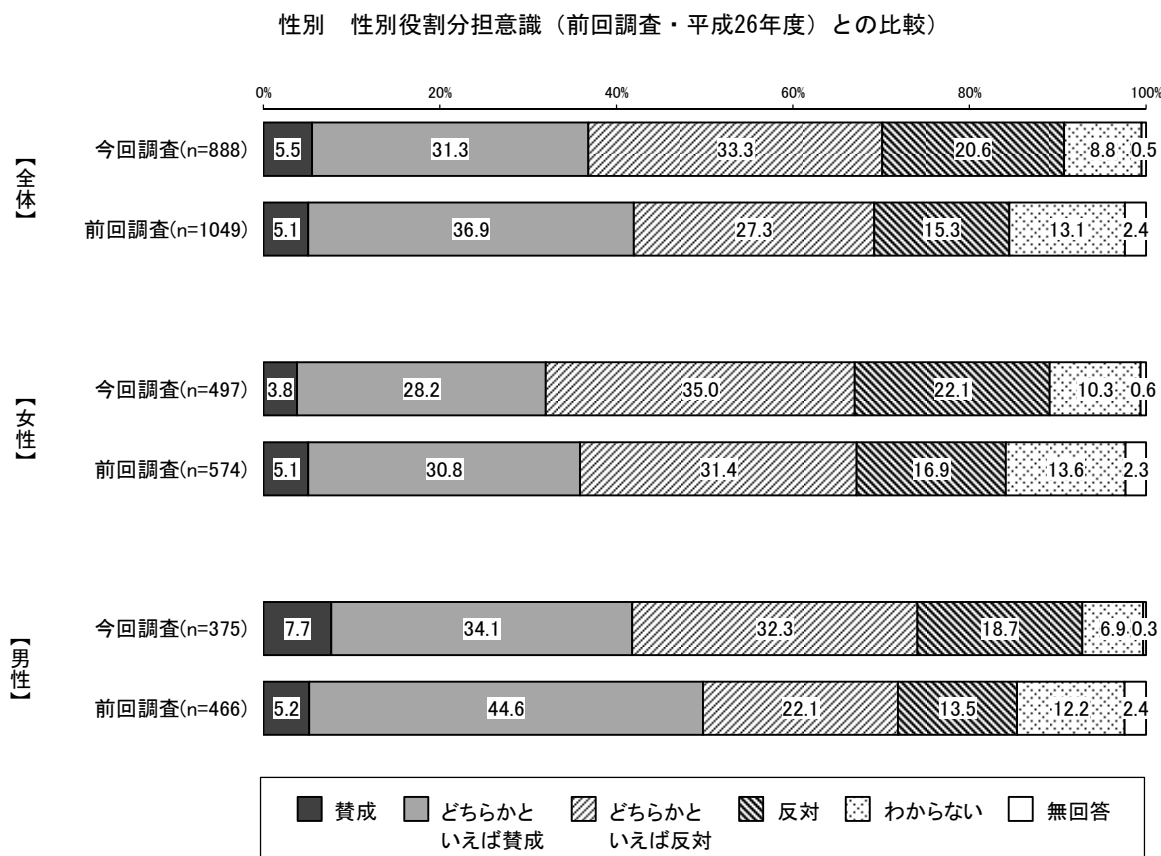


<前回調査との比較>

「前回調査・平成26年度」より『否定的』（前回調査 42.6%、今回調査 53.9%）が 11.3 ポイント増加しています。

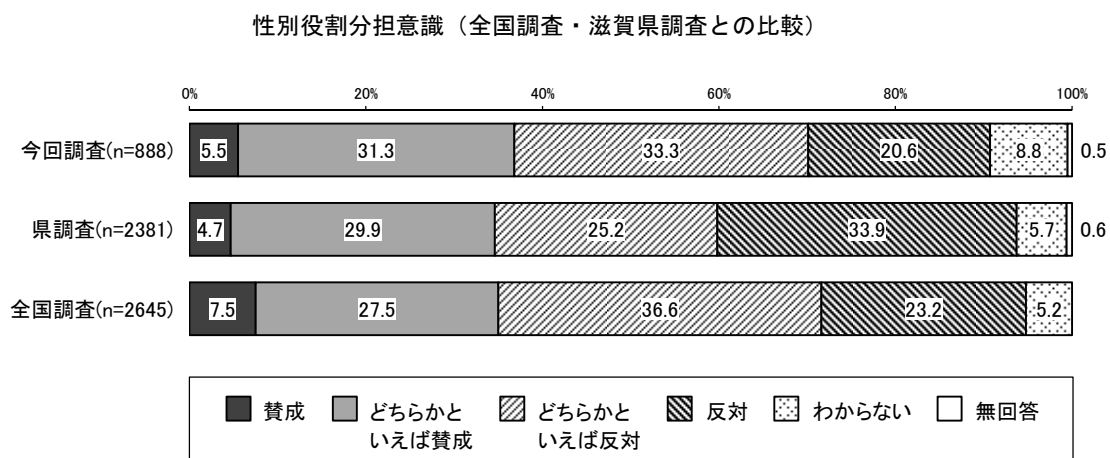
【性別】

女性では、『否定的』（前回調査 48.3%、今回調査 57.1%）が 8.8 ポイント増加しています。
男性では、『否定的』（前回調査 35.6%、今回調査 51.0%）が 15.4 ポイント増加しています。
男女とも「前回調査」より『否定的』の割合が高くなっており、5 割を超えています。



<全国調査・滋賀県調査との比較>

『肯定的』の割合は、全国調査、滋賀県調査とほぼ同じですが、『否定的』の割合は、両調査に比べて約5ポイント低くなっています。



- ※ 県調査の数字は、今回調査との比較のため無回答を含む構成比で再算出しています。
- ※ 全国調査：「男女共同参画社会に関する世論調査」（令和元年9月）
- ※ 滋賀県調査：「男女共同参画社会づくりに向けた県民意識調査」（令和元年12月）
- ※ 滋賀県調査における選択肢は、「同感する」「どちらかといえば同感する方である」「どちらかといえば同感しない方である」「同感しない」「わからない」

(3) 性別役割分担に賛成する理由

問2-2 問2-1で「1」または「2」と回答された方へおたずねします。

「賛成」「どちらかといえば賛成」とお考えの理由は次のどれにあたりますか。

あなたの考え方に最も近いものの番号を選んでください。(1つに○)

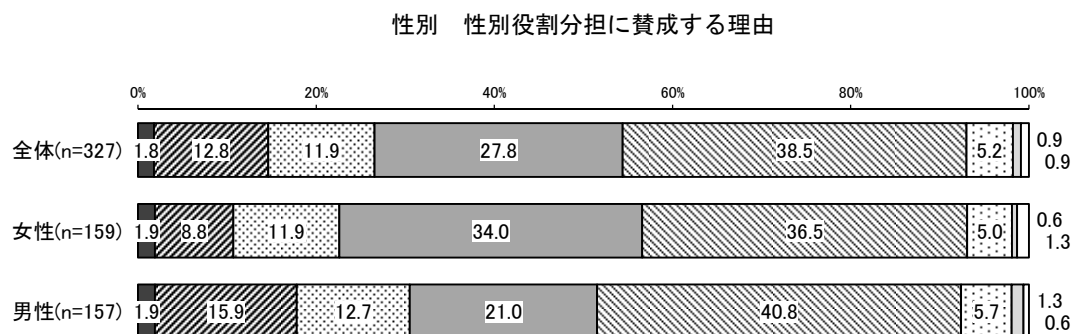
「母親が家庭にいたほうが、子どもの成長にとってよいと思うから」が38.5%で最も高く、次いで「能力的にみて、男性は仕事に向いており、女性は家事・育児・介護に向いていると思うから」が27.8%、「配偶者・パートナーや家族が望んでいるから」が12.8%、「仕事と家庭を両立するより、性別で役割を分担したほうが効率がよいと思うから」が11.9%となっています。

【性別】

女性では、「母親が家庭にいたほうが、子どもの成長にとってよいと思うから」が36.5%、「能力的にみて、男性は仕事に向いており、女性は家事・育児・介護に向いていると思うから」が34.0%とほぼ同率で高くなっています。

男性では、「母親が家庭にいたほうが、子どもの成長にとってよいと思うから」が40.8%と最も高くなっています。

「能力的にみて、男性は仕事に向いており、女性は家事・育児・介護に向いていると思うから」は女性が13ポイント高く、「配偶者・パートナーや家族が望んでいるから」は男性が7.1ポイント高くなっています。

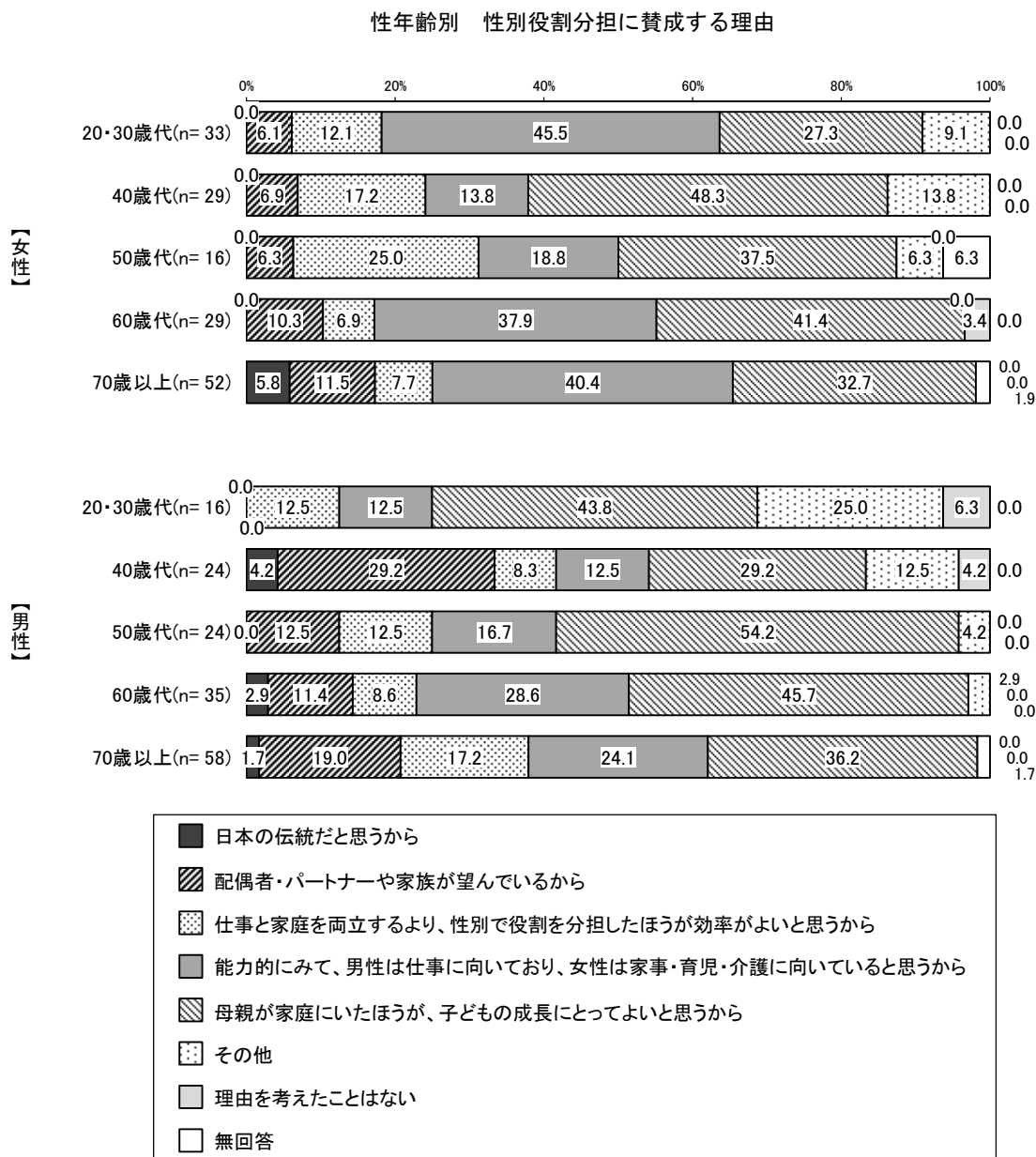


- 日本の伝統だと思うから
- ▨ 配偶者・パートナーや家族が望んでいるから
- ▤ 仕事と家庭を両立するより、性別で役割を分担したほうが効率がよいと思うから
- 能力的にみて、男性は仕事に向いており、女性は家事・育児・介護に向いていると思うから
- ▨ 母親が家庭にいたほうが、子どもの成長にとってよいと思うから
- ▤ その他
- 理由を考えたことはない
- 無回答

【性年齢別】

女性では、20・30歳代で「能力的にみて、男性は仕事に向いており、女性は家事・育児・介護に向いていると思うから」が45.5%と高くなっています。

男性では、50歳代で「母親が家庭にいたほうが、子どもの成長にとってよいと思うから」が54.2%、40歳代で「配偶者・パートナーや家族が望んでいるから」が29.2%と高くなっています。



(4) 性別役割分担に反対する理由

問2-3 問2-1で「3」または「4」と回答された方へおたずねします。

「どちらかといえば反対」「反対」とお考えの理由は次のどれにあたりますか。

あなたの考え方に最も近いものの番号を選んでください。(1つに○)

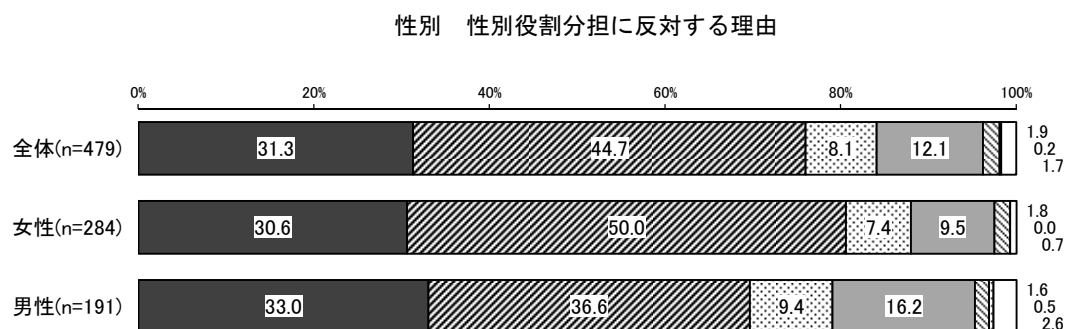
「男女共に仕事と家事・育児・介護などの両方に関わるほうが、各個人、家庭にとってよいと思うから」が44.7%で最も高く、次いで「性別によって一律に役割を決めることはおかしいと思うから」が31.3%、「家庭以外の場面でも、女性の能力をいかせると思うから」が12.1%、「女性も仕事をするほうが、生活が安定すると思うから」が8.1%となっています。

【性別】

女性では、「男女共に仕事と家事・育児・介護などの両方に関わるほうが、各個人、家庭にとってよいと思うから」が50.0%と最も高くなっています。

男性では、「男女共に仕事と家事・育児・介護などの両方に関わるほうが、各個人、家庭にとってよいと思うから」が36.6%、「性別によって一律に役割を決めることはおかしいと思うから」が33.0%とほぼ同率で高くなっています。

「男女共に仕事と家事・育児・介護などの両方に関わるほうが、各個人、家庭にとってよいと思うから」は女性が13.4ポイント高くなっています。

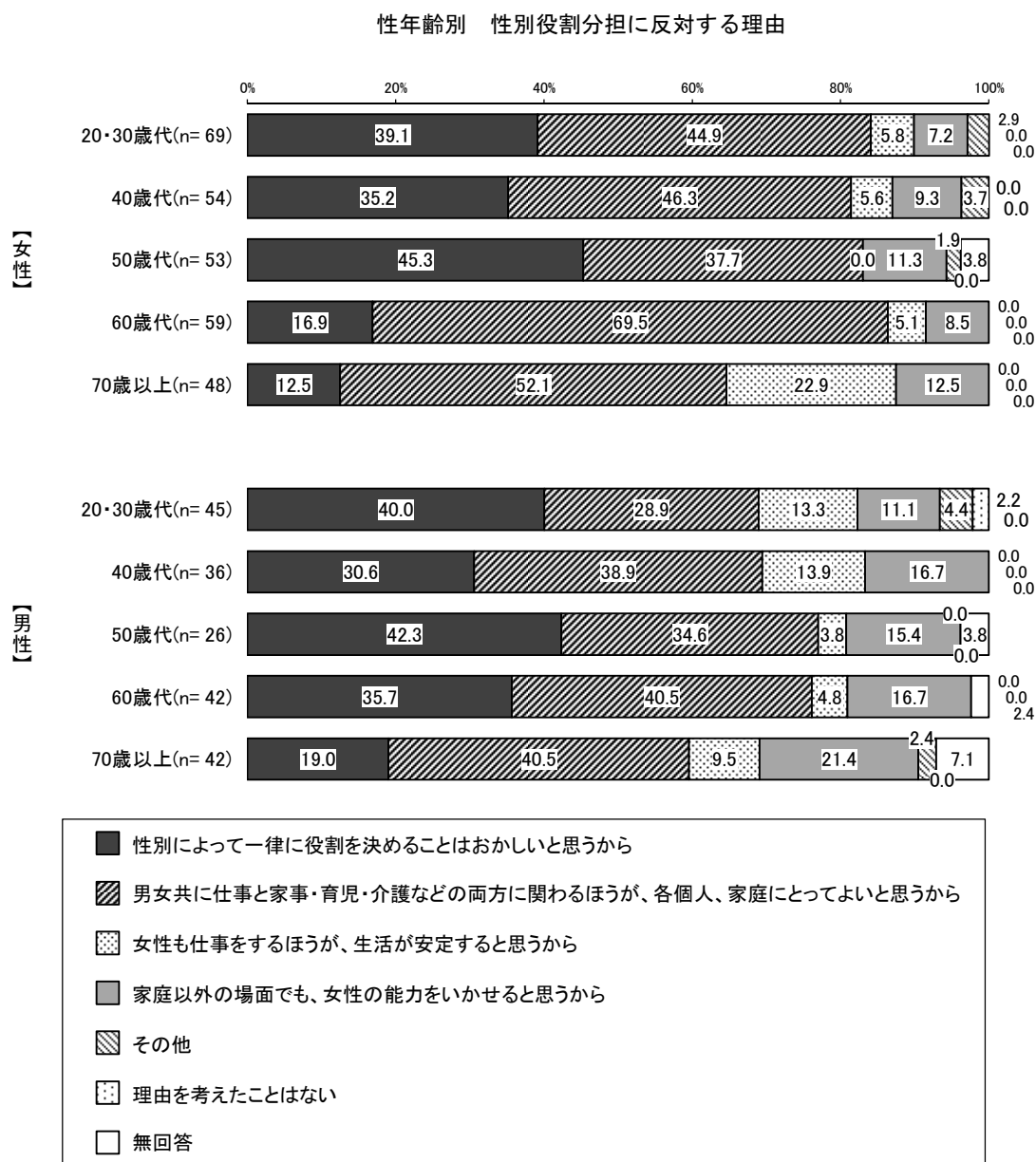


- 性別によって一律に役割を決めることはおかしいと思うから
- ▨ 男女共に仕事と家事・育児・介護などの両方に関わるほうが、各個人、家庭にとってよいと思うから
- ▤ 女性も仕事をするほうが、生活が安定すると思うから
- 家庭以外の場面でも、女性の能力をいかせると思うから
- ▨ その他
- ▤ 理由を考えたことはない
- 無回答

【性年齢別】

女性では、60歳代で「男女共に仕事と家事・育児・介護などの両方に関わるほうが、各個人、家庭にとってよいと思うから」が69.5%、70歳以上で「女性も仕事をするほうが、生活が安定すると思うから」が22.9%と、他の年齢より高くなっています。50歳代では「性別によって一律に役割を決めることはおかしいと思うから」が45.3%と最も高くなっています。

男性では、20・30歳代と50歳代で「性別によって一律に役割を決めることはおかしいと思うから」がそれぞれ40.0%、42.3%と最も高くなっています。



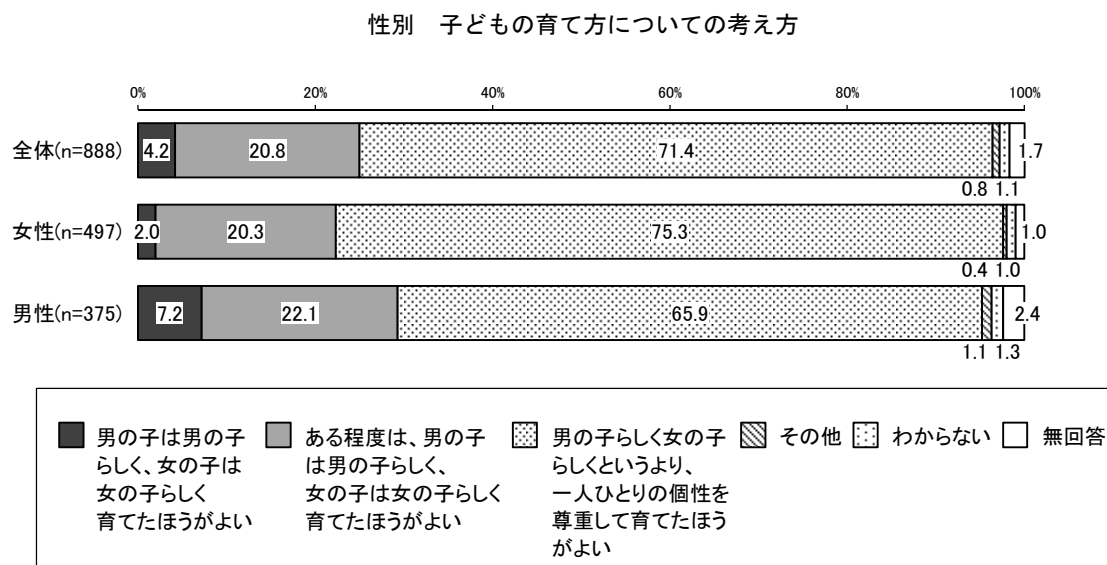
(5) 子どもの育て方についての考え方

問3 あなたは、子どもをどのように育てたらよいとお考えですか。お子さんがおられない方も、ご自身のお考えで結構です。(1つに○)

「男の子らしく女の子らしくというより、一人ひとりの個性を尊重して育てたほうがよい」が71.4%で最も高く、約7割を占めています。「ある程度は、男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てたほうがよい」は20.8%、「男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てたほうがよい」は4.2%となっています。

【性別】

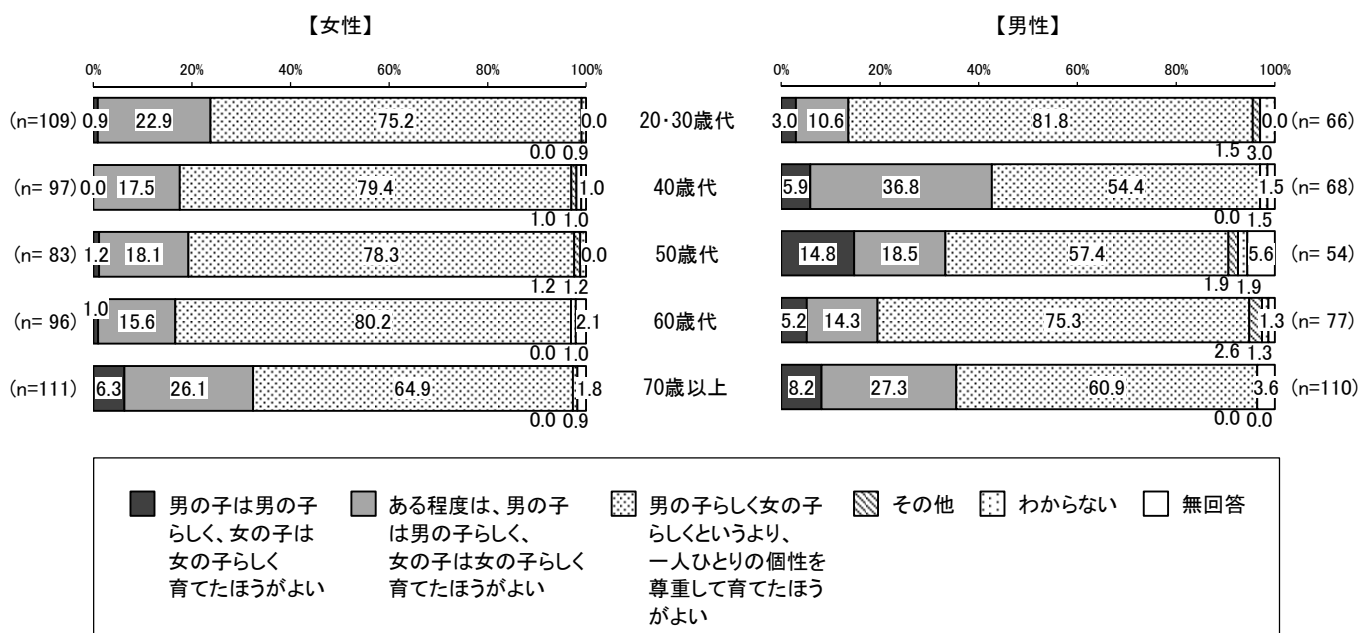
女性では、「男の子らしく女の子らしくというより、一人ひとりの個性を尊重して育てたほうがよい」が75.3%で、男性より約10ポイント高くなっています。



【性年齢別】

男性の 20・30 歳代、女性の 60 歳代では「男の子らしく女の子らしくというより、一人ひとりの個性を尊重して育てたほうがよい」が 8 割台と高くなっています。男性の 40 歳代と 50 歳代では男の子らしく女の子らしくというより、一人ひとりの個性を尊重して育てたほうがよい」は 5 割台にとどまっており、50 歳代では「男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てたほうがよい」が 14.8%と高くなっています。

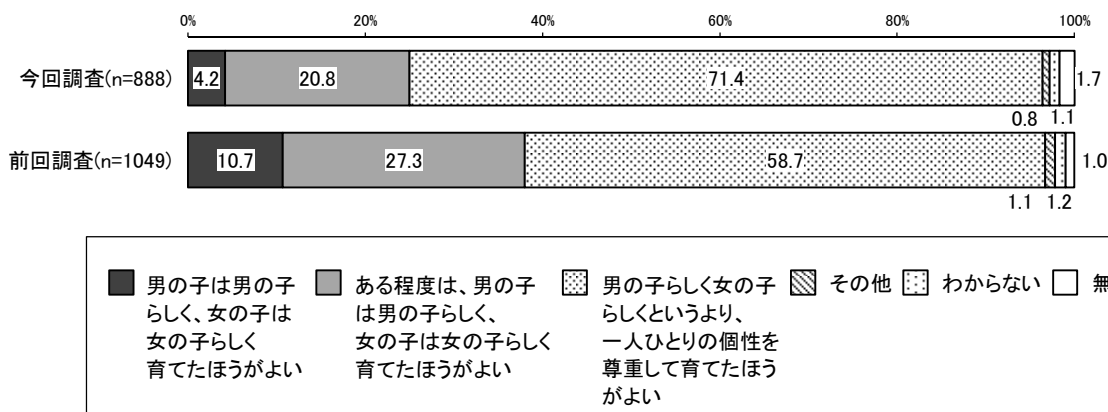
性年齢別 子どもの育て方についての考え方



<前回調査との比較>

「前回調査・平成 26 年度」より「男の子らしく女の子らしくというより、一人ひとりの個性を尊重して育てたほうがよい」（前回調査 58.7%、今回調査 71.4%）が 12.7 ポイント増加しています。

子どもの育て方についての考え方（前回調査・平成 26 年度）との比較



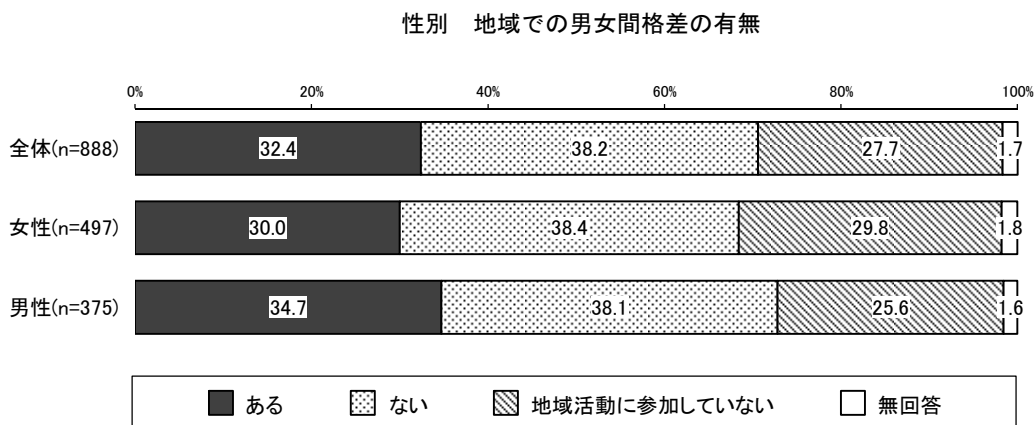
（６）地域での男女間格差の有無

問４－１ あなたの住んでいる地域（まちづくり協議会・自治会・町内会）の行事・役割などで、男女間の格差を感じることがありますか。（１つに○）

「ない」が 38.2%、「ある」が 32.4%、「地域活動に参加していない」が 27.7%となっています。

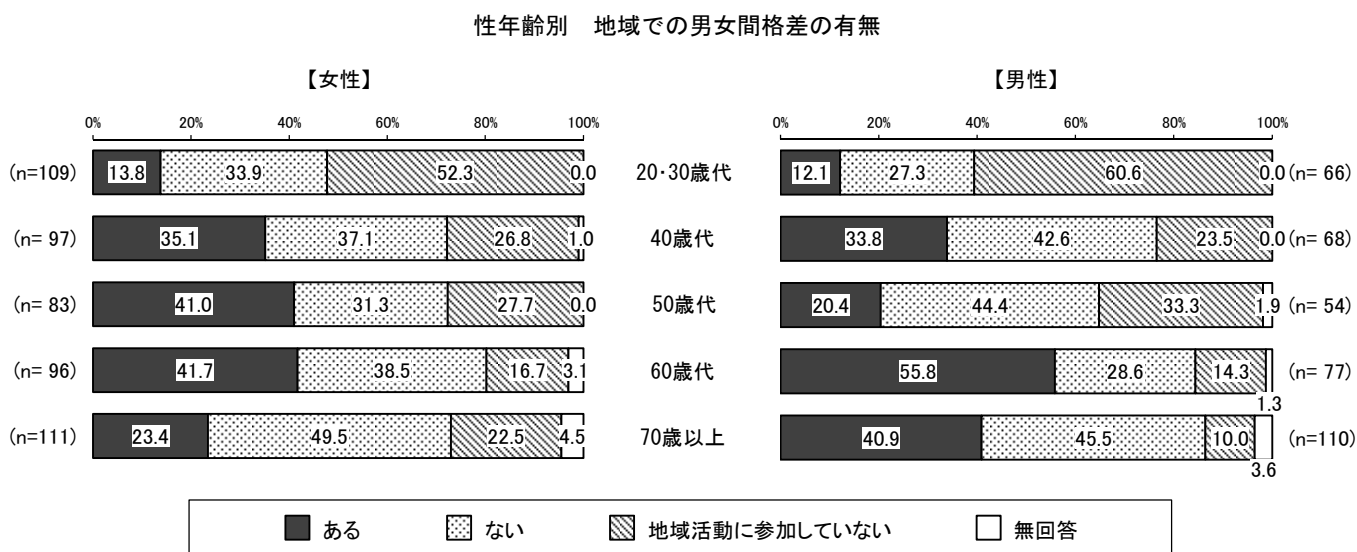
【性別】

「ある」は、男性が 34.7%で、女性より 4.7 ポイント高くなっています。



【性年齢別】

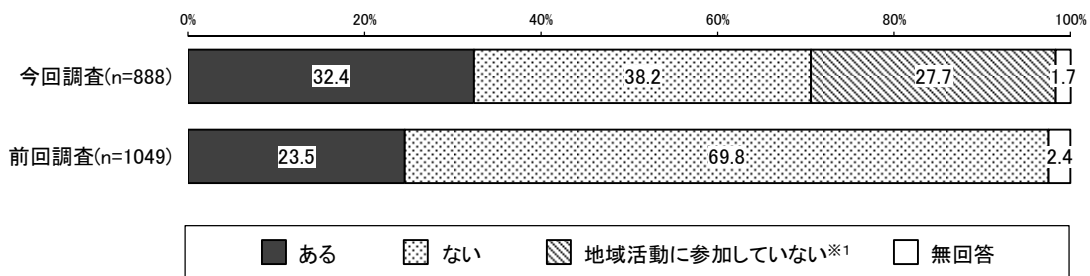
女性では、50 歳代と 60 歳代で「ある」が 4 割台と高くなっており、「ない」を上回っています。男性では、60 歳代で「ある」が 55.8%と他の年齢より大幅に高く、「ない」を上回っています。男女とも 20・30 歳代では「地域活動に参加していない」が 5 割を超えて高くなっています。



＜前回調査との比較＞

「前回調査・平成 26 年度」より「ある」（前回調査 23.5%、今回調査 32.4%）が 8.9 ポイント増加しています。

地域での男女間格差の有無（前回調査・平成26年度）との比較



※1 今回調査のみの項目

(7) 地域での男女間格差の内容

問4-2 問4-1で「1」と回答された方へおたずねします。

あなたの住んでいる地域（まちづくり協議会・自治会・町内会）の行事・役割などで、どのようなことに男女間の格差を感じますか。（〇はいくつでも）

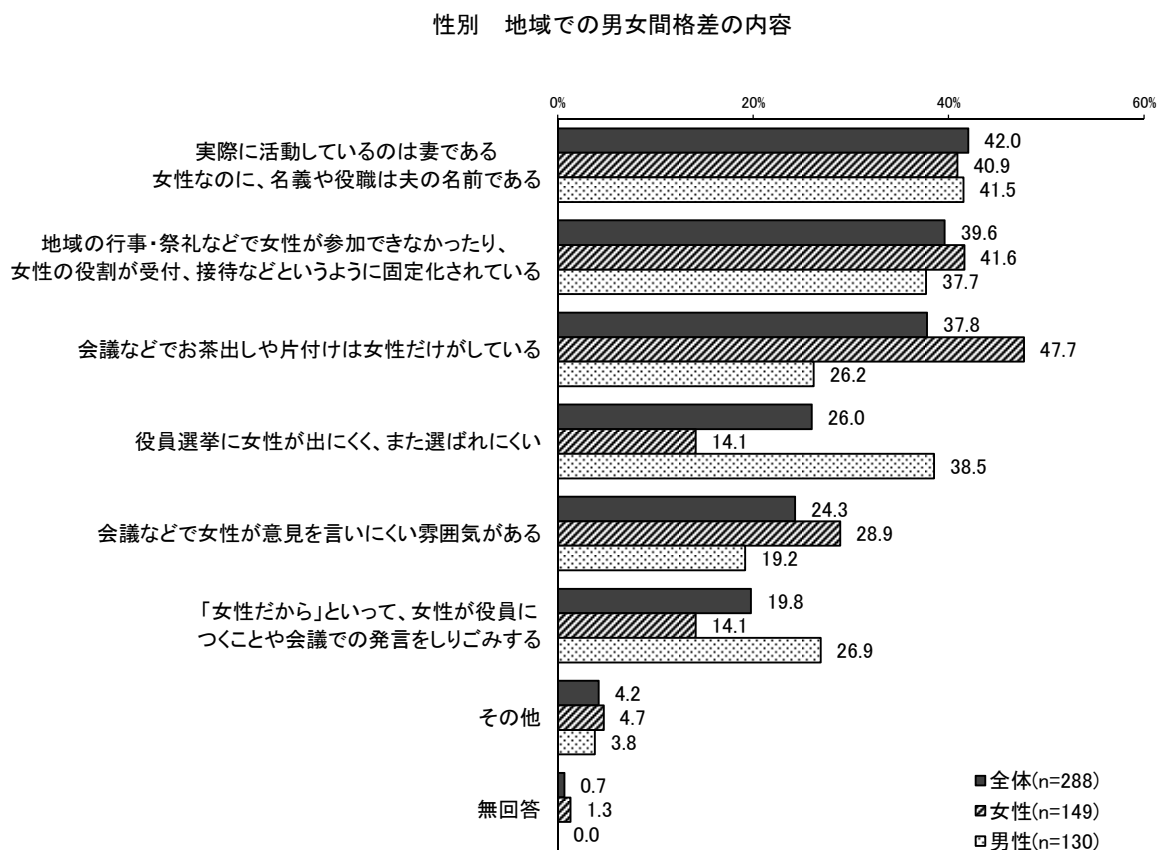
「実際に活動しているのは妻である女性なのに、名義や役職は夫の名前である」が42.0%で最も高く、次いで「地域の行事・祭礼などで女性が参加できなかったり、女性の役割が受付、接待などというように固定化されている」が39.6%、「会議などでお茶出しや片付けは女性だけがしている」が37.8%となっています。

【性別】

女性では、「会議などでお茶出しや片付けは女性だけがしている」が47.7%と最も高く、次いで、「地域の行事・祭礼などで女性が参加できなかったり、女性の役割が受付、接待などというように固定化されている」が41.6%、「実際に活動しているのは妻である女性なのに、名義や役職は夫の名前である」が40.9%と4割台となっています。

男性では、「実際に活動しているのは妻である女性なのに、名義や役職は夫の名前である」が41.5%と最も高く、次いで「役員選挙に女性が出にくく、また選ばれにくい」が38.5%となっています。

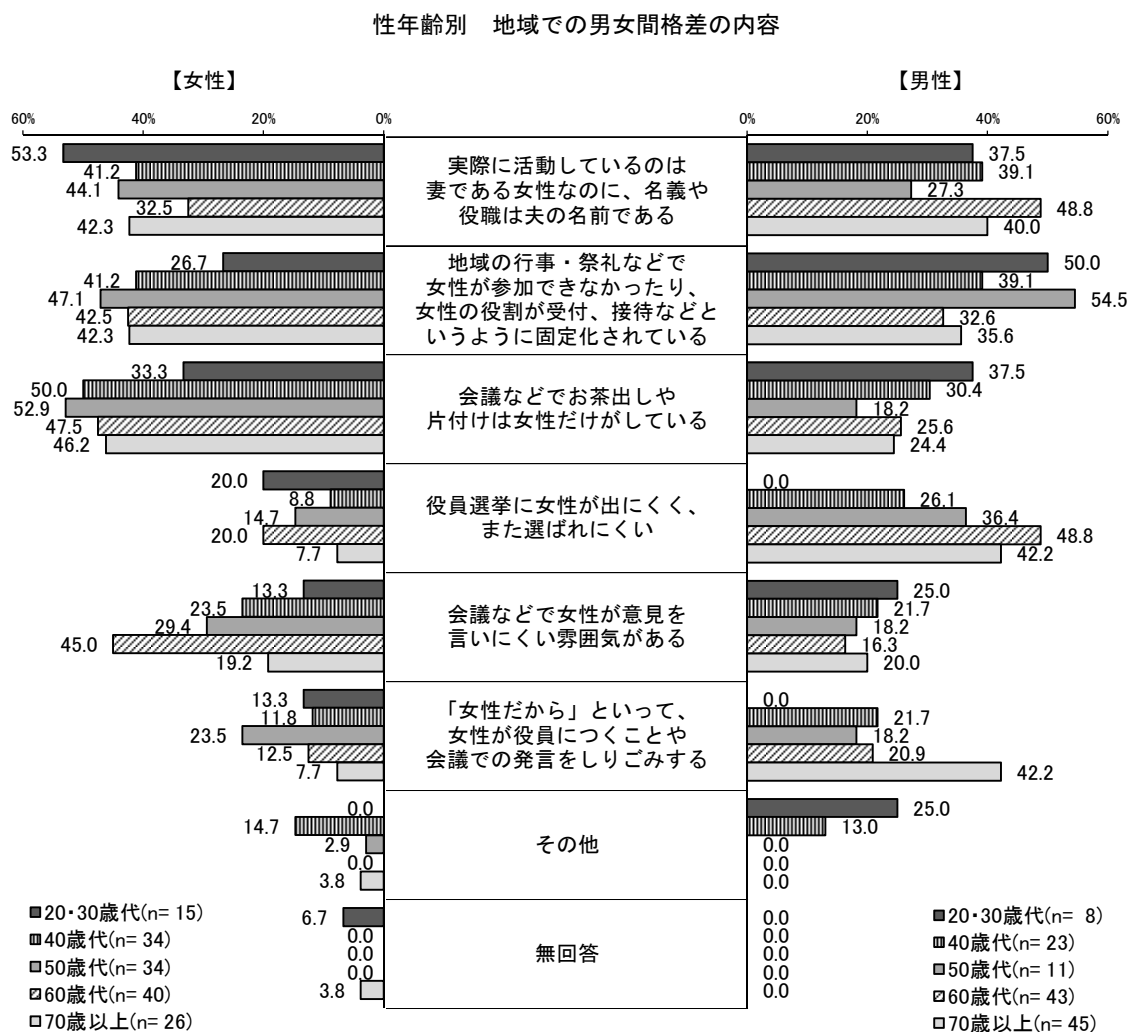
「会議などでお茶出しや片付けは女性だけがしている」は女性が21.5ポイント高く、「役員選挙に女性が出にくく、また選ばれにくい」は男性が24.4ポイント高くなっています。



【性年齢別】

女性では、20・30歳代で「実際に活動しているのは妻である女性なのに、名義や役職は夫の名前である」が53.3%と高く、60歳代で「会議などで女性が意見を言いにくい雰囲気がある」が45.0%と高くなっています。

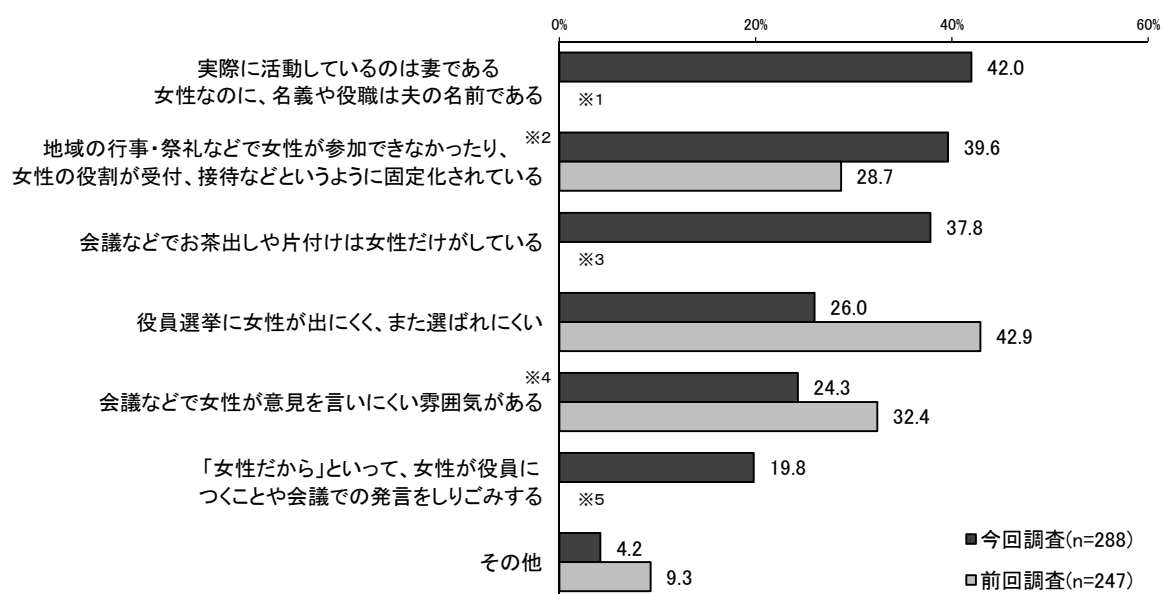
男性では、20・30歳代と50歳代で「地域の行事・祭礼などで女性が参加できなかったり、女性の役割が受付、接待などというように固定化されている」がそれぞれ50.0%、54.5%と高く、70歳以上で『女性だから』といって、女性が役員につくことや会議での発言をしりごみする」が42.2%と高くなっています。



<前回調査との比較>

「前回調査・平成 26 年度」より、「地域の行事・祭礼などで女性が参加できなかったり、女性の役割が受付、接待などというように固定化されている」（前回調査 28.7%、今回調査 39.6%）は 10.9 ポイント増加、「役員選挙に女性が出にくく、また選ばれにくい」（前回調査 42.9%、今回調査 26.0%）は 16.9 ポイント減少しています。

地域での男女間格差の内容（前回調査・平成26年度との比較）



※ 1、3、5 今回調査のみの項目

※ 2 前回調査では「地域の行事・祭礼などで女性が参加できなかったり、男性と差がある」

※ 4 前回調査では「会議などで女性が意見を言いにくかったり、男性と差がある」

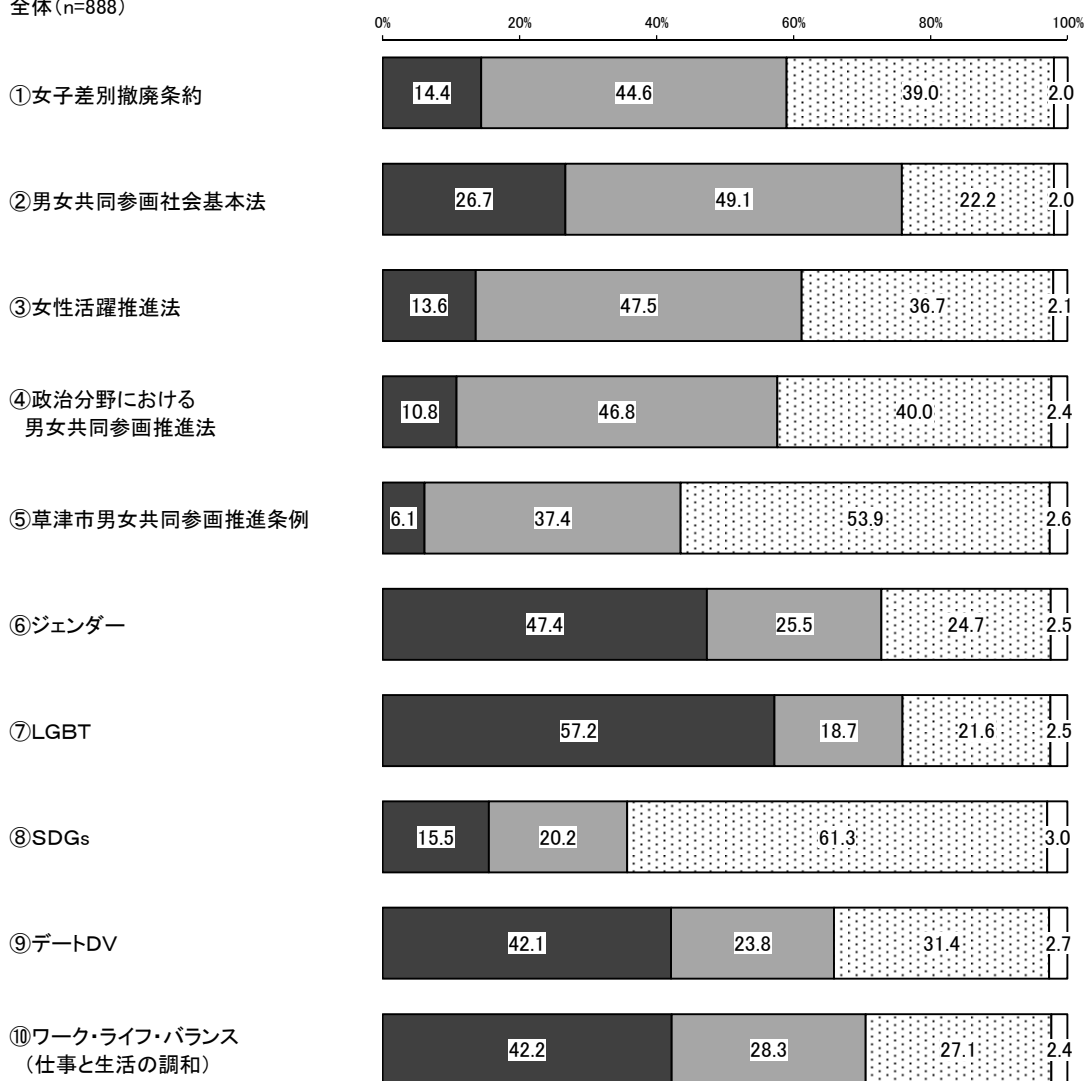
(8) 男女共同参画に関する用語の認知

問5 次の言葉について、知っていますか。(①～⑩のそれぞれ1つに○)

「⑦LGBT」「⑥ジェンダー」「⑩ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」「⑨デートDV」では、「だいたい内容を知っている」が高く、4～5割台となっています。「⑧SDGs」「⑤草津市男女共同参画推進条例」では「まったく知らない」がそれぞれ61.3%、53.9%と高くなっています。

男女共同参画に関する用語の認知

全体(n=888)



だいたい内容を知っている

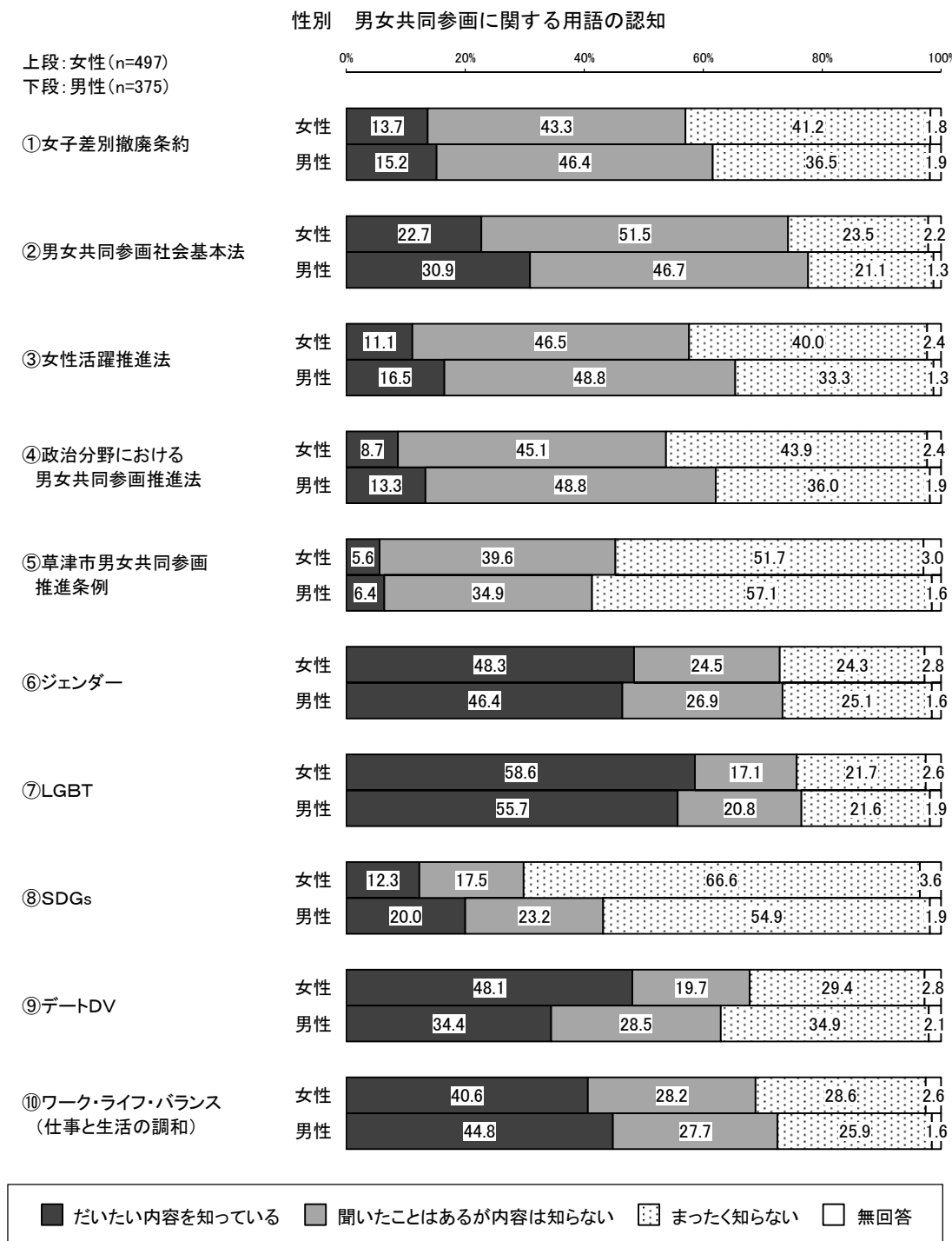
 聞いたことはあるが内容は知らない

 まったく知らない

 無回答

【性別】

ほとんどの用語で男性のほうが『知っている』（「だいたい内容を知っている」と「聞いたことはあるが内容は知らない」の合計）が高くなっていますが、「⑤草津市男女共同参画推進条例」と「⑨デートDV」は女性のほうが高くなっており、「⑨デートDV」においては「だいたい内容を知っている」が13.7ポイント、女性が高くなっています。

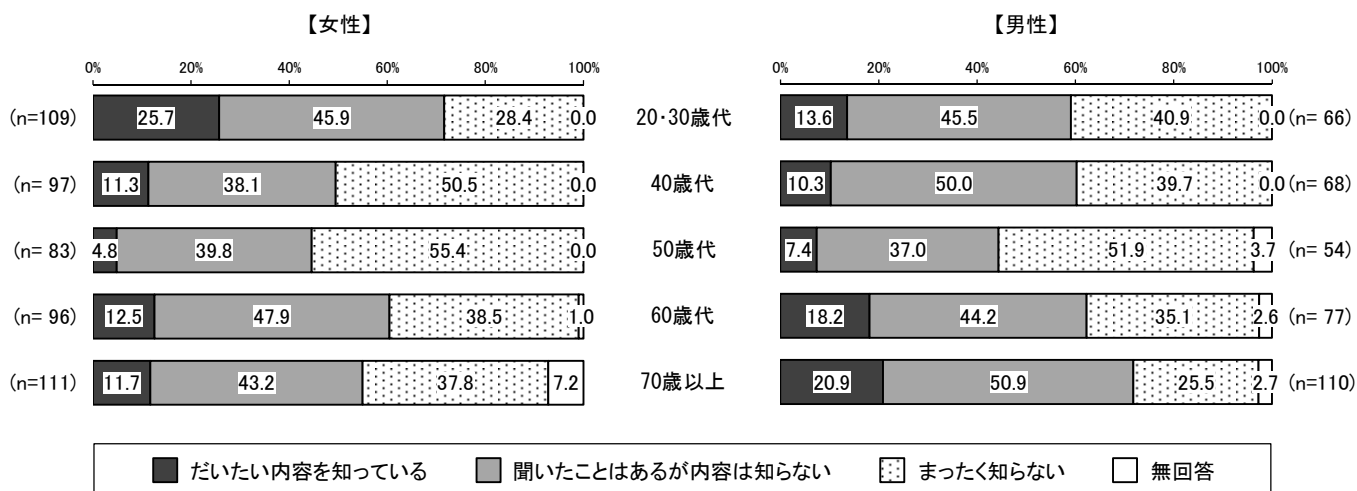


【性年齢別】

①女子差別撤廃条約

女性の20・30歳代と男性の70歳以上では「だいたい内容を知っている」が高く2割を超えています。一方、女性の40歳代と50歳代、男性の50歳代では「まったく知らない」が約5割と高くなっています。

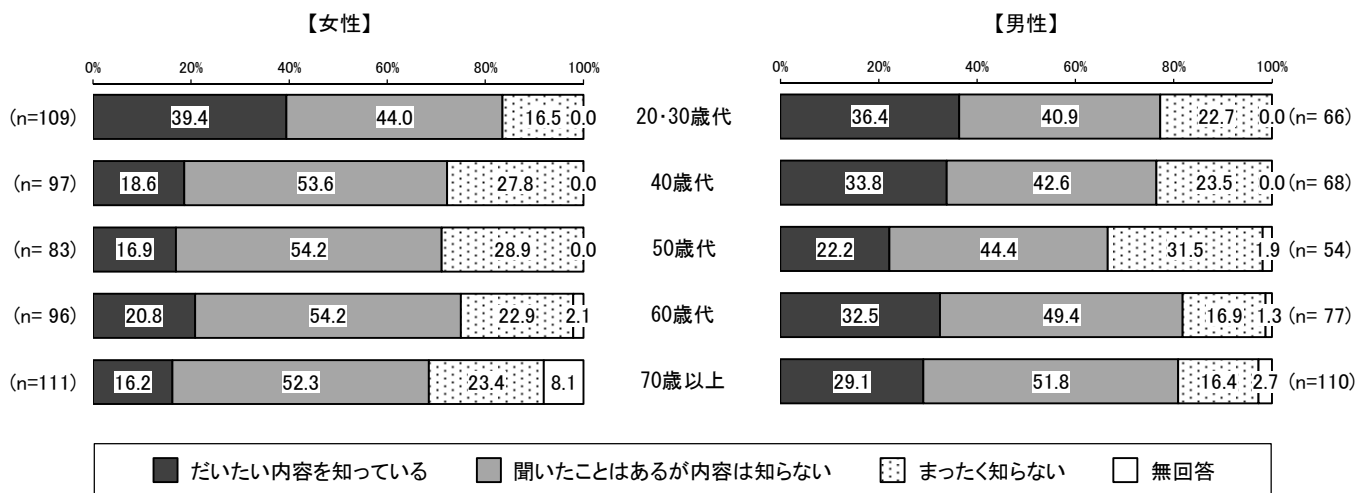
性年齢別 男女共同参画に関する用語の認知 — ①女子差別撤廃条約



②男女共同参画社会基本法

女性では、20・30歳代で「だいたい内容を知っている」が39.4%で他の年齢に比べて高くなっています。男性では、50歳代で「だいたい内容を知っている」が22.2%、『知っている』が66.6%でやや低くなっています。

性年齢別 男女共同参画に関する用語の認知 — ②男女共同参画社会基本法

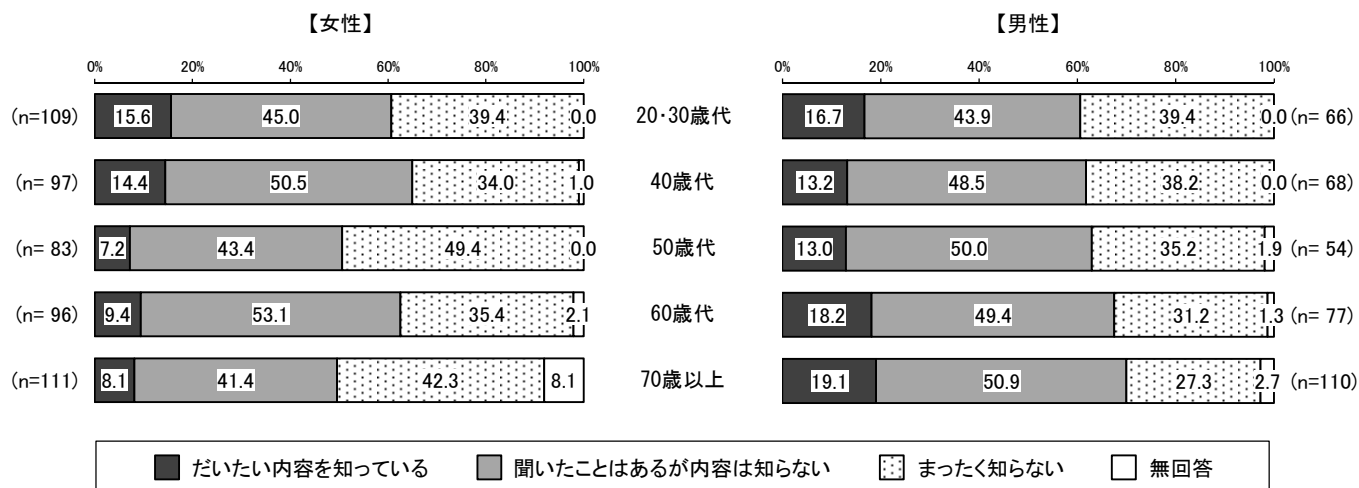


③女性活躍推進法

女性では、50歳代と70歳以上で『知っている』が低くなっており、50歳代では「まったく知らない」が約5割を占めています。

男性では、年齢が高くなるにつれて『知っている』が少しずつ高くなっています。

性年齢別 男女共同参画に関する用語の認知 — ③女性活躍推進法

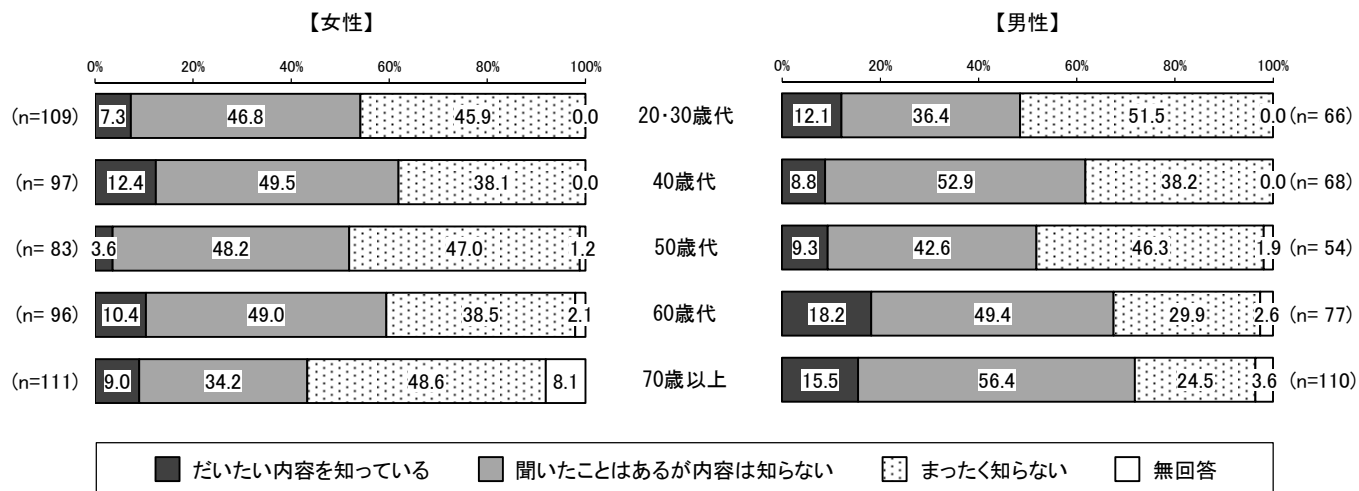


④政治分野における男女共同参画推進法

女性では、40歳代と60歳代で『知っている』が高くなっており、40歳代では「だいたい内容を知っている」が最も高くなっています。

男性では、40歳代と60歳代以上で『知っている』が高くなっており、60歳代では「だいたい内容を知っている」が18.2%と最も高くなっています。一方、20・30歳代では「まったく知らない」が最も高く、51.5%となっています。

性年齢別 男女共同参画に関する用語の認知 — ④政治分野における男女共同参画推進法

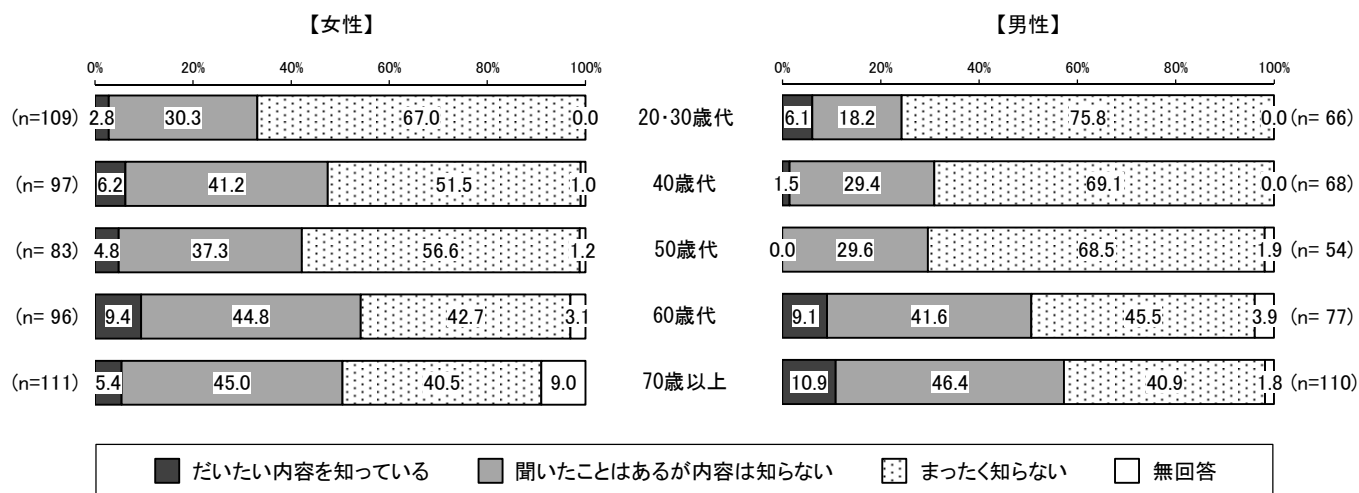


⑤草津市男女共同参画推進条例

男女とも 50 歳代以下で「まったく知らない」が 5 割を超えており、男女とも 20・30 歳代が最も高く、女性 67.0%、男性 75.8%となっています。

男性では、60 歳代以上で『知っている』が高くなっており、70 歳以上が 57.3%と最も高くなっています。

性年齢別 男女共同参画に関する用語の認知 — ⑤草津市男女共同参画推進条例

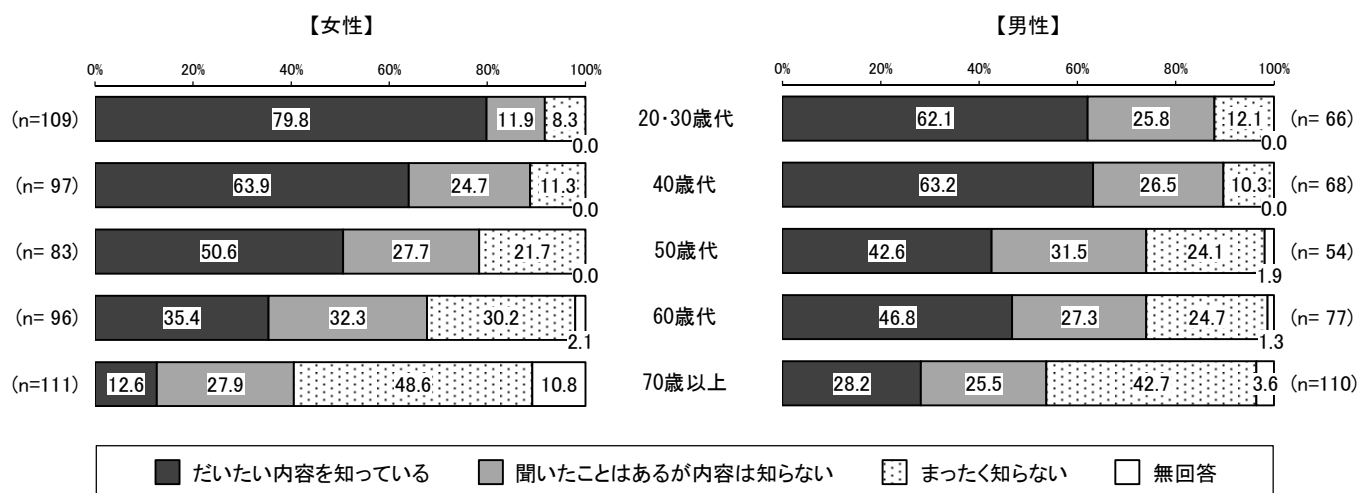


⑥ジェンダー

女性では、年齢が低くなるにつれて「だいたい内容を知っている」が高くなっており、20・30 歳代では 79.8%と約 8 割を占めています。70 歳以上では「まったく知らない」が 48.6%と 5 割近くを占めています。

男性では、40 歳代以下で「だいたい内容を知っている」が 6 割強と高くなっています。70 歳以上では「まったく知らない」が 42.7%と高くなっています。

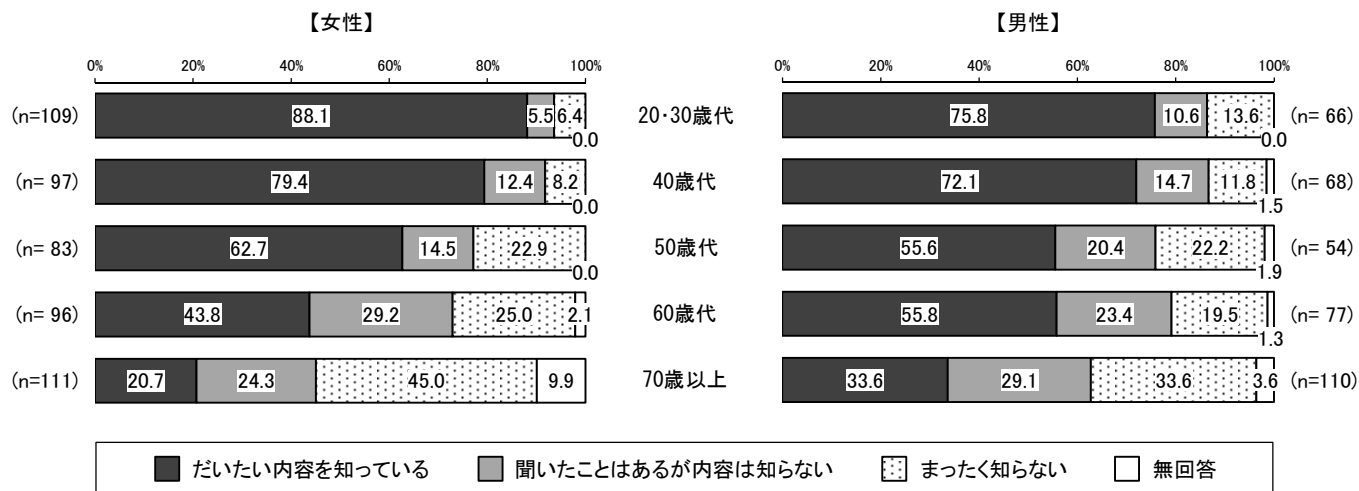
性年齢別 男女共同参画に関する用語の認知 — ⑥ジェンダー



⑦ L G B T

男女とも、低い年齢では「だいたい内容を知っている」が高くなっており、女性の20・30歳代では88.1%と最も高くなっています。

性年齢別 男女共同参画に関する用語の認知 — ⑦ L G B T

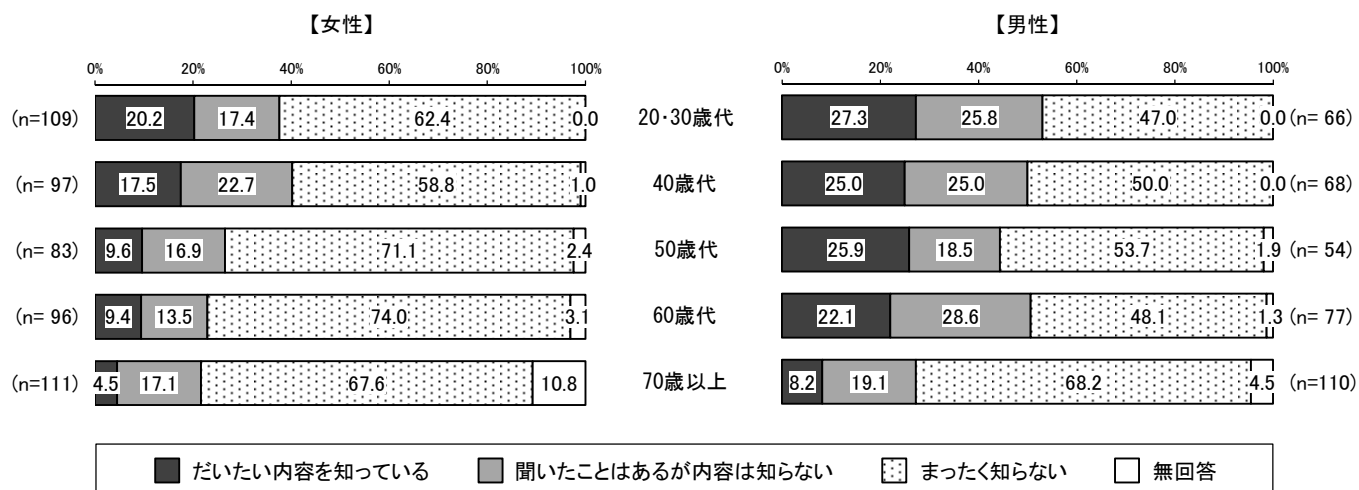


⑧ S D G s

女性では、20・30歳代と40歳代で「だいたい内容を知っている」が2割前後と他の年齢より高くなっていますが、すべての年齢で「まったく知らない」が5割を超えており、50歳代と60歳代では7割を超えています。

男性では、60歳代以下で『知っている』が4～5割となっており、20・30歳代で「だいたい内容を知っている」が27.3%と最も高くなっています。70歳以上では、「まったく知らない」が68.2%と高くなっています。

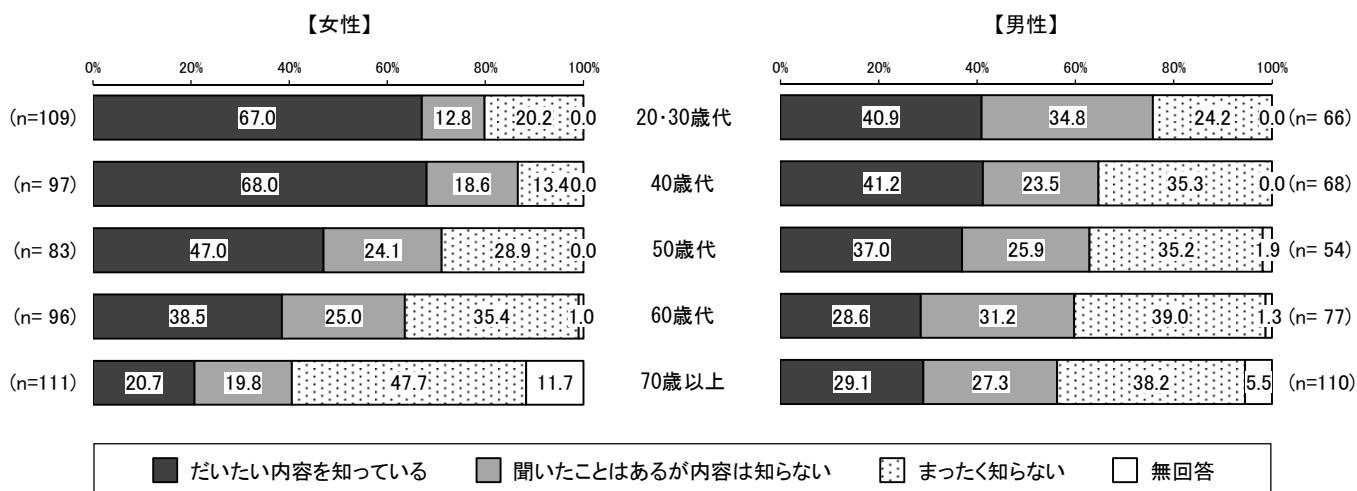
性年齢別 男女共同参画に関する用語の認知 — ⑧ S D G s



⑨デートDV

男女とも、20・30歳代と40歳代で「だいたい内容を知っている」が高く、特に女性は7割近くにのぼっています。一方、女性の70歳以上では「まったく知らない」が47.7%と最も高くなっています。

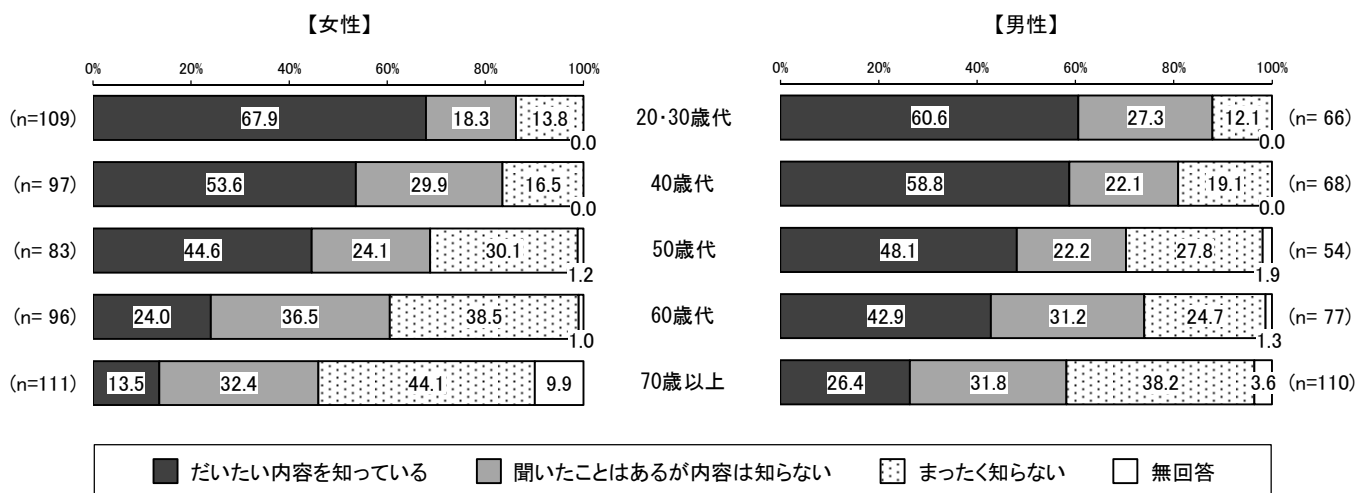
性年齢別 男女共同参画に関する用語の認知 — ⑨デートDV



⑩ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）

男女とも、年齢が低くなるほど「だいたい内容を知っている」が高くなっており、20・30歳代では女性67.9%、男性60.6%となっています。一方、女性の70歳以上では「まったく知らない」が44.1%と最も高くなっています。

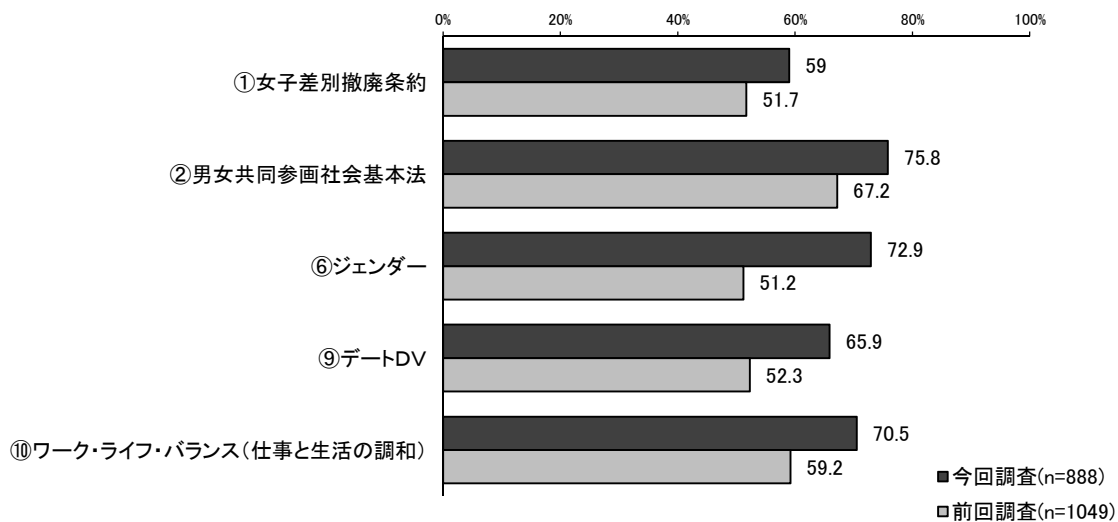
性年齢別 男女共同参画に関する用語の認知 — ⑩ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）



<前回調査との比較>

いずれの用語も「前回調査・平成26年度」より『知っている』が高くなっており、「⑥ジェンダー」は21.7ポイント、「⑨デートDV」は13.6ポイント、「⑩ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」は11.3ポイント増加しています。

男女共同参画に関する用語の認知 — 『知っている』の割合（前回調査・平成26年度との比較）



※ 今回調査は「だいたい内容を知っている」と「聞いたことはあるが内容は知らない」の合計
 前回調査は「知っていた」と「聞いたことはある」の合計

3. ワーク・ライフ・バランスについて

(1) 生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度

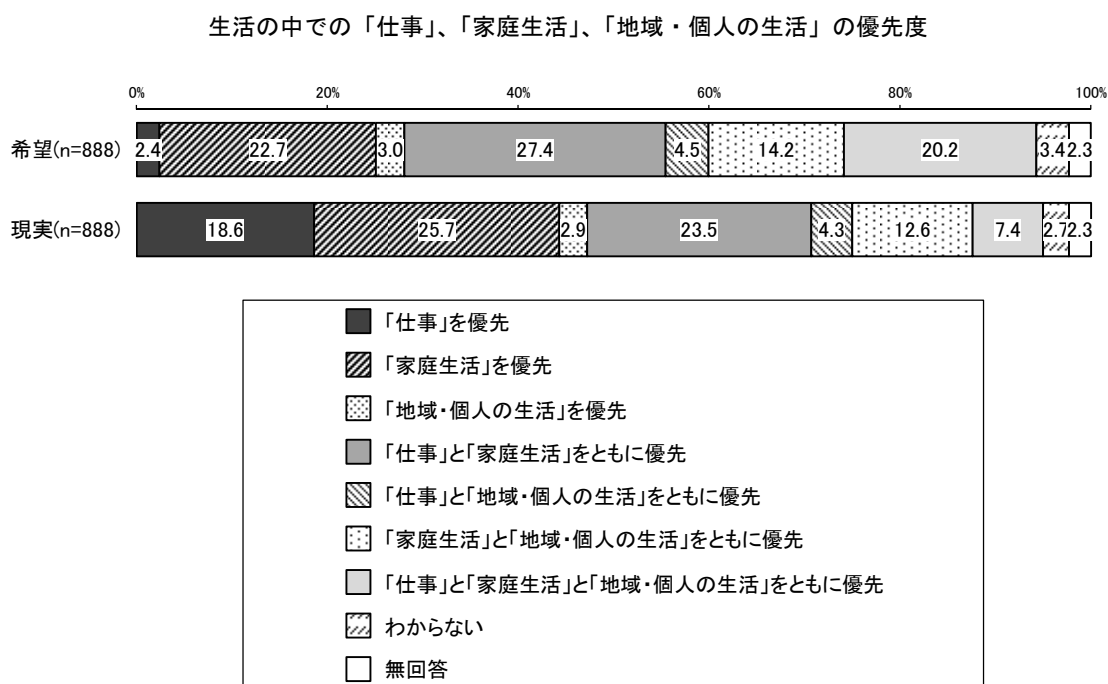
問6-1 生活の中での「仕事」、「家庭生活」、地域活動・学習・趣味・付き合いなどの「地域・個人の生活」の優先度についてお伺いします。まず、あなたの希望に最も近いものをお答えください。(1つに○)

問6-2 それでは、あなたの現実・現状に最も近いものをお答えください。(1つに○)

<希望>では、『仕事』と『家庭生活』をともに優先したい」が27.4%で最も高く、次いで『家庭生活』を優先したい」が22.7%、『仕事』と『家庭生活』と『地域・個人の生活』をともに優先したい」が20.2%となっています。

<現実>では、『家庭生活』を優先している」が25.7%で最も高く、次いで『仕事』と『家庭生活』をともに優先している」が23.5%、『仕事』を優先している」が18.6%となっています。

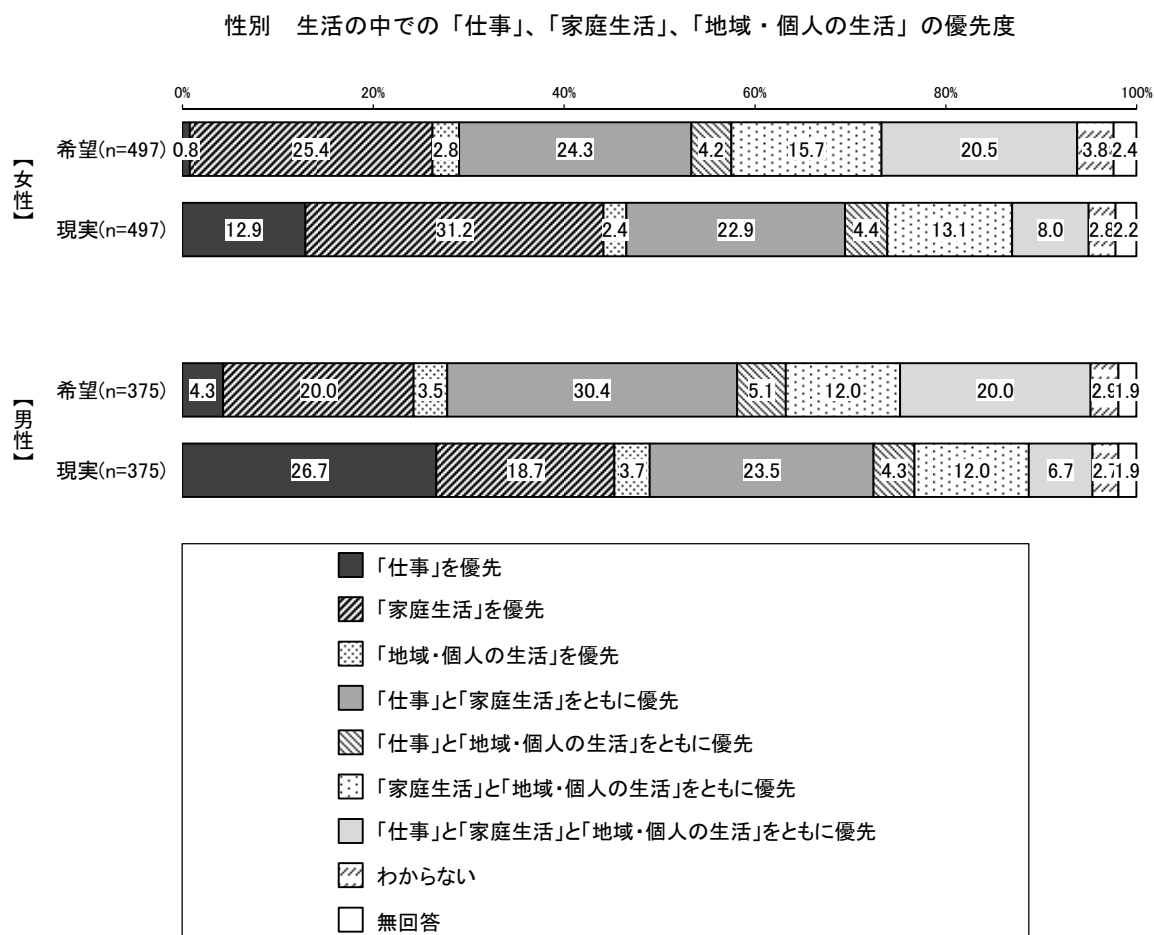
<希望>と<現実>を比較すると、『仕事』と『家庭生活』と『地域・個人の生活』をともに優先したい」では<希望>が12.8ポイント高く、『仕事』を優先している」では<現実>が16.2ポイント高くなっています。



【性別】

女性では、＜希望＞は「『家庭生活』を優先したい」、「『仕事』と『家庭生活』をともに優先したい」、「『仕事』と『家庭生活』と『地域・個人の生活』をともに優先したい」の順でいずれも2割台となっています。＜現実＞は「『家庭生活』を優先している」が最も高く31.2%、次いで「『仕事』と『家庭生活』をともに優先している」が22.9%となっています。「『家庭生活』を優先」は＜希望＞の25.4%に対して＜現実＞は31.2%と5.8ポイント高くなっており、「『仕事』と『家庭生活』と『地域・個人の生活』をともに優先」は＜希望＞の20.5%に対して＜現実＞は8.0%と12.5ポイント低くなっています。

男性では、＜希望＞は「『仕事』と『家庭生活』をともに優先したい」が30.4%で最も高く、次いで「『家庭生活』を優先したい」「『仕事』と『家庭生活』と『地域・個人の生活』をともに優先したい」がともに20.0%となっています。＜現実＞は、「『仕事』を優先している」が26.7%で最も高く、次いで「『仕事』と『家庭生活』をともに優先している」が23.5%となっています。「『仕事』を優先」は＜希望＞の4.3%に対して＜現実＞では26.7%と22.4ポイント高くなっており、「『仕事』と『家庭生活』と『地域・個人の生活』をともに優先」は＜希望＞の20.0%に対して＜現実＞は6.7%と13.3ポイント低くなっています。

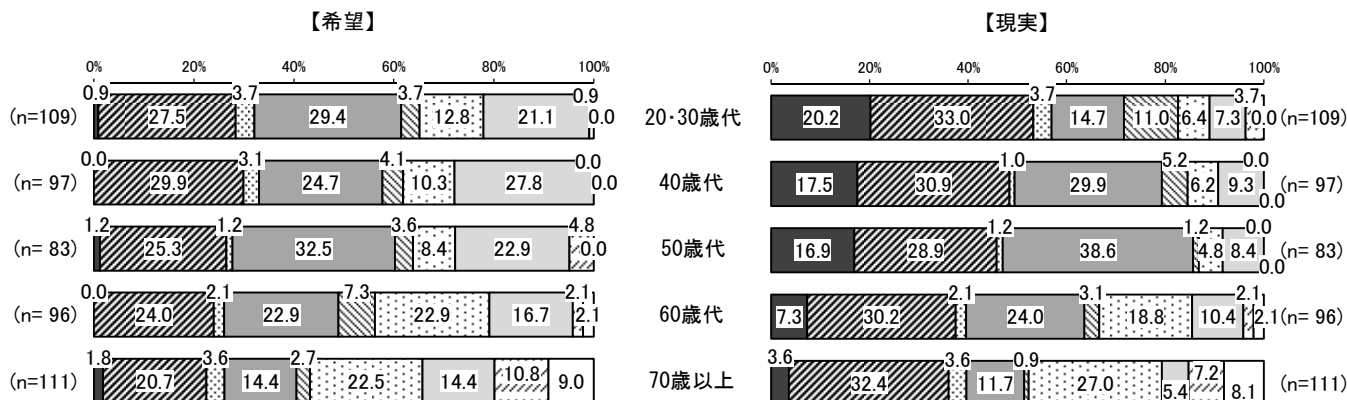


【性年齢別】

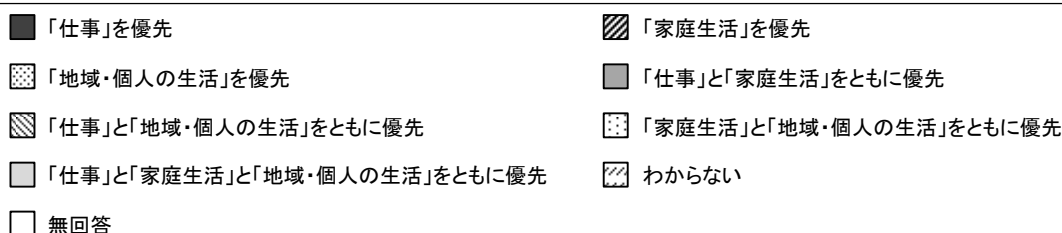
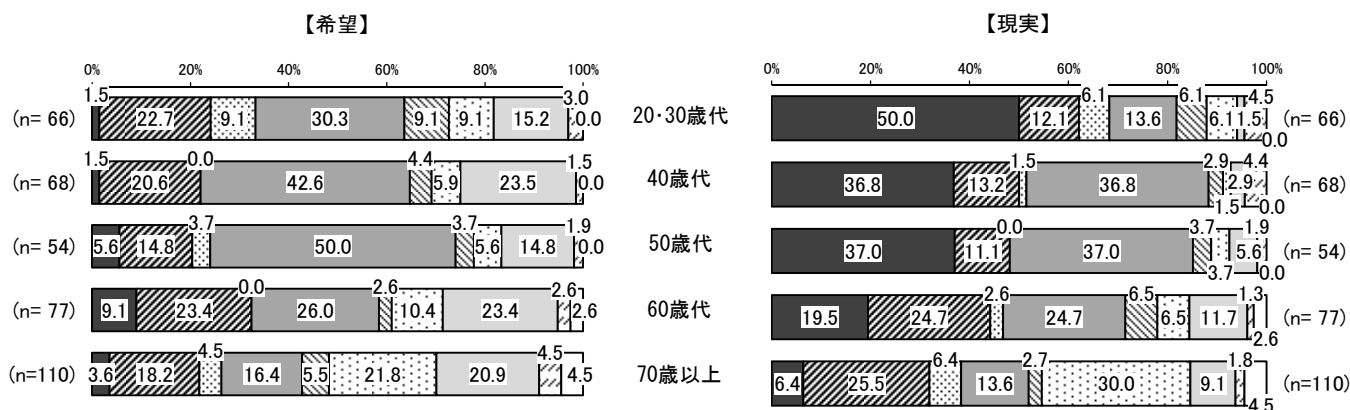
女性では、＜希望＞においては、20・30歳代と50歳代で『仕事』と『家庭生活』をともに優先したい、40歳代と60歳代で『家庭生活』を優先したい、70歳以上で『家庭生活』と『地域・個人の生活』をともに優先したいが最も高くなっています。＜現実＞においては、50歳代以下で『仕事』を優先している」は年齢が低くなるにつれて高くなっていますが、50歳代では『仕事』と『家庭生活』をともに優先している」が38.6%と高くなっており、＜希望＞と同じく、最も高くなっています。

男性では、＜希望＞においては、60歳代以下で『仕事』と『家庭生活』をともに優先したい、70歳以上で『家庭生活』と『地域・個人の生活』をともに優先したいが最も高くなっており、50歳代で『仕事』と『家庭生活』をともに優先したい」が50.0%と最も高くなっています。＜現実＞においては、20・30歳代で『仕事』を優先している」が最も高く50.0%となっています。40歳代と50歳代においても『仕事』を優先している」がそれぞれ36.8%、37.0%と高いものの、『仕事』と『家庭生活』をともに優先している」も同率で高くなっています。

年齢別 生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度（女性）



年齢別 生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度（男性）



(2) 生活時間

問7 あなたの普段（平日と休日）の生活時間についておたずねします。以下の活動について、1日に費やす時間はどのくらいですか。（1）～（9）それぞれについてお答えください。（回答の合計が24時間になるようにお答えください。また、該当しない場合は、□の枠内に「×」を記入してください）

(1) 仕事・学校

<仕事や学校のある日>

仕事・学校の時間は、全体の平均時間では7.89時間となっています。

「8時間～10時間未満」が最も高く23.5%、次いで「10時間～12時間未満」が12.0%、「6時間～8時間未満」が10.0%となっています。

【性別】

女性の平均時間が6.79時間に対して、男性は9.13時間で、男性が約2時間20分長くなっています。

男女とも「8時間～10時間未満」が最も高く、女性が20.3%、男性が28.0%となっています。次いで、女性は「6時間～8時間未満」「4時間～6時間未満」と続いており、それぞれ12.7%、11.9%、男性は「10時間～12時間未満」「12時間以上」と続いており、それぞれ18.1%、12.8%となっています。

小学生以下の子どもを子育て中の男女では、男性のほうが4時間12分長くなっています。

【性年齢別】

女性の20・30歳代では「8時間～10時間未満」が37.6%で40歳代以上に比べて高くなっています。

男性の20・30歳代と40歳代では「12時間以上」が約4人に1人の割合となっています。男性の40歳代では平均時間が10時間を超えており、他の年代に比べて長くなっています。

<休みの日・仕事や学校のない日>

仕事・学校の時間は、全体の平均時間では0.83時間となっています。

「1時間～2時間未満」「2時間～3時間未満」「4時間～6時間未満」がそれぞれ約2%みられます。

【性別】

女性の平均時間は0.85時間、男性の平均時間は0.77時間で、女性が若干長くなっています。

【性年齢別】

男性の60歳代以下では「1時間～2時間未満」または「2時間～3時間未満」で5%程度の回答がみられています。

性別・性年齢別 生活時間 ― (1)仕事・学校

		回答者数(n)	0分	1分 30分未満	1時間 30分未満	1時間 2時間未満	2時間 3時間未満	3時間 4時間未満	4時間 6時間未満	6時間 8時間未満	8時間 10時間未満	10時間 12時間未満	12時間以上	該当しない	無回答	平均時間
(1)仕事・学校 ― 仕事や学校のある日																
全体		888	2.3	－	－	0.3	1.2	2.0	7.8	10.0	23.5	12.0	6.5	16.8	17.5	7.89
性別	女性	497	3.2	－	－	0.4	1.4	2.8	11.9	12.7	20.3	7.2	2.0	19.7	18.3	6.79
	男性	375	1.1	－	－	0.3	1.1	1.1	2.4	6.4	28.0	18.1	12.8	13.1	15.7	9.13
女性	20・30 歳代	109	4.6	－	－	－	－	2.8	7.3	15.6	37.6	12.8	3.7	10.1	5.5	7.62
	40 歳代	97	2.1	－	－	－	1.0	3.1	15.5	26.8	20.6	10.3	2.1	14.4	4.1	6.95
	50 歳代	83	3.6	－	－	－	2.4	2.4	19.3	8.4	27.7	10.8	4.8	13.3	7.2	7.13
	60 歳代	96	4.2	－	－	1.0	2.1	4.2	13.5	8.3	16.7	3.1	－	28.1	18.8	5.66
	70 歳以上	111	1.8	－	－	0.9	1.8	1.8	6.3	3.6	0.9	－	－	31.5	51.4	4.05
男性	20・30 歳代	66	－	－	－	－	－	1.5	10.6	39.4	21.2	24.2	1.5	1.5	－	9.94
	40 歳代	68	－	－	－	－	－	－	5.9	29.4	38.2	23.5	1.5	1.5	－	10.19
	50 歳代	54	－	－	－	－	－	－	1.9	40.7	27.8	18.5	3.7	7.4	－	9.95
	60 歳代	77	1.3	－	－	－	2.6	－	6.5	9.1	28.6	15.6	5.2	23.4	7.8	8.05
	70 歳以上	110	2.7	－	－	0.9	1.8	3.6	2.7	4.5	13.6	0.9	1.8	24.5	42.7	6.28
女性	小学生以下 と同居	101	5.0	－	－	1.0	－	3.0	15.8	22.8	12.9	7.9	1.0	21.8	8.9	6.19
	未就学児 と同居	55	7.3	－	－	－	－	1.8	10.9	23.6	12.7	9.1	1.8	21.8	10.9	6.39
男性	小学生以下 と同居	61	1.6	－	－	－	－	－	－	4.9	26.2	34.4	24.6	4.9	3.3	10.39
	未就学児 と同居	39	－	－	－	－	－	－	7.7	25.6	41.0	23.1	2.6	－	－	10.56
(1)仕事・学校 ― 休みの日・仕事や学校のない日																
全体		888	27.3	－	0.8	2.5	2.5	0.7	1.8	0.6	0.2	－	0.3	36.6	26.8	0.83
性別	女性	497	26.4	－	0.6	1.6	2.2	0.8	1.2	0.6	0.2	－	0.4	38.0	28.0	0.85
	男性	375	28.8	－	1.1	3.7	2.9	0.5	2.1	0.5	0.3	－	0.3	35.5	24.3	0.77
女性	20・30 歳代	109	36.7	－	－	3.7	1.8	－	2.8	1.8	－	－	－	41.3	11.9	0.69
	40 歳代	97	41.2	－	1.0	－	4.1	1.0	1.0	－	－	－	－	34.0	17.5	0.35
	50 歳代	83	34.9	－	2.4	2.4	－	1.2	1.2	－	1.2	－	－	34.9	21.7	0.50
	60 歳代	96	16.7	－	－	2.1	3.1	1.0	－	－	－	－	－	42.7	34.4	0.50
	70 歳以上	111	4.5	－	－	－	1.8	0.9	0.9	0.9	－	－	1.8	36.9	52.3	5.25
男性	20・30 歳代	66	34.8	－	1.5	3.0	4.5	－	4.5	－	－	－	－	42.4	9.1	0.69
	40 歳代	68	41.2	－	2.9	5.9	2.9	－	－	－	－	－	－	35.3	11.8	0.26
	50 歳代	54	44.4	－	1.9	5.6	－	－	－	－	－	－	－	29.6	18.5	0.13
	60 歳代	77	26.0	－	－	3.9	5.2	1.3	1.3	－	－	－	－	42.9	19.5	0.66
	70 歳以上	110	11.8	－	－	1.8	1.8	0.9	3.6	1.8	0.9	－	0.9	29.1	47.3	2.38
女性	小学生以下 と同居	101	35.6	－	2.0	3.0	2.0	－	3.0	－	－	－	1.0	33.7	19.8	0.89
	未就学児 と同居	55	43.6	－	1.8	5.5	－	－	1.8	－	－	－	－	29.1	18.2	0.26
男性	小学生以下 と同居	61	37.7	－	3.3	4.9	8.2	－	1.6	－	－	－	－	32.8	11.5	0.54
	未就学児 と同居	39	35.9	－	5.1	5.1	12.8	－	2.6	－	－	－	－	25.6	12.8	0.73

※平均時間は、「該当しない」と「無回答」を除いた回答者の平均

(2)通勤・通学時間

<仕事や学校のある日>

通勤・通学の時間は、全体の平均時間では1.06時間となっています。

「1時間～2時間未満」が最も高く22.1%、次いで「30分～1時間未満」が16.1%となっています。

【性別】

女性の平均時間が0.95時間に対して、男性は1.19時間で、男性が約15分長くなっています。

男女とも「1時間～2時間未満」が最も高くなっていますが、女性は1時間未満の合計が30.8%、1時間以上の合計が27.7%に対して、男性は1時間未満の合計が24.3%、1時間以上の合計が44.8%となっています。

小学生以下の子どもを子育て中の男女では、男性のほうが約14分長くなっています。

【性年齢別】

女性は20・30歳代を除いて平均時間が1時間未満に対して、男性では60歳代以下はいずれも平均時間が1時間を超えており、なかでも40歳代と50歳代が1.31時間で長くなっています。

<休みの日・仕事や学校のない日>

通勤・通学の時間は、全体の平均時間では0.09時間となっています。

【性別】

女性の平均時間は0.11時間、男性の平均時間は0.06時間で、男女で大きな差はみられません。

【性年齢別】

女性は20・30歳代、男性は70歳以上で、他の年代より平均時間がやや長くなっています。

性別、性年齢別 生活時間 — (2)通勤・通学時間

		回答者数(n)	0分	1分 30分未満	1時間 30分未満	1時間 2時間未満	2時間 3時間未満	3時間 4時間未満	4時間 6時間未満	6時間 8時間未満	8時間 10時間未満	10時間 12時間未満	12時間以上	該当しない	無回答	平均時間
(2)通勤・通学時間 — 仕事や学校のある日																
全体		888	3.2	8.7	16.1	22.1	8.6	2.9	1.2	-	-	-	-	17.9	19.4	1.06
性別	女性	497	4.0	11.3	15.5	18.1	5.8	2.8	1.0	-	-	-	-	21.3	20.1	0.95
	男性	375	2.1	5.1	17.1	27.7	12.3	3.2	1.6	-	-	-	-	13.3	17.6	1.19
女性	20・30 歳代	109	6.4	15.6	13.8	29.4	11.0	8.3	-	-	-	-	-	9.2	6.4	1.06
	40 歳代	97	2.1	11.3	25.8	29.9	7.2	2.1	2.1	-	-	-	-	15.5	4.1	0.98
	50 歳代	83	4.8	18.1	19.3	20.5	8.4	1.2	-	-	-	-	-	16.9	10.8	0.81
	60 歳代	96	5.2	9.4	15.6	8.3	3.1	2.1	2.1	-	-	-	-	32.3	21.9	0.91
	70 歳以上	111	1.8	3.6	5.4	3.6	-	-	-	-	-	-	-	32.4	53.2	0.51
男性	20・30 歳代	66	-	6.1	27.3	43.9	16.7	1.5	1.5	-	-	-	-	1.5	1.5	1.12
	40 歳代	68	1.5	5.9	29.4	27.9	23.5	5.9	2.9	-	-	-	-	1.5	1.5	1.31
	50 歳代	54	-	3.7	20.4	38.9	20.4	1.9	3.7	-	-	-	-	1.9	9.3	1.31
	60 歳代	77	2.6	7.8	13.0	28.6	6.5	5.2	1.3	-	-	-	-	24.7	10.4	1.16
	70 歳以上	110	4.5	2.7	4.5	11.8	2.7	1.8	-	-	-	-	-	25.5	46.4	0.92
女性	小学生以下 と同居	101	6.9	8.9	12.9	22.8	8.9	6.9	-	-	-	-	-	22.8	9.9	1.09
	未就学児 と同居	55	7.3	7.3	9.1	27.3	10.9	5.5	-	-	-	-	-	20.0	12.7	1.14
男性	小学生以下 と同居	61	3.3	-	24.6	34.4	23.0	4.9	1.6	-	-	-	-	4.9	3.3	1.32
	未就学児 と同居	39	2.6	-	23.1	43.6	20.5	5.1	2.6	-	-	-	-	2.6	-	1.35
(2)通勤・通学時間 — 休みの日・仕事や学校のない日																
全体		888	29.5	0.5	0.7	1.1	-	0.2	0.1	-	-	-	-	39.1	28.8	0.09
性別	女性	497	27.4	0.6	0.6	1.4	-	0.2	0.2	-	-	-	-	40.4	29.2	0.11
	男性	375	32.8	0.3	0.8	0.8	-	0.3	-	-	-	-	-	38.1	26.9	0.06
女性	20・30 歳代	109	38.5	1.8	0.9	2.8	-	0.9	0.9	-	-	-	-	42.2	11.9	0.24
	40 歳代	97	43.3	-	2.1	2.1	-	-	-	-	-	-	-	36.1	16.5	0.07
	50 歳代	83	33.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	41.0	25.3	0.00
	60 歳代	96	18.8	-	-	2.1	-	-	-	-	-	-	-	45.8	33.3	0.10
	70 歳以上	111	4.5	0.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	37.8	56.8	0.03
男性	20・30 歳代	66	40.9	-	1.5	3.0	-	-	-	-	-	-	-	45.5	9.1	0.08
	40 歳代	68	45.6	1.5	1.5	-	-	-	-	-	-	-	-	38.2	13.2	0.02
	50 歳代	54	48.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	18.5	0.00
	60 歳代	77	28.6	-	-	1.3	-	-	-	-	-	-	-	46.8	23.4	0.04
	70 歳以上	110	15.5	-	0.9	-	-	0.9	-	-	-	-	-	30.0	52.7	0.18
女性	小学生以下 と同居	101	37.6	1.0	1.0	4.0	-	-	-	-	-	-	-	36.6	19.8	0.11
	未就学児 と同居	55	45.5	1.8	-	3.6	-	-	-	-	-	-	-	32.7	16.4	0.08
男性	小学生以下 と同居	61	45.9	-	4.9	1.6	-	-	-	-	-	-	-	34.4	13.1	0.08
	未就学児 と同居	39	46.2	-	5.1	2.6	-	-	-	-	-	-	-	30.8	15.4	0.10

※平均時間は、「該当しない」と「無回答」を除いた回答者の平均

(3)家事（炊事、買物、洗濯、掃除など）

<仕事や学校のある日>

家事（炊事、買物、洗濯、掃除など）の時間は、全体の平均時間では2.88時間となっています。

「1時間～2時間未満」が14.6%で最も高く、僅差で「2時間～3時間未満」が13.0%、「4時間～6時間未満」が11.4%となっています。

【性別】

女性の平均時間が4.08時間に対して、男性は1.17時間で、女性が約3時間長くなっています。

女性は「4時間～6時間未満」が最も高く18.9%で、6時間以上が合計15.8%となっています。

男性は「1時間～2時間未満」が最も高く22.9%、次いで「30分～1時間未満」が14.7%となっています。また、男性は約1割の「0分」を含めて1時間未満が28.8%です。

小学生以下の子どもを子育て中の男女では、女性のほうが3時間18分長くなっています。

【性年齢別】

女性は40歳代以上では「4時間～6時間未満」が最も高くなっており、40歳代と50歳代では「6時間～8時間」がそれぞれ15.5%、12.0%となっています。20・30歳代では「1時間～2時間未満」「2時間～3時間未満」「3時間～4時間未満」がいずれも約2割と分散しています。

男性は40歳代以外の年代では「1時間～2時間未満」が最も高くなっており、40歳代～60歳代では「2時間～3時間未満」が1～2割となっています。

<休みの日・仕事や学校のない日>

家事（炊事、買物、洗濯、掃除など）の時間は、全体の平均時間では4.00時間となっています。

「4時間～6時間未満」が17.0%で最も高く、次いで「2時間～3時間未満」が13.7%、「1時間～2時間未満」が12.0%、「6時間～8時間未満」が11.9%と続いています。

【性別】

女性の平均時間が5.28時間に対して、男性は2.19時間で、仕事や学校がある日と同様、女性が約3時間長くなっています。

女性は「4時間～6時間未満」が最も高く24.5%で、次いで「6時間～8時間未満」が18.3%となっています。

男性は「1時間～2時間未満」が最も高く22.9%、次いで「2時間～3時間未満」が20.8%、「3時間～4時間未満」が11.2%となっています。女性は4時間以上が合計約6割を占めていますが、男性は4時間以上が合計1割程度となっています。

【性年齢別】

女性は50歳代で「6時間～8時間未満」が32.5%と他の年代と比べて高くなっています。男性は「1時間～2時間未満」がすべての年代で2割台となっており、60歳代以下では「2時間～3時間未満」も2割台となっています。

女性は20・30歳代で平均時間が他の年代より短く3.99時間、男性は50歳代で平均時間が他の年代より短く1.77時間となっています。

性別、性年齢別 生活時間 — (3)家事(炊事、買物、洗濯、掃除など)

		回答者数(n)	0分	1分 30分未満	30分 1時間未満	1時間 2時間未満	2時間 3時間未満	3時間 4時間未満	4時間 6時間未満	6時間 8時間未満	8時間 10時間未満	10時間 12時間未満	12時間 以上	該当しない	無回答	平均時間
(3)家事(炊事、買物、洗濯、掃除など) — 仕事や学校のある日																
全体		888	5.0	1.7	7.7	14.6	13.0	9.8	11.4	5.0	2.4	0.8	1.4	9.1	18.4	2.88
性別	女性	497	0.8	0.2	2.6	8.9	13.3	15.1	18.9	8.0	4.0	1.4	2.4	6.4	17.9	4.08
	男性	375	10.4	3.7	14.7	22.9	11.7	2.9	1.9	0.8	0.3	—	—	12.8	17.9	1.17
女性	20・30歳代	109	1.8	0.9	6.4	19.3	20.2	21.1	10.1	2.8	—	—	1.8	8.3	7.3	2.61
	40歳代	97	1.0	—	—	12.4	16.5	12.4	23.7	15.5	8.2	2.1	1.0	2.1	5.2	4.32
	50歳代	83	1.2	—	3.6	6.0	14.5	15.7	28.9	12.0	2.4	1.2	2.4	3.6	8.4	4.15
	60歳代	96	—	—	2.1	5.2	13.5	16.7	22.9	6.3	3.1	1.0	5.2	7.3	16.7	4.70
	70歳以上	111	—	—	0.9	0.9	1.8	9.9	12.6	5.4	6.3	2.7	1.8	9.9	47.7	5.46
男性	20・30歳代	66	15.2	9.1	16.7	31.8	7.6	3.0	—	—	—	—	—	13.6	3.0	0.83
	40歳代	68	7.4	10.3	26.5	23.5	19.1	1.5	—	—	—	—	—	7.4	4.4	0.95
	50歳代	54	16.7	1.9	18.5	25.9	11.1	1.9	1.9	—	—	—	—	13.0	9.3	0.96
	60歳代	77	14.3	—	13.0	20.8	15.6	5.2	5.2	—	1.3	—	—	11.7	13.0	1.45
	70歳以上	110	3.6	—	5.5	17.3	7.3	2.7	1.8	2.7	—	—	—	16.4	42.7	1.70
女性	小学生以下 と同居	101	—	—	1.0	6.9	10.9	25.7	24.8	8.9	5.0	—	2.0	6.9	7.9	4.13
	未就学児 と同居	55	—	—	—	10.9	14.5	18.2	16.4	7.3	5.5	—	3.6	9.1	14.5	4.22
男性	小学生以下 と同居	61	14.8	9.8	18.0	36.1	6.6	3.3	—	—	—	—	—	6.6	4.9	0.83
	未就学児 と同居	39	12.8	10.3	20.5	46.2	10.3	—	—	—	—	—	—	—	—	0.84
(3)家事(炊事、買物、洗濯、掃除など) — 休みの日・仕事や学校のない日																
全体		888	1.7	0.5	3.0	12.0	13.7	10.9	17.0	11.9	4.5	1.8	2.3	4.4	16.2	4.00
性別	女性	497	0.8	—	1.2	3.8	8.5	10.7	24.5	18.3	7.4	3.0	4.0	2.2	15.5	5.28
	男性	375	2.9	1.1	5.6	22.9	20.8	11.2	7.2	3.5	0.8	0.3	—	7.5	16.3	2.19
女性	20・30歳代	109	2.8	—	0.9	10.1	15.6	14.7	27.5	13.8	5.5	—	1.8	2.8	4.6	3.99
	40歳代	97	—	—	2.1	2.1	3.1	11.3	34.0	22.7	9.3	6.2	3.1	1.0	5.2	5.66
	50歳代	83	—	—	2.4	1.2	4.8	12.0	22.9	32.5	6.0	3.6	4.8	—	9.6	5.65
	60歳代	96	—	—	1.0	—	11.5	13.5	22.9	14.6	10.4	2.1	6.3	2.1	15.6	5.73
	70歳以上	111	0.9	—	—	3.6	6.3	2.7	16.2	11.7	6.3	3.6	4.5	4.5	39.6	5.91
男性	20・30歳代	66	3.0	1.5	3.0	25.8	25.8	12.1	10.6	1.5	—	—	—	12.1	4.5	2.15
	40歳代	68	4.4	2.9	10.3	20.6	22.1	17.6	10.3	7.4	1.5	—	—	—	2.9	2.37
	50歳代	54	3.7	1.9	9.3	29.6	25.9	14.8	1.9	—	1.9	—	—	5.6	5.6	1.77
	60歳代	77	5.2	—	2.6	20.8	23.4	13.0	9.1	2.6	—	—	—	9.1	14.3	2.19
	70歳以上	110	—	—	4.5	20.9	12.7	3.6	4.5	4.5	0.9	0.9	—	9.1	38.2	2.40
女性	小学生以下 と同居	101	1.0	—	—	—	5.0	13.9	31.7	25.7	8.9	—	3.0	2.0	8.9	5.37
	未就学児 と同居	55	1.8	—	—	—	9.1	9.1	29.1	23.6	7.3	—	5.5	3.6	10.9	5.54
男性	小学生以下 と同居	61	3.3	3.3	4.9	26.2	21.3	18.0	9.8	6.6	1.6	—	—	1.6	3.3	2.43
	未就学児 と同居	39	2.6	2.6	5.1	23.1	23.1	17.9	15.4	7.7	—	—	—	—	2.6	2.59

※平均時間は、「該当しない」と「無回答」を除いた回答者の平均

(4)育児・子育て

<仕事や学校のある日>

育児・子育ての時間は、全体の平均時間では1.75時間となっています。

「1時間～2時間未満」が4.2%、30分～6時間未満の時間帯はそれぞれ約3%となっています。

【性別】

女性の平均時間が2.47時間に対して、男性は0.71時間で、女性が約1時間45分長くなっています。

女性は「4時間～6時間未満」が5.2%、男性は「30分～1時間未満」が4.3%と高くなっています。女性は3時間～6時間未満の時間帯の合計が約1割に対して、男性は30分～3時間未満の時間帯の合計が約1割を占めています。

小学生以下の子どもを子育て中の男女では、女性のほうが3時間30分長くなっています。

【性年齢別】

女性は20・30歳代と40歳代では「3時間～4時間未満」と「4時間～6時間未満」が約1割ずつで高くなっており、40歳代では「1時間～2時間未満」も1割強と高くなっています。また、20・30歳代では「12時間以上」が6.4%と高くなっています。

男性の40歳代では「30分～1時間未満」が16.2%で最も高く、「1時間～2時間未満」と「2時間～3時間未満」がそれぞれ13.2%、11.8%と高くなっています。

女性の20・30歳代では平均時間が最も長く、3.96時間となっています。

<休みの日・仕事や学校のない日>

育児・子育ての時間は、全体の平均時間では3.63時間となっています。

「12時間以上」が3.7%、「4時間～6時間未満」が3.4%とやや高くなっています。

【性別】

女性の平均時間が4.11時間に対して、男性は2.86時間で、女性が1時間15分長くなっています。

女性は「4時間～6時間未満」と「6時間～8時間未満」がそれぞれ4.4%、4.0%、男性は「12時間以上」が4.0%と高くなっています。

【性年齢別】

女性の20・30歳代では「10時間～12時間未満」が11.0%、「12時間以上」「6時間～8時間未満」がともに10.1%と高くなっています。

男性の40歳代では「12時間以上」が11.8%、「10時間～12時間未満」が10.3%と高くなっています。

女性は20・30歳代の平均時間が6.41時間、男性は40歳代の平均時間が4.64時間と最も長くなっています。

性別、性年齢別 生活時間 — (4)育児・子育て

		回答者数(n)	0分	1分 30分未満	1時間 30分未満	1時間 2時間未満	2時間 3時間未満	3時間 4時間未満	4時間 6時間未満	6時間 8時間未満	8時間 10時間未満	10時間 12時間未満	12時間以上	該当しない	無回答	平均時間
(4)育児・子育て — 仕事や学校のある日																
全体		888	18.8	0.6	3.0	4.2	3.4	3.2	3.7	1.2	0.6	0.3	1.0	34.8	25.2	1.75
性別	女性	497	16.3	—	2.2	4.6	3.4	4.6	5.2	1.8	1.0	0.6	1.8	34.0	24.3	2.47
	男性	375	22.1	1.3	4.3	3.5	3.2	1.3	1.9	0.3	—	—	—	36.5	25.6	0.71
女性	20・30 歳代	109	19.3	—	0.9	1.8	4.6	10.1	11.9	2.8	1.8	1.8	6.4	33.9	4.6	3.96
	40 歳代	97	15.5	—	5.2	12.4	7.2	10.3	10.3	5.2	2.1	1.0	2.1	16.5	12.4	2.78
	50 歳代	83	21.7	—	6.0	8.4	4.8	1.2	1.2	1.2	1.2	—	—	36.1	18.1	1.04
	60 歳代	96	20.8	—	—	2.1	—	1.0	1.0	—	—	—	—	47.9	27.1	0.38
	70 歳以上	111	6.3	—	—	—	—	—	0.9	—	—	—	—	36.0	56.8	0.50
男性	20・30 歳代	66	28.8	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	4.5	—	—	—	—	45.5	6.1	0.84
	40 歳代	68	22.1	2.9	16.2	13.2	11.8	2.9	4.4	1.5	—	—	—	19.1	5.9	1.12
	50 歳代	54	33.3	1.9	5.6	—	1.9	—	—	—	—	—	—	38.9	18.5	0.16
	60 歳代	77	24.7	—	—	2.6	—	1.3	1.3	—	—	—	—	49.4	20.8	0.43
	70 歳以上	110	10.9	—	—	—	0.9	—	—	—	—	—	—	31.8	56.4	0.19
女性	小学生以下 と同居	101	1.0	—	1.0	9.9	7.9	19.8	19.8	7.9	4.0	3.0	8.9	6.9	9.9	5.08
	未就学児 と同居	55	1.8	—	—	5.5	3.6	20.0	20.0	7.3	3.6	5.5	14.5	5.5	12.7	6.40
男性	小学生以下 と同居	61	11.5	6.6	16.4	18.0	16.4	8.2	9.8	1.6	—	—	—	4.9	6.6	1.58
	未就学児 と同居	39	10.3	5.1	17.9	15.4	17.9	12.8	15.4	2.6	—	—	—	—	2.6	1.91
(4)育児・子育て — 休みの日・仕事や学校のない日																
全体		888	16.8	0.1	1.0	2.8	2.0	2.0	3.4	2.9	1.9	2.8	3.7	34.5	26.0	3.63
性別	女性	497	14.7	0.2	1.0	2.8	1.6	2.8	4.4	4.0	2.4	3.2	3.6	33.6	25.6	4.11
	男性	375	19.7	—	1.1	2.9	2.7	1.1	2.1	1.6	1.1	1.9	4.0	36.0	25.9	2.86
女性	20・30 歳代	109	19.3	—	—	—	0.9	3.7	3.7	10.1	6.4	11.0	10.1	32.1	2.8	6.41
	40 歳代	97	14.4	—	4.1	8.2	5.2	5.2	12.4	8.2	5.2	2.1	6.2	14.4	14.4	4.18
	50 歳代	83	18.1	1.2	1.2	6.0	1.2	4.8	4.8	1.2	—	—	—	41.0	20.5	1.34
	60 歳代	96	17.7	—	—	—	1.0	1.0	1.0	—	—	2.1	—	46.9	30.2	1.32
	70 歳以上	111	5.4	—	—	0.9	—	—	0.9	—	—	—	—	35.1	57.7	0.69
男性	20・30 歳代	66	24.2	—	—	1.5	1.5	3.0	—	3.0	4.5	—	9.1	45.5	7.6	3.87
	40 歳代	68	19.1	—	2.9	7.4	8.8	1.5	8.8	2.9	—	10.3	11.8	19.1	7.4	4.64
	50 歳代	54	33.3	—	3.7	1.9	3.7	—	—	—	—	—	1.9	37.0	18.5	0.81
	60 歳代	77	20.8	—	—	1.3	1.3	1.3	1.3	2.6	1.3	—	—	48.1	22.1	1.35
	70 歳以上	110	10.0	—	—	2.7	—	—	0.9	—	—	—	—	31.8	54.5	0.47
女性	小学生以下 と同居	101	1.0	—	—	3.0	1.0	5.9	12.9	18.8	11.9	14.9	15.8	5.0	9.9	8.13
	未就学児 と同居	55	1.8	—	—	1.8	—	—	7.3	16.4	16.4	20.0	25.5	1.8	9.1	9.84
男性	小学生以下 と同居	61	3.3	—	—	8.2	9.8	4.9	11.5	8.2	4.9	11.5	24.6	6.6	6.6	6.99
	未就学児 と同居	39	—	—	—	7.7	5.1	5.1	12.8	10.3	7.7	12.8	33.3	—	5.1	8.00

※平均時間は、「該当しない」と「無回答」を除いた回答者の平均

(5)介護

<仕事や学校のある日>

介護の時間は、全体の平均時間では0.35時間となっています。

「1時間～2時間未満」が1.6%、30分～6時間未満の時間帯でそれぞれ1%前後となっており、6時間以上の時間帯はさらに低くなっています。

【性別】

女性の平均時間が0.39時間、男性の平均時間が0.32時間で、男女で大きな差はみられません。

男女とも「1時間～2時間未満」がわずかに高く、女性が1.2%、男性が2.1%となっています。次いで、女性は「2時間～3時間未満」が1.0%、男性は「30分～1時間未満」が1.3%となっています。

【性年齢別】

男女とも年齢が上がるほど平均時間が長くなる傾向で、70歳以上では1時間を超えています。

<休みの日・仕事や学校のない日>

介護の時間は、全体の平均時間では0.69時間となっています。

「1時間～2時間未満」が2.6%、「4時間～6時間未満」が1.5%、「2時間～3時間未満」が1.4%となっています。

【性別】

女性の平均時間が0.78時間、男性の平均時間が0.59時間で、女性がやや長くなっています。

女性は「4時間～6時間未満」が2.0%、男性は「1時間～2時間未満」が3.5%となっています。

【性年齢別】

女性の50歳代では「3時間～4時間未満」と「4時間～6時間未満」がともに4.8%で他の年代より高くなっています。男性の60歳代では「1時間～2時間未満」が10.4%を占めており、70歳以上では割合は低いですが、8時間以上の時間帯の回答がみられます。

女性は50歳代で平均時間が最も長く1.65時間、男性は70歳以上で平均時間が最も長く2.44時間となっています。

性別、性年齢別 生活時間 — (5)介護

		回答者数(n)	0分	1分 30分未満	30分 1時間未満	1時間 2時間未満	2時間 3時間未満	3時間 4時間未満	4時間 6時間未満	6時間 8時間未満	8時間 10時間未満	10時間 12時間未満	12時間以上	該当しない	無回答	平均時間
(5)介護 — 仕事や学校のある日																
全体		888	27.8	0.3	0.8	1.6	0.8	0.6	0.6	0.1	0.2	0.1	—	42.1	25.0	0.35
性別	女性	497	27.8	0.2	0.4	1.2	1.0	0.8	0.8	0.2	—	0.2	—	43.7	23.7	0.39
	男性	375	28.0	0.5	1.3	2.1	0.5	0.3	0.3	—	0.5	—	—	41.1	25.3	0.32
女性	20・30 歳代	109	41.3	—	0.9	—	—	—	0.9	—	—	—	—	48.6	8.3	0.12
	40 歳代	97	41.2	1.0	—	2.1	1.0	—	—	—	—	—	—	44.3	10.3	0.10
	50 歳代	83	31.3	—	1.2	1.2	1.2	2.4	1.2	1.2	—	—	—	41.0	19.3	0.62
	60 歳代	96	19.8	—	—	3.1	3.1	1.0	—	—	—	1.0	—	50.0	21.9	0.81
	70 歳以上	111	6.3	—	—	—	—	0.9	1.8	—	—	—	—	35.1	55.9	1.10
男性	20・30 歳代	66	40.9	—	1.5	1.5	—	—	—	—	—	—	—	50.0	6.1	0.06
	40 歳代	68	44.1	—	—	1.5	—	—	—	—	—	—	—	45.6	8.8	0.03
	50 歳代	54	37.0	—	3.7	—	—	—	—	—	—	—	—	40.7	18.5	0.05
	60 歳代	77	22.1	1.3	2.6	6.5	2.6	—	1.3	—	—	—	—	45.5	18.2	0.54
	70 歳以上	110	10.0	0.9	—	0.9	—	0.9	—	—	1.8	—	—	30.0	55.5	1.32
女性	小学生以下 と同居	101	41.6	—	1.0	1.0	—	—	1.0	—	—	—	—	40.6	14.9	0.14
	未就学児 と同居	55	47.3	—	1.8	1.8	—	—	1.8	—	—	—	—	36.4	10.9	0.22
男性	小学生以下 と同居	61	44.3	—	1.6	1.6	—	—	—	—	—	—	—	42.6	9.8	0.06
	未就学児 と同居	39	46.2	—	2.6	2.6	—	—	—	—	—	—	—	41.0	7.7	0.09
(5)介護 — 休みの日・仕事や学校のない日																
全体		888	25.9	—	0.6	2.6	1.4	0.7	1.5	—	0.2	0.3	0.2	39.9	26.8	0.69
性別	女性	497	25.2	—	0.4	1.8	1.6	1.0	2.0	—	0.2	0.4	0.2	40.8	26.4	0.78
	男性	375	27.2	—	0.8	3.5	1.1	0.3	0.8	—	0.3	0.3	0.3	39.7	25.9	0.59
女性	20・30 歳代	109	40.4	—	0.9	0.9	—	—	—	—	0.9	—	—	46.8	10.1	0.20
	40 歳代	97	36.1	—	—	4.1	2.1	—	2.1	—	—	—	—	41.2	14.4	0.40
	50 歳代	83	25.3	—	1.2	2.4	3.6	4.8	4.8	—	—	1.2	1.2	34.9	20.5	1.65
	60 歳代	96	17.7	—	—	2.1	3.1	1.0	2.1	—	—	1.0	—	44.8	28.1	1.21
	70 歳以上	111	6.3	—	—	—	—	—	1.8	—	—	—	—	36.0	55.9	0.89
男性	20・30 歳代	66	39.4	—	1.5	1.5	—	—	—	—	—	—	—	50.0	7.6	0.05
	40 歳代	68	42.6	—	—	—	1.5	—	—	—	—	—	—	44.1	11.8	0.07
	50 歳代	54	37.0	—	1.9	5.6	1.9	—	—	—	—	—	—	38.9	14.8	0.22
	60 歳代	77	19.5	—	1.3	10.4	2.6	—	2.6	—	—	—	—	42.9	20.8	0.80
	70 歳以上	110	10.9	—	—	0.9	—	0.9	0.9	—	0.9	0.9	0.9	29.1	54.5	2.44
女性	小学生以下 と同居	101	37.6	—	1.0	2.0	—	—	—	—	1.0	—	—	39.6	18.8	0.25
	未就学児 と同居	55	41.8	—	1.8	1.8	—	—	—	—	1.8	—	—	40.0	12.7	0.37
男性	小学生以下 と同居	61	44.3	—	1.6	1.6	1.6	—	—	—	—	—	—	42.6	8.2	0.12
	未就学児 と同居	39	46.2	—	2.6	2.6	—	—	—	—	—	—	—	41.0	7.7	0.08

※平均時間は、「該当しない」と「無回答」を除いた回答者の平均

(6) 地域活動

< 仕事や学校のある日 >

地域活動の時間は、全体の平均時間では 0.37 時間となっています。

「0 分」が 26.7%で、1 分以上地域活動をしている人は 10.3%にとどまっています。「1 時間～2 時間未満」が 4.8%となっています。

【性別】

女性の平均時間が 0.36 時間、男性の平均時間が 0.39 時間で、男女で大きな差はみられません。

男女とも「1 時間～2 時間未満」がやや高く、女性が 4.0%、男性が 5.9%となっており、それ以外の各時間帯でも男女の差はほとんどみられません。

【性年齢別】

男女とも年齢が上がるほど平均時間が長くなる傾向で、70 歳以上では 1 時間を超えています。

< 休みの日・仕事や学校のない日 >

地域活動の時間は、全体の平均時間では 0.71 時間となっており、1 分以上地域活動をしている人は 18.1%にとどまっています。

「0 分」が 22.5%となっており、「1 時間～2 時間未満」が 7.0%、「2 時間～3 時間未満」が 5.2%と高くなっています。

【性別】

女性の平均時間が 0.52 時間、男性の平均時間が 0.91 時間で、男性が約 20 分長くなっています。

「0 分」以外では、女性は「1 時間～2 時間未満」の 6.8%が最も高く、男性は「2 時間～3 時間未満」の 8.0%が最も高くなっています。3 時間以上の時間帯の合計は、女性は 1.4%、男性は 4.3%となっています。

【性年齢別】

男女とも年齢が上がるほど平均時間が長くなる傾向で、60 歳以上では 1 時間を超えています。

性別、性年齢別 生活時間 ― (6)地域活動

		回答者数(n)	0分	1分 30分未満	1時間 30分未満	1時間 2時間未満	2時間 3時間未満	3時間 4時間未満	4時間 6時間未満	6時間 8時間未満	8時間 10時間未満	10時間 12時間未満	12時間以上	該当しない	無回答	平均時間
(6)地域活動 ― 仕事や学校のある日																
全体		888	26.7	0.3	2.3	4.8	1.8	0.8	0.3	―	―	―	―	37.0	25.9	0.37
性別	女性	497	26.6	0.2	2.0	4.0	2.0	0.6	0.4	―	―	―	―	37.8	26.4	0.36
	男性	375	26.9	0.5	2.7	5.9	1.6	1.1	0.3	―	―	―	―	37.1	24.0	0.39
女性	20・30 歳代	109	40.4	―	2.8	1.8	―	―	―	―	―	―	―	45.9	9.2	0.07
	40 歳代	97	38.1	―	3.1	5.2	2.1	―	―	―	―	―	―	39.2	12.4	0.22
	50 歳代	83	33.7	1.2	1.2	2.4	―	1.2	―	―	―	―	―	39.8	20.5	0.18
	60 歳代	96	18.8	―	1.0	6.3	6.3	1.0	1.0	―	―	―	―	37.5	28.1	0.80
	70 歳以上	111	3.6	―	1.8	4.5	1.8	0.9	0.9	―	―	―	―	27.9	58.6	1.20
男性	20・30 歳代	66	42.4	―	1.5	1.5	―	―	―	―	―	―	―	48.5	6.1	0.05
	40 歳代	68	45.6	―	―	2.9	―	―	―	―	―	―	―	42.6	8.8	0.06
	50 歳代	54	37.0	―	1.9	―	―	1.9	―	―	―	―	―	40.7	18.5	0.16
	60 歳代	77	19.5	1.3	9.1	10.4	3.9	1.3	―	―	―	―	―	37.7	16.9	0.61
	70 歳以上	110	6.4	0.9	0.9	10.0	2.7	1.8	0.9	―	―	―	―	24.5	51.8	1.08
女性	小学生以下 と同居	101	37.6	1.0	5.9	5.0	2.0	―	―	―	―	―	―	33.7	14.9	0.24
	未就学児 と同居	55	49.1	―	7.3	―	―	―	―	―	―	―	―	32.7	10.9	0.06
男性	小学生以下 と同居	61	45.9	―	―	4.9	―	―	―	―	―	―	―	39.3	9.8	0.10
	未就学児 と同居	39	51.3	―	―	5.1	―	―	―	―	―	―	―	35.9	7.7	0.09
(6)地域活動 ― 休みの日・仕事や学校のない日																
全体		888	22.5	0.3	3.0	7.0	5.2	1.8	0.6	0.1	0.1	―	―	33.8	25.6	0.71
性別	女性	497	23.7	0.2	2.0	6.8	3.0	0.8	0.6	―	―	―	―	35.6	27.2	0.52
	男性	375	21.3	0.5	4.5	6.9	8.0	3.2	0.5	0.3	0.3	―	―	32.3	22.1	0.91
女性	20・30 歳代	109	40.4	―	1.8	2.8	0.9	―	―	―	―	―	―	44.0	10.1	0.12
	40 歳代	97	36.1	―	3.1	9.3	1.0	―	―	―	―	―	―	35.1	15.5	0.26
	50 歳代	83	24.1	―	4.8	8.4	3.6	1.2	―	―	―	―	―	37.3	20.5	0.53
	60 歳代	96	13.5	1.0	1.0	8.3	6.3	1.0	3.1	―	―	―	―	33.3	32.3	1.16
	70 歳以上	111	4.5	―	―	6.3	3.6	1.8	―	―	―	―	―	28.8	55.0	1.19
男性	20・30 歳代	66	36.4	1.5	1.5	4.5	―	―	―	―	―	―	―	48.5	7.6	0.13
	40 歳代	68	38.2	―	1.5	7.4	2.9	―	―	―	―	―	―	38.2	11.8	0.28
	50 歳代	54	31.5	―	3.7	7.4	7.4	―	―	―	―	―	―	31.5	18.5	0.50
	60 歳代	77	10.4	―	10.4	7.8	11.7	10.4	2.6	―	1.3	―	―	29.9	15.6	1.65
	70 歳以上	110	4.5	0.9	4.5	7.3	13.6	3.6	―	0.9	―	―	―	20.9	43.6	1.50
女性	小学生以下 と同居	101	37.6	―	3.0	7.9	3.0	―	―	―	―	―	―	30.7	17.8	0.30
	未就学児 と同居	55	45.5	―	3.6	5.5	―	―	―	―	―	―	―	32.7	12.7	0.13
男性	小学生以下 と同居	61	37.7	1.6	3.3	9.8	3.3	1.6	―	―	―	―	―	34.4	8.2	0.40
	未就学児 と同居	39	41.0	2.6	2.6	7.7	2.6	―	―	―	―	―	―	35.9	7.7	0.26

※平均時間は、「該当しない」と「無回答」を除いた回答者の平均

(7)個人の時間（学習、趣味、スポーツ、友人付き合いなど）

＜仕事や学校のある日＞

個人の時間（学習、趣味、スポーツ、友人付き合いなど）は、全体の平均時間では 3.00 時間となっています。

「2 時間～3 時間未満」が 14.2%で最も高く、「4 時間～6 時間未満」「1 時間～2 時間未満」「3 時間～4 時間未満」が約 11%ずつとなっています。

【性別】

女性の平均時間が 2.60 時間、男性の平均時間が 3.48 時間で、男性が約 50 分長くなっています。

女性は「2 時間～3 時間未満」が 14.1%で最も高いのに対して、男性は「4 時間～6 時間未満」が 14.4%で最も高くなっています。6 時間以上の時間帯ではいずれも男性が高くなっており、合計すると女性は 4.6%、男性は 11.7%となっています。

小学生以下の子どもを子育て中の男女では、男性のほうが 42 分長くなっています。

【性年齢別】

女性の 40 歳代以下は、「2 時間～3 時間未満」や「1 時間～2 時間未満」が最も高い一方で、「0 分」が 1 割を超えています。

男性は 20・30 歳代では「1 時間～2 時間未満」が 24.2%、40 歳代では「4 時間～6 時間未満」が 22.1%とやや高くなっています。60 歳代と 70 歳以上では 8 時間以上の時間帯の回答が比較的高くなっています。

平均時間は、男女とも 50 歳代が最も短く、60 歳代以上が長い傾向です。

＜休みの日・仕事や学校のない日＞

個人の時間（学習、趣味、スポーツ、友人付き合いなど）は、全体の平均時間では 5.60 時間となっています。

「4 時間～6 時間未満」が 16.7%で最も高く、次いで「3 時間～4 時間未満」が 10.7%となっています。

【性別】

女性の平均時間が 4.44 時間、男性の平均時間が 7.01 時間で、男性が約 2 時間 30 分長くなっています。

女性では 10 時間以上の回答は合計で 6.6%ですが、男性では 27.7%と差が大きくなっています。

【性年齢別】

女性の 20・30 歳代は「10 時間～12 時間未満」「12 時間以上」が約 1 割を占め他の年代より高い一方で、「0 分」(5.5%)を含んだ 1 時間未満が 8.3%で、他の年代に比べて二極化の傾向がみられます。

男性は 20・30 歳代と 50 歳代では「12 時間以上」が高く、4 人に 1 人の割合となっています。

平均時間では、男女とも 20・30 歳代が最も長くなっています。

性別、性年齢別 生活時間 — (7)個人の時間(学習、趣味、スポーツ、友人付き合いなど)

		回答者数(n)	0分	1分 30分未満	1時間 30分未満	2時間 1時間未満	3時間 2時間未満	4時間 3時間未満	6時間 4時間未満	8時間 6時間未満	10時間 8時間未満	12時間 10時間未満	12時間以上	該当しない	無回答	平均時間
(7)個人の時間(学習、趣味、スポーツ、友人付き合いなど) — 仕事や学校のある日																
全体		888	6.2	0.2	3.0	11.8	14.2	11.6	11.9	3.4	1.9	1.1	1.1	12.0	21.4	3.00
性別	女性	497	7.8	0.2	2.8	10.7	14.1	12.7	10.3	2.6	1.0	0.8	0.2	13.1	23.7	2.60
	男性	375	4.3	0.3	3.5	13.3	13.9	10.7	14.4	4.5	3.2	1.6	2.4	10.9	17.1	3.48
女性	20・30歳代	109	11.0	0.9	2.8	11.9	19.3	9.2	16.5	4.6	0.9	-	-	13.8	9.2	2.56
	40歳代	97	11.3	-	7.2	16.5	18.6	18.6	10.3	1.0	1.0	-	-	9.3	6.2	2.11
	50歳代	83	14.5	-	2.4	16.9	12.0	10.8	8.4	1.2	-	1.2	-	13.3	19.3	2.00
	60歳代	96	3.1	-	2.1	7.3	14.6	16.7	9.4	2.1	-	3.1	-	18.8	22.9	3.05
	70歳以上	111	-	-	-	2.7	6.3	9.0	6.3	3.6	2.7	-	0.9	10.8	57.7	4.17
男性	20・30歳代	66	7.6	1.5	3.0	24.2	13.6	12.1	13.6	7.6	3.0	3.0	-	9.1	1.5	2.94
	40歳代	68	5.9	-	2.9	16.2	17.6	14.7	22.1	4.4	-	-	1.5	8.8	5.9	2.97
	50歳代	54	5.6	-	11.1	11.1	16.7	9.3	11.1	5.6	1.9	-	-	18.5	9.3	2.56
	60歳代	77	2.6	-	3.9	16.9	14.3	9.1	16.9	2.6	5.2	2.6	6.5	9.1	10.4	4.19
	70歳以上	110	1.8	-	-	3.6	10.0	9.1	10.0	3.6	4.5	1.8	2.7	10.9	41.8	4.50
女性	小学生以下 と同居	101	17.8	1.0	4.0	18.8	18.8	8.9	5.0	1.0	-	-	-	12.9	11.9	1.53
	未就学児 と同居	55	23.6	1.8	5.5	20.0	10.9	1.8	3.6	-	-	-	-	16.4	16.4	0.99
男性	小学生以下 と同居	61	9.8	-	4.9	26.2	8.2	14.8	11.5	3.3	1.6	-	-	11.5	8.2	2.23
	未就学児 と同居	39	10.3	-	5.1	35.9	5.1	12.8	10.3	-	2.6	-	-	12.8	5.1	1.92
(7)個人の時間(学習、趣味、スポーツ、友人付き合いなど) — 休みの日・仕事や学校のない日																
全体		888	2.5	0.1	0.5	7.0	9.9	10.7	16.7	8.7	7.0	7.0	8.6	4.4	17.1	5.60
性別	女性	497	3.8	-	0.8	7.0	12.1	11.9	17.7	9.3	5.6	3.0	3.6	6.0	19.1	4.44
	男性	375	0.8	0.3	-	6.9	6.7	9.1	15.7	8.3	9.1	12.5	15.2	2.4	13.1	7.01
女性	20・30歳代	109	5.5	-	2.8	9.2	16.5	5.5	17.4	11.0	4.6	10.1	9.2	3.7	4.6	5.14
	40歳代	97	5.2	-	-	11.3	11.3	12.4	22.7	12.4	7.2	1.0	2.1	7.2	7.2	4.19
	50歳代	83	7.2	-	1.2	3.6	6.0	16.9	22.9	9.6	6.0	2.4	3.6	4.8	15.7	4.32
	60歳代	96	2.1	-	-	7.3	13.5	16.7	16.7	9.4	1.0	1.0	3.1	8.3	20.8	4.00
	70歳以上	111	-	-	-	3.6	10.8	9.9	10.8	4.5	9.0	-	-	6.3	45.0	4.28
男性	20・30歳代	66	-	1.5	-	9.1	6.1	7.6	10.6	12.1	9.1	15.2	24.2	1.5	3.0	7.76
	40歳代	68	-	-	-	10.3	7.4	14.7	10.3	5.9	13.2	19.1	11.8	4.4	2.9	6.83
	50歳代	54	1.9	-	-	7.4	3.7	11.1	18.5	5.6	1.9	14.8	24.1	3.7	7.4	7.68
	60歳代	77	1.3	-	-	1.3	9.1	5.2	20.8	11.7	13.0	11.7	16.9	1.3	7.8	7.48
	70歳以上	110	0.9	-	-	7.3	6.4	8.2	17.3	6.4	7.3	6.4	6.4	1.8	31.8	5.65
女性	小学生以下 と同居	101	9.9	-	3.0	18.8	18.8	13.9	11.9	2.0	2.0	1.0	-	9.9	8.9	2.40
	未就学児 と同居	55	14.5	-	5.5	23.6	21.8	7.3	5.5	-	-	-	-	10.9	10.9	1.52
男性	小学生以下 と同居	61	-	1.6	-	14.8	18.0	21.3	14.8	3.3	6.6	8.2	1.6	6.6	3.3	4.09
	未就学児 と同居	39	-	2.6	-	20.5	15.4	25.6	10.3	5.1	-	5.1	2.6	10.3	2.6	3.52

※平均時間は、「該当しない」と「無回答」を除いた回答者の平均

(8)睡眠時間

<仕事や学校のある日>

睡眠時間は、全体の平均時間では 6.70 時間となっています。

「6 時間～8 時間未満」が 53.2%で最も高くなっています。次いで、「8 時間～10 時間未満」が 16.3%、「4 時間～6 時間未満」が 9.6%となっています。

【性別】

女性の平均時間が 6.62 時間、男性の平均時間が 6.82 時間で、男性がやや長くなっています。

男女とも「6 時間～8 時間未満」が約 53%でほぼ同率となっており、次いで「8 時間～10 時間未満」が女性は 13.9%に対して、男性は 20.0%と高くなっています。

小学生以下の子どもを子育て中の男女では、女性のほうがやや長くなっています。

【性年齢別】

女性は、40 歳代では「6 時間～8 時間未満」が 72.2%と他の年代より高くなっており、「4 時間～6 時間未満」も他の年代よりやや高くなっています。

男性は 20・30 歳代では「6 時間～8 時間未満」が 71.2%と他の年代より高く、50 歳代以上では「8 時間～10 時間未満」が 2 割強と他の年代より高くなっています。40 歳代では女性と同じく「4 時間～6 時間未満」が他の年代より高くなっています。

平均時間は、男女とも 70 歳以上が最も長く、女性が 7.18 時間、男性が 7.50 時間となっています。

<休みの日・仕事や学校のない日>

睡眠時間は、全体の平均時間は 7.37 時間で、仕事や学校のある日に比べて約 40 分長くなっています。

「6 時間～8 時間未満」が 42.9%で最も高く、次いで「8 時間～10 時間未満」が 34.3%となっています。

【性別】

女性の平均時間が 7.20 時間、男性の平均時間が 7.61 時間で、男性が約 25 分長くなっています。

女性は「6 時間～8 時間未満」が 45.3%で最も高く、男性は「8 時間～10 時間未満」が 40.3%で最も高くなっています。

【性年齢別】

女性は、40 歳代では「6 時間～8 時間未満」が 61.9%と他の年代より高く、20・30 歳代と 50 歳代では「8 時間～10 時間未満」が 3 割強と他の年代より高くなっています。60 歳代では「4 時間～6 時間未満」が約 1 割でやや高くなっています。

男性は 40 歳代以下と 70 歳以上では「8 時間～10 時間未満」が最も高く、50 歳代と 60 歳代では「6 時間～8 時間未満」が最も高くなっています。また、20・30 歳代では「10 時間～12 時間未満」が 1 割強でやや高くなっています。

男性の 20・30 歳代では平均時間が 8.02 時間で、男女すべての年代の中で最も長くなっています。

性別、性年齢別 生活時間 — (8)睡眠時間

		回答者数(n)	0分	1分 30分未満	1時間 30分未満	1時間 2時間未満	2時間 3時間未満	3時間 4時間未満	4時間 6時間未満	6時間 8時間未満	8時間 10時間未満	10時間 12時間未満	12時間以上	該当しない	無回答	平均時間
(8)睡眠時間 — 仕事や学校のある日																
全体		888	-	-	-	-	-	0.5	9.6	53.2	16.3	0.8	0.1	4.6	15.0	6.70
性別	女性	497	-	-	-	-	-	0.6	10.5	53.5	13.9	0.8	-	4.8	15.9	6.62
	男性	375	-	-	-	-	-	0.3	8.0	53.6	20.0	0.8	0.3	4.3	12.8	6.82
女性	20・30 歳代	109	-	-	-	-	-	0.9	11.0	61.5	19.3	-	-	3.7	3.7	6.60
	40 歳代	97	-	-	-	-	-	1.0	14.4	72.2	8.2	-	-	1.0	3.1	6.41
	50 歳代	83	-	-	-	-	-	1.2	12.0	65.1	10.8	-	-	3.6	7.2	6.37
	60 歳代	96	-	-	-	-	-	-	11.5	47.9	16.7	1.0	-	7.3	15.6	6.76
	70 歳以上	111	-	-	-	-	-	-	4.5	25.2	13.5	2.7	-	8.1	45.9	7.18
男性	20・30 歳代	66	-	-	-	-	-	1.5	10.6	71.2	13.6	-	-	1.5	1.5	6.63
	40 歳代	68	-	-	-	-	-	-	19.1	67.6	10.3	1.5	-	-	1.5	6.35
	50 歳代	54	-	-	-	-	-	-	11.1	61.1	22.2	-	-	-	5.6	6.60
	60 歳代	77	-	-	-	-	-	-	5.2	55.8	24.7	2.6	-	6.5	5.2	7.03
	70 歳以上	110	-	-	-	-	-	-	-	29.1	25.5	-	0.9	9.1	35.5	7.50
女性	小学生以下 と同居	101	-	-	-	-	-	1.0	14.9	61.4	12.9	-	-	5.0	5.0	6.38
	未就学児 と同居	55	-	-	-	-	-	1.8	16.4	58.2	9.1	-	-	5.5	9.1	6.19
男性	小学生以下 と同居	61	-	-	-	-	-	1.6	19.7	62.3	11.5	-	-	1.6	3.3	6.25
	未就学児 と同居	39	-	-	-	-	-	2.6	23.1	61.5	12.8	-	-	-	-	6.17
(8)睡眠時間 — 休みの日・仕事や学校のない日																
全体		888	-	-	-	-	-	0.2	4.6	42.9	34.3	4.2	0.5	0.7	12.6	7.37
性別	女性	497	-	-	-	-	-	0.2	6.0	45.3	30.6	3.0	0.2	0.8	13.9	7.20
	男性	375	-	-	-	-	-	0.3	2.7	39.5	40.3	5.9	0.8	0.5	10.1	7.61
女性	20・30 歳代	109	-	-	-	-	-	-	7.3	45.9	35.8	7.3	0.9	-	2.8	7.42
	40 歳代	97	-	-	-	-	-	-	6.2	61.9	27.8	-	-	-	4.1	6.91
	50 歳代	83	-	-	-	-	-	1.2	3.6	49.4	33.7	2.4	-	-	9.6	7.10
	60 歳代	96	-	-	-	-	-	-	10.4	46.9	25.0	1.0	-	2.1	14.6	6.98
	70 歳以上	111	-	-	-	-	-	-	2.7	26.1	29.7	3.6	-	1.8	36.0	7.63
男性	20・30 歳代	66	-	-	-	-	-	-	3.0	36.4	42.4	12.1	3.0	-	3.0	8.02
	40 歳代	68	-	-	-	-	-	-	5.9	38.2	44.1	8.8	-	-	2.9	7.51
	50 歳代	54	-	-	-	-	-	-	-	51.9	38.9	3.7	-	-	5.6	7.38
	60 歳代	77	-	-	-	-	-	-	3.9	46.8	40.3	2.6	-	1.3	5.2	7.34
	70 歳以上	110	-	-	-	-	-	0.9	0.9	30.9	37.3	3.6	0.9	0.9	24.5	7.76
女性	小学生以下 と同居	101	-	-	-	-	-	-	7.9	58.4	26.7	-	-	-	6.9	6.84
	未就学児 と同居	55	-	-	-	-	-	-	10.9	58.2	21.8	-	-	-	9.1	6.71
男性	小学生以下 と同居	61	-	-	-	-	-	-	3.3	52.5	32.8	8.2	-	-	3.3	7.43
	未就学児 と同居	39	-	-	-	-	-	-	2.6	66.7	23.1	5.1	-	-	2.6	7.14

※平均時間は、「該当しない」と「無回答」を除いた回答者の平均

(9)その他

<仕事や学校のある日>

その他の時間は、全体の平均時間では4.14時間となっています。

「4時間～6時間未満」が14.1%で最も高く、次いで「2時間～3時間未満」が11.3%となっています。

【性別】

女性の平均時間が4.12時間、男性の平均時間が4.19時間で、男女で大きな差はみられません。

男女とも、「4時間～6時間未満」「2時間～3時間未満」の順で高くなっており、いずれの時間帯も男女で大きな差はみられません。

【性年齢別】

女性は、40歳代では「1時間～2時間未満」と「2時間～3時間未満」が他の年代より高く、50歳代では、「4時間～6時間未満」と「6時間～8時間未満」が他の年代より高くなっています。また、60歳代では、8時間以上の時間帯の合計が約2割を占めています。

男性は60歳代では「4時間～6時間未満」が22.1%と他の年代より高くなっています。

男女とも20・30歳代では「0分」が約1割となっており、平均時間は70歳以上が最も長くなっています。

<休みの日・仕事や学校のない日>

その他の時間は、全体の平均時間では5.88時間となっています。

「6時間～8時間未満」が12.5%で最も高く、次いで「4時間～6時間未満」が11.4%となっています。

【性別】

女性の平均時間が5.58時間、男性の平均時間が6.19時間で、男性が30分以上長くなっています。

4時間～10時間未満の時間帯では女性が高くなっており、10時間以上の時間帯では男性が高くなっています。

【性年齢別】

女性は、40歳代と50歳代では「6時間～8時間未満」、60歳代と70歳以上では「8時間～10時間未満」が最も高くなっています。また、60歳代では、「12時間以上」が10.4%と高くなっています。

男性は50歳代と70歳以上では「12時間以上」が高くなっており、それぞれ16.7%、12.7%となっています。

女性の60歳代と70歳以上、男性の70歳以上では平均時間が7時間を超えており、男性の70歳以上では約8時間となっています。一方、女性の20・30歳代では「0分」が約1割で、仕事や学校のある日とほとんど同じです。

性別、性年齢別 生活時間 — (9)その他

		回答者数(n)	0分	1分 30分未満	1時間 30分未満	1時間 2時間未満	2時間 3時間未満	3時間 4時間未満	4時間 6時間未満	6時間 8時間未満	8時間 10時間未満	10時間 12時間未満	12時間以上	該当しない	無回答	平均時間
(9)その他 — 仕事や学校のある日																
全体		888	4.2	0.2	1.6	7.8	11.3	7.4	14.1	8.3	4.5	1.8	2.0	12.5	24.3	4.14
性別	女性	497	4.4	0.2	2.2	7.2	11.3	5.6	14.3	8.7	4.6	2.0	1.4	12.1	26.0	4.12
	男性	375	4.0	0.3	0.8	8.5	11.5	9.9	13.9	8.0	4.5	1.6	2.9	13.3	20.8	4.19
女性	20・30 歳代	109	11.9	—	4.6	7.3	13.8	5.5	18.3	4.6	0.9	—	0.9	17.4	14.7	2.79
	40 歳代	97	6.2	1.0	4.1	15.5	15.5	9.3	13.4	8.2	2.1	1.0	—	9.3	14.4	2.96
	50 歳代	83	2.4	—	2.4	8.4	7.2	7.2	26.5	16.9	3.6	2.4	—	7.2	15.7	4.38
	60 歳代	96	1.0	—	—	6.3	10.4	4.2	11.5	8.3	9.4	4.2	4.2	15.6	25.0	5.63
	70 歳以上	111	—	—	—	—	9.0	1.8	4.5	7.2	7.2	2.7	1.8	9.9	55.9	6.26
男性	20・30 歳代	66	9.1	—	1.5	13.6	15.2	13.6	10.6	7.6	1.5	—	—	19.7	7.6	2.89
	40 歳代	68	7.4	—	1.5	13.2	14.7	16.2	16.2	4.4	—	—	—	11.8	14.7	2.70
	50 歳代	54	5.6	—	—	13.0	11.1	11.1	16.7	11.1	1.9	3.7	1.9	13.0	11.1	4.00
	60 歳代	77	—	1.3	1.3	5.2	11.7	11.7	22.1	10.4	7.8	1.3	3.9	9.1	14.3	4.74
	70 歳以上	110	0.9	—	—	2.7	7.3	1.8	7.3	7.3	8.2	2.7	6.4	13.6	41.8	6.47
女性	小学生以下 と同居	101	15.8	1.0	5.0	7.9	12.9	—	7.9	4.0	2.0	2.0	—	19.8	21.8	2.44
	未就学児 と同居	55	27.3	—	3.6	9.1	7.3	—	5.5	1.8	—	—	—	23.6	21.8	1.23
男性	小学生以下 と同居	61	9.8	—	1.6	13.1	8.2	18.0	16.4	—	3.3	—	—	16.4	13.1	2.70
	未就学児 と同居	39	15.4	—	2.6	7.7	10.3	23.1	15.4	—	—	—	—	12.8	12.8	2.33
(9)その他 — 休みの日・仕事や学校のない日																
全体		888	4.6	0.1	1.0	3.9	7.4	6.4	11.4	12.5	8.3	5.2	8.0	9.3	21.7	5.88
性別	女性	497	5.2	0.2	1.2	4.4	6.4	6.4	12.1	13.3	9.3	4.2	6.0	8.9	22.3	5.58
	男性	375	4.0	—	0.8	3.5	8.5	6.7	10.9	11.7	7.2	6.7	9.9	10.1	20.0	6.19
女性	20・30 歳代	109	11.0	0.9	3.7	4.6	7.3	11.9	12.8	8.3	7.3	2.8	3.7	12.8	12.8	4.19
	40 歳代	97	8.2	—	—	10.3	9.3	6.2	12.4	19.6	4.1	3.1	4.1	9.3	13.4	4.60
	50 歳代	83	4.8	—	1.2	4.8	2.4	8.4	15.7	21.7	8.4	6.0	3.6	4.8	18.1	5.57
	60 歳代	96	1.0	—	—	2.1	4.2	5.2	11.5	13.5	14.6	5.2	10.4	10.4	21.9	7.18
	70 歳以上	111	—	—	0.9	0.9	8.1	0.9	9.0	6.3	11.7	4.5	8.1	6.3	43.2	7.17
男性	20・30 歳代	66	7.6	—	1.5	6.1	7.6	6.1	13.6	13.6	7.6	3.0	3.0	16.7	13.6	4.70
	40 歳代	68	7.4	—	2.9	5.9	13.2	10.3	11.8	7.4	1.5	7.4	7.4	11.8	13.2	4.71
	50 歳代	54	7.4	—	—	1.9	7.4	7.4	5.6	16.7	3.7	9.3	16.7	9.3	14.8	6.98
	60 歳代	77	—	—	—	2.6	14.3	7.8	13.0	14.3	13.0	5.2	9.1	9.1	11.7	6.27
	70 歳以上	110	0.9	—	—	1.8	2.7	3.6	10.0	9.1	8.2	8.2	12.7	6.4	36.4	7.90
女性	小学生以下 と同居	101	15.8	1.0	2.0	8.9	7.9	7.9	6.9	8.9	1.0	2.0	1.0	13.9	22.8	2.89
	未就学児 と同居	55	21.8	1.8	1.8	10.9	5.5	10.9	3.6	5.5	—	—	—	16.4	21.8	1.80
男性	小学生以下 と同居	61	11.5	—	1.6	6.6	11.5	8.2	9.8	4.9	1.6	3.3	6.6	16.4	18.0	4.06
	未就学児 と同居	39	15.4	—	2.6	2.6	12.8	10.3	10.3	5.1	2.6	2.6	2.6	12.8	20.5	3.23

※平均時間は、「該当しない」と「無回答」を除いた回答者の平均

(3) 男性の積極的家庭生活参加のために必要なこと

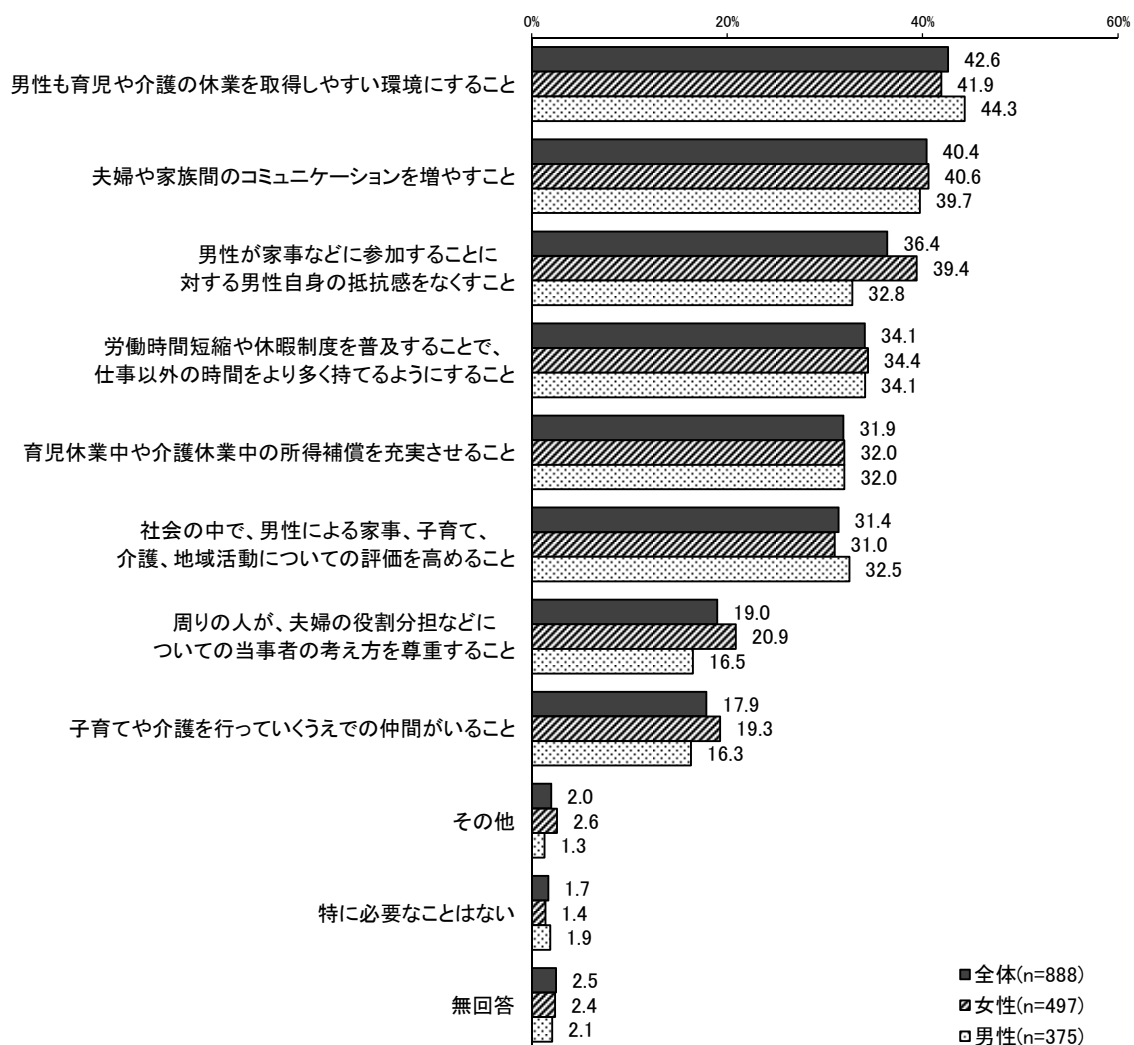
問8 あなたは、今後、男性が女性と共に家事、子育て、介護などの家庭生活により積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「男性も育児や介護の休業を取得しやすい環境にすること」が42.6%で最も高く、次いで「夫婦や家族間のコミュニケーションを増やすこと」が40.4%、「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」が36.4%、「労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること」が34.1%、「育児休業中や介護休業中の所得補償を充実させること」が31.9%、「社会の中で、男性による家事、子育て、介護、地域活動についての評価を高めること」が31.4%となっています。

【性別】

男女とも、「男性も育児や介護の休業を取得しやすい環境にすること」、「夫婦や家族間のコミュニケーションを増やすこと」の順で高くなっており、ほぼ同率となっています。次いで、女性は「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」、男性は「労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること」となっています。

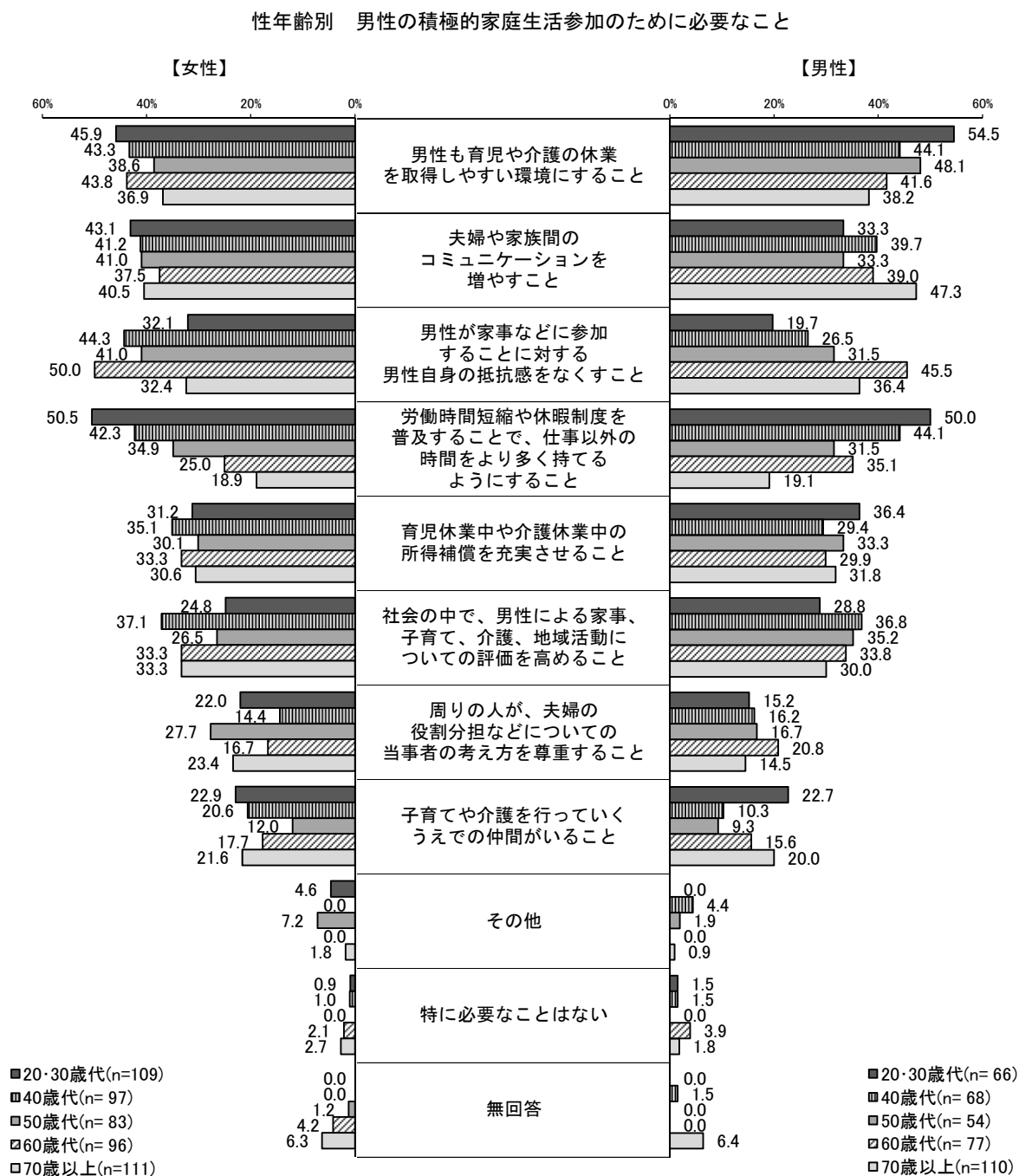
性別 男性の積極的家庭生活参加のために必要なこと



【性年齢別】

男女とも 20・30 歳代で「男性も育児や介護の休業を取得しやすい環境にすること」「労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること」が最も高く、年齢が高くなるにつれて低くなる傾向となっています。

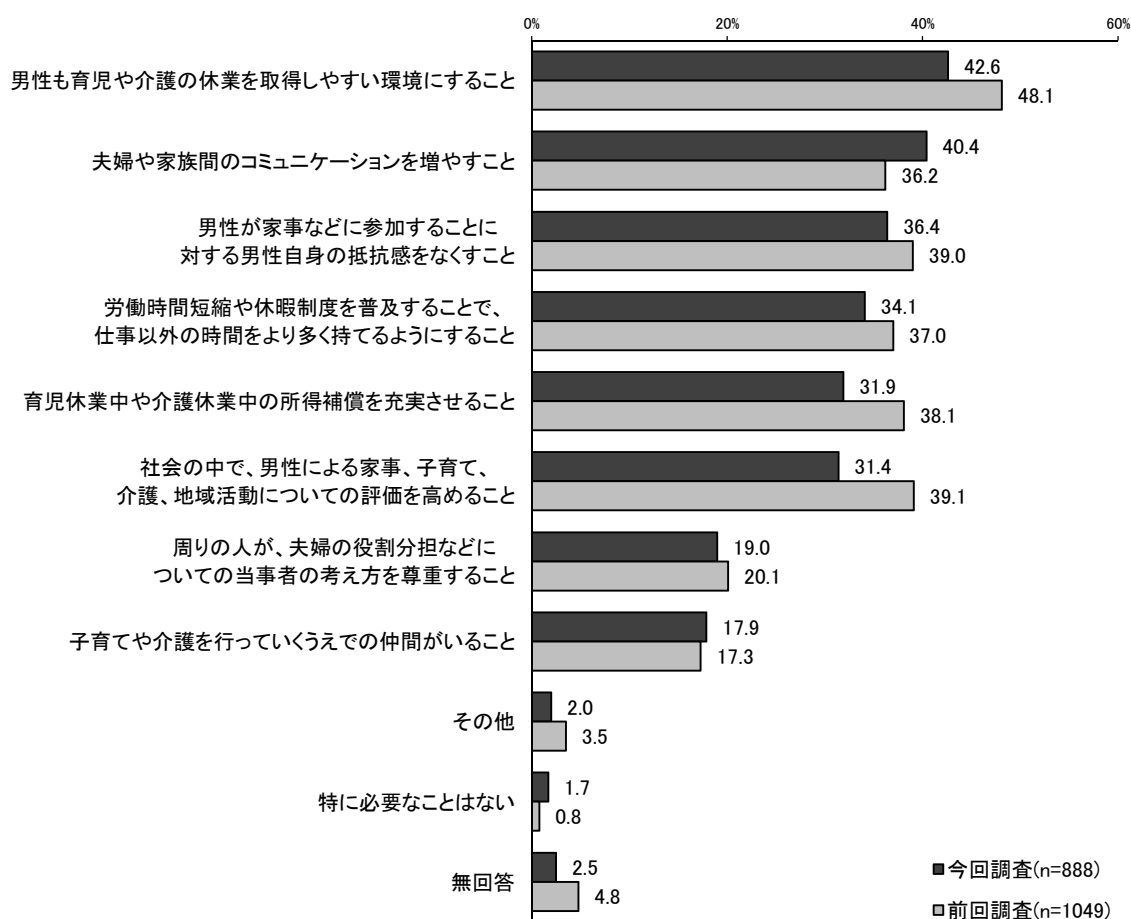
男女とも 60 歳代で「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」が最も高く、同項目では 20・30 歳代が最も低くなっています。



＜前回調査との比較＞

「前回調査・平成26年度」より「夫婦や家族間のコミュニケーションを増やすこと」（前回調査36.2%、今回調査40.4%）と「子育てや介護を行っていくうえでの仲間がいること」（前回調査17.3%、今回調査17.9%）はわずかに高くなっていますが、他の項目はすべて低くなっています。

男性の積極的家庭生活参加のために必要なこと（前回調査・平成26年度との比較）



(4) 職場でのワーク・ライフ・バランス実現への取り組み

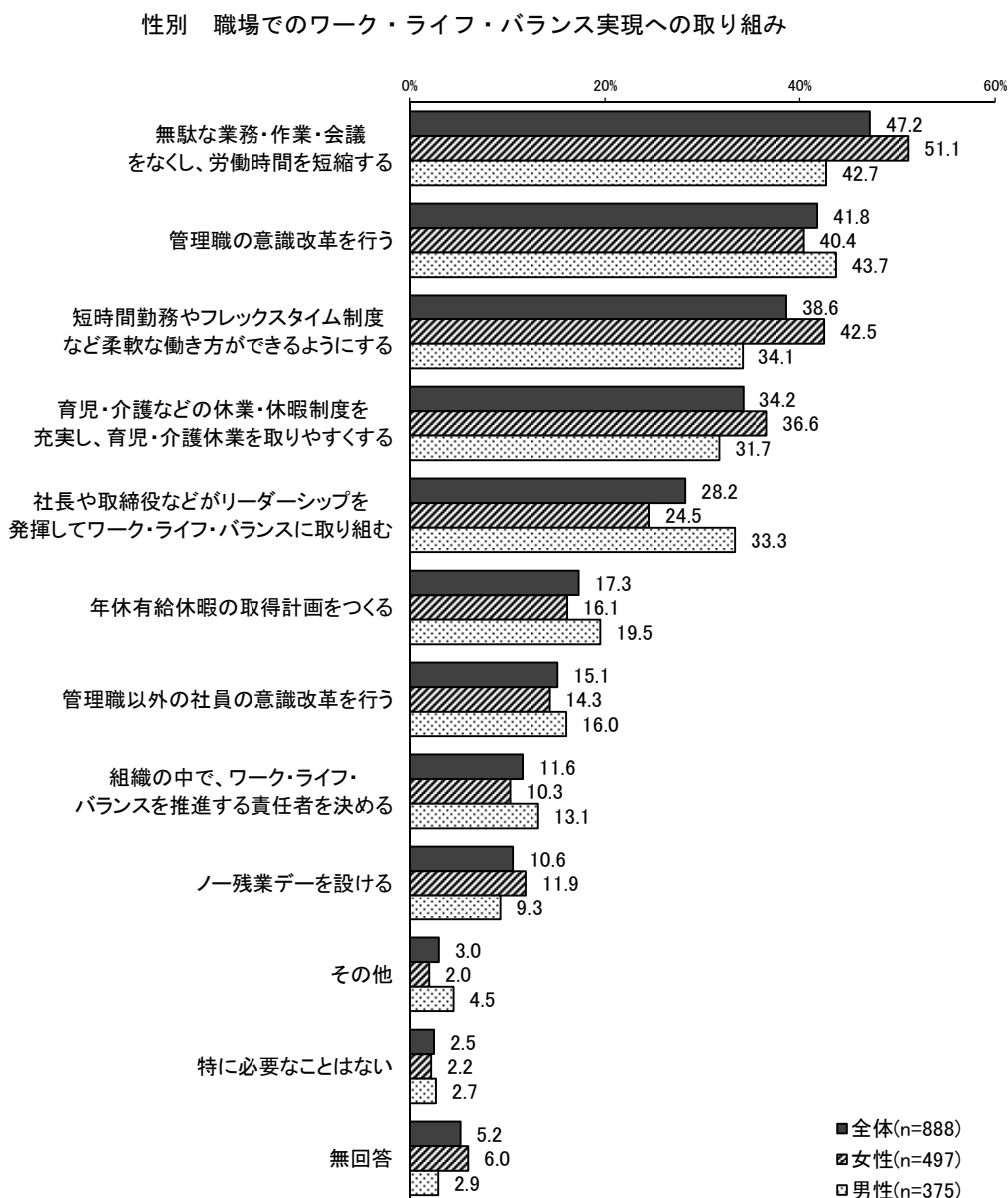
問9 「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）が実現された社会」に近づくために、職場においてどのような取り組みが必要だと思いますか。（〇は3つまで）

「無駄な業務・作業・会議をなくし、労働時間を短縮する」が47.2%で最も高く、次いで「管理職の意識改革を行う」が41.8%、「短時間勤務やフレックスタイム制度など柔軟な働き方ができるようにする」が38.6%、「育児・介護などの休業・休暇制度を充実し、育児・介護休業を取りやすくする」が34.2%となっています。

【性別】

女性では、「無駄な業務・作業・会議をなくし、労働時間を短縮する」と「短時間勤務やフレックスタイム制度など柔軟な働き方ができるようにする」が高く、いずれも男性より8.4ポイント高くなっています。

男性では、「社長や取締役などがリーダーシップを発揮してワーク・ライフ・バランスに取り組む」が高く、女性より8.8ポイント高くなっています。



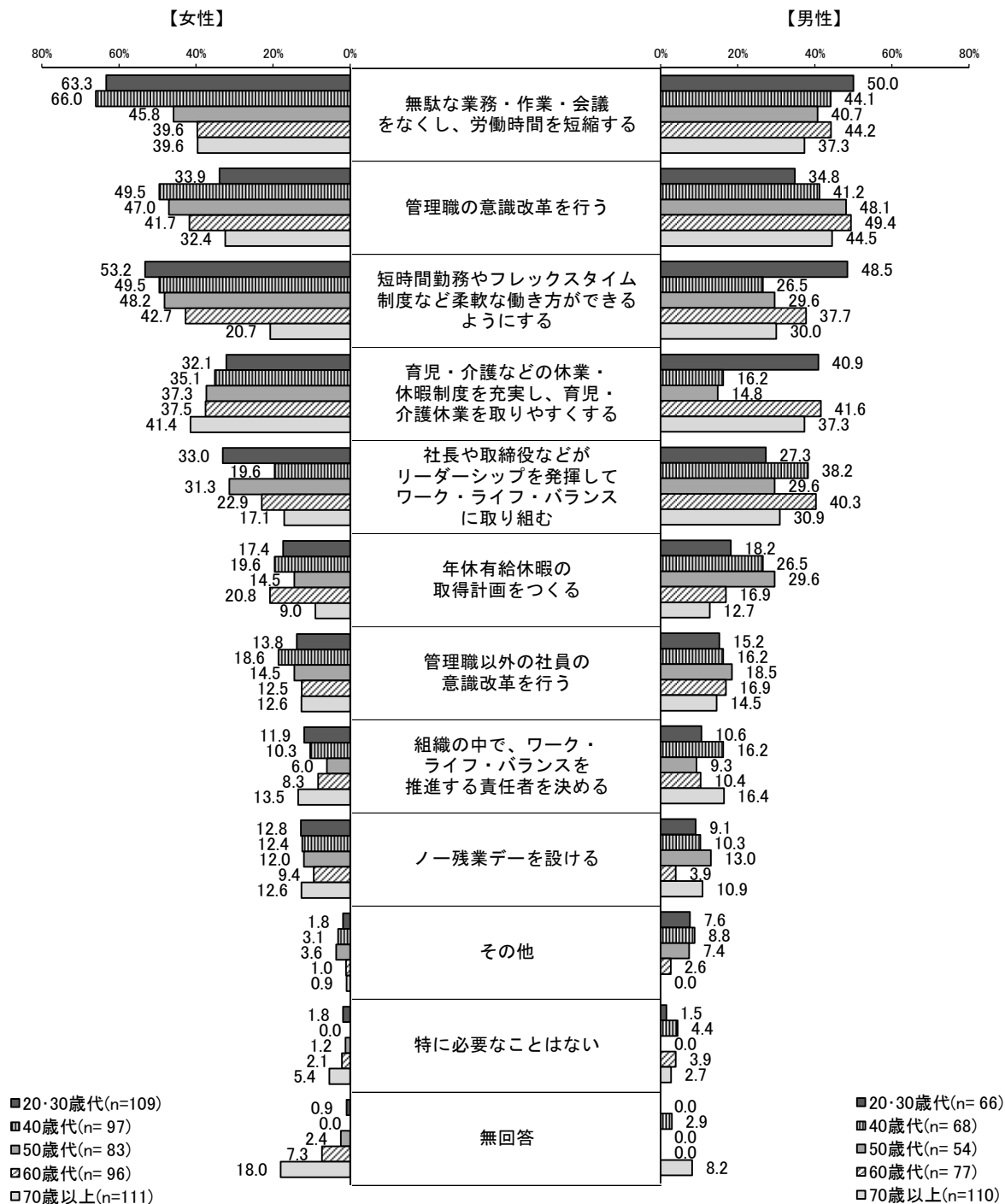
【性年齢別】

女性の20・30歳代と40歳代では「無駄な業務・作業・会議をなくし、労働時間を短縮する」が高く6割を超えています。

女性の20・30歳代と50歳代、男性の40歳代と60歳代では「社長や取締役などがリーダーシップを発揮してワーク・ライフ・バランスに取り組む」が高くなっています。

男女とも20・30歳代では「短時間勤務やフレックスタイム制度など柔軟な働き方ができるようにする」が高く、女性は年齢が低くなるほど高くなっています。

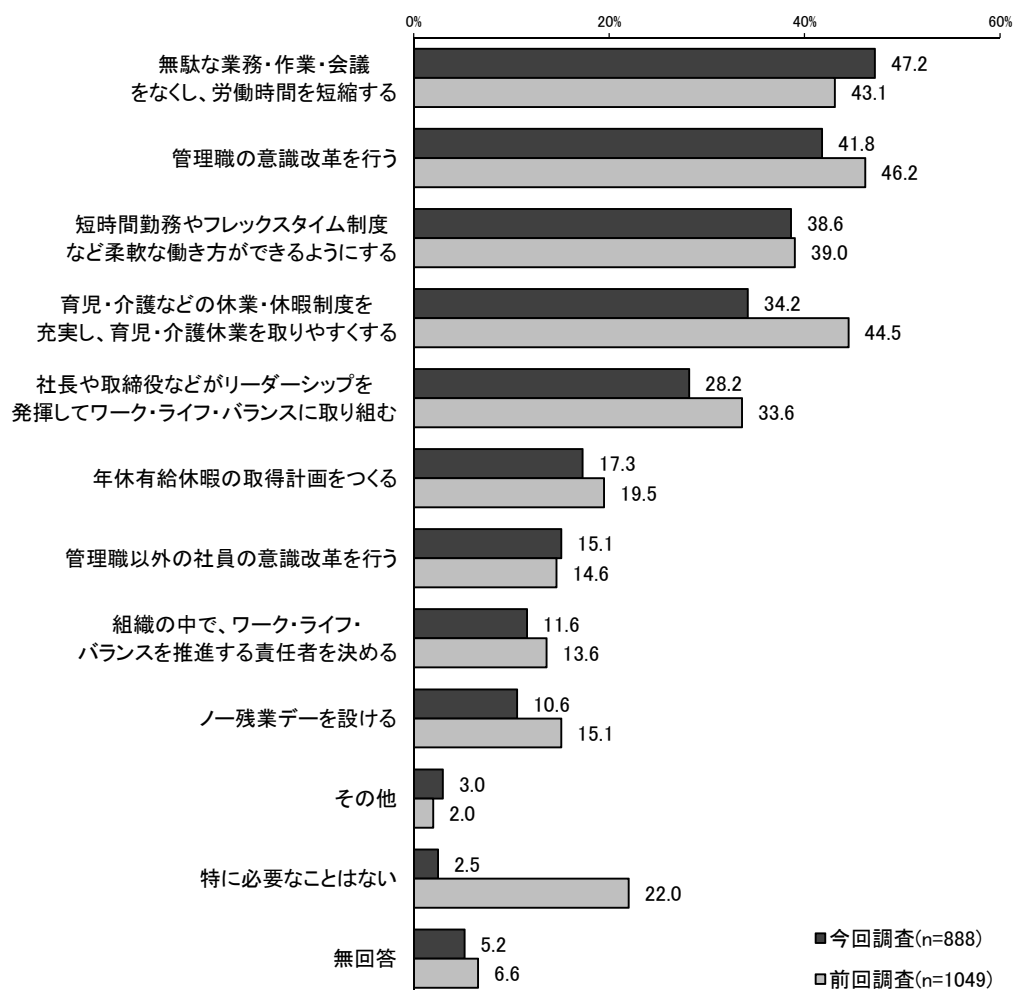
性年齢別 職場でのワーク・ライフ・バランス実現への取り組み



＜前回調査との比較＞

「前回調査・平成26年度」より、「無駄な業務・作業・会議をなくし、労働時間を短縮する」と「管理職以外の社員の意識改革を行う」は高くなっていますが、これら以外の項目は低くなっており、「育児・介護などの休業・休暇制度を充実し、育児・介護休業を取りやすくする」（前回調査 44.5%、今回調査 34.2%）は 10.3 ポイント減少しています。ただし、「特に必要なことはない」（前回調査 22.0%、今回調査 2.5%）は「前回調査」より大幅に低くなっています。

職場でのワーク・ライフ・バランス実現への取り組み（前回調査・平成26年度との比較）



4. 労働について

(1) 現在の職業

問 10 あなたの現在の職業、配偶者・パートナーの職業は、次のどれにあたりますか。（それぞれ1つの番号を回答欄に記入してください。配偶者・パートナーのいない方はご自身の欄のみに記入してください。）

【自身の職業】

「勤め人（正規の社員や職員、会社などの役員）」が32.3%で最も高く、次いで「無職」が18.8%、「勤め人（非正規の社員や職員（パート・アルバイト・派遣など）で週あたりの就業時間が35時間未満）」と「家事専業」がともに14.8%となっています。職業を持っている人は61.1%となっています。

【性別】

女性では、「家事専業」が26.0%で最も高く、次いで「勤め人（非正規の社員や職員（パート・アルバイト・派遣など）で週あたりの就業時間が35時間未満）」が21.3%、「勤め人（正規の社員や職員、会社などの役員）」が20.3%となっています。現在働いている人は55.7%となっています。

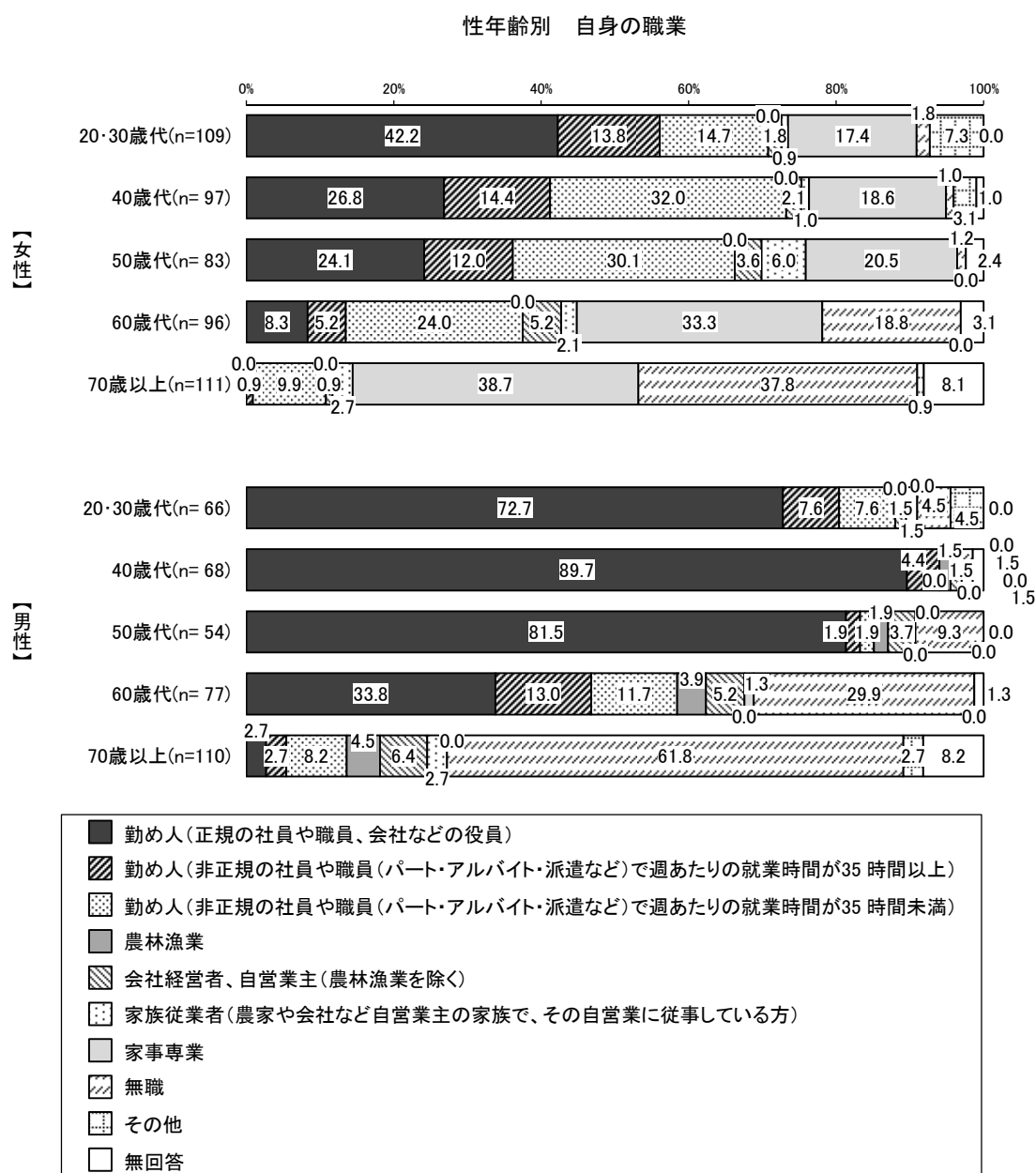
男性では、「勤め人（正規の社員や職員、会社などの役員）」が48.5%で最も高く、次いで「無職」が26.7%となっています。職業を持っている人は68.6%となっています。



【性年齢別】

女性では、20・30 歳代では「勤め人（正規の社員や職員、会社などの役員）」、40 歳代と 50 歳代では「勤め人（非正規の社員や職員（パート・アルバイト・派遣など）で週あたりの就業時間が 35 時間未満）」、60 歳代以上では「家事専業」が最も高くなっています。

男性では、40 歳代と 50 歳代では「勤め人（正規の社員や職員、会社などの役員）」が 8 割を超えています。20・30 歳代では「勤め人（正規の社員や職員、会社などの役員）」は約 7 割で、「勤め人（非正規の社員や職員（パート・アルバイト・派遣など）で週あたりの就業時間が 35 時間以上）」または「勤め人（非正規の社員や職員（パート・アルバイト・派遣など）で週あたりの就業時間が 35 時間未満）」が 15.2%となっています。



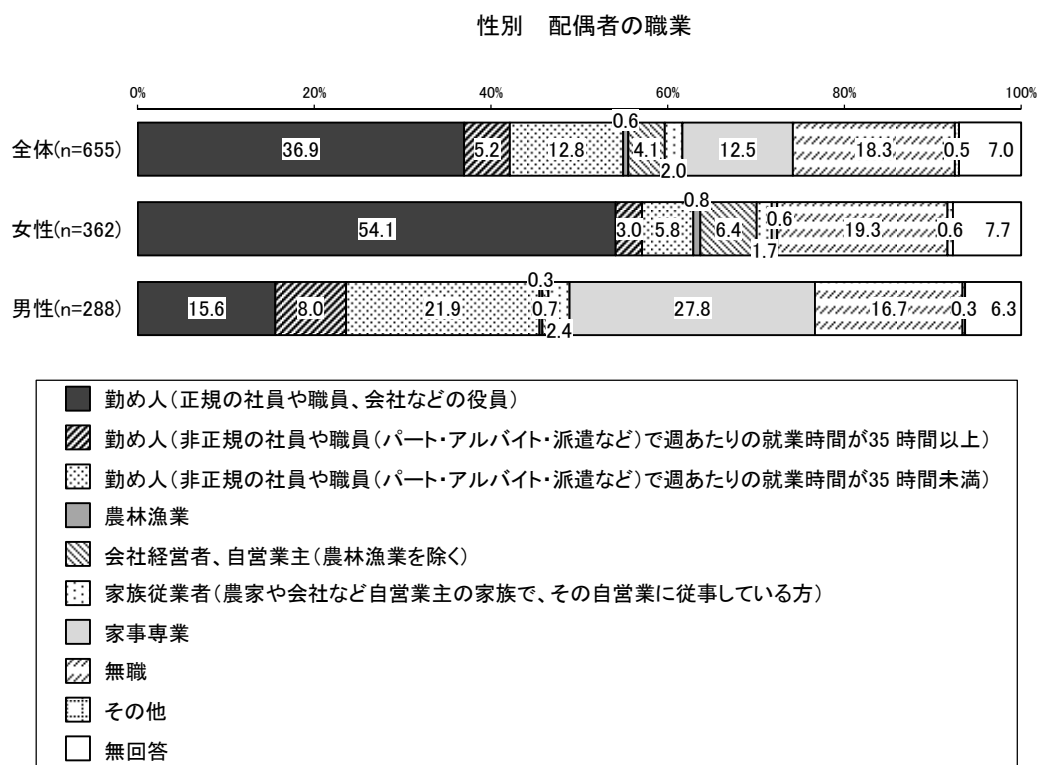
【配偶者の職業】

「勤め人（正規の社員や職員、会社などの役員）」が 36.9% で最も高く、次いで「無職」が 18.3%、「勤め人（非正規の社員や職員（パート・アルバイト・派遣など）で週あたりの就業時間が 35 時間未満）」が 12.8%、「家事専業」が 12.5% となっています。職業を持っている人は 61.6% となっています。

【性別】

女性では、「勤め人（正規の社員や職員、会社などの役員）」が 54.1% で最も高く、次いで「無職」が 19.3% となっています。現在働いている人は 71.8% となっています。

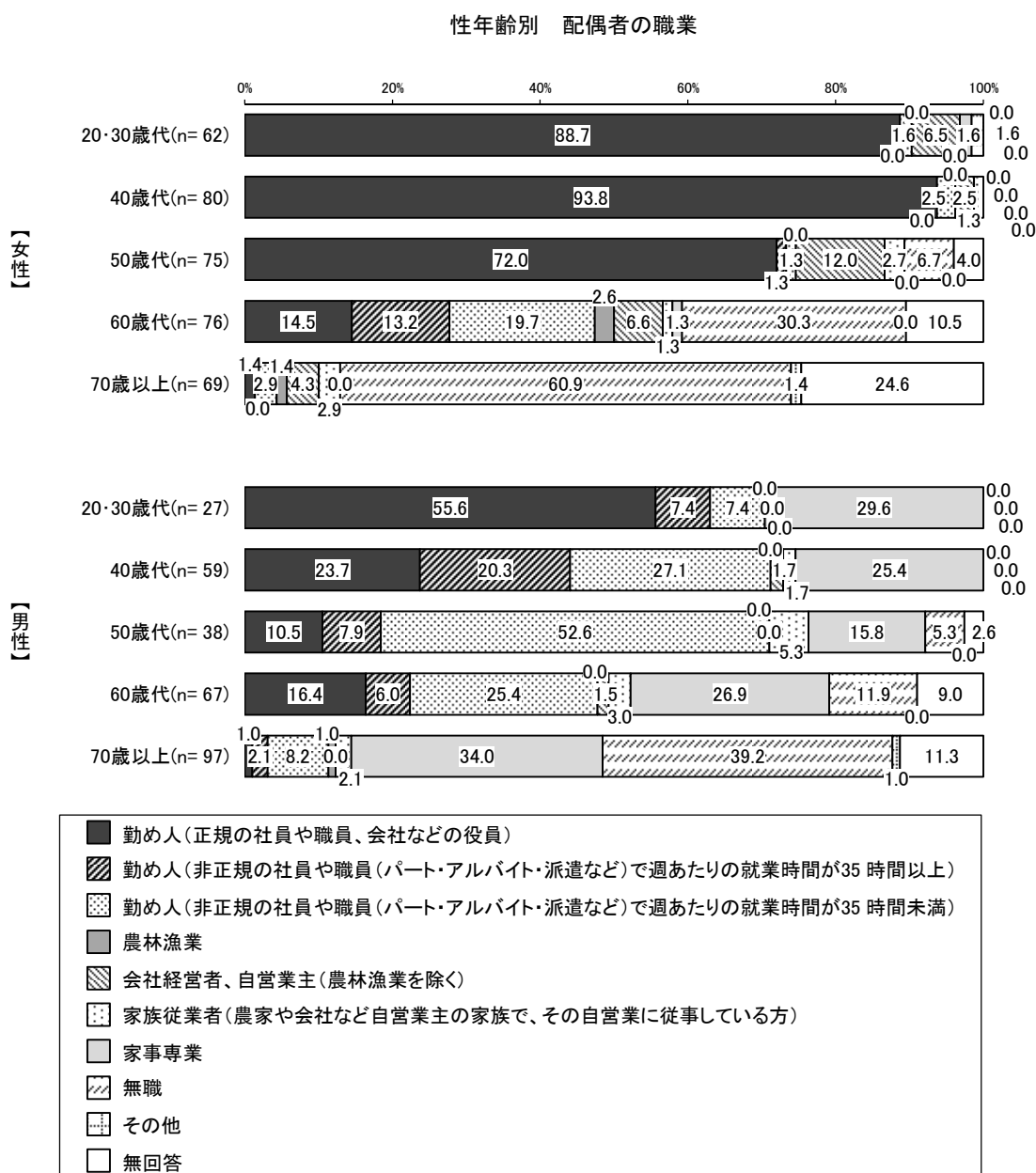
男性では、「家事専業」が 27.8% で最も高く、次いで「勤め人（非正規の社員や職員（パート・アルバイト・派遣など）で週あたりの就業時間が 35 時間未満）」が 21.9%、「無職」が 16.7% となっています。職業を持っている人は 48.9% となっています。



【性年齢別】

女性では、40 歳代以下では「勤め人（正規の社員や職員、会社などの役員）」が約 9 割を占めていますが、50 歳代では「勤め人（正規の社員や職員、会社などの役員）」は約 7 割で、「会社経営者、自営業主（農林漁業を覗く）」が 12.0%となっています。

男性では、20・30 歳代では「勤め人（正規の社員や職員、会社などの役員）」、50 歳代では「勤め人（非正規の社員や職員（パート・アルバイト・派遣など）で週あたりの就業時間が 35 時間未満）」が高く、いずれも 5 割強を占めています。40 歳代では、「勤め人（正規の社員や職員、会社などの役員）」「勤め人（非正規の社員や職員（パート・アルバイト・派遣など）で週あたりの就業時間が 35 時間以上）」「勤め人（非正規の社員や職員（パート・アルバイト・派遣など）で週あたりの就業時間が 35 時間未満）」「家事専業」がそれぞれ 2 割台となっています。



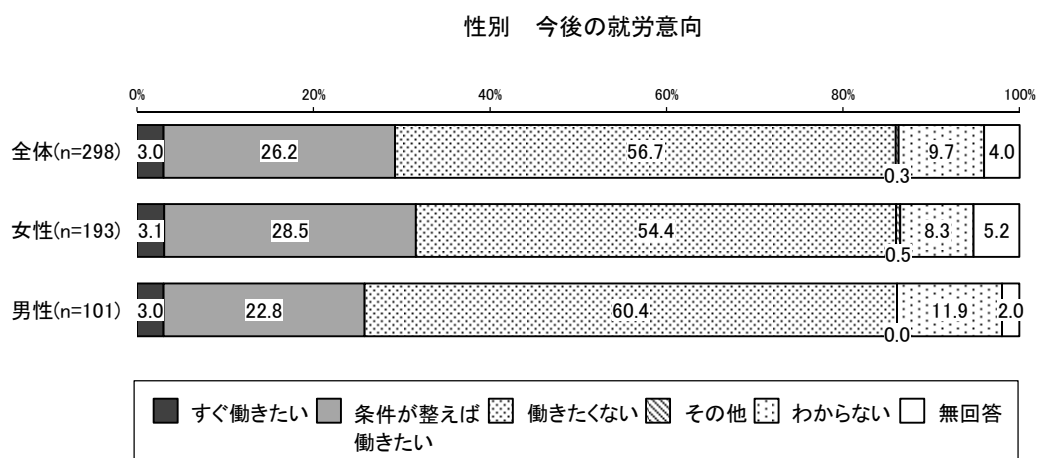
(2) 今後の就労意向

問 11-1 問 10 で、ご自身が「7. 家事専業」または「8. 無職」と回答された方におたずねします。あなたは、今後、働きたいと思いますか。(1つに○)

「働きたくない」が 56.7% で最も高く、次いで「条件が整えば働きたい」が 26.2%、「わからない」が 9.7%、「すぐ働きたい」が 3.0% となっています。『働きたい』（「すぐ働きたい」と「条件が整えば働きたい」の合計）は約 3 割となっています。

【性別】

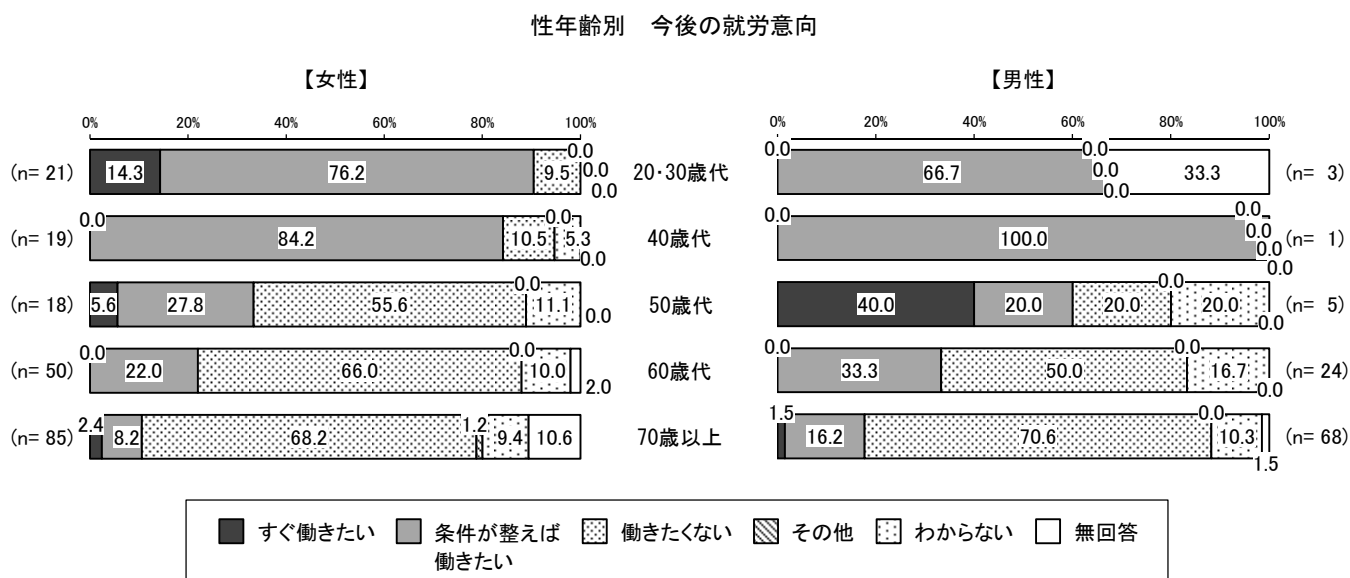
男女とも、「すぐ働きたい」はほぼ同率ですが、「条件が整えば働きたい」が女性 28.5%、男性 22.8% となっており、女性のほうが就労意向がやや高くなっています。



【性年齢別】

女性では、年齢が高くなるほど就労意向が低くなっていますが、60 歳代では 22.0%、70 歳以上では 10.6% の人が『働きたい』と回答しています。

男性では、60 歳代では 33.3%、70 歳代以上では 17.7% の人が『働きたい』と回答しています。



(3) 現在働くことができない理由

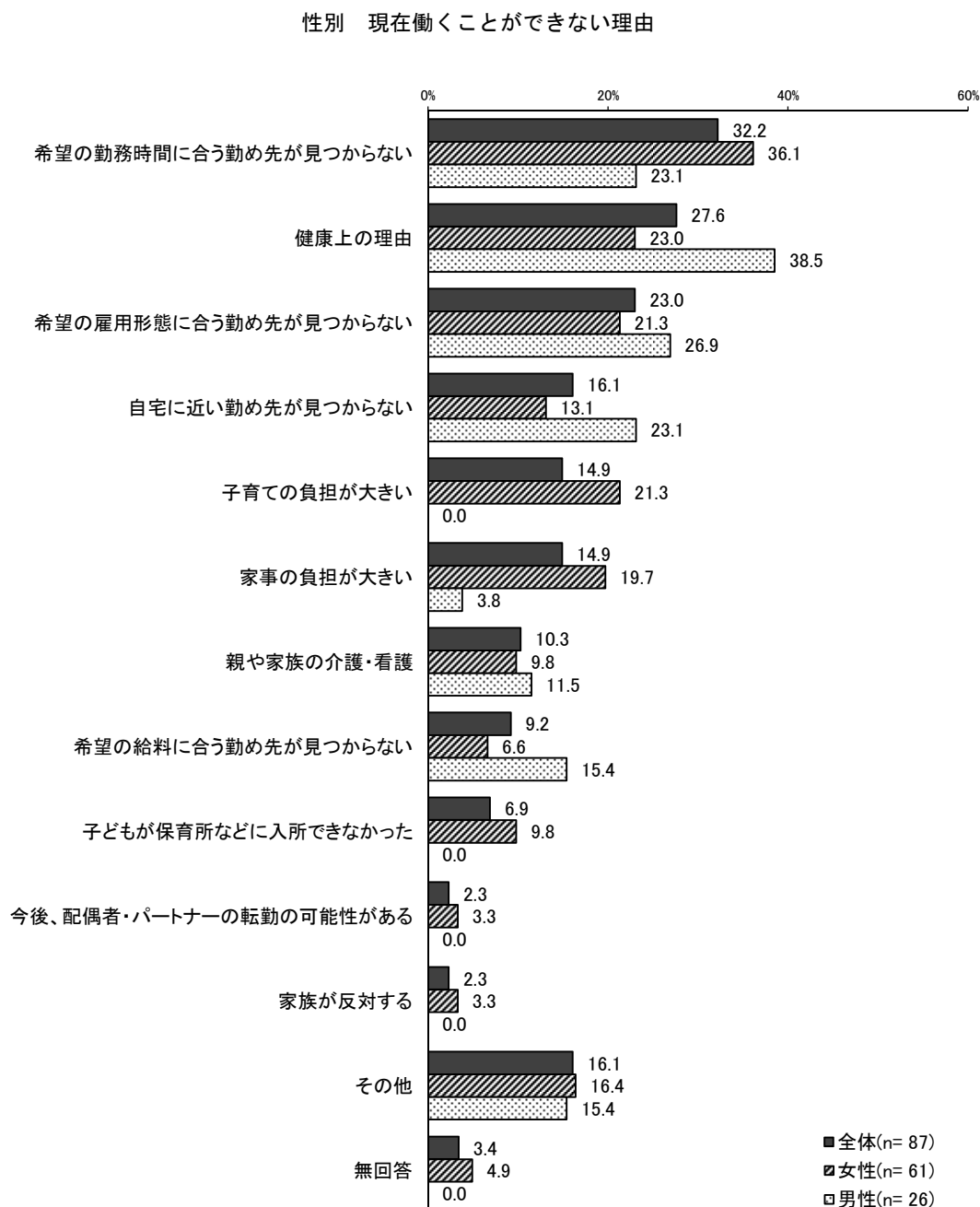
問 11-2 問 11-1 で「1. すぐ働きたい」または「2. 条件が整えば働きたい」と回答された方におたずねします。

今後は働きたいけれども、現在働くことができない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「希望の勤務時間に合う勤め先が見つからない」が 32.2%で最も高く、次いで「健康上の理由」が 27.6%、「希望の雇用形態に合う勤め先が見つからない」が 23.0%となっています。

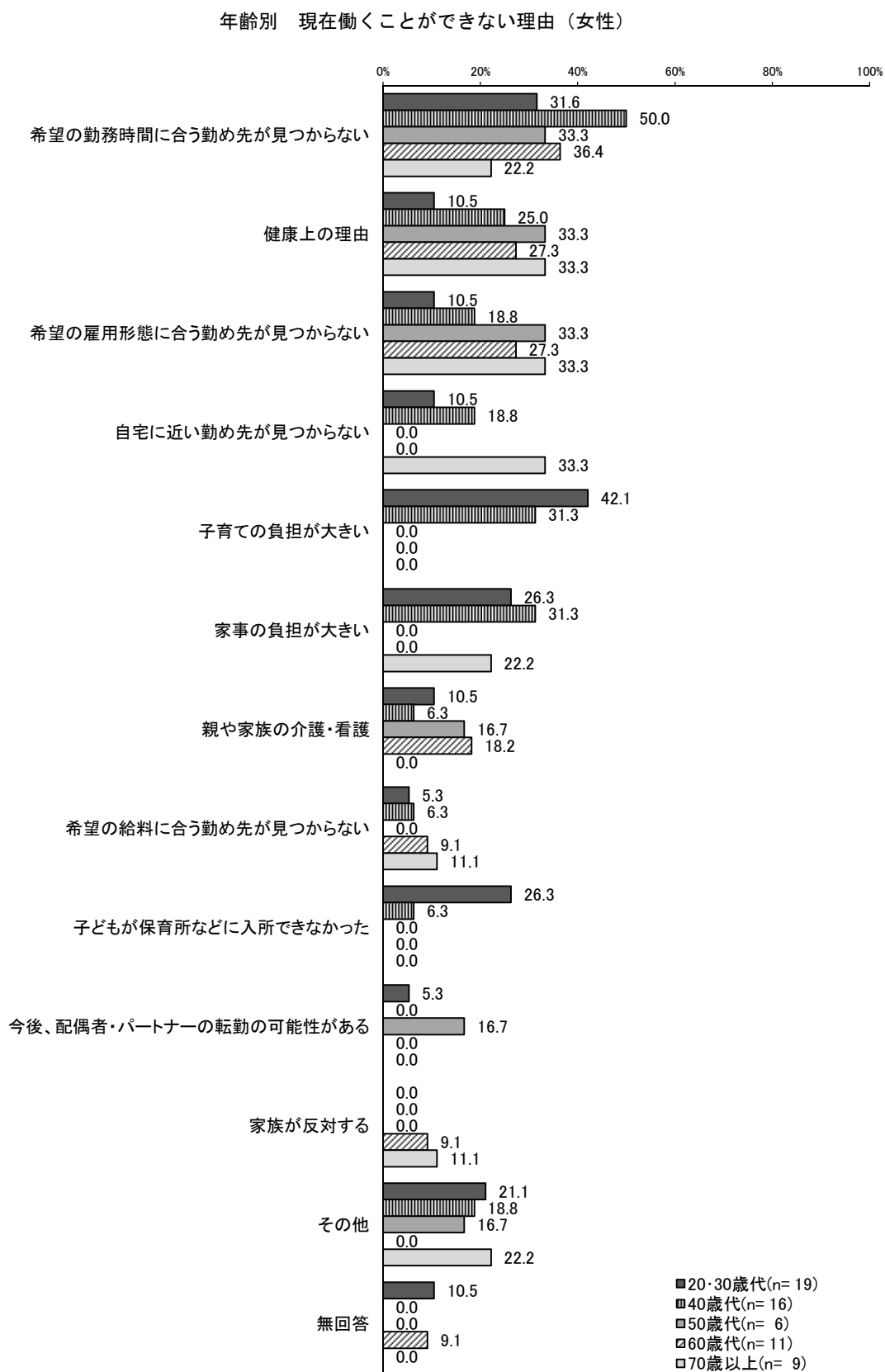
【性別】

女性では、「希望の勤務時間に合う勤め先が見つからない」が 36.1%と最も高く、男性では、「健康上の理由」が 38.5%で最も高くなっています。女性は家事や子育てとの両立、男性は健康面や勤務条件を理由とする回答割合が高くなっています。



【性年齢別】

女性の20・30歳代では「子育ての負担が大きい」、40歳代では「希望の勤務時間に合う勤め先が見つからない」が高くなっています。



※ 男性は回答者数が少ないため、グラフを省略しています。

(4) 女性が出産・子育てなどを理由に仕事を辞めることなく働けるために必要なこと

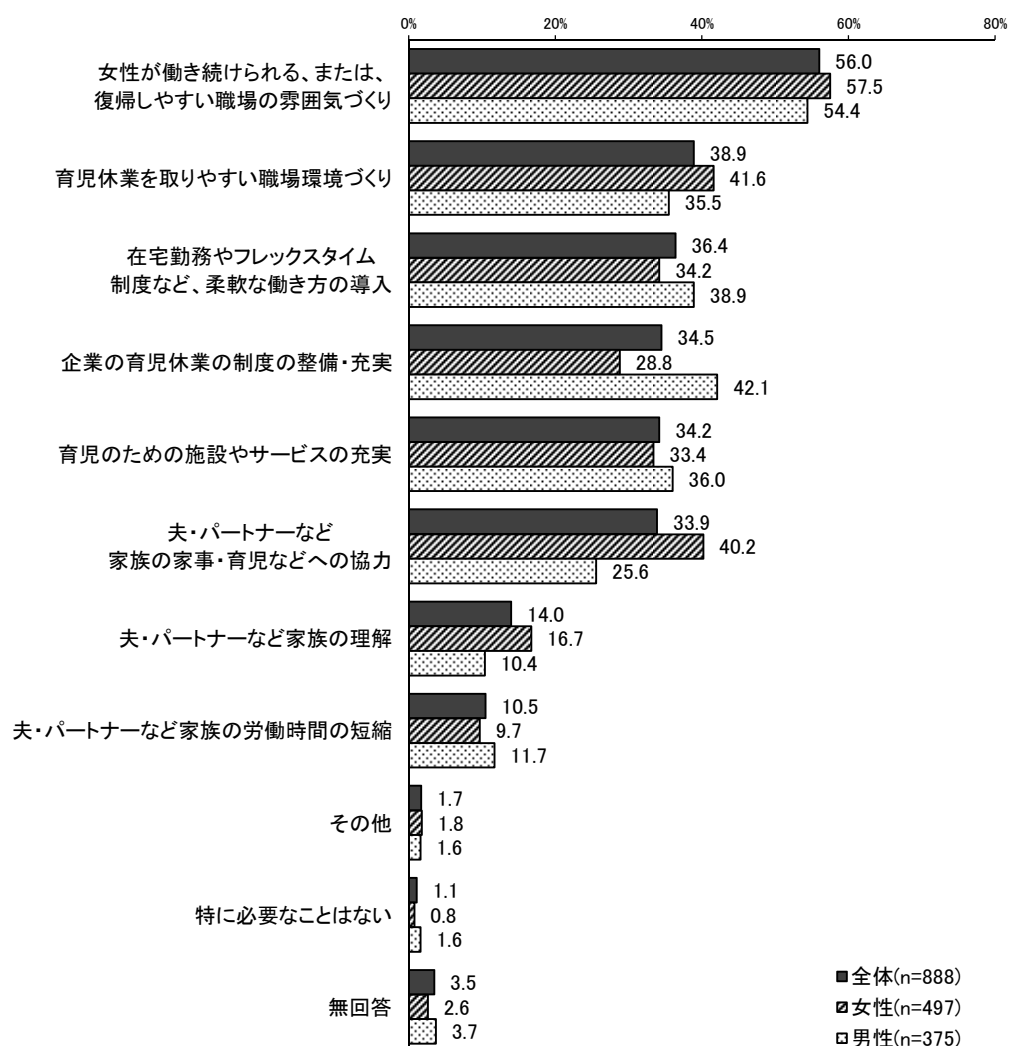
問 12 あなたは、女性が出産・子育てなどが理由で辞めることなく働けるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「女性が働き続けられる、または、復帰しやすい職場の雰囲気づくり」が56.0%で最も高く、次いで「育児休業を取りやすい職場環境づくり」が38.9%、「在宅勤務やフレックスタイム制度など、柔軟な働き方の導入」が36.4%、「企業の育児休業の制度の整備・充実」が34.5%、「育児のための施設やサービスの充実」が34.2%、「夫・パートナーなど家族の家事・育児などへの協力」が33.9%となっています。

【性別】

男女とも「女性が働き続けられる、または、復帰しやすい職場の雰囲気づくり」が最も高く、5割を超えています。次いで、女性は「育児休業を取りやすい職場環境づくり」「夫・パートナーなど家族の家事・育児などへの協力」、男性は「企業の育児休業の制度の整備・充実」が4割台となっており、「夫・パートナーなど家族の家事・育児などへの協力」は女性が14.6ポイント高く、「企業の育児休業の制度の整備・充実」は男性が13.3ポイント高くなっています。

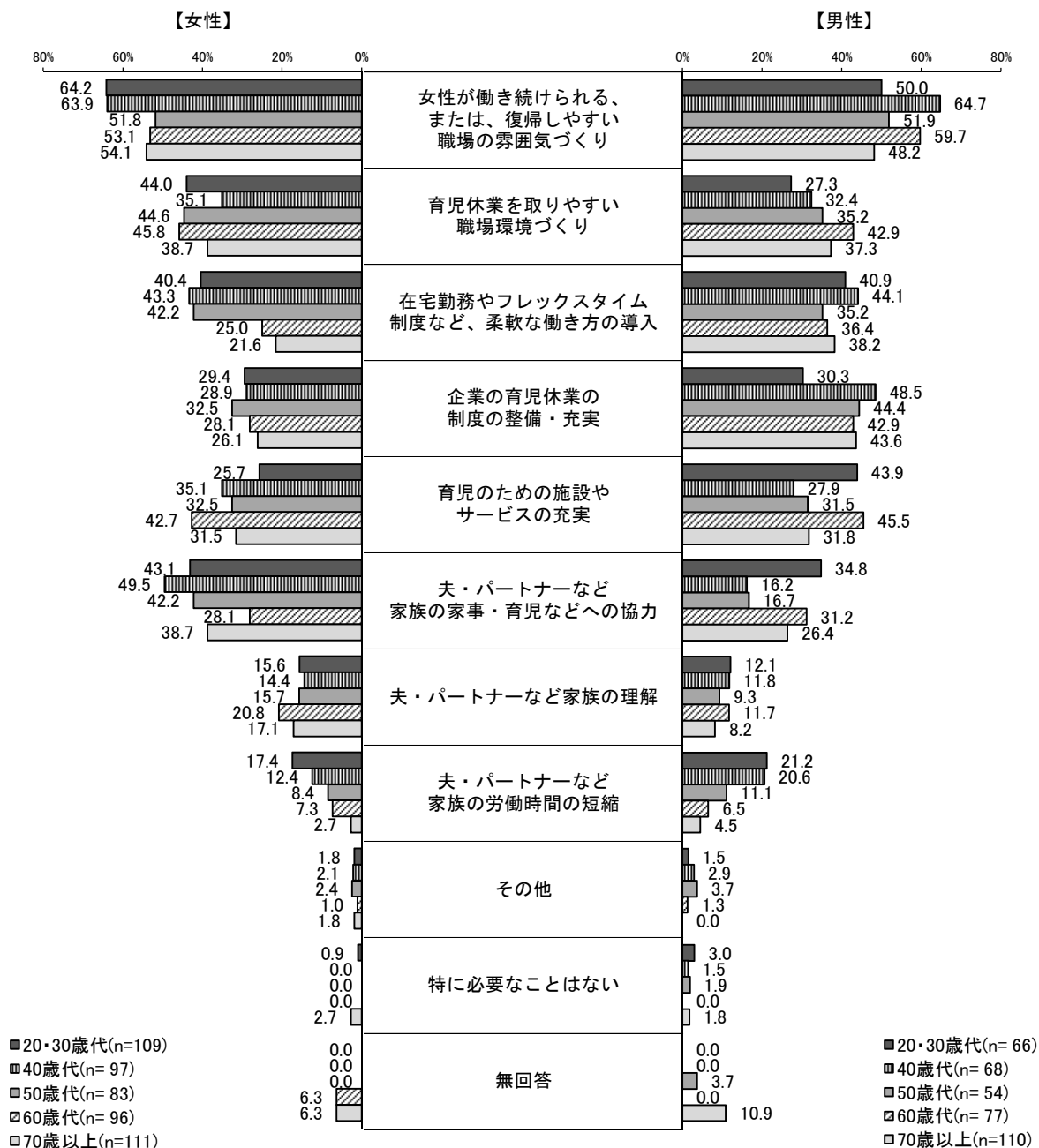
性別 女性が出産・子育てなどを理由に仕事を辞めることなく働けるために必要なこと



【性年齢別】

女性の20・30歳代と40歳代、男性の40歳代で「女性が働き続けられる、または、復帰しやすい職場の雰囲気づくり」が高く6割を超えています。男女とも60歳代、男性の20・30歳代では「育児のための施設やサービスの充実」が高くなっています。

性年齢別 女性が出産・子育てなどを理由に仕事を辞めることなく働けるために必要なこと



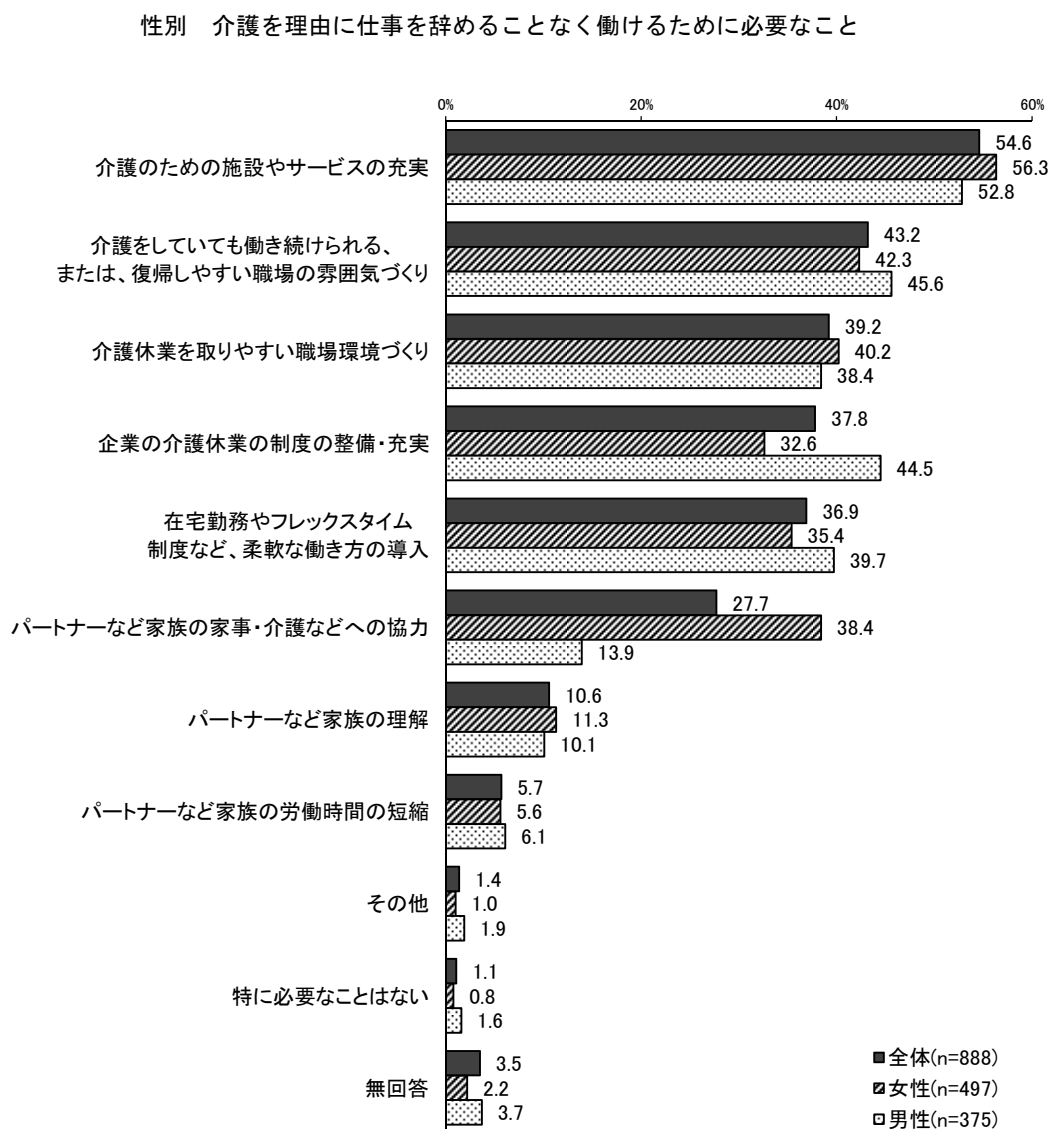
(5) 介護を理由に仕事を辞めることなく働けるために必要なこと

問 13 あなたは、介護が理由で辞めることなく働けるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「介護のための施設やサービスの充実」が 54.6%で最も高く、次いで「介護をしながらも働き続けられる、または、復帰しやすい職場の雰囲気づくり」が 43.2%、「介護休業を取りやすい職場環境づくり」が 39.2%、「企業の介護休業の制度の整備・充実」が 37.8%、「在宅勤務やフレックスタイム制度など、柔軟な働き方の導入」が 36.9%となっています。

【性別】

女性では、「パートナーなど家族の家事・介護などへの協力」が 38.4%と高くなっており、男性より 24.5 ポイント高くなっています。男性では、「企業の介護休業の制度の整備・充実」が 44.5%と高くなっており、女性より 11.9 ポイント高くなっています。

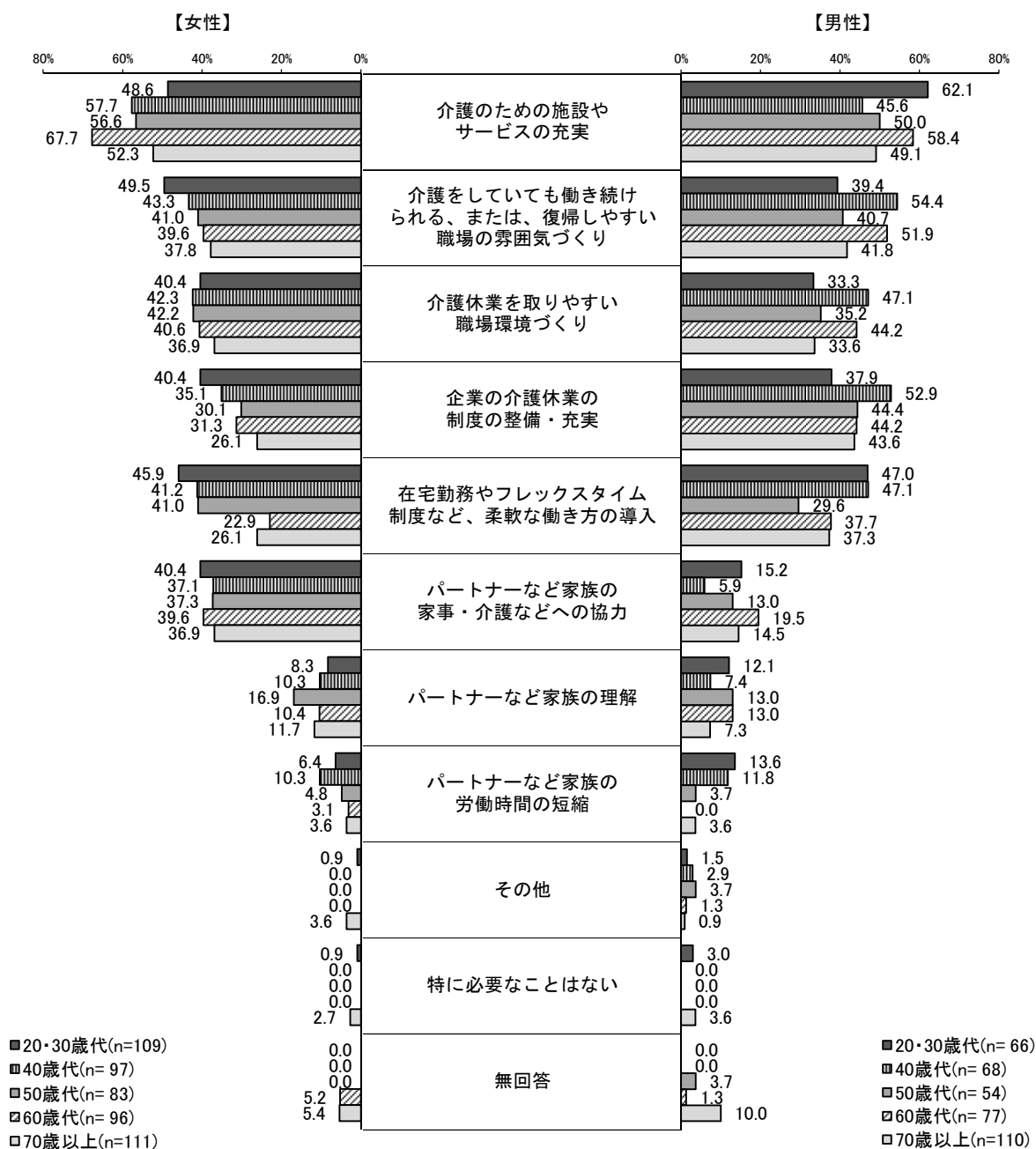


【性年齢別】

女性の60歳代と男性の20・30歳代では「介護のための施設やサービスの充実」が高く6割を超えています。

男性では、40歳代と60歳代で「介護をしながらも働き続けられる、または、復帰しやすい職場の雰囲気づくり」「介護休業を取りやすい職場環境づくり」、また40歳代で「企業の介護休業の制度の整備・充実」が他の年齢より高くなっています。

性年齢別 介護を理由に仕事を辞めることなく働けるために必要なこと



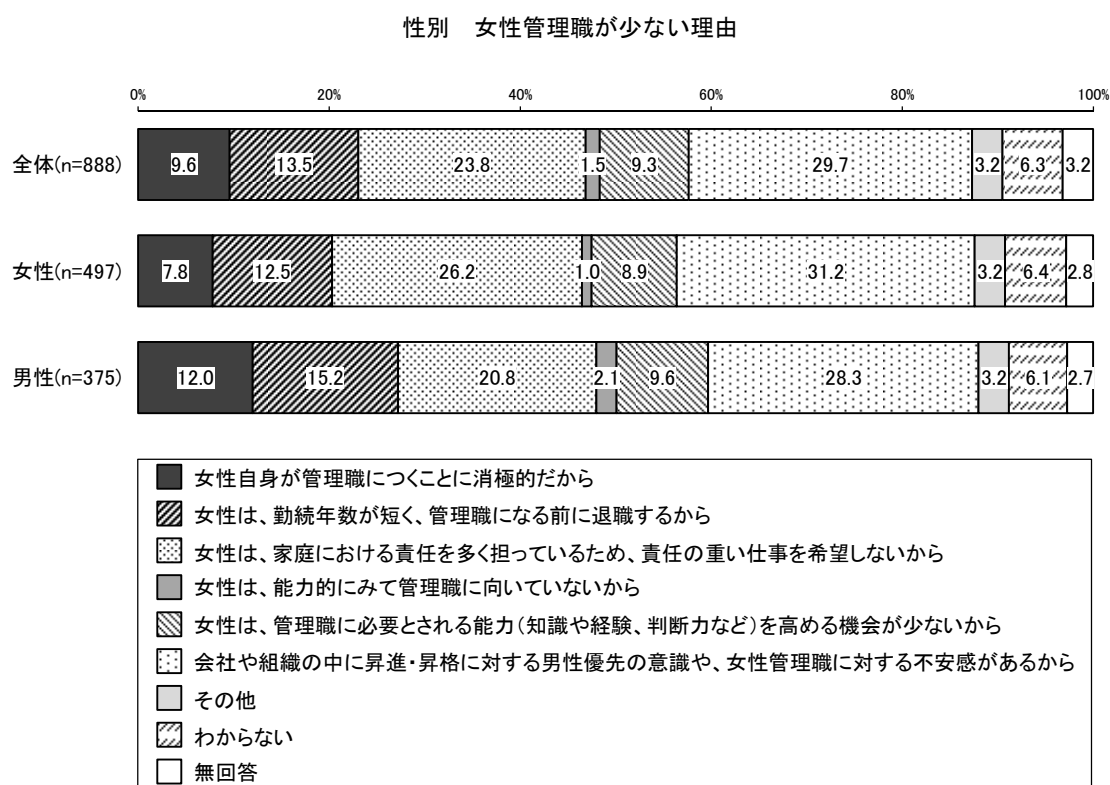
(6) 女性管理職が少ない理由

問 14 現状では、管理職につく女性が少ない状況がありますが、その最も大きな理由としてどのようなものがあると思いますか。(1つに○)

「会社や組織の中に昇進・昇格に対する男性優先の意識や、女性管理職に対する不安感があるから」が29.7%で最も高く、次いで「女性は、家庭における責任を多く担っているため、責任の重い仕事を希望しないから」が23.8%、「女性は、勤続年数が短く、管理職になる前に退職するから」が13.5%、「女性自身が管理職につくことに消極的だから」が9.6%、「女性は、管理職に必要とされる能力（知識や経験、判断力など）を高める機会が少ないから」が9.3%となっています。

【性別】

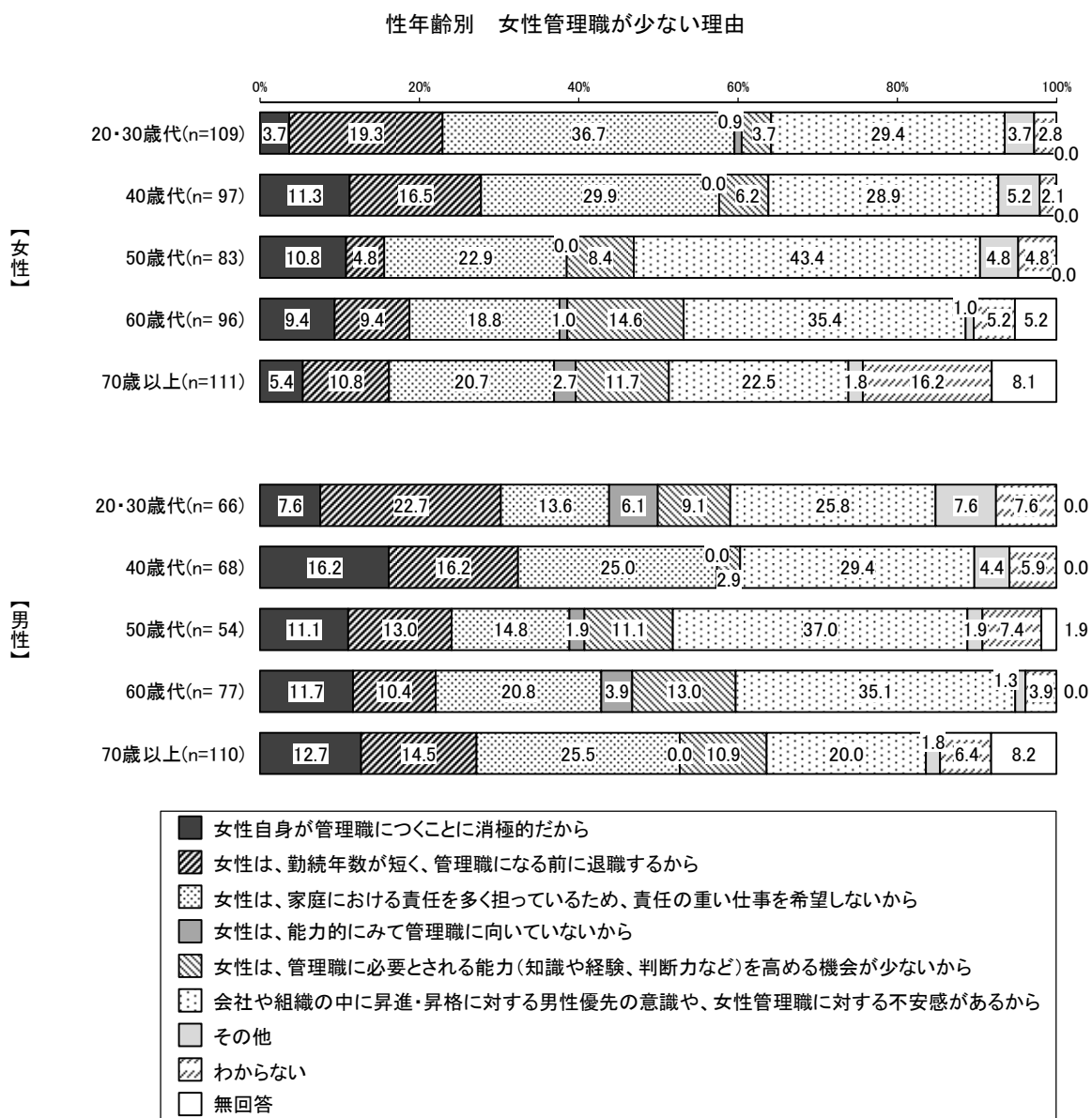
「女性は、家庭における責任を多く担っているため、責任の重い仕事を希望しないから」「会社や組織の中に昇進・昇格に対する男性優先の意識や、女性管理職に対する不安感があるから」は女性が高くなっており、「女性自身が管理職につくことに消極的だから」「女性は、勤続年数が短く、管理職になる前に退職するから」は男性が高くなっています。



【性年齢別】

女性では、40歳代と50歳代で「女性自身が管理職につくことに消極的だから」がやや高く1割台となっています。20・30歳代で「女性は、家庭における責任を多く担っているため、責任の重い仕事を希望しないから」、50歳代と60歳代で「会社や組織の中に昇進・昇格に対する男性優先の意識や、女性管理職に対する不安感があるから」が高くなっています。

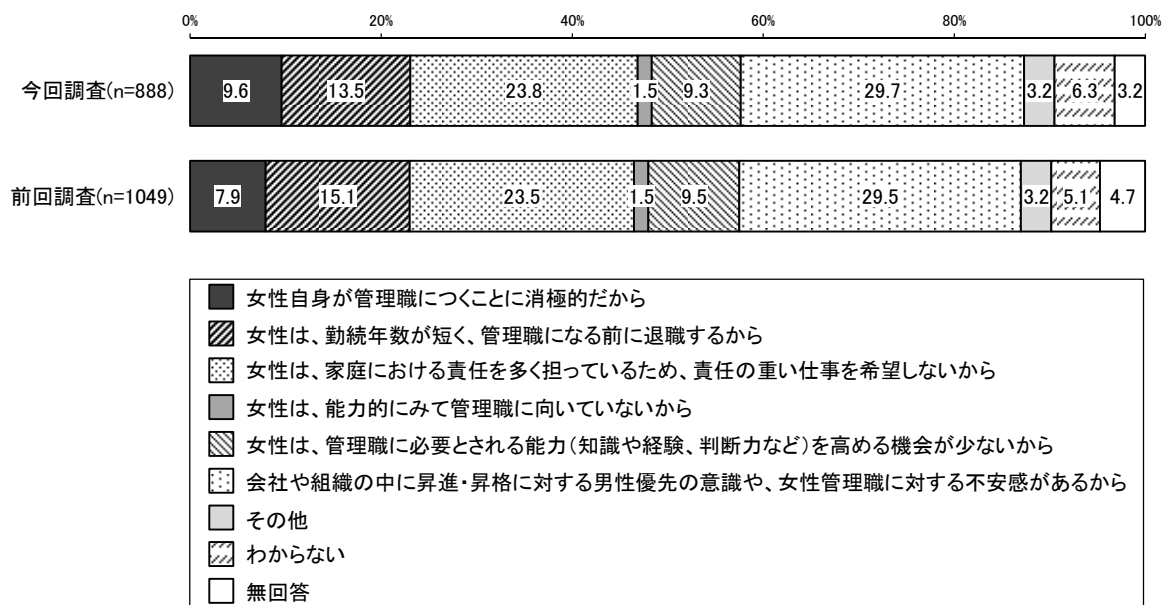
男性では、40歳代では「女性自身が管理職につくことに消極的だから」がやや高くなっています。20・30歳代で「女性は、勤続年数が短く、管理職になる前に退職するから」、50歳代と60歳代で「会社や組織の中に昇進・昇格に対する男性優先の意識や、女性管理職に対する不安感があるから」が高くなっています。



＜前回調査との比較＞

「前回調査・平成26年度」より、「女性自身が管理職につくことに消極的だから」（前回調査7.9%、今回調査9.6%）が1.7ポイント増加、「女性は、勤続年数が短く、管理職になる前に退職するから」（前回調査15.1%、今回調査13.5%）が1.6ポイント減少している程度で大きな差はみられません。

女性管理職が少ない理由（前回調査・平成26年度との比較）



5. セクシュアル・ハラスメント（セクハラ）・DV について

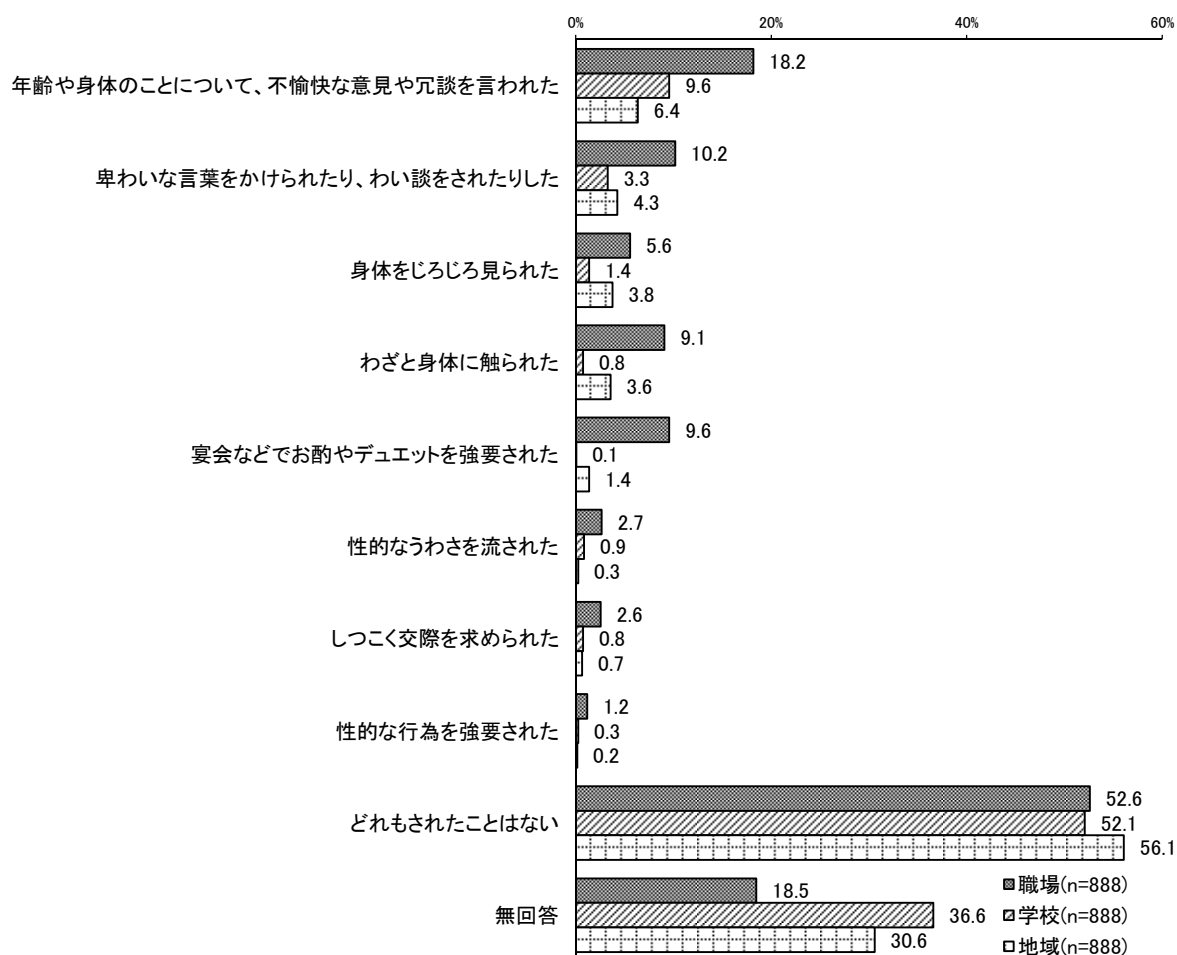
（１）セクシュアル・ハラスメントを受けた経験

問 15 あなたは、職場や学校、地域などで次のような行為をされたことがありますか。（○はいくつでも）

＜職場＞、＜学校＞、＜地域＞のいずれにおいても、「どれもされたことはない」は約 5 割にとどまっています。

受けた行為は、＜職場＞、＜学校＞、＜地域＞で「年齢や身体のことについて、不愉快な意見や冗談を言われた」が最も高くなっており、すべての行為において、＜職場＞で受けた経験が最も高くなっています。

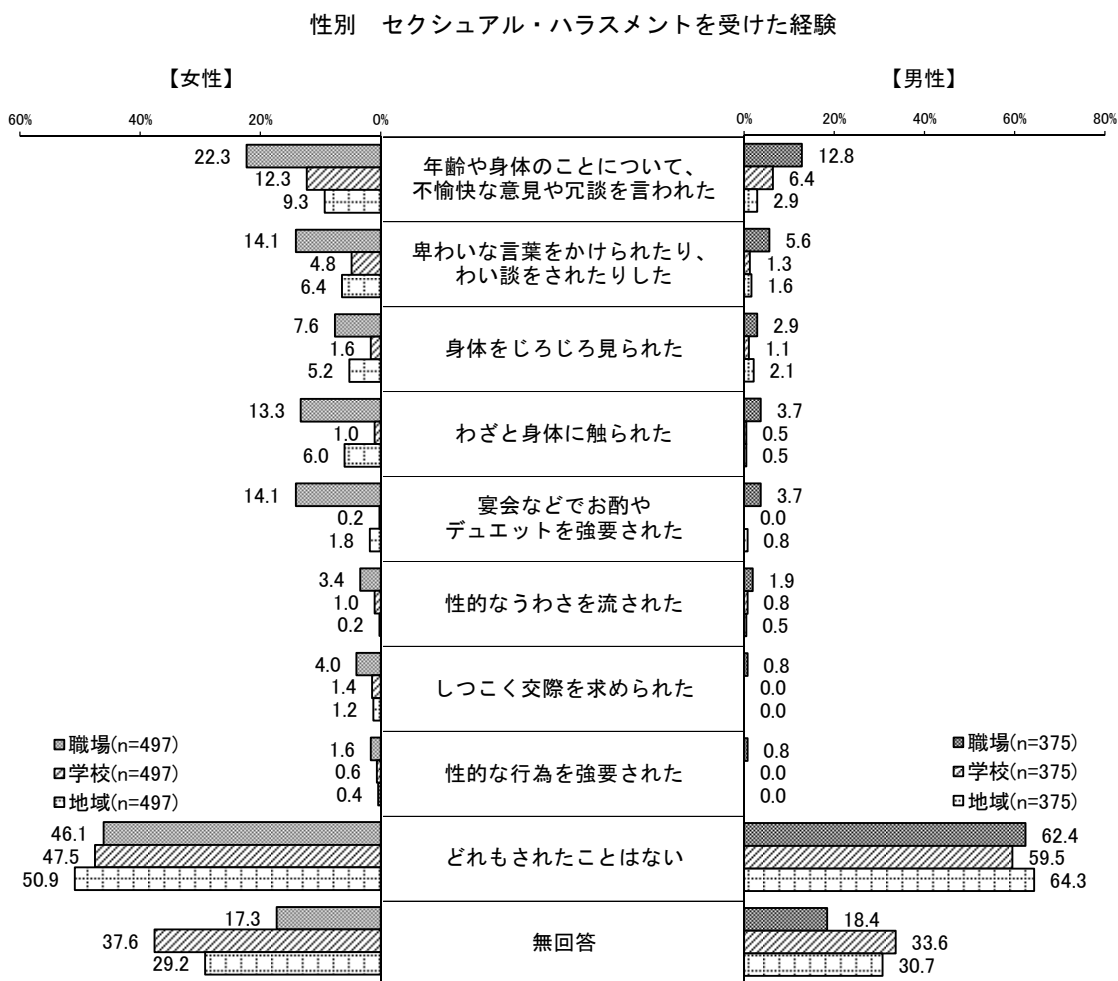
セクシュアル・ハラスメントを受けた経験



【性別】

女性では、＜職場＞で受けた経験では「年齢や身体のことについて、不愉快な意見や冗談を言われた」「卑わいな言葉をかけられたり、わい談をされたりした」「宴会などでお酌やデュエットを強要された」「わざと身体に触られた」が1～2割と高くなっています。＜学校＞で受けた経験では「年齢や身体のことについて、不愉快な意見や冗談を言われた」が12.3%と高くなっています。

男性では、＜職場＞で受けた経験で「年齢や身体のことについて、不愉快な意見や冗談を言われた」が12.8%と1割を超えている以外、＜学校＞＜地域＞で受けた経験もすべて0～6%程度となっています。



【性年齢別】

＜職場＞

女性では、40 歳代で「年齢や身体のことについて、不愉快な意見や冗談を言われた」が 32.0%、「わざと身体に触られた」が 22.7%と高く、50 歳代以下で「卑わいな言葉をかけられたり、わい談をされたりした」が約 2 割、40 歳代と 50 歳代では「宴会などでお酌やデュエットを強要された」が 2 割強と高くなっています。

男性では、20・30 歳代で「卑わいな言葉をかけられたり、わい談をされたりした」「わざと身体に触られた」が高くなっています。一方、20・30 歳代では「どれもされたことはない」が 74.2%と最も高くなっています。

性年齢別 セクシュアル・ハラスメントを受けた経験

(%)

		回答者数（n）	職場で									
			された 年齢や身体のことについて、 不愉快な意見や冗談を言わ れた	卑わいな言葉をかけられた り、わい談をされたりした	身体をじろじろ見られた	わざと身体に触られた	宴会などでお酌やデュエット を強要された	性的なうわさを流された	しつこく交際を求められた	性的な行為を強要された	どれもされたことはない	無回答
全体		888	18.2	10.2	5.6	9.1	9.6	2.7	2.6	1.2	52.6	18.5
女性	20・30 歳代	109	28.4	19.3	9.2	17.4	11.9	5.5	4.6	1.8	42.2	13.8
	40 歳代	97	32.0	19.6	10.3	22.7	21.6	3.1	5.2	2.1	43.3	8.2
	50 歳代	83	24.1	18.1	12.0	12.0	22.9	2.4	4.8	－	48.2	8.4
	60 歳代	96	19.8	9.4	4.2	8.3	11.5	4.2	3.1	1.0	44.8	19.8
	70 歳以上	111	9.0	5.4	3.6	6.3	5.4	1.8	2.7	2.7	51.4	33.3
男性	20・30 歳代	66	10.6	13.6	4.5	10.6	6.1	3.0	－	－	74.2	3.0
	40 歳代	68	17.6	5.9	2.9	4.4	4.4	－	1.5	－	64.7	7.4
	50 歳代	54	14.8	3.7	5.6	1.9	1.9	1.9	－	－	59.3	20.4
	60 歳代	77	15.6	5.2	－	1.3	－	3.9	1.3	1.3	62.3	19.5
	70 歳以上	110	8.2	1.8	2.7	1.8	5.5	0.9	0.9	1.8	55.5	32.7

<学校>

女性では、50 歳代以下で「年齢や身体のことについて、不愉快な意見や冗談を言われた」が高く、20・30 歳代で 20.2%と最も高くなっています。20・30 歳代では「卑わいな言葉をかけられたり、わい談をされたりした」が 10.1%と他の年齢より高くなっています。

男性では、20・30 歳代と 40 歳代で「年齢や身体のことについて、不愉快な意見や冗談を言われた」が高く 1 割を超えています。

(%)

		回答者数（n）	学校で									
			不愉快な意見や冗談を言われた	年齢や身体のことについて、卑わいな言葉をかけられたり、わい談をされたりした	身体をじろじろ見られた	わざと身体に触られた	宴会などでお酌やデユエットを強要された	性的なうわさを流された	しつこく交際を求められた	性的な行為を強要された	どれもされたことはない	無回答
全体		888	9.6	3.3	1.4	0.8	0.1	0.9	0.8	0.3	52.1	36.6
女性	20・30 歳代	109	20.2	10.1	2.8	1.8	－	3.7	2.8	－	46.8	27.5
	40 歳代	97	16.5	6.2	3.1	2.1	1.0	－	1.0	3.1	49.5	34.0
	50 歳代	83	14.5	4.8	－	－	－	－	3.6	－	45.8	36.1
	60 歳代	96	7.3	2.1	2.1	1.0	－	－	－	－	43.8	45.8
	70 歳以上	111	3.6	0.9	－	－	－	0.9	－	－	50.5	45.0
男性	20・30 歳代	66	16.7	6.1	1.5	1.5	－	1.5	－	－	68.2	15.2
	40 歳代	68	11.8	1.5	4.4	－	－	－	－	－	69.1	19.1
	50 歳代	54	5.6	－	－	－	－	1.9	－	－	57.4	37.0
	60 歳代	77	2.6	－	－	1.3	－	1.3	－	－	50.6	44.2
	70 歳以上	110	－	－	－	－	－	－	－	－	55.5	44.5

<地域>

女性では、40 歳代と 70 歳以上で「年齢や身体のことについて、不愉快な意見や冗談を言われた」が高くそれぞれ 14.4%、10.8%と 1 割を超えています。20・30 歳代では「わざと身体に触られた」が 9.2%でやや高くなっています。

男性では、すべての項目と年齢で大きな差はなく、0～6%程度となっています。40 歳代以下では「どれもされたことはない」が高く 7 割を超えています。

(%)

		回答者数（n）	地域で									無回答
			れた	年齢や身体のことについて、 不愉快な意見や冗談を言わ れた	卑わいな言葉をかけられた り、わい談をされたりした	身体をしろしろ見られた	わざと身体に触られた	宴会などでお酌やデュエット を強要された	性的なうわさを流された	しつこく交際を求められた	性的な行為を強要された	
全体		888	6.4	4.3	3.8	3.6	1.4	0.3	0.7	0.2	56.1	30.6
女性	20・30 歳代	109	6.4	4.6	6.4	9.2	1.8	－	0.9	0.9	49.5	32.1
	40 歳代	97	14.4	9.3	5.2	7.2	1.0	－	3.1	1.0	46.4	26.8
	50 歳代	83	7.2	7.2	6.0	4.8	2.4	－	－	－	49.4	32.5
	60 歳代	96	7.3	7.3	6.3	7.3	2.1	－	1.0	－	49.0	30.2
	70 歳以上	111	10.8	4.5	2.7	1.8	1.8	0.9	0.9	－	58.6	25.2
男性	20・30 歳代	66	4.5	3.0	3.0	3.0	－	1.5	－	－	71.2	22.7
	40 歳代	68	5.9	1.5	2.9	－	－	－	－	－	72.1	22.1
	50 歳代	54	－	－	1.9	－	－	－	－	－	61.1	37.0
	60 歳代	77	2.6	2.6	1.3	－	1.3	1.3	－	－	55.8	37.7
	70 歳以上	110	1.8	0.9	1.8	－	1.8	－	－	－	62.7	32.7

(2) ドメスティック・バイオレンスを受けた経験

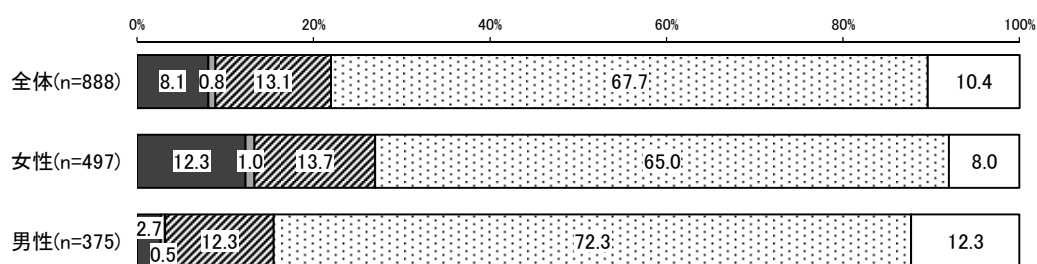
問 16-1 あなたは、ドメスティック・バイオレンス（DV）を受けた経験がありますか。（1つに○）

「暴力を受けたことはなく、自分の周りに受けた（受けている）人もいない」が 67.7%、「暴力を受けたことはないが、自分の周りに受けた（受けている）人がいる」が 13.1%、「過去に暴力を受けたことがある」が 8.1%、「現在も暴力を受けることがある」が 0.8%となっています。

【性別】

「過去に暴力を受けたことがある」は、女性は 12.3%と 1 割を超えています。『ある』（「過去に暴力を受けたことがある」と「現在も暴力を受けることがある」の合計）は、女性が 13.3%、男性が 3.2%となっています。

性別 ドメスティック・バイオレンスを受けた経験

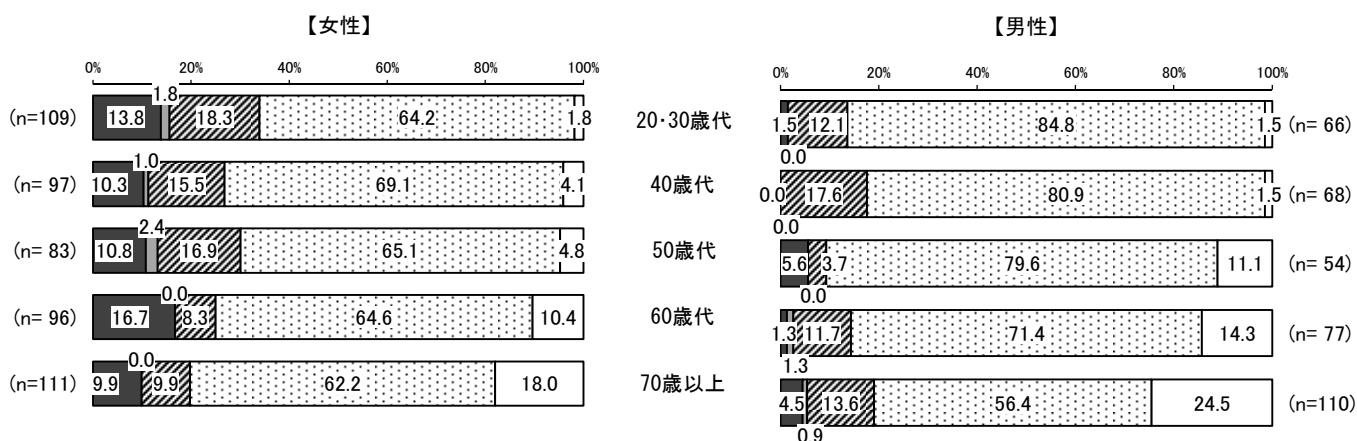


■ 過去に暴力を受けたことがある ■ 現在も暴力を受けることがある ▨ 暴力を受けたことはないが、自分の周りに受けた（受けている）人がいる ▤ 暴力を受けたことはなく、自分の周りに受けた（受けている）人もいない □ 無回答

【性年齢別】

女性の 60 歳代では『ある』が 16.7%と最も高くなっており、次いで 20・30 歳代が 15.6%と高くなっています。女性の 20・30 歳代と男性の 40 歳代では「暴力を受けたことはないが、自分の周りに受けた（受けている）人がいる」がそれぞれ 18.3%、17.6%と高くなっています。

性年齢別 ドメスティック・バイオレンスを受けた経験

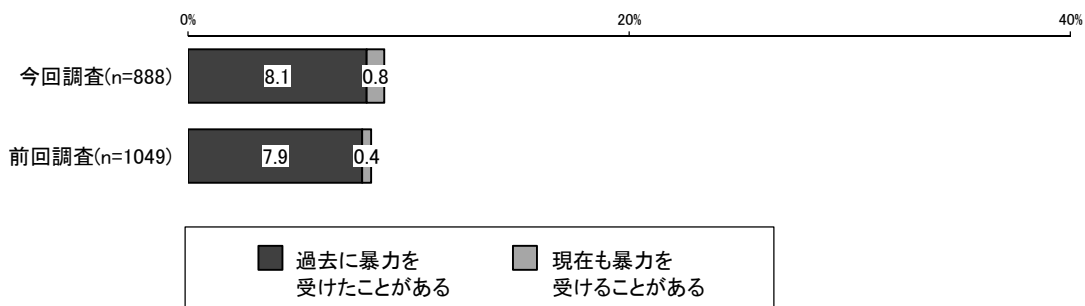


■ 過去に暴力を受けたことがある ■ 現在も暴力を受けることがある ▨ 暴力を受けたことはないが、自分の周りに受けた（受けている）人がいる ▤ 暴力を受けたことはなく、自分の周りに受けた（受けている）人もいない □ 無回答

<前回調査との比較>

「前回調査・平成 26 年度」より、『ある』(前回調査 8.3%、今回調査 8.9%) は 0.6 ポイント増加しています。

ドメスティック・バイオレンスを受けた経験 (前回調査・平成26年度との比較)



(3) ドメスティック・バイオレンスへの対処方法

問 16-2 問 16-1で「1. 過去に暴力を受けたことがある」または「2. 現在も暴力を受けることがある」と回答された方におたずねします。

あなたは、暴力を受けたとき、どのように行動しましたか。(〇はいくつでも)

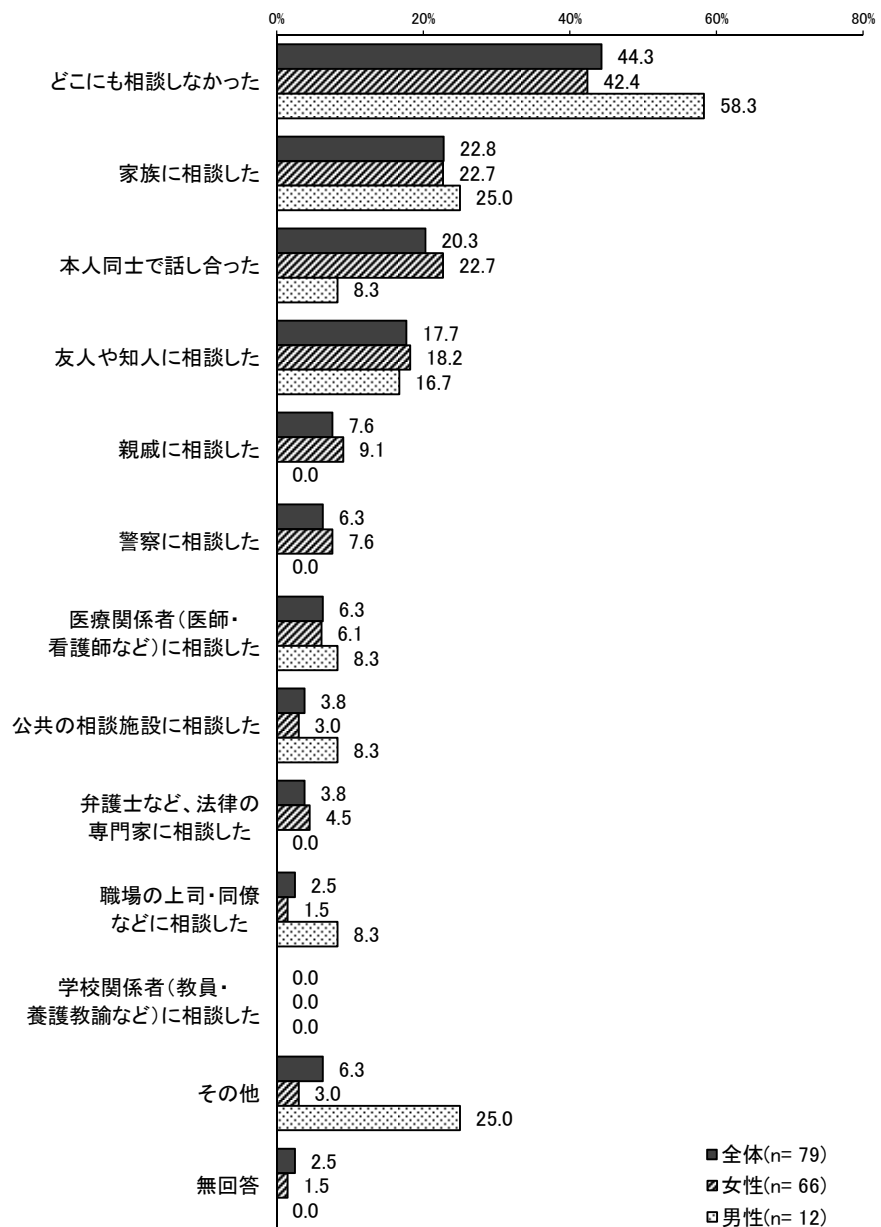
「どこにも相談しなかった」が44.3%で最も高く、次いで「家族に相談した」が22.8%、「本人同士で話し合った」が20.3%、「友人や知人に相談した」が17.7%となっています。

【性別】

女性では、「どこにも相談しなかった」(42.4%)に次いで、「家族に相談した」「本人同士で話し合った」が同率で22.7%となっており、僅差で「友人や知人に相談した」が18.2%となっています。

男性では、「どこにも相談しなかった」が58.3%と5割を超えています。

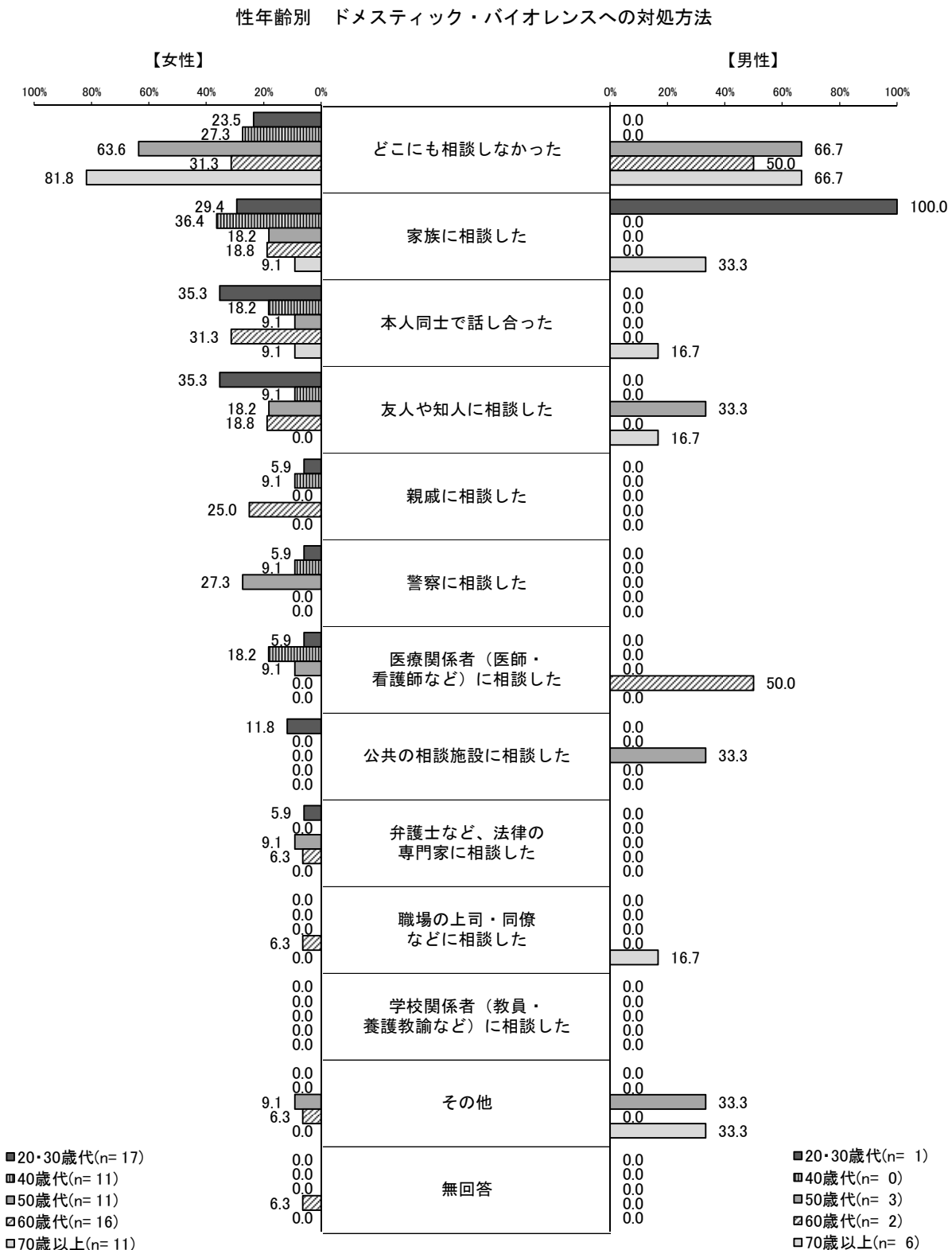
性別 ドメスティック・バイオレンスへの対処方法



【性年齢別】

女性では、20・30 歳代では「本人同士で話し合った」「友人や知人に相談した」、40 歳代では「家族に相談した」、50 歳代では「警察に相談した」、60 歳代では「親戚に相談した」が高くなっています。

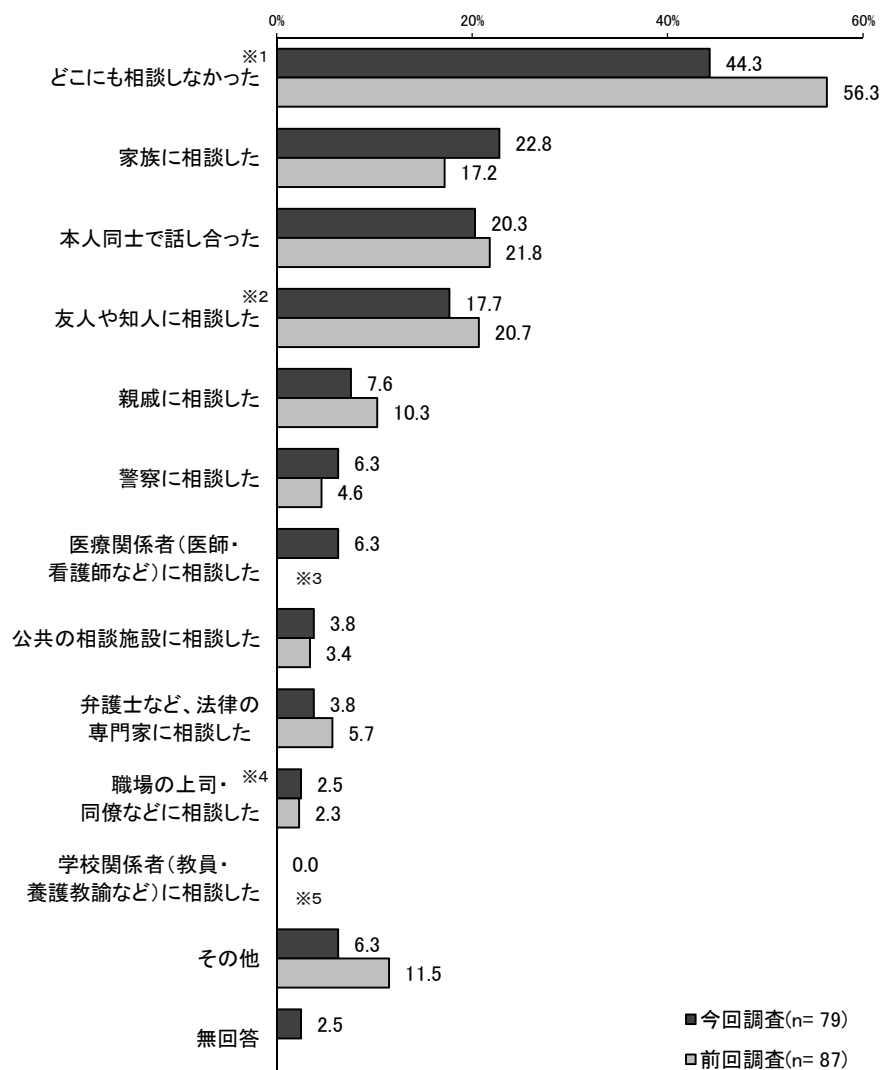
男女とも 50 歳代と 70 歳以上で「どこにも相談しなかった」が高くなっています。



＜前回調査との比較＞

「前回調査・平成 26 年度」より、「どこにも相談しなかった」（前回調査 56.3%、今回調査 44.3%）が 12 ポイント減少しています。「家族に相談した」が前回調査より 5.6 ポイント増加し、「友人や知人に相談した」「親戚に相談した」が約 2～3 ポイント減少しています。

ドメスティック・バイオレンスへの対処方法（前回調査・平成26年度との比較）



※1 前回調査では「我慢した」

※2 前回調査では「友人や同僚に相談した」

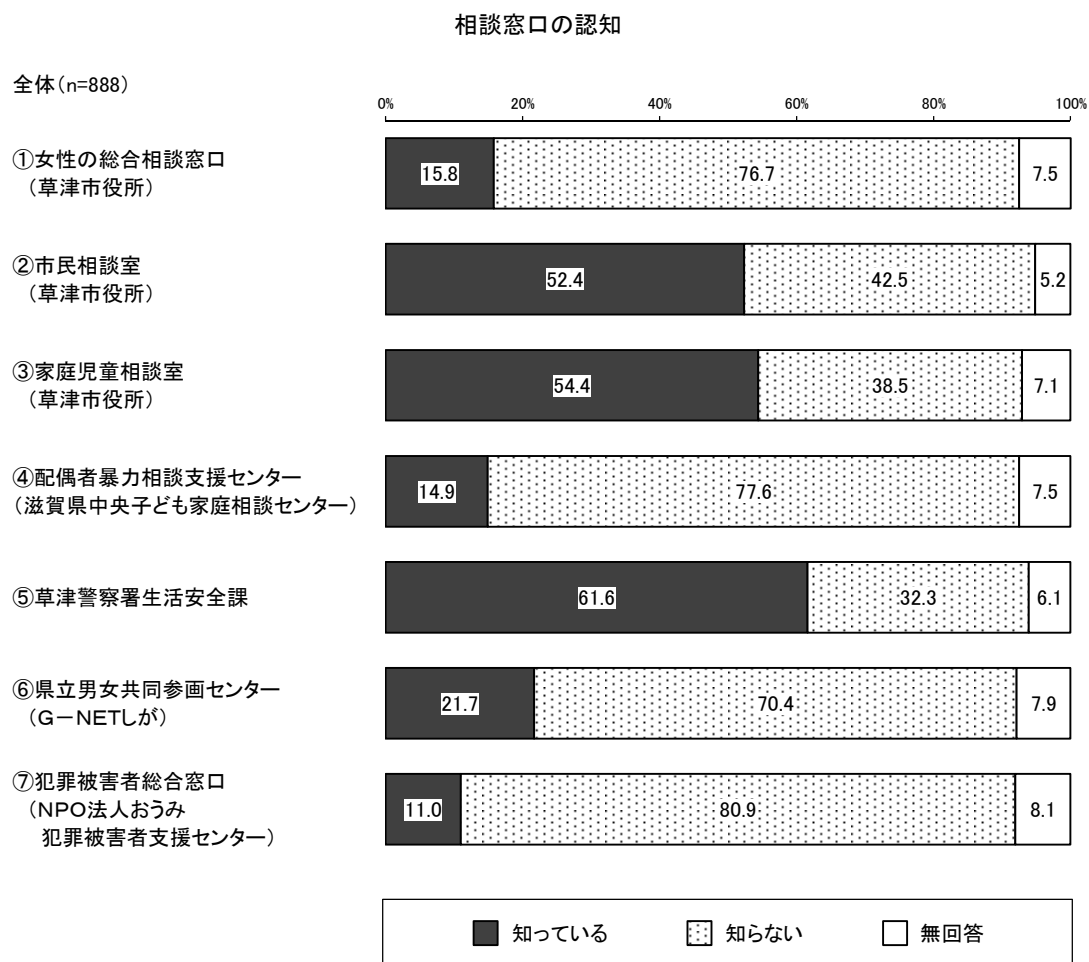
※3、5 今回調査のみの項目

※4 前回調査では「職場の上司に相談した」

(4) 相談窓口の認知

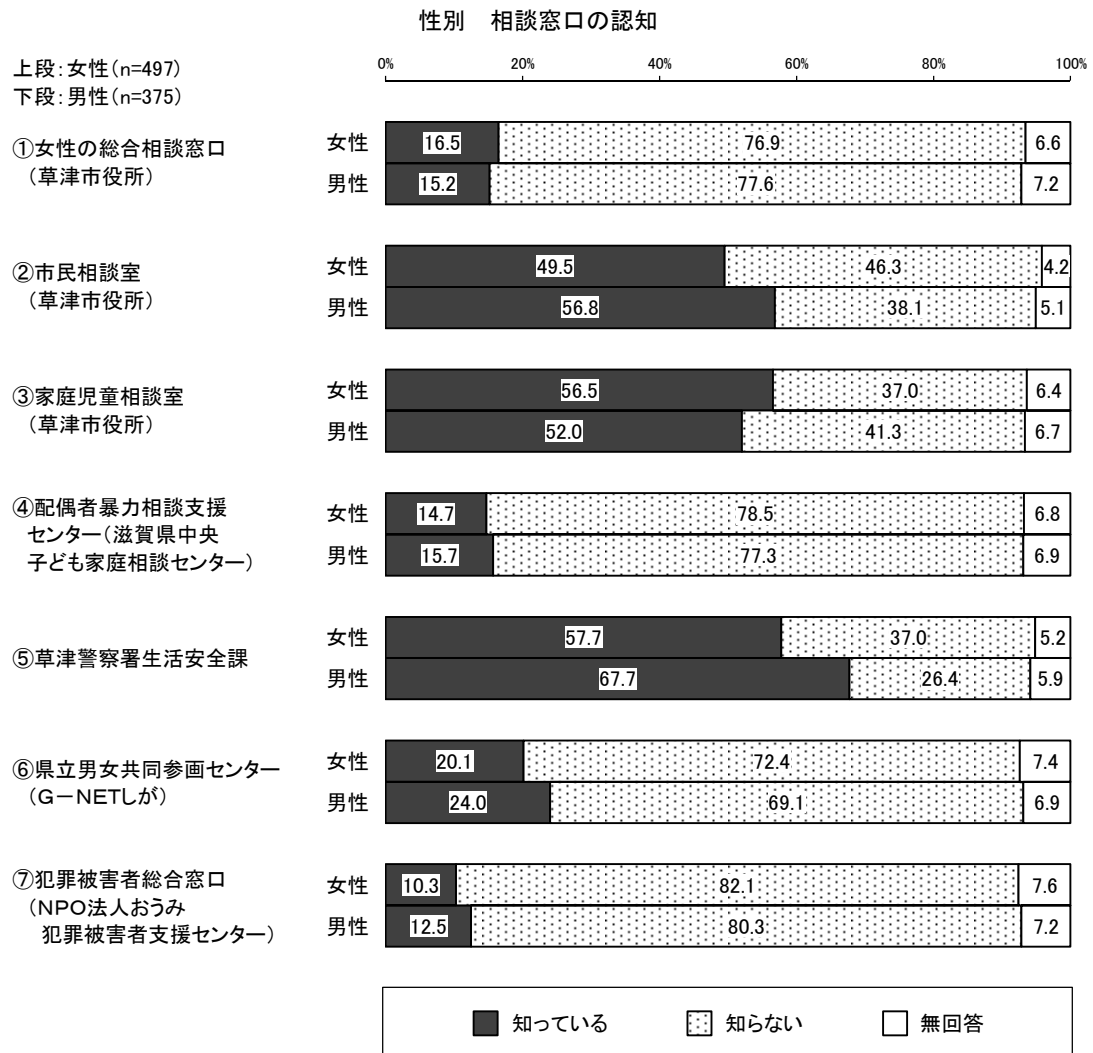
問 17 あなたは、次の相談窓口を知っていますか。(①～⑦のそれぞれ1つに○)

「知っている」は、「②市民相談室（草津市役所）」「③家庭児童相談室（草津市役所）」「⑤草津警察署生活安全課」で5割を超えていますが、他の相談窓口では1～2割にとどまっています。「⑦犯罪被害者相談窓口（NPO法人おうみ犯罪被害者支援センター）」では80.9%が「知らない」と回答しています。



【性別】

「①女性の総合相談窓口（草津市役所）」と「③家庭児童相談室（草津市市役所）」以外の項目は男性のほうが「知っている」が高くなっており、「⑤草津警察署生活安全課」は女性より10ポイント高くなっています。

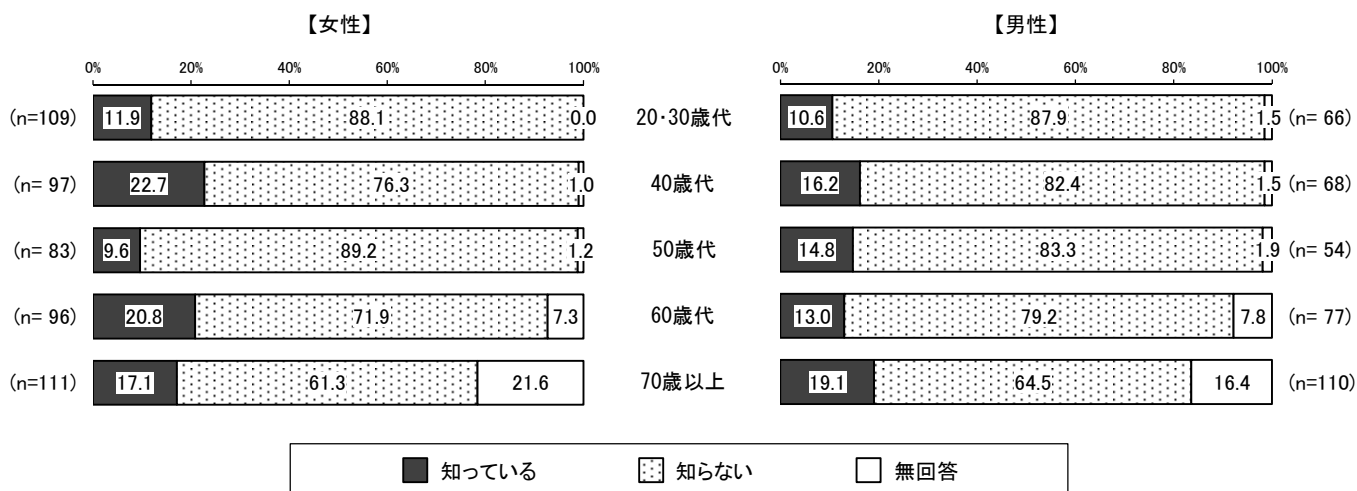


①女性の総合相談窓口（草津市役所）

女性では、40歳代と60歳代で「知っている」が2割台と高くなっており、50歳代では9.6%と低くなっています。

男性では、70歳以上で「知っている」が最も高くなっており、20・30歳代が最も低くなっています。

相談窓口の認知 — ①女性の総合相談窓口（草津市役所）

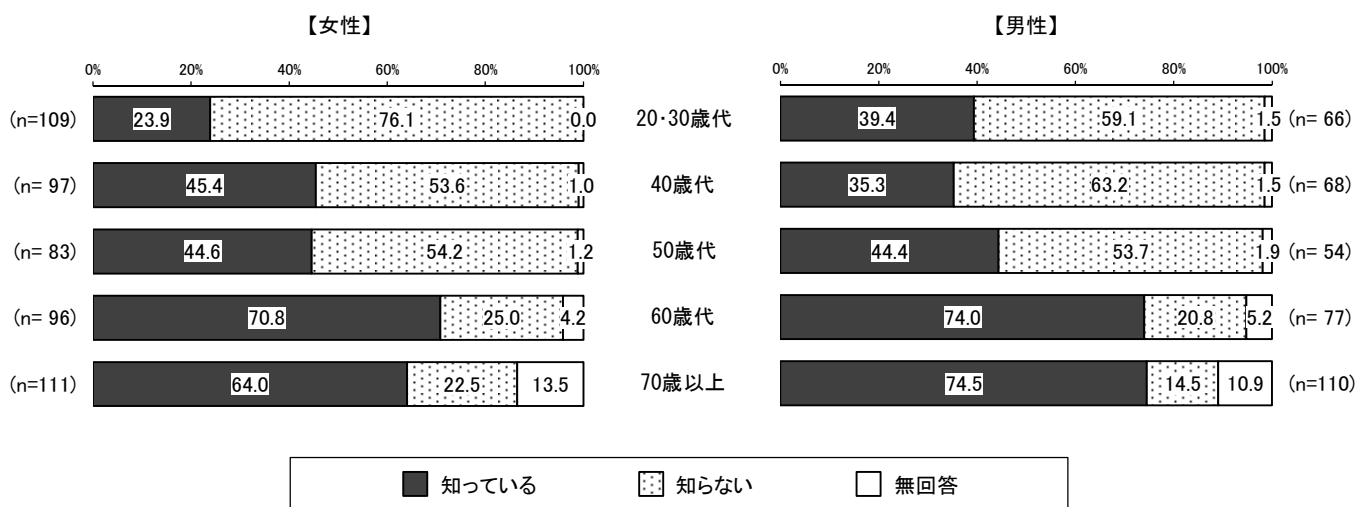


②市民相談室（草津市役所）

女性では、60歳代で「知っている」が最も高く70.8%となっており、20・30歳代で「知らない」が最も高く76.1%となっています。

男性では、60歳代以上で「知っている」がともに約75%と高くなっています。

相談窓口の認知 — ②市民相談室（草津市役所）

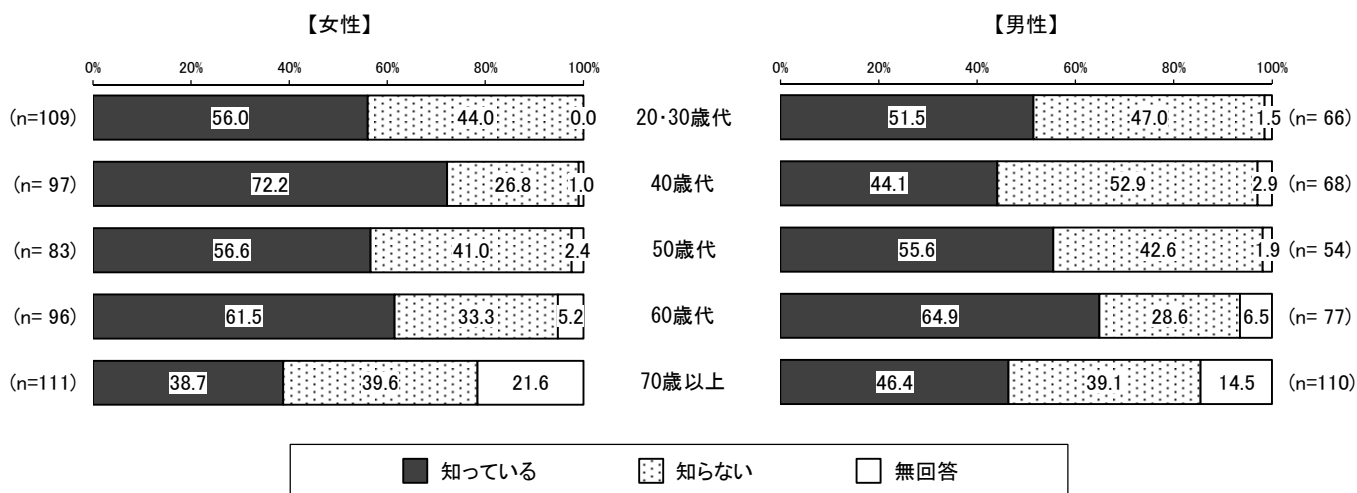


③家庭児童相談室（草津市役所）

女性では、60 歳代以下では「知っている」が 5 割を超えており、40 歳代では 72.2%と最も高く、70 歳以上では 38.7%と最も低くなっています。

男性では、60 歳代で「知っている」が最も高くなっています。40 歳代では「知らない」が 5 割を超えています。

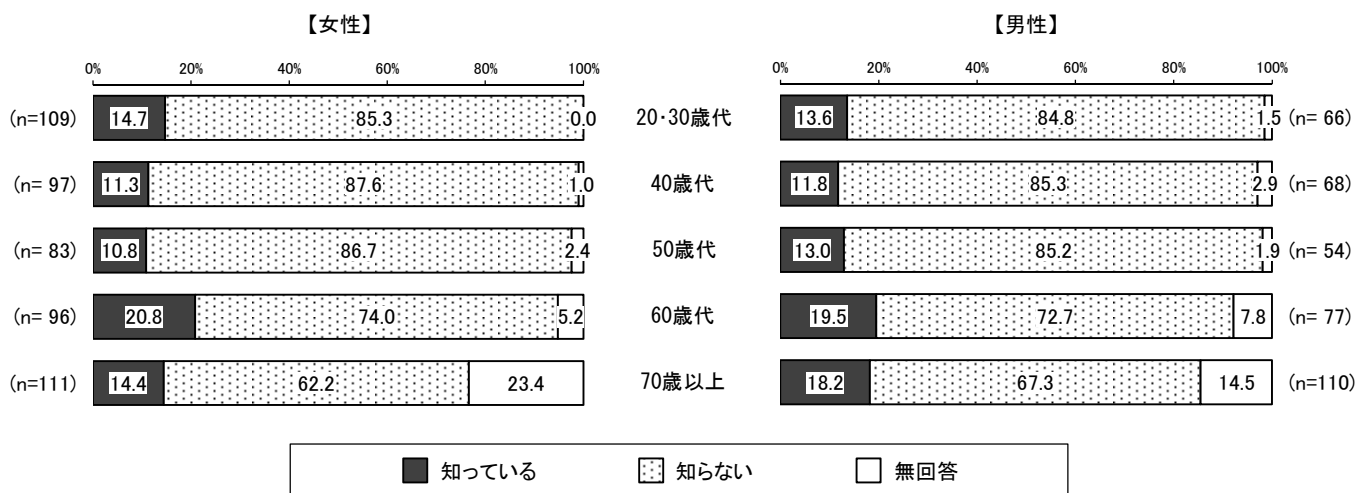
相談窓口の認知 — ③家庭児童相談室（草津市役所）



④配偶者暴力相談支援センター（滋賀県中央子ども家庭相談センター）

女性の 60 歳代で「知っている」が最も高く 20.8%となっています。男女とも 50 歳代以下では「知らない」が 8 割を超えています。

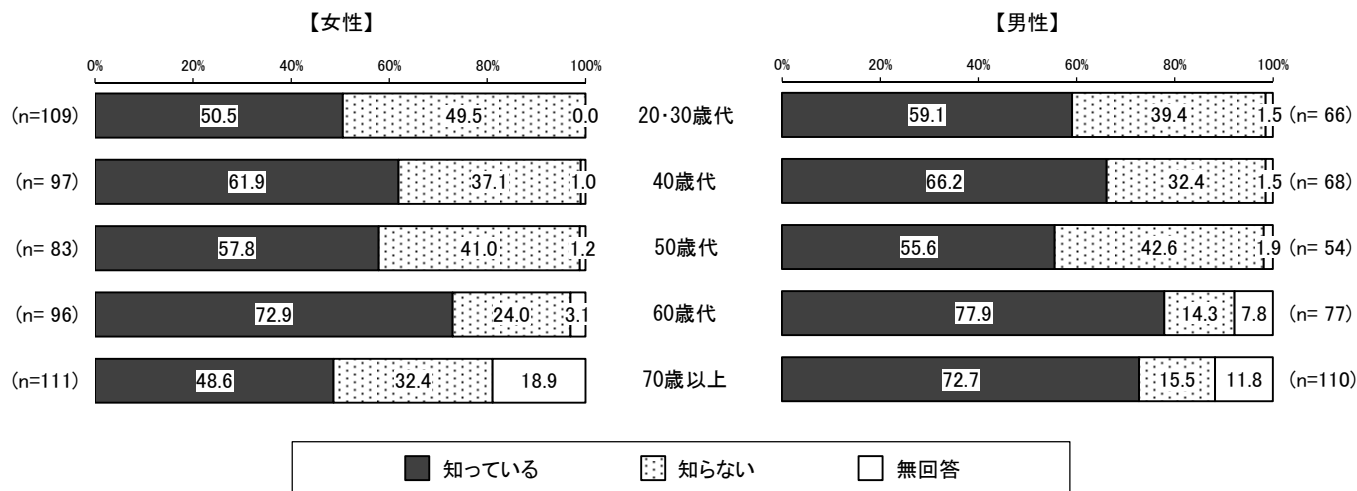
相談窓口の認知 — ④配偶者暴力相談支援センター（滋賀県中央子ども家庭相談センター）



⑤草津警察署生活安全課

男女とも 60 歳代で「知っている」が高く 7 割を超えており、男性の 70 歳以上でも 7 割を超えています。

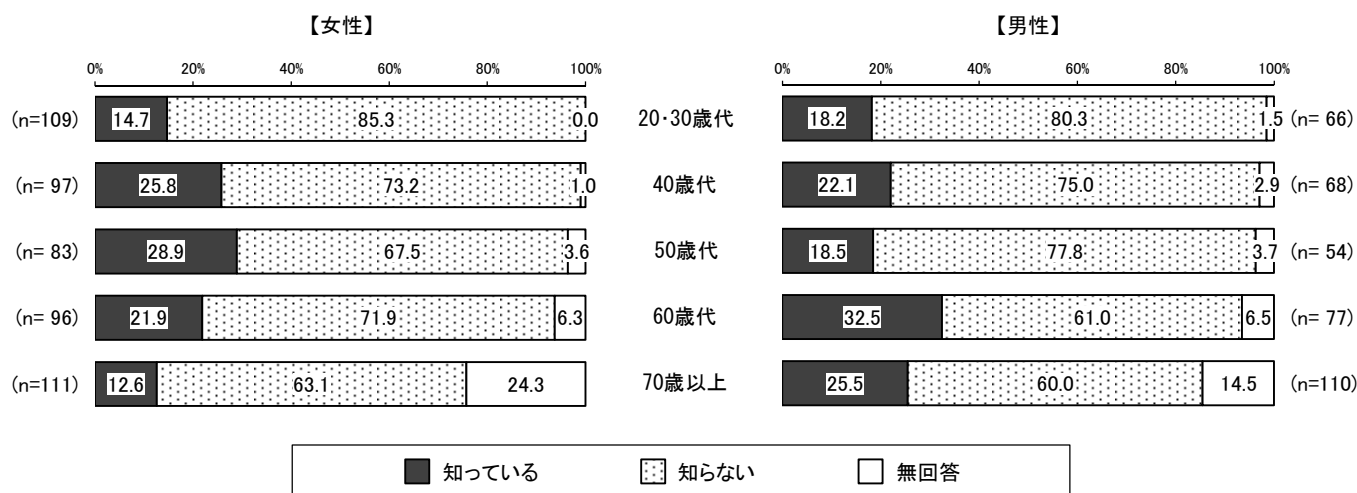
相談窓口の認知 — ⑤草津警察署生活安全課



⑥県立男女共同参画センター（G-NETしが）

女性では 50 歳代、男性では 60 歳代で「知っている」が最も高くなっており、男性は 32.5%と最も高くなっています。男女とも 20・30 歳代では「知らない」が 8 割を超えて高くなっています。

相談窓口の認知 — ⑥県立男女共同参画センター（G-NETしが）

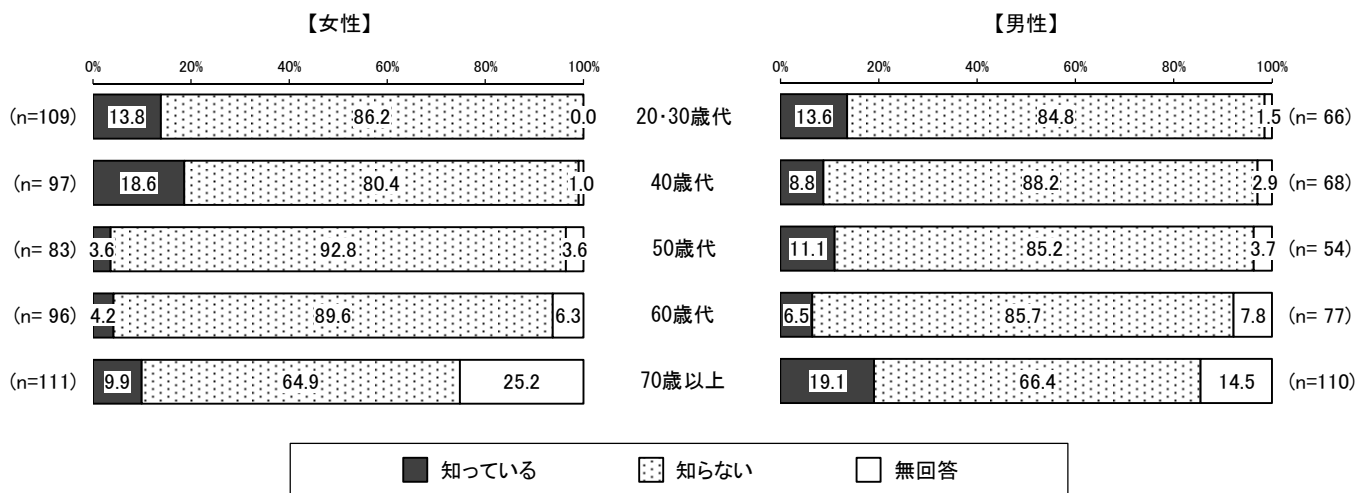


⑦犯罪被害者総合窓口（NPO法人おうみ犯罪被害者支援センター）

女性では、40歳代で「知っている」が最も高くなっています。50歳代では「知らない」が92.8%と最も高くなっています。

男性では、70歳以上で「知っている」が最も高くなっています。

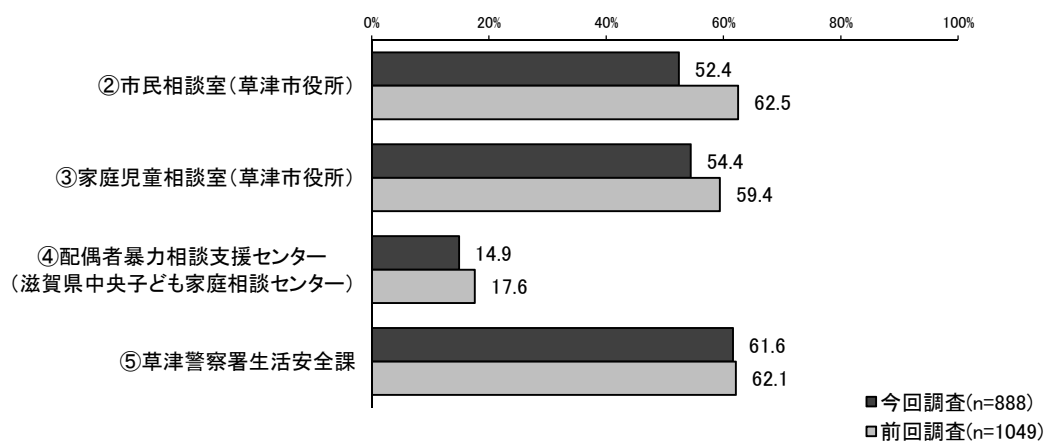
相談窓口の認知 — ⑦犯罪被害者総合窓口（NPO法人おうみ犯罪被害者支援センター）



<前回調査との比較>

「前回調査・平成26年度」と比較可能な項目では、いずれの項目も「知っている」が低くなっています。なかでも「②市民相談室（草津市役所）」は約10ポイント減少しています。

相談窓口の認知 — 「知っている」の割合（前回調査・平成26年度との比較）



6. 市の施策・(仮称)男女共同参画センターについて

(1) (仮称)男女共同参画センターにあればよいと思う機能・事業

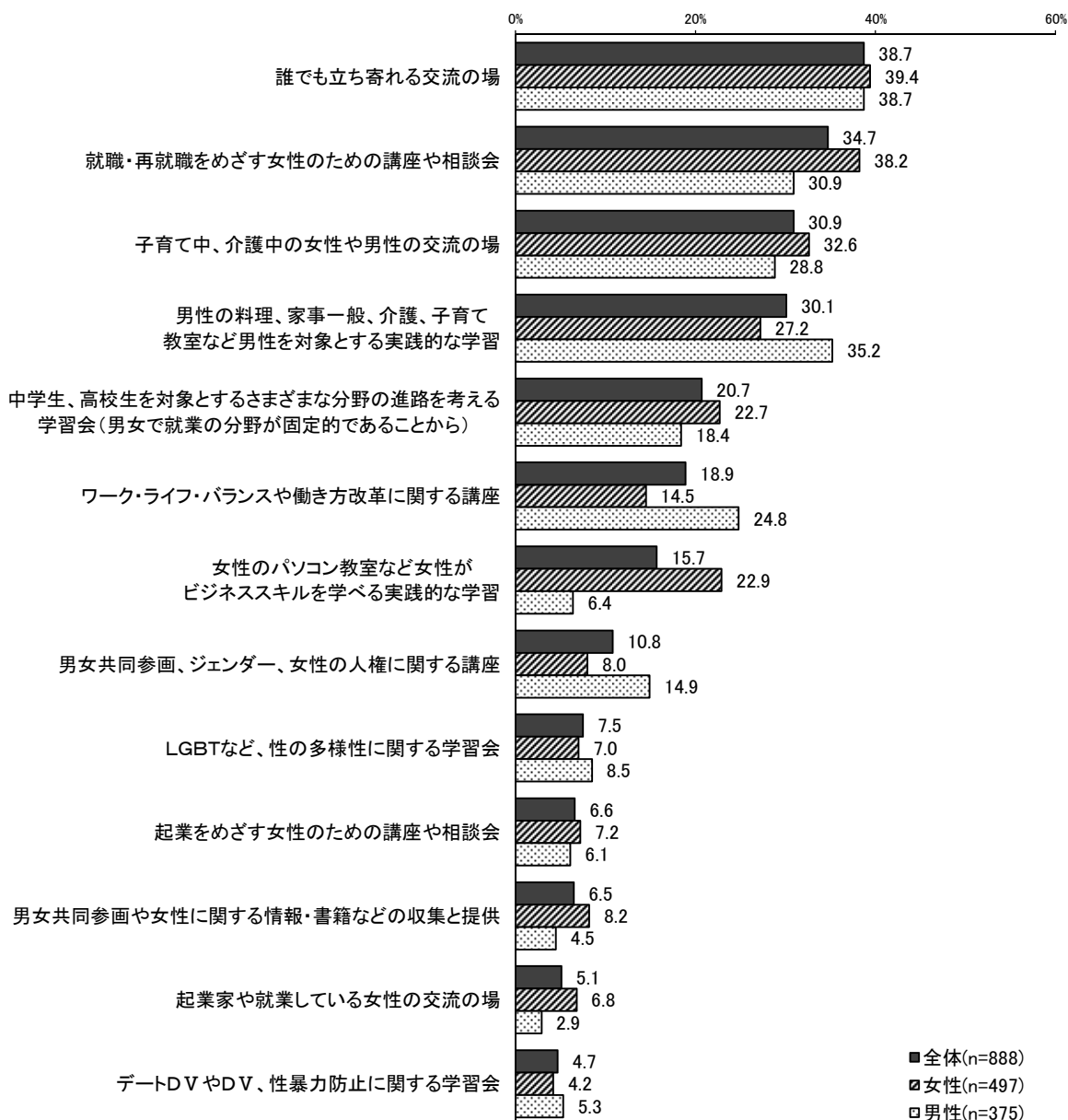
問 18 (仮称)男女共同参画センターに、どのような機能・事業があればよいと思いますか。(〇は3つまで)

「誰でも立ち寄れる交流の場」が 38.7%で最も高く、次いで「就職・再就職をめざす女性のための講座や相談会」が 34.7%、「子育て中、介護中の女性や男性の交流の場」が 30.9%、「男性の料理、家事一般、介護、子育て教室など男性を対象とする実践的な学習」が 30.1%となっています。

【性別】

「就職・再就職をめざす女性のための講座や相談会」と「女性のパソコン教室など女性がビジネススキルを学べる実践的な学習」は男性に比べて女性が高く、「男性の料理、家事一般、介護、子育て教室など男性を対象とする実践的な学習」、「ワーク・ライフ・バランスや働き方改革に関する講座」、「男女共同参画、ジェンダー、女性の人権に関する講座」は男性が高くなっています。

性別 (仮称)男女共同参画センターにあればよいと思う機能・事業



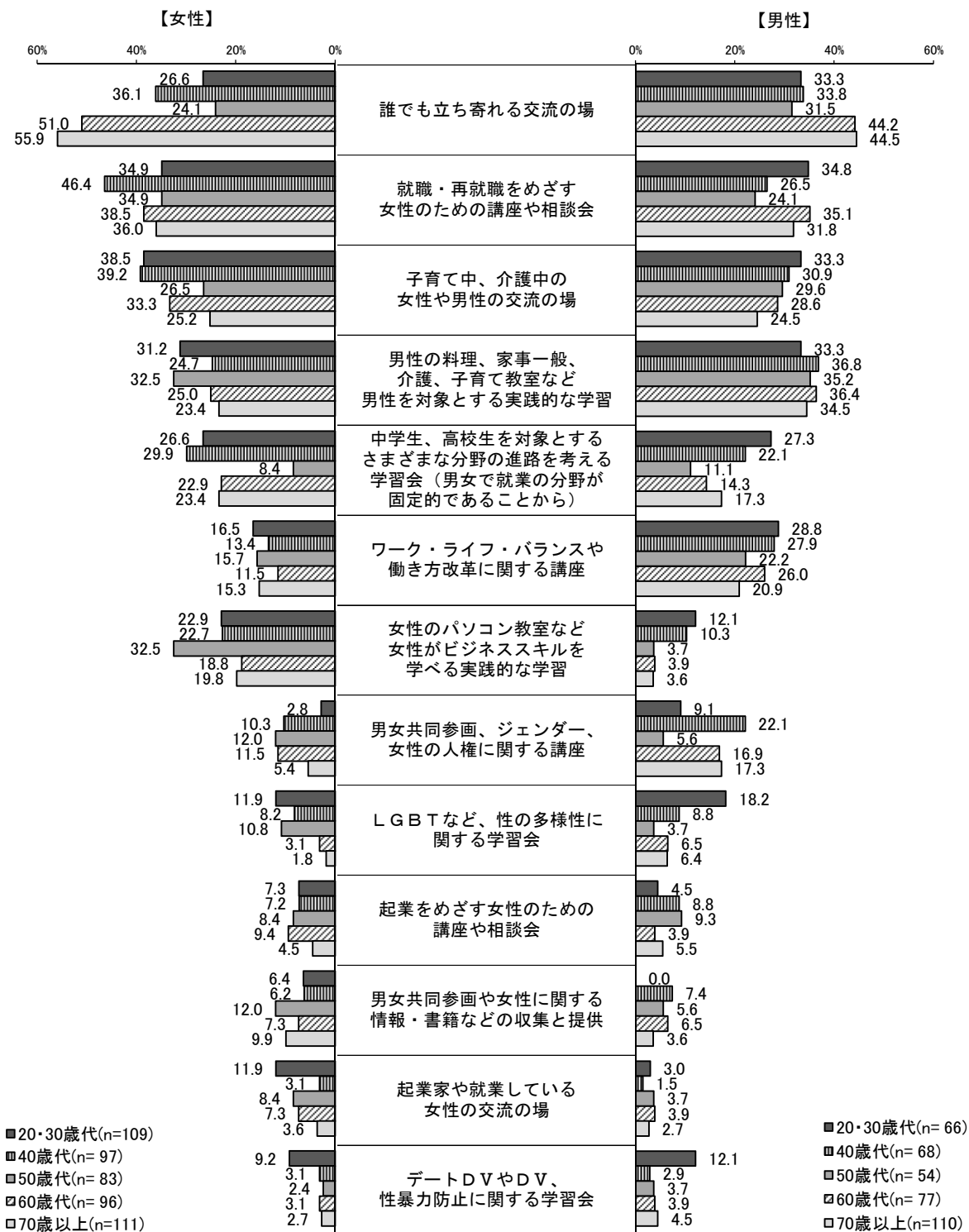
【性年齢別】

女性では、40 歳代で「就職・再就職をめざす女性のための講座や相談会」、50 歳代で「女性のパソコン教室など女性がビジネススキルを学べる実践的な学習」が高くなっています。

男性では、20・30 歳代で「L G B T など、性の多様性に関する学習会」「デートDVやDV、性暴力防止に関する学習会」が高くなっています。

男女とも 60 歳代以上で「誰でも立ち寄れる交流の場」が高くなっています。

性年齢別 （仮称）男女共同参画センターにあればよいと思う機能・事業



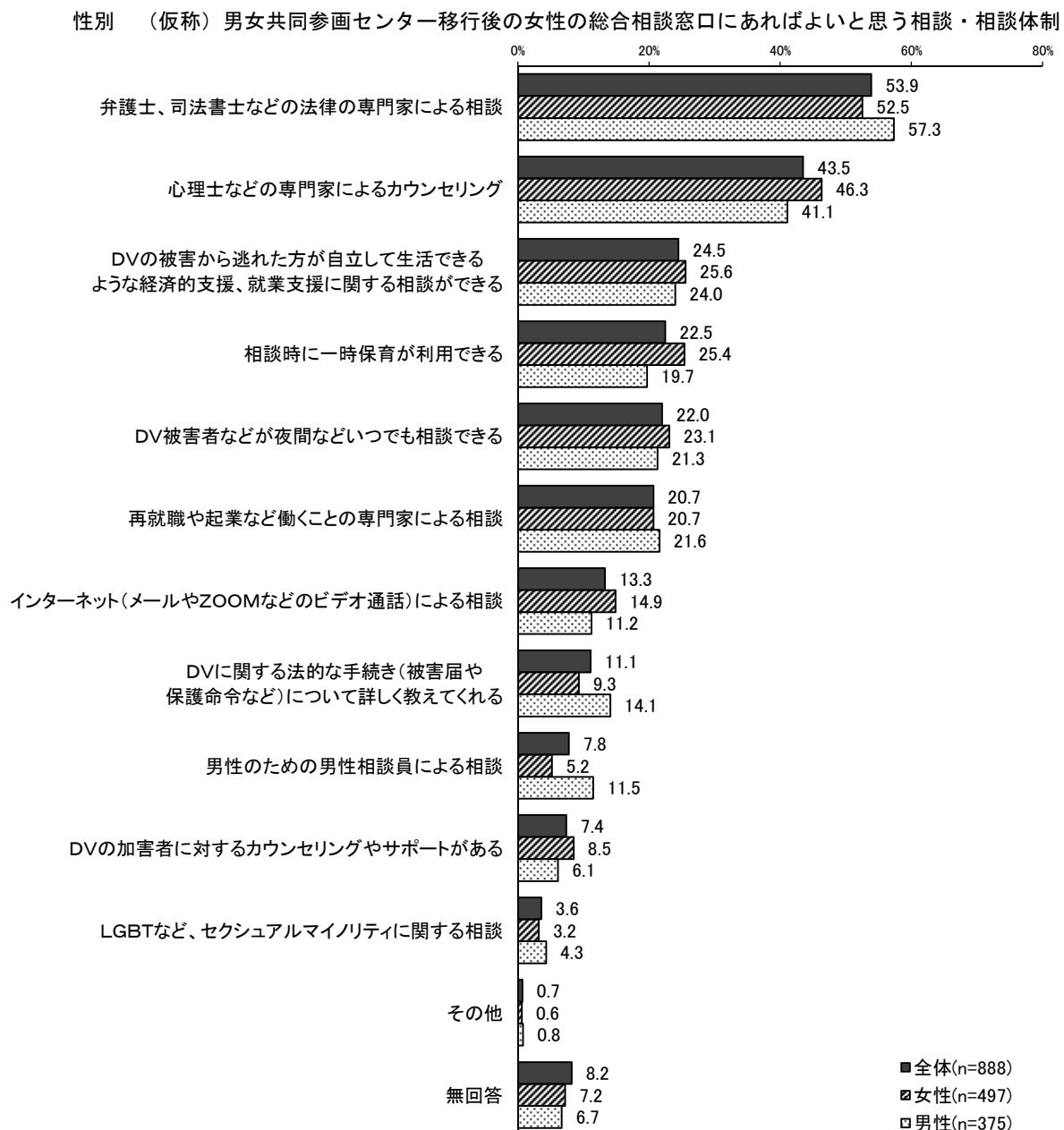
(2) (仮称) 男女共同参画センター移行後の女性の総合相談窓口があればよいと思う相談・相談体制

問 19 現在、市が設置する女性の総合相談窓口（問 17 に説明あり）ではDV、セクハラ、家族のこと、働くことなどの相談に応じていますが、今後、(仮称) 男女共同参画センターに移行するにあたって、どのような相談・相談体制があればよいと思いますか。（〇は3つまで）

「弁護士、司法書士などの法律の専門家による相談」が 53.9%で最も高く、次いで「心理士などの専門家によるカウンセリング」が 43.5%、「DVの被害から逃れた方が自立して生活できるような経済的支援、就業支援に関する相談ができる」が 24.5%、「相談時に一時保育が利用できる」が 22.5%、「DV被害者などが夜間などいつでも相談できる」が 22.0%、「再就職や起業など働くことの専門家による相談」が 20.7%となっています。

【性別】

男女とも「弁護士、司法書士などの法律の専門家による相談」「心理士などの専門家によるカウンセリング」が4～5割と高くなっています。

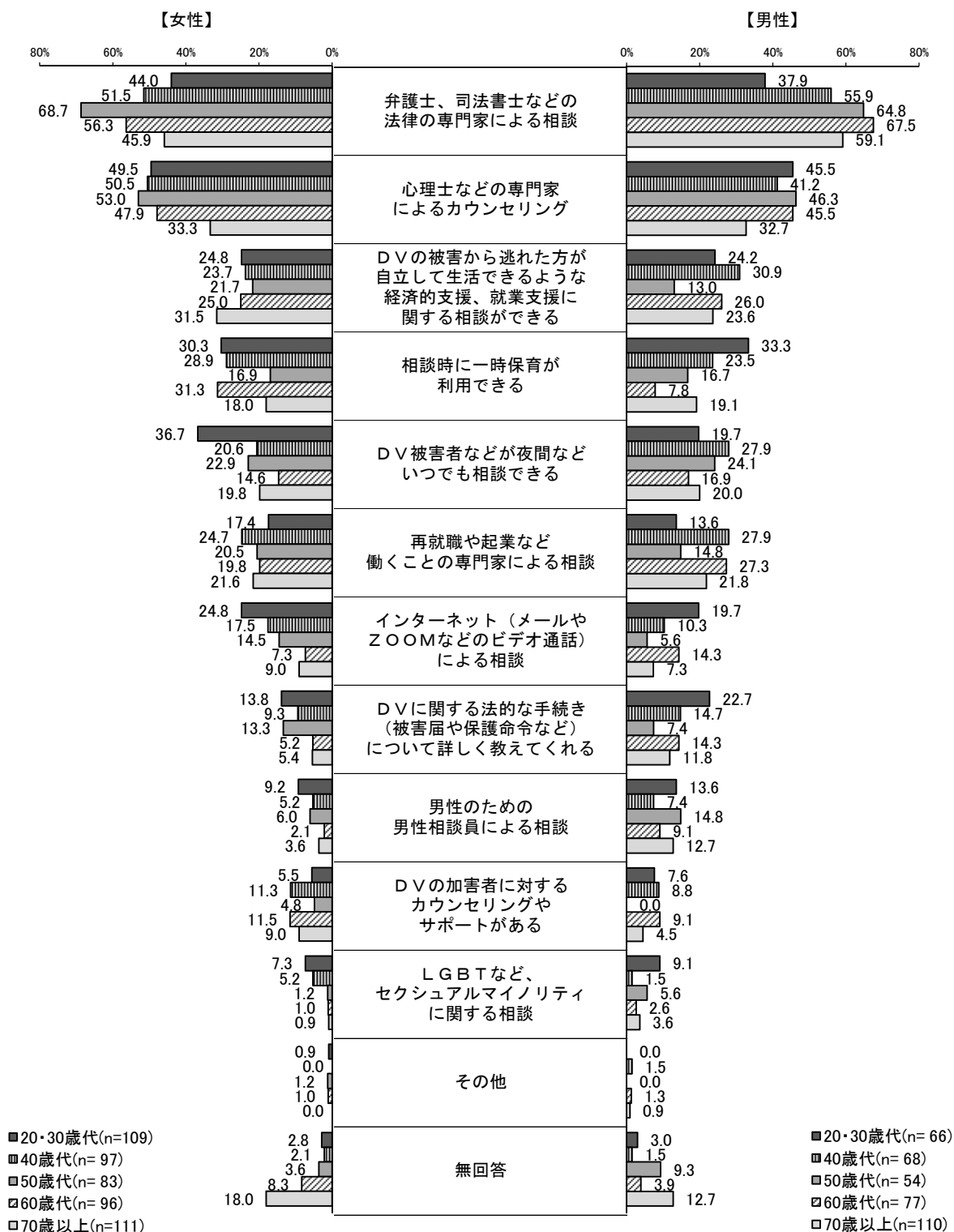


【性年齢別】

女性では、50歳代で「弁護士、司法書士などの法律の専門家による相談」、20・30歳代で「DV被害者などが夜間などいつでも相談できる」が高くなっています。

男性では、20・30歳代で「相談時に一時保育が利用できる」「DVに関する法的な手続き（被害届や保護命令など）について詳しく教えてくれる」が高くなっています。

性年齢別 （仮称）男女共同参画センター移行後の女性の総合相談窓口であればよいと思う相談・相談体制



(3) 草津市が男女共同参画社会実現に向けて力を入れるべき取り組み

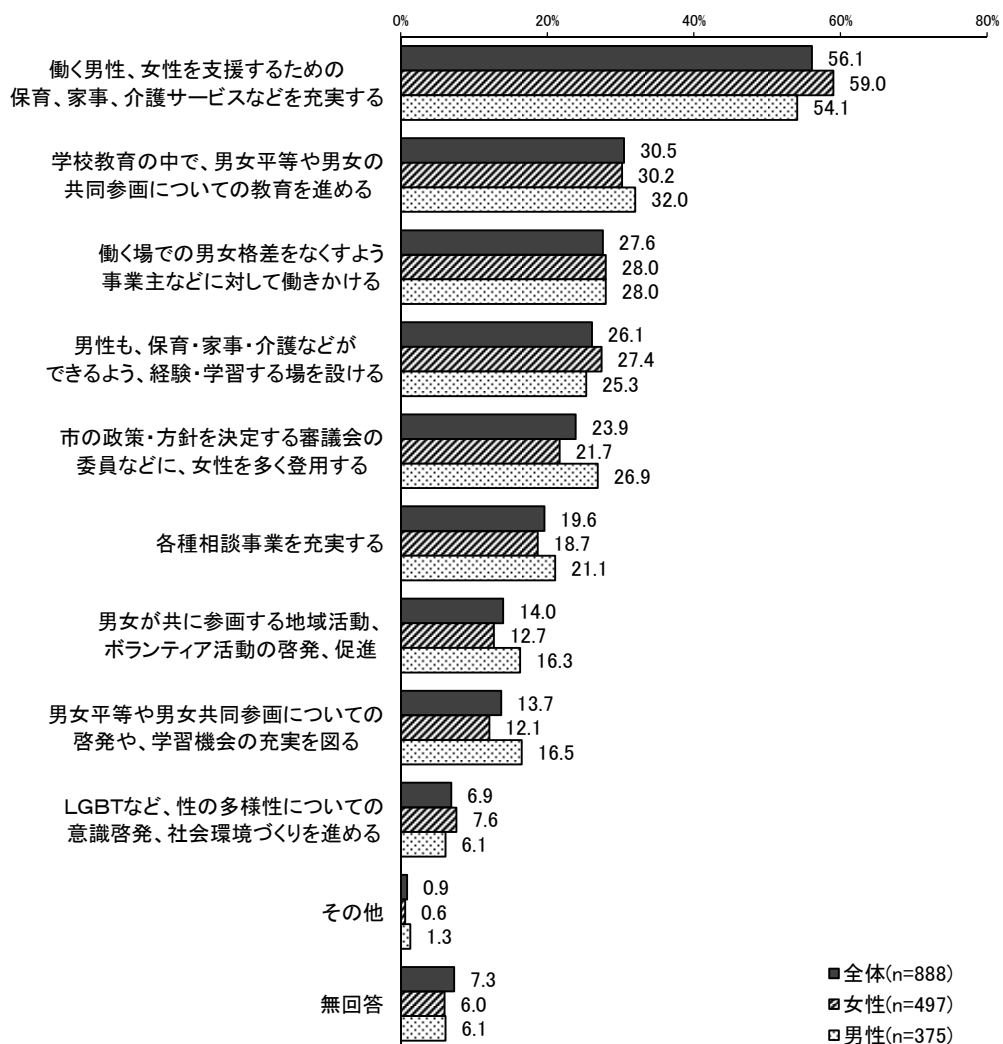
問 20 男女共同参画社会の実現に向けて、草津市が今後、特に力を入れるべきだと思うものはどれですか。(〇は3つまで)

「働く男性、女性を支援するための保育、家事、介護サービスなどを充実する」が 56.1%で最も高く、次いで「学校教育の中で、男女平等や男女の共同参画についての教育を進める」が 30.5%、「働く場での男女格差をなくすよう事業主などに対して働きかける」が 27.6%、「男性も、保育・家事・介護などができるよう、経験・学習する場を設ける」が 26.1%、「市の政策・方針を決定する審議会の委員などに、女性を多く登用する」が 23.9%となっています。

【性別】

「働く男性、女性を支援するための保育、家事、介護サービスなどを充実する」は女性が高く、「市の政策・方針を決定する審議会の委員などに、女性を多く登用する」は男性が高くなっています。

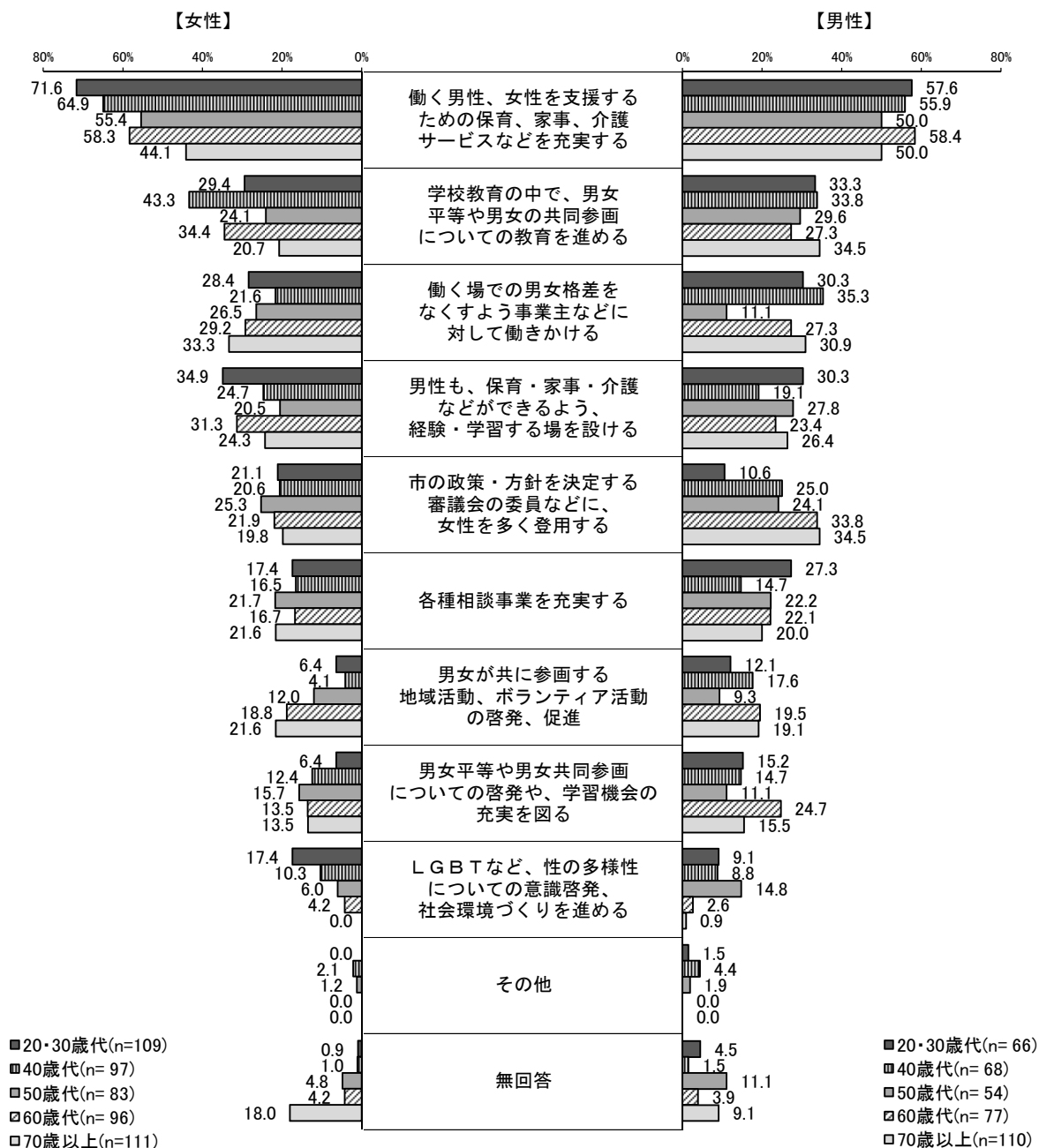
性別 草津市が男女共同参画社会実現に向けて力を入れるべき取り組み



【性年齢別】

女性の 20・30 歳代で「働く男性、女性を支援するための保育、家事、介護サービスなどを充実する」が 71.6%と最も高く、女性の 40 歳代で「学校教育の中で、男女平等や男女の共同参画についての教育を進める」が 43.3%と最も高くなっています。

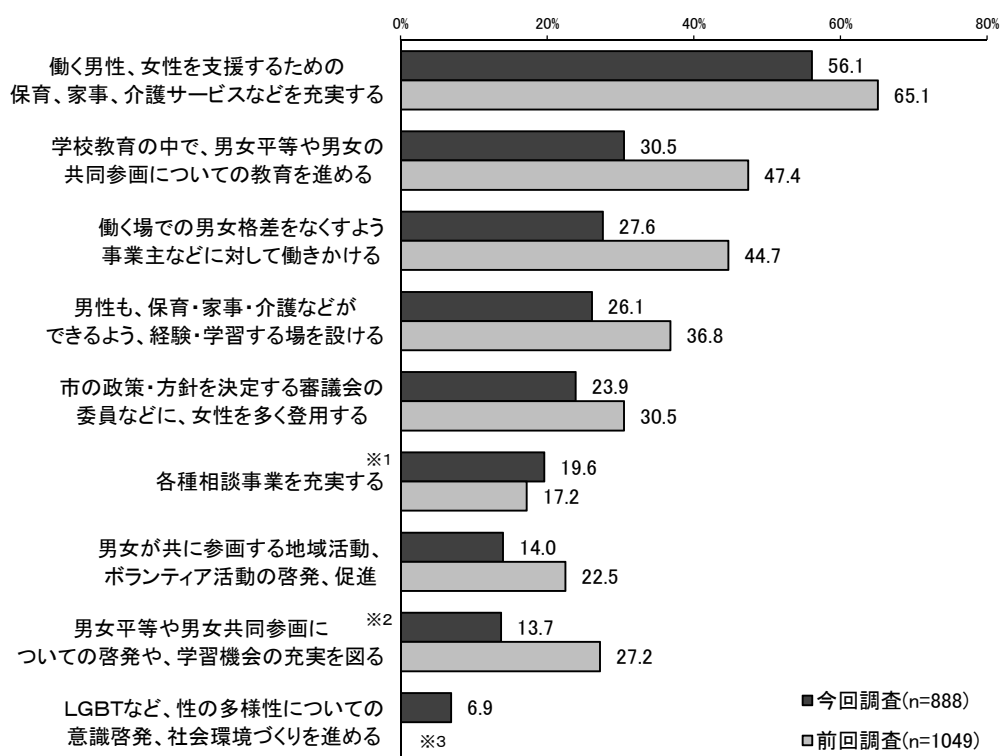
性年齢別 草津市が男女共同参画社会実現に向けて力を入れるべき取り組み



＜前回調査との比較＞

「前回調査・平成 26 年度」より、ほとんどの項目で回答割合が低くなっています。特に「学校教育の中で、男女平等や男女の共同参画についての教育を進める」（前回調査 47.4%、今回調査 30.5%）と「働く場での男女格差をなくすよう事業主などに対して働きかける」（前回調査 44.7%、今回調査 27.6%）では、ともに約 17 ポイント減少しています。

草津市が男女共同参画社会実現に向けて力を入れるべき取り組み（前回調査・平成26年度との比較）



※1 前回調査では「女性のための各種相談事業を充実させる」

※2 前回調査では「意識改革のための啓発推進や、学習機会の充実を図る」

※3 今回調査のみの項目

7. 自由記述

73 人から 81 件の意見が寄せられました。内容を分類分けした結果は以下の通りです。

内容	件数
男女共同参画の推進について	26
男女共同参画に肯定的	6
教育、学習の場の提供	4
真の男女平等が重要	4
男女の地位の平等	3
男女共同参画に否定的	3
女性の社会参加、活躍の推進	2
男女の意識改革が必要	2
その他	2
労働について	10
働き方改革が必要	5
職業を続けるための支援	5
ワーク・ライフ・バランスについて	10
子育て支援サービスの充実	8
男性の家事参加の促進	1
家事時間軽減のための支援	1
人権の尊重について	7
DV、ハラスメントへの対応	2
相談しやすい窓口	2
性の多様性への理解	1
その他	2
その他	28
アンケートに関する意見	10
市役所から実践すべき	8
広報・啓発が重要	4
その他の意見	6
合計	81

Ⅲ 調査結果の概要

1. 男女共同参画について

(1) 社会の各分野における男女平等感

社会の各分野における男女の地位の平等感は、「平等である」が 5 割を超えるのは、唯一「学校教育の場で」のみで、他の分野はすべて『男性優遇』（「男性が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」の合計）の割合が高くなっています。

各分野のなかで、特に『男性優遇』が高いのは、「政治分野で」と「社会通念・慣習・しきたりなど」で、それぞれ 78.4%、82.8%となっており、大多数の人が『男性優遇』と回答しています。

政治分野における女性の参画が、他の先進国に比べて極めて低い実態が市民意識にも反映していると考えられます。また、統計などの数字では表しにくい「社会通念・慣習・しきたりなど」において女性への差別意識が根強く残っていることも市民の多くが感じていると考えられます。

性別でみると、「職場の中で」を除くすべての分野で、女性のほうが『男性優遇』が高く、なかでも「家庭生活で」「地域活動の場で」「法律や制度のうえで」は、10 ポイント以上の差があり、男女の意識差が大きい分野といえます。

(2) 性別役割分担意識

「どちらかといえば反対」（33.3%）と「どちらかといえば賛成」（31.3%）の割合は、ほとんど差がありませんが、『肯定的』（「賛成」と「どちらかといえば賛成」の合計）は 36.8%、『否定的』（「反対」と「どちらかといえば反対」の合計）は 53.9%で 17.1 ポイントの差があります。

5 年前に実施した前回調査と比較して、『否定的』が 11.3 ポイント高くなっており、性別役割分担意識の変化がうかがえます。

性別でみると、女性のほうが男性より『否定的』が高く、『肯定的』が低いという役割分担意識に男女差がみられます。ただし、男性は、『否定的』が前回調査よりも 15.4 ポイント増加して、女性の増加幅を上回っています。性別役割分担に対する男女の意識差は縮小傾向にあるといえます。

(3) 性別役割分担に賛成する理由

全体では、「母親が家庭にいたほうが、子どもの成長にとってよいと思うから」（38.5%）が最も高く、次いで「能力的にみて、男性は仕事に向いており、女性は家事・育児・介護に向いていると思うから」（27.8%）となっています。

性別でみると、女性のほうが男性より「能力的にみて、男性は仕事に向いており、女性は家事・育児・介護に向いていると思うから」の割合が 13.0 ポイント高くなっており、性別役割分担を肯定する女性では、“家事・育児・介護は女性に向いている”という女性役割を内面化している傾向が強いことがうかがえます。

(4) 性別役割分担に反対する理由

全体では、「男女共に仕事と家事・育児・介護などの両方に関わるほうが、各個人、家庭にとってよいと思うから」（44.7%）が最も高く、次いで「性別によって一律に役割を決めることはおかしいと思うから」（31.3%）となっています。

性別でみると、「男女共に仕事と家事・育児・介護などの両方に関わるほうが、各個人、家庭に

とってよいと思うから」は女性のほうが13.4ポイント高く、「家庭以外の場面でも、女性の能力をいかせると思うから」は男性のほうが6.7ポイント高くなっています。社会で活躍する女性が増えることが男性の性別役割分担意識の変化に影響していることがうかがえます。

(5) 子どもの育て方についての考え方

「男の子らしく女の子らしくというより、一人ひとりの個性を尊重して育てたほうがよい」が約7割を占めています。

前回調査と比較すると、「男の子らしく女の子らしくというより、一人ひとりの個性を尊重して育てたほうがよい」は12.7ポイント増加しています。

性別でみると、男性のほうが「ある程度は、男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てたほうがよい」「男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てたほうがよい」の割合が高く、性別役割分担意識に男女で意識差があることとつながっています。

(6) 地域での男女間格差の有無

住んでいる地域の行事・役割などで、男女間の格差を感じるものの有無は、「ない」が38.2%、「ある」が32.4%、「地域活動に参加していない」が27.7%となっています。

性別でみると、「ある」の回答は男性のほうが女性より、やや高くなっています。

(7) 地域での男女間格差の内容

全体では、「実際に活動しているのは妻である女性なのに、名義や役職は夫の名前である」(42.0%)が最も高く、次いで「地域の行事・祭礼などで女性が参加できなかったり、女性の役割が受付、接待などというように固定化されている」(39.6%)となっています。

性別でみると、上位2項目の割合に男女の差はほとんどありませんが、「会議などでお茶出しや片付けは女性だけがしている」は女性のほうが20ポイント以上高く、「役員選挙に女性が出にくく、また選ばれにくい」は男性のほうが20ポイント以上高いなど、男女の回答差が大きい項目がみられます。

(8) 男女共同参画に関する用語の認知

「LGBT」「ジェンダー」「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」「デートDV」は、「だいたい内容を知っている」が4～5割台で他の項目より高くなっています。「SDGs」「草津市男女共同参画推進条例」では、「まったく知らない」がそれぞれ61.3%、53.9%と高くなっています。

前回調査と比較可能な項目では、いずれも「前回調査」より『知っている』（「だいたい内容を知っている」と「聞いたことはあるが内容は知らない」の合計）が高くなっており、なかでも「ジェンダー」「デートDV」「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」は10ポイント以上高くなっています。用語の認知が進んでいることがうかがえます。

性別でみると、ほとんどの用語で男性のほうが『知っている』が高くなっており、女性のほうが高いのは「草津市男女共同参画推進条例」「デートDV」「ジェンダー」の3項目です。

2. ワーク・ライフ・バランスについて

(1) 生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度

生活の中での「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先状況を、＜希望＞と＜現実＞で比較すると、『仕事』と『家庭生活』と『地域・個人の生活』をともに優先したい』では＜希望＞のほうが 12.8 ポイント高く、逆に『仕事』を優先している』では＜現実＞のほうが 16.2 ポイント高くなっています。

性別でみると、＜現実＞において、女性は『家庭生活』を優先している」(31.2%) が最も高く、男性は『仕事』を優先している」(26.7%) が最も高くなっています。男女とも＜希望＞では、「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」のうち複数を優先したいという回答が 6 割を超えていますが、＜現実＞に優先できているのは 4 割台となっています。

(2) 生活時間

①仕事・学校

＜仕事や学校のある日＞の仕事・学校の時間は、全体の平均時間では 7.89 時間となっています。

性別でみると、女性の平均時間が 6.79 時間に対して、男性は 9.13 時間で、男性が約 2 時間 20 分長くなっています。

②通勤・通学時間

＜仕事や学校のある日＞の通勤・通学の時間は、全体の平均時間では 1.06 時間となっています。

性別でみると、女性の平均時間が 0.95 時間に対して、男性は 1.19 時間で、男性が約 15 分長くなっています。

③家事（炊事、買物、洗濯、掃除など）

＜仕事や学校のある日＞

家事の時間は、全体の平均時間では 2.88 時間となっています。

性別でみると、女性の平均時間が 4.08 時間に対して、男性は 1.17 時間で、女性が約 3 時間長くなっています。

＜休みの日・仕事や学校のない日＞

家事の時間は、全体の平均時間では 4.00 時間となっています。

性別でみると、女性の平均時間が 5.28 時間に対して、男性は 2.19 時間で、仕事や学校がある日と同様、女性が約 3 時間長くなっています。

④育児・子育て

＜仕事や学校のある日＞

育児・子育ての時間は、全体の平均時間では 1.75 時間となっています。

性別でみると、女性の平均時間が 2.47 時間に対して、男性は 0.71 時間で、女性が約 1 時間 45 分長くなっています。

＜休みの日・仕事や学校のない日＞

育児・子育ての時間は、全体の平均時間では 3.63 時間となっています。

性別でみると、女性の平均時間が 4.11 時間に対して、男性は 2.86 時間で、女性が約 1 時間 15 分長くなっており、＜仕事や学校のある日＞よりも男女の時間差は約 30 分短くなっています。

⑤介護

<仕事や学校のある日>

介護の時間は、全体の平均時間では 0.35 時間となっています。

性別でみると、女性の平均時間が 0.39 時間、男性の平均時間が 0.32 時間で、男女で大きな差はみられません。

<休みの日・仕事や学校のない日>

介護の時間は、全体の平均時間では 0.69 時間となっています。

性別でみると、女性の平均時間が 0.78 時間、男性の平均時間が 0.59 時間で、女性がやや長くなっています。

⑥地域活動

<仕事や学校のある日>

地域活動の時間は、全体の平均時間は 0.37 時間で、1 分以上地域活動をしている人は 10.3%にとどまっています。

性別でみると、女性の平均時間が 0.36 時間、男性の平均時間が 0.39 時間で、男女で大きな差はみられません。

<休みの日・仕事や学校のない日>

地域活動の時間は、全体の平均時間では 0.71 時間となっており、1 分以上地域活動をしている人は 18.1%にとどまっています。

性別でみると、女性の平均時間が 0.52 時間、男性の平均時間が 0.91 時間で、男性が約 20 分長くなっています。

⑦個人の時間（学習、趣味、スポーツ、友人付き合いなど）

<仕事や学校のある日>

個人の時間は、全体の平均時間では 3.00 時間となっています。

性別でみると、女性の平均時間が 2.60 時間、男性の平均時間が 3.48 時間で、男性が約 50 分長くなっています。

未就学児と同居の女性の平均時間は 0.99 時間で、同じ未就学児と同居の男性の平均時間 1.92 時間や、女性全体の平均時間 2.60 時間と比べて著しく短くなっています。

<休みの日・仕事や学校のない日>

個人の時間は、全体の平均時間では 5.60 時間となっています。

性別でみると、女性の平均時間が 4.44 時間、男性の平均時間が 7.01 時間で、男性が約 2 時間 30 分長く、<仕事や学校のある日>よりも男女の時間差が大きくなっています。

未就学児と同居の女性の平均時間は 1.52 時間で、同じ未就学児と同居の男性の平均時間 3.52 時間や、女性全体の平均時間 4.44 時間と比べて著しく短くなっています。

⑧睡眠時間

<仕事や学校のある日>

睡眠時間は、全体の平均時間では 6.70 時間となっています。

性別でみると、女性の平均時間が 6.62 時間、男性の平均時間が 6.82 時間で、男性がやや長くなっています。

＜休みの日・仕事や学校のない日＞

全体の平均時間は 7.37 時間で、仕事や学校のある日に比べて約 40 分長くなっています。

性別でみると、女性の平均時間が 7.20 時間、男性の平均時間が 7.61 時間で、男性が約 25 分長くなっています。

（３）男性の積極的家庭生活参加のために必要なこと

「男性も育児や介護の休業を取得しやすい環境にすること」（42.6%）が最も高く、次いで「夫婦や家族間のコミュニケーションを増やすこと」（40.4%）となっています。

性別でみると、「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」が、男性より女性のほうが 6.6 ポイント高くなっている程度で、全体的に男女の意識差はほとんどみられません。

（４）職場でのワーク・ライフ・バランス実現への取り組み

「無駄な業務・作業・会議をなくし、労働時間を短縮する」（47.2%）が最も高く、次いで「管理職の意識改革を行う」（41.8%）、「短時間勤務やフレックスタイム制度など柔軟な働き方ができるようにする」（38.6%）と続いています。

前回調査と比較すると、「特に必要なことはない」（前回調査 22.0%、今回調査 2.5%）の回答割合が大幅に低くなっており、取り組みの必要性は社会的に認識されていると考えられます。各選択肢の回答割合では、「無駄な業務・作業・会議をなくし、労働時間を短縮する」と「管理職以外の社員の意識改革を行う」以外の項目は低くなっており、なかでも「育児・介護などの休業・休暇制度を充実し、育児・介護休業を取りやすくする」は 10.3 ポイント減少しています。このことは、育児・介護休業の取りやすさが一定進展したことを表しているとも考えられます。

性別でみると、女性では、「無駄な業務・作業・会議をなくし、労働時間を短縮する」と「短時間勤務やフレックスタイム制度など柔軟な働き方ができるようにする」が男性よりいずれも 8.4 ポイント高く、男性では、「社長や取締役などがリーダーシップを発揮してワーク・ライフ・バランスに取り組む」が女性より 8.8 ポイント高くなっています。

3. 労働について

（１）現在の職業

回答者本人は、職業を持っている人は約 6 割で、内訳は、「勤め人（正規の社員や職員、会社などの役員）」が 32.3%、「勤め人（非正規の社員や職員（パート・アルバイト・派遣など）で週あたりの就業時間が 35 時間未満）」（14.8%）と「勤め人（非正規の社員や職員（パート・アルバイト・派遣など）で週あたりの就業時間が 35 時間以上）」（7.7%）を併せて 54.8%となっています。

性別でみると、職業を持っている男性（68.6%）は、女性（55.7%）を 12.9 ポイント上回ります。特に「勤め人（正規の社員や職員、会社などの役員）」の男性が 48.5%に対して、女性は 20.3%で、女性のほうが 28.2 ポイント低くなっています。

（２）今後の就労意向

全体では、「働きたくない」（56.7%）に次いで「条件が整えば働きたい」（26.2%）となっています。

性別でみると、女性のほうが「条件が整えば働きたい」がやや高くなっています。

性年齢別でみると、40 歳代以下では男女とも大半が「条件が整えば働きたい」と回答しています。

（３）現在働くことができない理由

全体では、「希望の勤務時間に合う勤め先が見つからない」（32.2%）、「健康上の理由」（27.6%）、「希望の雇用形態に合う勤め先が見つからない」（23.0%）の順になっています。

性別でみると、女性では、「希望の勤務時間に合う勤め先が見つからない」が男性より 13.0 ポイント高く、男性では、「健康上の理由」が女性より 15.5 ポイント高くなっています。女性は家事や子育てとの両立、男性は健康面や勤務条件を理由とする回答割合が高くなっています。

（４）女性が出産・子育てなどを理由に仕事を辞めることなく働けるために必要なこと

全体では、「女性が働き続けられる、または、復帰しやすい職場の雰囲気づくり」（56.0%）が特に高く、次いで「育児休業を取りやすい職場環境づくり」（38.9%）、「在宅勤務やフレックスタイム制度など、柔軟な働き方の導入」（36.4%）、「企業の育児休業の制度の整備・充実」（34.5%）、「育児のための施設やサービスの充実」（34.2%）、「夫・パートナーなど家族の家事・育児などへの協力」（33.9%）がほぼ同じ割合で続いています。

性別でみると、男女で差が大きいのは「企業の育児休業の制度の整備・充実」で、男性が女性より 13.3 ポイント高く、女性は「夫・パートナーなど家族の家事・育児などへの協力」が男性より 14.6 ポイント高くなっています。

（５）介護を理由に仕事を辞めることなく働けるために必要なこと

全体では、「介護のための施設やサービスの充実」（54.6%）が特に高く、次いで「介護をしても働き続けられる、または、復帰しやすい職場の雰囲気づくり」（43.2%）、「介護休業を取りやすい職場環境づくり」（39.2%）、「企業の介護休業の制度の整備・充実」（37.8%）、「在宅勤務やフレックスタイム制度など、柔軟な働き方の導入」（36.9%）と続いています。

性別でみると、出産・子育てと同様の項目で男女の差が大きくなっています。「企業の介護休業の制度の整備・充実」は、男性が女性より 11.9 ポイント高く、「パートナーなど家族の家事・介護などへの協力」は、女性が男性より 24.5 ポイント高くなっています。

子育てや介護中も働き続けられる条件として、女性は、制度の整備に加えて、パートナーの協力が必要と考える傾向がうかがえます。

（６）女性管理職が少ない理由

全体では、「会社や組織の中に昇進・昇格に対する男性優先の意識や、女性管理職に対する不安感があるから」（29.7%）が最も高く、次いで「女性は、家庭における責任を多く担っているため、責任の重い仕事を希望しないから」（23.8%）となっています。

前回調査と比較して、ほとんど違いはみられません

男性より女性が高い項目として、「女性は、家庭における責任を多く担っているため、責任の重い仕事を希望しないから」「会社や組織の中に昇進・昇格に対する男性優先の意識や、女性管理職に対する不安感があるから」が挙げられ、男性のほうが高いのは、「女性自身が管理職につくことに消極的だから」「女性は、勤続年数が短く、管理職になる前に退職するから」が挙げられます。

4. セクシュアル・ハラスメント（セクハラ）・DVについて

（１）セクシュアル・ハラスメントを受けた経験

全体では、＜職場＞、＜学校＞、＜地域＞のいずれの場面でも「年齢や身体のことについて、不愉快な意見や冗談を言われた」が最も高くなっており、すべての行為において、＜職場＞で受けた経験が最も高くなっています。

性別でみると、ほとんどすべての場面、行為において女性のほうが男性より受けた経験が高くなっています。「年齢や身体のことについて不愉快な意見や冗談を言われた」は、男性の経験割合が他の項目に比べて高く、＜職場＞では男性も 12.8%が経験ありと回答しています。

（２）ドメスティック・バイオレンスを受けた経験

全体では、自身の被害経験である「過去に暴力を受けたことがある」(8.1%)、「現在も暴力を受けることがある」(0.8%)を併せて 8.9%となっています。

前回調査と比較すると、過去または現在に被害経験がある割合はわずかに高くなっています。

性別でみると、女性は「過去に暴力を受けたことがある」(12.3%)が 1 割を超えており、過去または現在に被害経験があるのは、女性が 13.3%、男性が 3.2%となっています。

（３）ドメスティック・バイオレンスへの対処方法

全体では、「どこにも相談しなかった」(44.3%)が最も高く、相談した場合は「家族に相談した」「友人や知人に相談した」が 2 割前後であるほかは、いずれも 1 割未満となっています。

性別でみると、女性では男性に比べて「本人同士で話し合った」が高くなっており、男性では、「どこにも相談しなかった」が女性よりも高くなっています。

（４）相談窓口の認知

全体で半数以上が「知っている」窓口としては、「草津警察署生活安全課」「家庭児童相談室（草津市役所）」「市民相談室（草津市役所）」が挙げられます。その他では 1～2 割にとどまっています。

5. 市の施策・（仮称）男女共同参画センターについて

（１）（仮称）男女共同参画センターにあればよいと思う機能・事業

全体では、「誰でも立ち寄れる交流の場」(38.7%)が最も高く、続く「就職・再就職をめざす女性のための講座や相談会」(34.7%)、「子育て中、介護中の女性や男性の交流の場」(30.9%)、「男性の料理、家事一般、介護、子育て教室など男性を対象とする実践的な学習」(30.1%)が 3 割を超えています。

性別でみると、男女で差が大きい項目として、女性の回答割合が高いのは「就職・再就職をめざす女性のための講座や相談会」と「女性のパソコン教室など女性がビジネススキルを学べる実践的な学習」で、男性の回答割合が高いのは「男性の料理、家事一般、介護、子育て教室など男性を対象とする実践的な学習」、「ワーク・ライフ・バランスや働き方改革に関する講座」、「男女共同参画、ジェンダー、女性の人権に関する講座」が挙げられます。

女性は、仕事につながる支援を期待し、男性は、生活技術の習得や生き方に関わる学習機会を求める傾向がうかがえます。

(2) (仮称) 男女共同参画センター移行後の女性の総合相談窓口があればよいと思う相談・相談体制

全体では、「弁護士、司法書士などの法律の専門家による相談」(53.9%)が最も高く、次いで「心理士などの専門家によるカウンセリング」(43.5%)、「DVの被害から逃れた方が自立して生活できるような経済的支援、就業支援に関する相談ができる」(24.5%)、「相談時に一時保育が利用できる」(22.5%)、「DV被害者などが夜間などいつでも相談できる」(22.0%)、「再就職や起業など働くことの専門家による相談」(20.7%)となっています。

(3) 草津市が男女共同参画社会実現に向けて力を入れるべき取り組み

全体では、「働く男性、女性を支援するための保育、家事、介護サービスなどを充実する」(56.1%)が特に高く、2位以下の項目と20ポイント以上の差があります。次いで「学校教育の中で、男女平等や男女の共同参画についての教育を進める」が30.5%、「働く場での男女格差をなくすよう事業主などに対して働きかける」が27.6%、「男性も、保育・家事・介護などができるよう、経験・学習する場を設ける」が26.1%となっています。

IV 調査票

草津市男女共同参画についてのアンケート

〈調査の趣旨とご協力のお願い〉

日ごろは、市政の各般にわたりまして温かいご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

草津市では、男女共同参画社会※の実現を市政の重要な柱としており、その実現をめざして「草津市男女共同参画推進条例」(平成21年4月1日施行)を制定し、また平成22年には、男女が真に対等な市民として、性別にかかわらず持てる力を発揮し、人権が尊重され、平和で豊かな地域づくりをめざして、「第3次草津市男女共同参画推進計画」を策定し、取り組みを進めているところです。

つきましては、施策の現状を調査するとともに、今後の施策・方針の参考とさせていただくため、市民の皆さまのご意見をお伺いしたく「草津市男女共同参画についてのアンケート」を実施いたします。

市内にお住まいの20歳以上の方3,000人を無作為で選ばせていただきました。この調査は、無記名とし、調査結果はすべて統計的に処理いたしますので内容が外部にもれることはございません。お忙しいところ誠に恐縮ですが、アンケートにご協力くださいますようお願いいたします。

令和元年9月

草津市長

§ アンケートのご記入にあたって §

◎アンケートは、あて名のご本人がご記入ください。

何らかの理由でお答えいただけない場合は、代理の方により、ご本人の意見を尊重してご回答いただきますようお願いいたします。

◎鉛筆、ボールペンなどではっきりご記入ください。

◎特別な語句については、ページ下に注釈を設けています。

◎ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)にて、

9月30日(月)までに、お近くの郵便ポストに入れてください。

◎本調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

・ Please call this number as follows, if you have any questions about this research.

・ 본 조사에 관한 문의 사항은 다음으로 연락해 주십시오.

・ 关于这次调查如果有什么联络的事情的话, 请和下面的地址联络。

・ Para maiores informações sobre este questionário, procure a direção abaixo.

・ Si hay preguntas sobre esta encuesta consulte llamando a los números siguientes:

草津市総合政策部 男女共同参画課

TEL : 077-565-1550 FAX : 077-561-2489 E-mail : danjo@city.kusatsu.lg.jp

※男女共同参画社会

男女が性別にかかわらず、自らの意思によって社会のあらゆる分野で対等に活動する機会が確保され、そのことによって、男女が均等に政治的、経済的、社会的および文化的利益を受けることができ、共に責任を担う社会。

よくあるご質問

1. 調査票が自分に届いたのはなぜですか？

今回の調査にご協力をお願いしているのは、草津市にお住まいの 20 歳以上の方 3,000 人です。住民基本台帳から無作為に抽出し選ばれた皆さまに、調査票をお送りしています。

2. 回答することで自分の情報が漏えい^{ちゅう}することはありますか？

調査票には「質問に対する回答」と「性別や年代やお住まいの地域など分析に必要な項目」のみを記入していただきます。調査票を返送することで、個人が特定されることはありません。調査票や返信用封筒には、名前や住所などの情報は一切書かずにご返送ください。

3. 回答した結果はどう使うのですか？

いただいた回答は、個人が特定されないようすべて数値に置き換え、統計的に処理をしたうえで、集計結果をホームページや報告書によって公表いたします。調査結果は、今後、市の施策を進めるにあたっての基礎資料とさせていただきます。

4. 回答しなくてもいいですか？

今回の調査は任意でご協力いただくものですが、より正確な調査とするために一人でも多くの方に回答いただきたいと考えております。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

5. いつまでに何を送ればいいですか？

この調査票のみを同封の返信用封筒に入れ、9月30日（月）までにお近くの郵便ポストにご投函ください。切手を貼る必要はありません。



■男女共同参画についておたずねします

問1 あなたは、次にあげるそれぞれの分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。(①～⑦のそれぞれ1つに○)

	男性が優遇 されている	どちらかといえ ば男性が優遇され ている	平等である	どちらかといえ ば女性が優遇され ている	女性が優遇 されている	わからない
①家庭生活で	1	2	3	4	5	6
②職場の中で	1	2	3	4	5	6
③学校教育の場で	1	2	3	4	5	6
④地域活動の場で	1	2	3	4	5	6
⑤政治分野で	1	2	3	4	5	6
⑥法律や制度のうえで	1	2	3	4	5	6
⑦社会通念・慣習・しきたりなど	1	2	3	4	5	6

問2-1 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方がありますが、あなたはどのように思いますか。(1つに○)

1. 賛成	}	1、2を選んだ方は問2-2へ
2. どちらかといえば賛成		
3. どちらかといえば反対	}	3、4を選んだ方は問2-3へ
4. 反対		
5. わからない		

問2-2 問2-1で「1」または「2」と回答された方へおたずねします。

「賛成」「どちらかといえば賛成」とお考えの理由は次のどれにあたりますか。
あなたの考え方に最も近いものの番号を選んでください。(1つに○)

1. 日本の伝統だと思うから	
2. 配偶者・パートナーや家族が望んでいるから	
3. 仕事と家庭を両立するより、性別で役割を分担したほうが効率がよいと思うから	
4. 能力的にみて、男性は仕事に向いており、女性は家事・育児・介護に向いていると思うから	
5. 母親が家庭にいたほうが、子どもの成長にとってよいと思うから	
6. その他(具体的に:)	
7. 理由を考えたことはない	

問2-3 問2-1で「3」または「4」と回答された方へおたずねします。

「どちらかといえば反対」「反対」とお考えの理由は次のどれにあたりますか。あなたの考え方に最も近いものの番号を選んでください。(1つに○)

1. 性別によって一律に役割を決めることはおかしいと思うから
2. 男女共に仕事と家事・育児・介護などの両方に関わるほうが、各個人、家庭にとってよいと思うから
3. 女性も仕事をするほうが、生活が安定すると思うから
4. 家庭以外の場面でも、女性の能力をいかせると思うから
5. その他(具体的に:)
6. 理由を考えたことはない

問3 あなたは、子どもをどのように育てたらよいとお考えですか。お子さんがおられない方も、ご自身のお考えで結構です。(1つに○)

1. 男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てたほうがよい
2. ある程度は、男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てたほうがよい
3. 男の子らしく女の子らしくというより、一人ひとりの個性を尊重して育てたほうがよい
4. その他(具体的に:)
5. わからない

問4-1 あなたの住んでいる地域(まちづくり協議会・自治会・町内会)の行事・役割などで、男女間の格差を感じることがありますか。(1つに○)

- | | | |
|-------|-------|-----------------|
| 1. ある | 2. ない | 3. 地域活動に参加していない |
|-------|-------|-----------------|

→問4-2 問4-1で「1」と回答された方へおたずねします。

あなたの住んでいる地域(まちづくり協議会・自治会・町内会)の行事・役割などで、どのようなことに男女間の格差を感じますか。(○はいくつでも)

1. 役員選挙に女性が出にくく、また選ばれにくい
2. 地域の行事・祭礼などで女性が参加できなかったり、女性の役割が受付、接待などというように固定化されている
3. 会議などで女性が意見を言いにくい雰囲気がある
4. 会議などでお茶出しや片付けは女性だけがしている
5. 実際に活動しているのは妻である女性なのに、名義や役職は夫の名前である
6. 「女性だから」といって、女性が役員につくことや会議での発言をしりごみする
7. その他(具体的に:)

問5 次の言葉について、知っていますか。(①～⑩のそれぞれ1つに○)

	だいたいの内容を 知っている	聞いたことは あるが内容は 知らない	まったく 知らない
①女子差別撤廃条約	1	2	3
②男女共同参画社会基本法	1	2	3
③女性活躍推進法	1	2	3
④政治分野における男女共同参画推進法	1	2	3
⑤草津市男女共同参画推進条例	1	2	3
⑥ジェンダー※	1	2	3
⑦LGBT※	1	2	3
⑧SDGs※	1	2	3
⑨デートDV※	1	2	3
⑩ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）※	1	2	3

※ジェンダー

男らしさ、女らしさといった、生まれてから後に社会的につくられた性差のこと。生物学的な男性、女性といった性別とは区別される。

※LGBT

L=Lesbian（レズビアン、女性同性愛）、G=Gay（ゲイ、男性同性愛）、B=Bisexual（バイセクシュアル、両性愛）、T=Transgender（トランスジェンダー、性同一性障害などの性的違和）の頭文字をとってつくられた言葉。

※SDGs

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称であり、2015年に国連で採択された国際社会共通の目標。17の目標の一つとして「ジェンダー平等を実現しよう」が設定されている。

※デートDV

恋人間に起こるDV（身体的、心理的、性的または経済的な苦痛を与える暴力的行為、その他心身に有害な影響を及ぼす発言または行動）。

※ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）

老若男女誰もが仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など、さまざまな活動について、自ら希望するバランスで展開できる状態のこと。



■ワーク・ライフ・バランスについておたずねします

問6-1 生活の中での「仕事※」、「家庭生活」、地域活動・学習・趣味・付き合いなどの「地域・個人の生活」の優先度についてお伺いします。

まず、あなたの希望に最も近いものをお答えください。(1つに○)

1. 「仕事」を優先したい
2. 「家庭生活」を優先したい
3. 「地域・個人の生活」を優先したい
4. 「仕事」と「家庭生活」をしたい
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
8. わからない

問6-2 それでは、あなたの現実・現状に最も近いものをお答えください。(1つに○)

1. 「仕事」を優先している
2. 「家庭生活」を優先している
3. 「地域・個人の生活」を優先している
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
8. わからない

※「仕事」

週1時間以上働いていること。フルタイム、パート、アルバイト、嘱託などは問わない。



問7 あなたの普段（平日と休日）の生活時間についておたずねします。以下の活動について、1日に費やす時間はどのくらいですか。（1）～（9）それぞれについてお答えください。

（回答の合計が 24 時間になるようにお答えください。また、該当しない場合は、□の枠内に「×」を記入してください）

	仕事や学校のある日	休みの日・仕事や学校のない日
(1) 仕事・学校 *仕事にはアルバイト・副業も含む	時間 分	時間 分
(2) 通勤・通学時間	時間 分	時間 分
(3) 家事（炊事、買物、洗濯、掃除など）	時間 分	時間 分
(4) 育児・子育て	時間 分	時間 分
(5) 介護	時間 分	時間 分
(6) 地域活動	時間 分	時間 分
(7) 個人の時間（学習、趣味、スポーツ、友人付き合いなど）	時間 分	時間 分
(8) 睡眠時間	時間 分	時間 分
(9) その他	時間 分	時間 分
合計 (24 時間になるようにご記入ください)	時間 分	時間 分



問8 あなたは、今後、男性が女性と共に家事、子育て、介護などの家庭生活により積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと
2. 夫婦や家族間のコミュニケーションを増やすこと
3. 周りの人が、夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を尊重すること
4. 社会の中で、男性による家事、子育て、介護、地域活動についての評価を高めること
5. 労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること
6. 男性も育児や介護の休業を取得しやすい環境にすること
7. 育児休業中や介護休業中の所得補償を充実させること
8. 子育てや介護を行っていくうえでの仲間がいること
9. その他(具体的に:)
10. 特に必要なことはない

問9 「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)が実現された社会」に近づくために、職場においてどのような取り組みが必要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 社長や取締役などがリーダーシップを発揮してワーク・ライフ・バランスに取り組む
2. 組織の中で、ワーク・ライフ・バランスを推進する責任者を定める
3. 管理職の意識改革を行う
4. 管理職以外の社員の意識改革を行う
5. 無駄な業務・作業・会議をなくし、労働時間を短縮する
6. 年休有給休暇の取得計画をつくる
7. ノー残業デーを設ける
8. 育児・介護などの休業・休暇制度を充実し、育児・介護休業を取りやすくする
9. 短時間勤務やフレックスタイム制度※など柔軟な働き方ができるようにする
10. その他(具体的に:)
11. 特に必要なことはない

※フレックスタイム制度

労働者が一定の定められた時間帯の中で労働の始業・終業時刻を自由に決定できる勤務時間制度のこと。



■労働についておたずねします

問 10 あなたの現在の職業、配偶者・パートナーの職業は、次のどれにあたりますか。
(それぞれ1つの番号を回答欄に記入してください。配偶者・パートナーのいない方はご自身の欄のみに記入してください。)

●ご自身の職業		●配偶者・パートナーの職業	
番号		番号	
1.	勤め人（正規の社員や職員、会社などの役員）		
2.	勤め人（非正規の社員や職員（パート・アルバイト・派遣など）で週あたりの就業時間が35時間以上）		
3.	勤め人（非正規の社員や職員（パート・アルバイト・派遣など）で週あたりの就業時間が35時間未満）		
4.	農林漁業		
5.	会社経営者、自営業主（農林漁業を除く）		
6.	家族従業者（農家や会社など自営業主の家族で、その自営業に従事している方）		
7.	家事専業	8.	無職
		9.	その他（ ）

問 11-1 問 10 で、ご自身が「7. 家事専業」または「8. 無職」と回答された方におたずねします。あなたは、今後、働きたいと思いますか。（1つに○）

1. すぐ働きたい	2. 条件が整えば働きたい
3. 働きたくない	4. その他(具体的に:)
5. わからない	

→問 11-2 問 11-1 で「1. すぐ働きたい」または「2. 条件が整えば働きたい」と回答された方におたずねします。
今後は働きたいけれども、現在働くことができない理由は何ですか。（○はいくつでも）

1.	自宅に近い勤め先が見つからない
2.	希望の給料に合う勤め先が見つからない
3.	希望の勤務時間に合う勤め先が見つからない
4.	希望の雇用形態に合う勤め先が見つからない
5.	今後、配偶者・パートナーの転勤の可能性がある
6.	子育ての負担が大きい
7.	子どもが保育所などに入所できなかった
8.	家事の負担が大きい
9.	親や家族の介護・看護
10.	健康上の理由
11.	家族が反対する
12.	その他（具体的に: ）

問 12 あなたは、女性が出産・子育てなどが理由で辞めることなく働けるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 在宅勤務やフレックスタイム制度など、柔軟な働き方の導入
2. 企業の育児休業の制度の整備・充実
3. 育児休業を取りやすい職場環境づくり
4. 女性が働き続けられる、または、復帰しやすい職場の雰囲気づくり
5. 育児のための施設やサービスの充実
6. 夫・パートナーなど家族の労働時間の短縮
7. 夫・パートナーなど家族の理解
8. 夫・パートナーなど家族の家事・育児などへの協力
9. その他(具体的に:)
10. 特に必要なことはない

問 13 あなたは、介護が理由で辞めることなく働けるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 在宅勤務やフレックスタイム制度など、柔軟な働き方の導入
2. 企業の介護休業の制度の整備・充実
3. 介護休業を取りやすい職場環境づくり
4. 介護をしていても働き続けられる、または、復帰しやすい職場の雰囲気づくり
5. 介護のための施設やサービスの充実
6. パートナーなど家族の労働時間の短縮
7. パートナーなど家族の理解
8. パートナーなど家族の家事・介護などへの協力
9. その他(具体的に:)
10. 特に必要なことはない



問 14 現状では、管理職※につく女性が少ない状況にありますが、その最も大きな理由としてどのようなものがあると思いますか。(1 つに○)

1. 女性自身が管理職につくことに消極的だから
2. 女性は、勤続年数が短く、管理職になる前に退職するから
3. 女性は、家庭における責任を多く担っているため、責任の重い仕事を希望しないから
4. 女性は、能力的にみて管理職に向いていないから
5. 女性は、管理職に必要とされる能力（知識や経験、判断力など）を高める機会が少ないから
6. 会社や組織の中に昇進・昇格に対する男性優先の意識や、女性管理職に対する不安感があるから
7. その他（具体的に： _____）
8. わからない

※管理職

意思決定を行う管理的部門や指導的地位のことを言います。

■セクシュアル・ハラスメント(セクハラ)・DV についておたずねします

問 15 あなたは、職場や学校、地域などで次のような行為をされたことがありますか。
(○はいいくつでも)

	職場で	学校で	地域で
1. 年齢や身体のことについて、不愉快な意見や冗談を言われた	1	1	1
2. 卑わいな言葉をかけられたり、わい談をされたりした	2	2	2
3. 身体をじろじろ見られた	3	3	3
4. わざと身体に触られた	4	4	4
5. 宴会などでお酌やデュエットを強要された	5	5	5
6. 性的なうわさを流された	6	6	6
7. しつこく交際を求められた	7	7	7
8. 性的な行為を強要された	8	8	8
9. どれもされたことはない	9	9	9

問 16-1 あなたは、ドメスティック・バイオレンス※（DV※）を受けた経験がありますか。（1つに○）

※ドメスティック・バイオレンス(DV)

配偶者・パートナーや親しい異性（恋人など）からの暴力のこと。暴力には、身体的暴力（なぐる、蹴るなど）、精神的暴力（暴言、無視など）、経済的暴力（生活費を渡さない、仕事をさせないなど）、性的暴力（性行為の強要、避妊に協力しないなど）、社会的暴力（行動の制限や監視など）などがあります。

1. 過去に暴力を受けたことがある	2. 現在も暴力を受けることがある
3. 暴力を受けたことはないが、自分の周りに受けた（受けている）人がいる	
4. 暴力を受けたことはなく、自分の周りに受けた（受けている）人もいない	

→ 問 16-2 問 16-1 で「1. 過去に暴力を受けたことがある」または「2. 現在も暴力を受けることがある」と回答された方におたずねします。
あなたは、暴力を受けたとき、どのように行動しましたか。（○はいくつでも）

1. どこにも相談しなかった	2. 本人同士で話し合った
3. 家族に相談した	4. 友人や知人に相談した
5. 親戚に相談した	6. 職場の上司・同僚などに相談した
7. 公共の相談施設に相談した	8. 警察に相談した
9. 弁護士など、法律の専門家に相談した	10. 医療関係者（医師・看護師など）に相談した
11. 学校関係者（教員・養護教諭など）に相談した	
12. その他（具体的に：	）

問 17 あなたは、次の相談窓口を知っていますか。（①～⑦のそれぞれ1つに○）

	知っている	知らない
①女性の総合相談窓口※（草津市役所）	1	2
②市民相談室（草津市役所）	1	2
③家庭児童相談室（草津市役所）	1	2
④配偶者暴力相談支援センター（滋賀県中央子ども家庭相談センター）	1	2
⑤草津警察署生活安全課	1	2
⑥県立男女共同参画センター（G-NETしが）	1	2
⑦犯罪被害者総合窓口（NPO法人おうみ犯罪被害者支援センター）	1	2

※女性の総合相談窓口

草津市男女共同参画課（市役所7階）に設置しています。困りごとがありましたら、気兼ねなくご相談ください。（☎ 077-565-1550 月～金（祝日・年末年始を除く）9：00～16：00）

■市の施策・(仮称)男女共同参画センターについておたずねします

市では、草津駅前に竣工予定の(仮称)草津市市民総合交流センター内に、(仮称)男女共同参画センターを設置する予定です。この施設は、男女平等の意識の高揚を図り、男女があらゆる分野に参画できるよう、広く市民に意識啓発を図るため、学習活動・相談・情報提供の機会と場を提供し、市民との協働により施策を推進する拠点として設置するものです。

問 18 (仮称)男女共同参画センターに、どのような機能・事業があればよいと思いますか。(〇は3つまで)

1. 男女共同参画、ジェンダー、女性の人権に関する講座
2. L G B Tなど、性の多様性に関する学習会
3. 就職・再就職をめざす女性のための講座や相談会
4. 起業をめざす女性のための講座や相談会
5. ワーク・ライフ・バランスや働き方改革に関する講座
6. 男性の料理、家事一般、介護、子育て教室など男性を対象とする実践的な学習
7. 女性のパソコン教室など女性がビジネススキルを学べる実践的な学習
8. 中学生、高校生を対象とするさまざまな分野の進路を考える学習会（男女で就業の分野が固定的であることから）
9. デートDVやDV、性暴力防止に関する学習会
10. 起業家や就業している女性の交流の場
11. 子育て中、介護中の女性や男性の交流の場
12. 誰でも立ち寄れる交流の場
13. 男女共同参画や女性に関する情報・書籍などの収集と提供
14. その他（具体的に： _____）



（仮称）草津市市民総合交流センター完成予想図

問 19 現在、市が設置する女性の総合相談窓口（問 17 に説明あり）ではDV、セクハラ、家族のこと、働くことなどの相談に応じていますが、今後、（仮称）男女共同参画センターに移行するにあたって、どのような相談・相談体制があればよいと思いますか。（〇は3つまで）

1. 弁護士、司法書士などの法律の専門家による相談
2. 心理士などの専門家によるカウンセリング
3. 再就職や起業など働くことの専門家による相談
4. 男性のための男性相談員による相談
5. インターネット（メールやZOOMなどのビデオ通話）による相談
6. L G B Tなど、セクシュアルマイノリティに関する相談
7. 相談時に一時保育が利用できる
8. DV被害者などが夜間などいつでも相談できる
9. DVに関する法的な手続き（被害届や保護命令など）について詳しく教えてくれる
10. DVの被害から逃れた方が自立して生活できるような経済的支援、就業支援に関する相談ができる
11. DVの加害者に対するカウンセリングやサポートがある
12. その他（具体的に： _____）

問 20 男女共同参画社会の実現に向けて、草津市が今後、特に力を入れるべきだと思うものはどれですか。（〇は3つまで）

1. 市の政策・方針を決定する審議会の委員などに、女性を多く登用する
2. 学校教育の中で、男女平等や男女の共同参画についての教育を進める
3. 働く場での男女格差をなくすよう事業主などに対して働きかける
4. 働く男性、女性を支援するための保育、家事、介護サービスなどを充実する
5. 男性も、保育・家事・介護などができるよう、経験・学習する場を設ける
6. 男女が共に参画する地域活動、ボランティア活動の啓発、促進
7. 各種相談事業を充実する
8. L G B Tなど、性の多様性についての意識啓発、社会環境づくりを進める
9. 男女平等や男女共同参画についての啓発や、学習機会の充実を図る
10. その他（具体的に： _____）

<自由記載欄>

市が実施する男女共同参画社会実現のための施策などに関して、ご意見やご希望がありましたら、ご自由にご記入ください。

.....

.....

.....

■回答者ご本人についておたずねします

問 21 あなたの性別は。(1 つに○) ※あなたが認識されている性別でお答えください。

- | | | |
|-------------|-------|-------------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 自由記述 () |
| 例: 答えたくないなど | | |

問 22 あなたの年齢は。(1 つに○)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 20～29 歳 | 2. 30～39 歳 | 3. 40～49 歳 |
| 4. 50～59 歳 | 5. 60～69 歳 | 6. 70～79 歳 |
| 7. 80 歳以上 | | |

問 23 あなたは結婚(事実婚を含む)していますか。(1 つに○)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 結婚している(配偶者・パートナーがいる) |
| 2. 結婚していた(配偶者・パートナーとは離別・死別した) |
| 3. 結婚したことはない |

問 24 あなたは現在、どなたと同居されていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(ひとり暮らしの方は6に○をつけてください)

- | | |
|--------------|-----------------------|
| 1. 配偶者・パートナー | 2. 父母 |
| 3. 祖父母 | 4. 子ども |
| 5. その他 () | 6. 誰とも同居していない(ひとり暮らし) |

問 25 問 24 で同居している子どもがいると回答された人におたずねします。
あてはまる年齢・学齢をすべて選択してください。

- | | |
|-------------|------------------|
| 1. 0～2 歳 | 2. 未就学児(3 歳～6 歳) |
| 3. 小学生 | 4. 中学生 |
| 5. 高校生以上の学生 | 6. 1～5 以外 |

問 26 あなたは草津市に住んで何年になりますか。(1 つに○)

- | | | |
|----------------|-----------|---------------|
| 1. 生まれてからずっと | 2. 5 年未満 | 3. 5 年～10 年未満 |
| 4. 10 年～20 年未満 | 5. 20 年以上 | |

※問21については、女性と男性の意識の違いについて調査するため質問項目を設けています。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。お手数ですが、記入もれがないかご確認のうえ、同封の封筒に入れ、**9月30日(月)までにお近くのポストに入れてください。**

令和元年度
草津市男女共同参画についてのアンケート調査報告書

令和2年3月
発行：草津市 総合政策部 男女共同参画課
〒525-8588 草津市草津三丁目 13-30
TEL. 077-565-1550